

Ⅱ 調査結果の分析

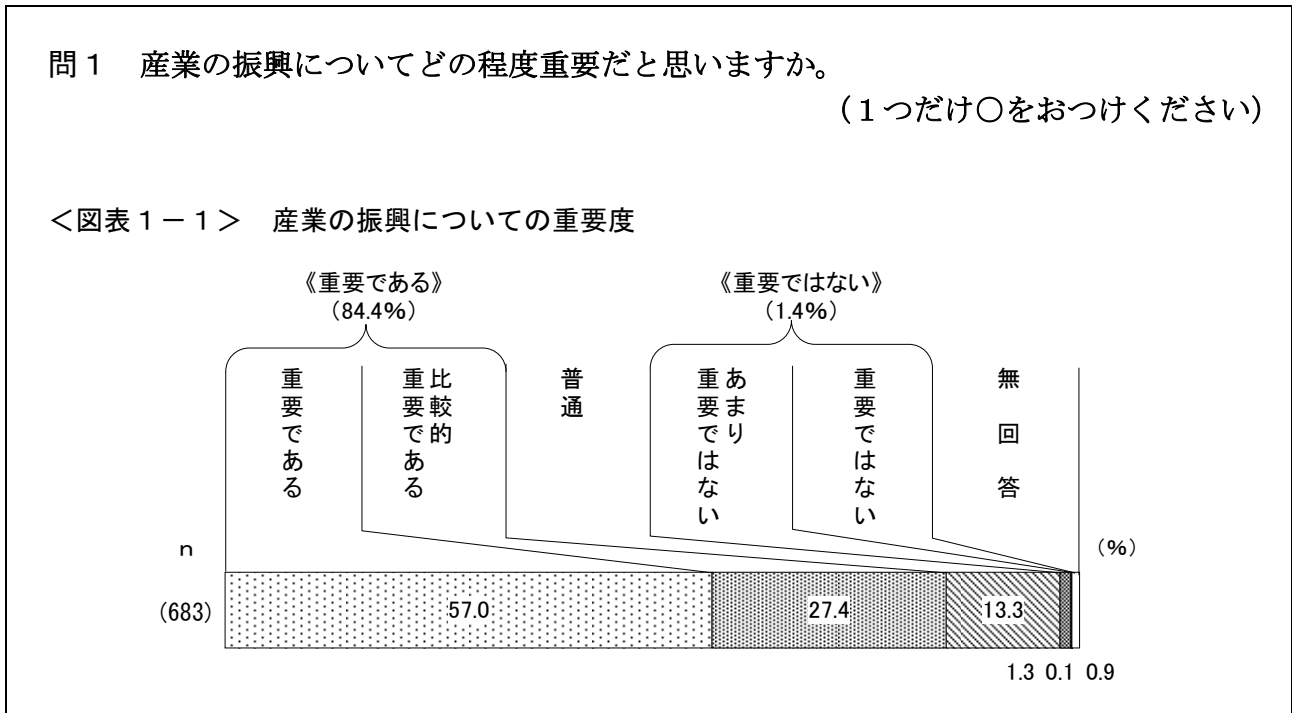
1. 産業を振興するための取り組み

◆ 台東区には、上野、浅草など、大きな商業地があり、さまざまな産業が集まっています。しかし、小さな会社や商店が多く、景気などの影響を受けやすい面があります。

区では、中小企業への融資や相談などの経営への支援、地場産業や商店街の振興など、産業全体の活性化に取り組んでいます。

(1) 産業の振興についての重要度

◇ 《重要である》が8割台半ば

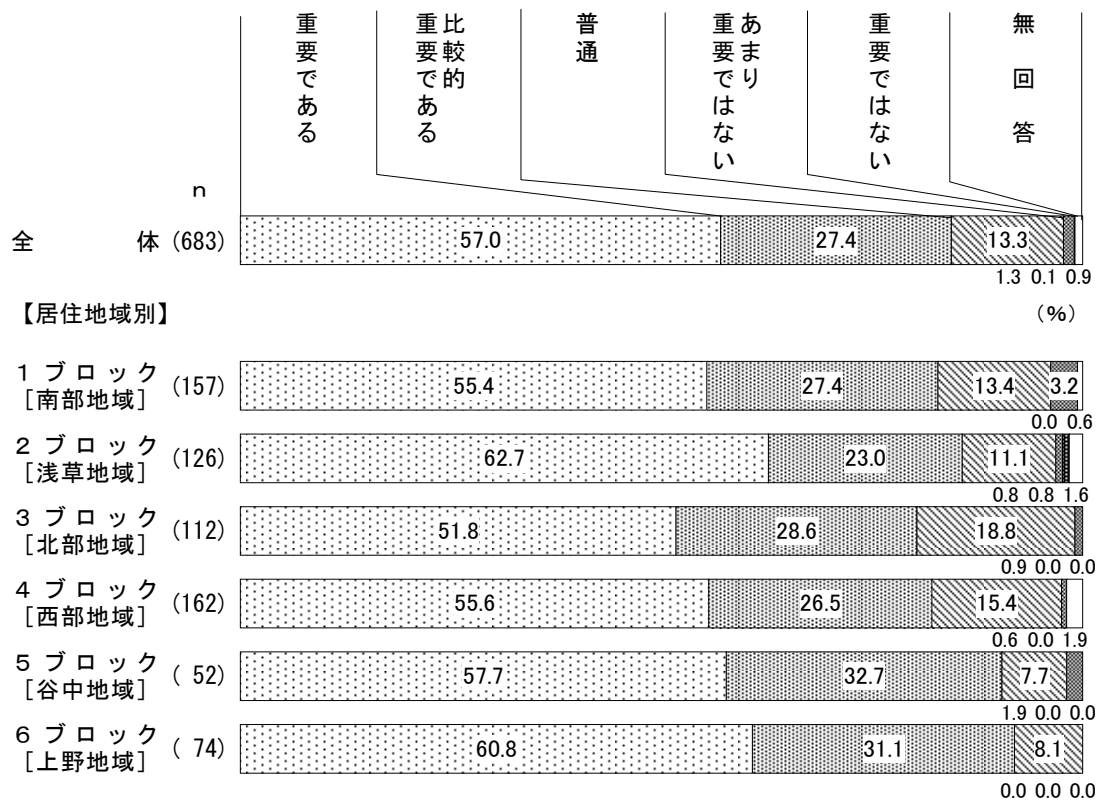


産業の振興についてどの程度重要か聞いたところ、「重要である」(57.0%)が約6割となっている。これに「比較的重要である」(27.4%)を合わせると、《重要である》は84.4%で8割台半ばとなっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は1.4%である。

(図表1-1)

居住地域別でみると、《重要である》は6ブロック [上野地域] (91.9%) が9割を超え最も高く、次いで5ブロック [谷中地域] (90.4%) が9割となっている。しかし、より強い回答である「重要である」に限れば、2ブロック [浅草地域] (62.7%) が6割を超え最も高く、次いで6ブロック [上野地域] (60.8%) が6割となっている。(図表1-2)

＜図表1-2＞ 産業の振興についての重要度 居住地域別

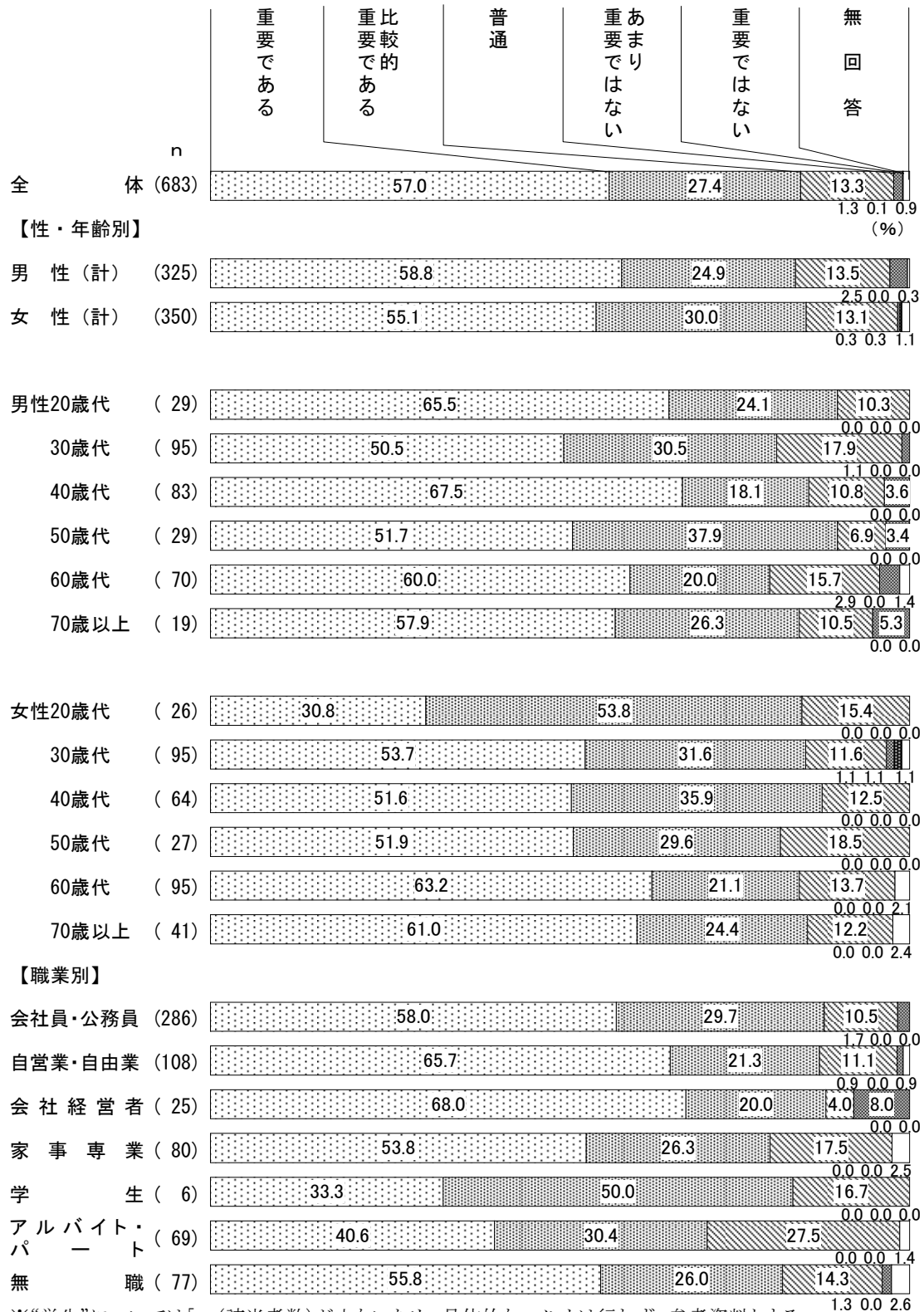


性別でみると、《重要である》は女性（85.1%）の方が男性（83.7%）よりも1.4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では20歳代（89.6%）と50歳代（89.6%）が約9割で高く、女性では40歳代（87.5%）が約9割で高い。なお、より強い回答である「重要である」は、男性の40歳代（67.5%）が約7割で最も高く、次いで男性の20歳代（65.5%）が6割台半ばとなっている。

職業別でみると、《重要である》は、会社経営者（88.0%）、会社員・公務員（87.7%）、自営業・自由業（87.0%）が約9割となっている。（図表1-3）

＜図表1-3＞ 産業の振興についての重要度 性別／性・年齢別、職業別



※「学生」については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

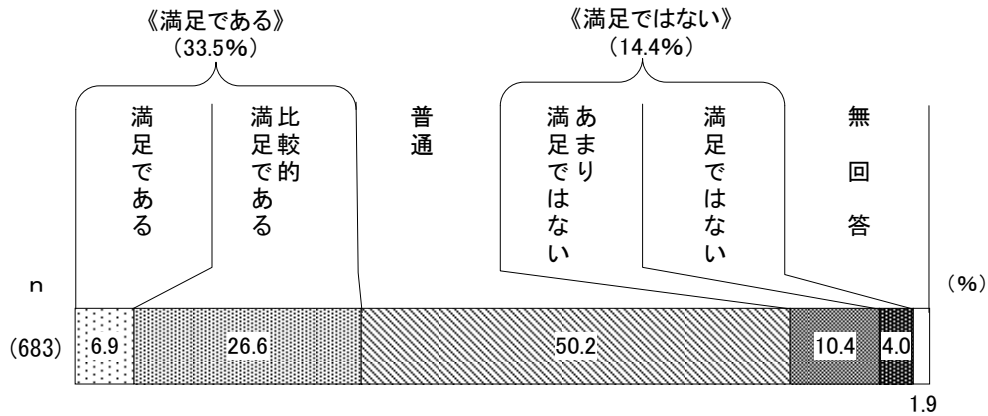
(2) 産業の振興への区の取り組みについての満足度

◇「普通」が5割、《満足である》は3割台半ば

問2 産業の振興への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

＜図表1-4＞ 産業の振興への区の取り組みについての満足度

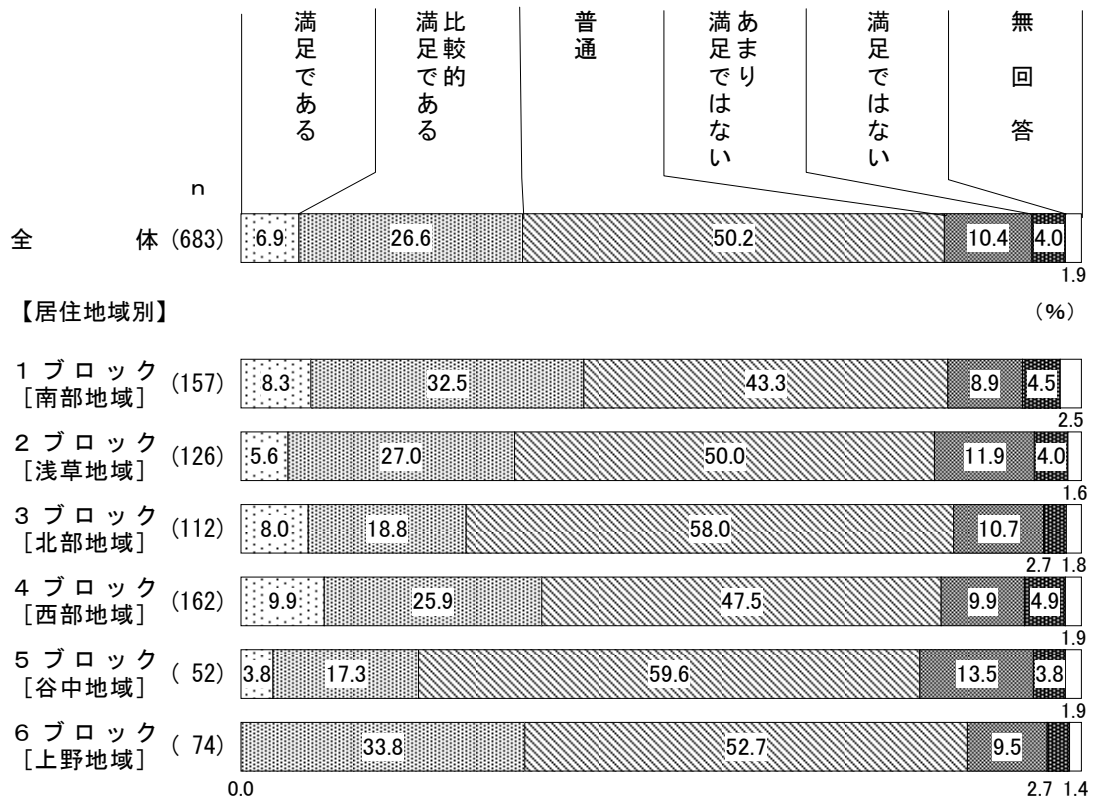


産業の振興への区の取り組みについて、どの程度満足しているかを聞いたところ、「普通」(50.2%)が5割で最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は33.5%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は14.4%である。(図表1-4)

居住地域別でみると、《満足である》は1ブロック[南部地域](40.8%)が4割で最も高くなっている。また、《満足ではない》は5ブロック[谷中地域](17.3%)が約2割で最も高くなっている。

(図表1-5)

＜図表1-5＞ 産業の振興への区の取り組みについての満足度 居住地域別

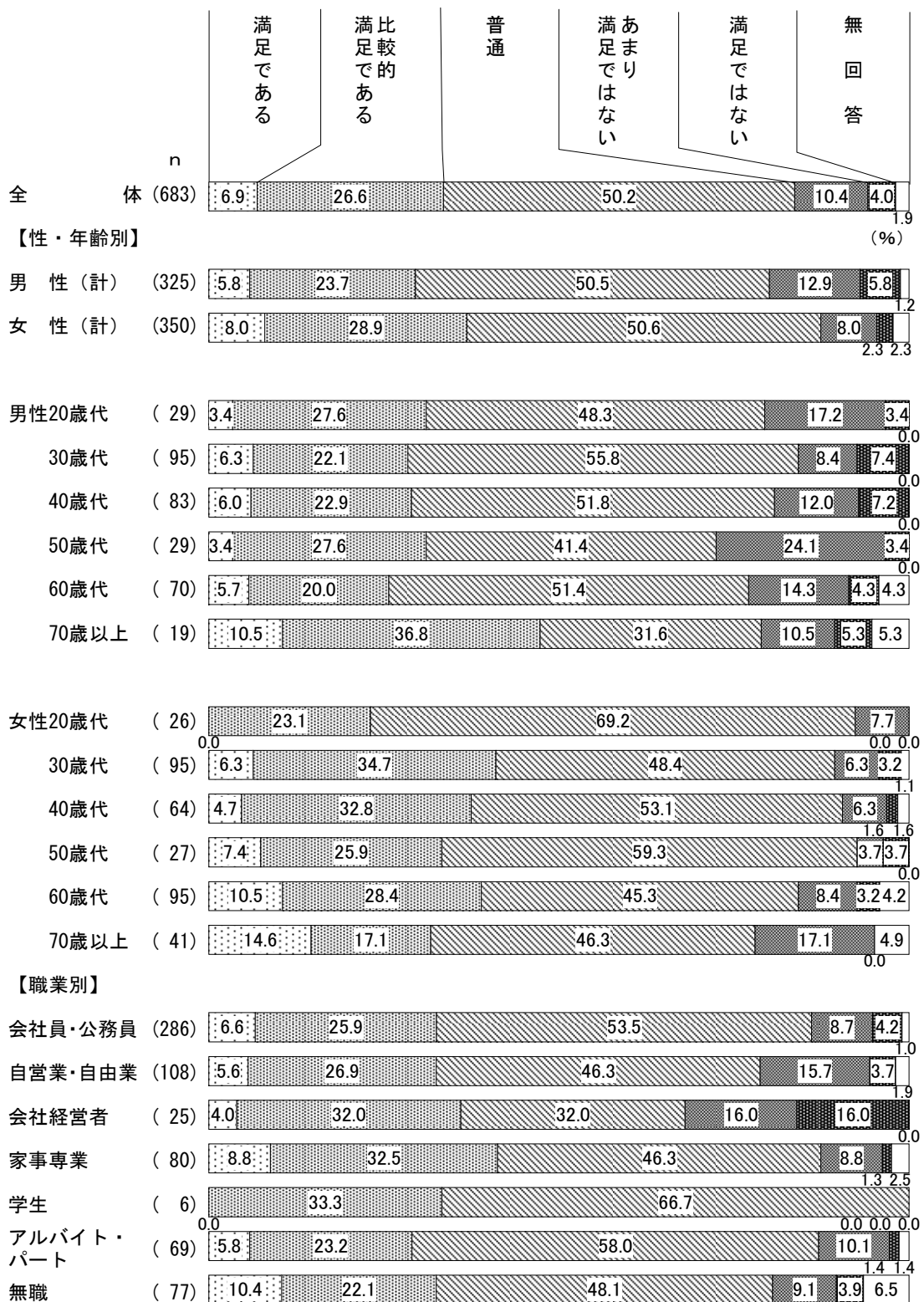


性別でみると、《満足である》は、女性（36.9%）の方が男性（29.5%）より7.4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では70歳以上（47.3%）が約5割で最も高い。女性では、30歳代（41.0%）が4割を超え最も高い。一方、《満足ではない》は、男性の50歳代（27.5%）が約3割で最も高くなっている。

職業別でみると、《満足である》は、家事専業（41.3%）が4割を超え最も高くなっている。一方、《満足ではない》は、会社経営者（32.0%）が3割を超え特に高くなっている。（図表1-6）

＜図表1-6＞ 産業の振興への区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別、職業別



※ “学生”については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

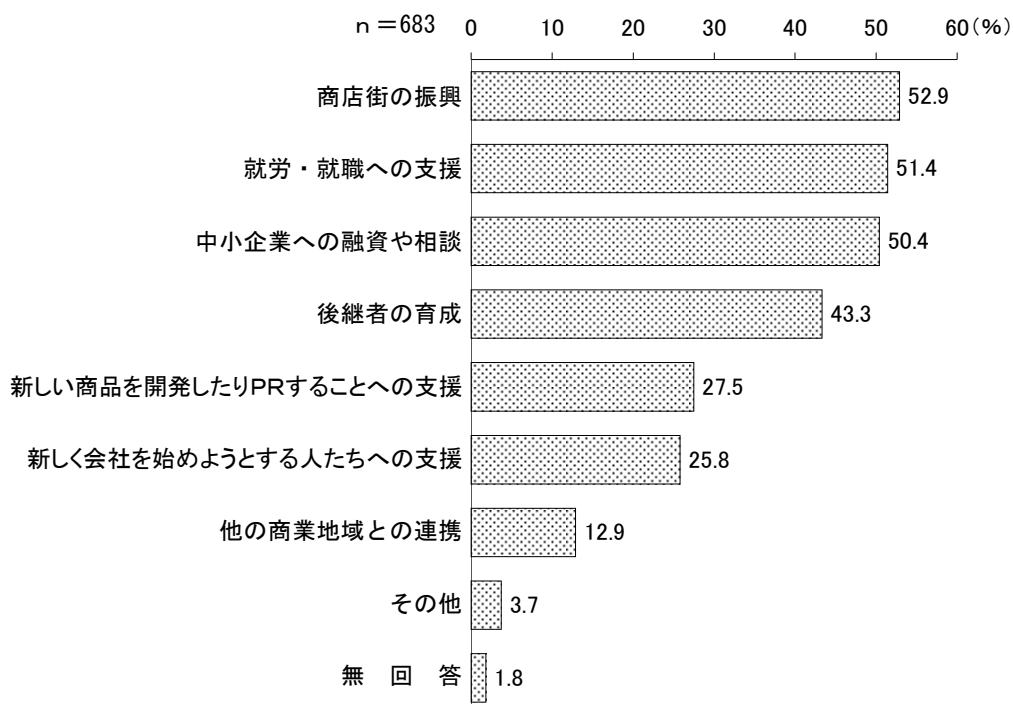
(3) 産業の振興のための取り組みとして大切なもの

◇「商店街の振興」が5割を超え、僅差で「就労・就職への支援」、「中小企業への融資や相談」が続く

問3 産業の振興のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

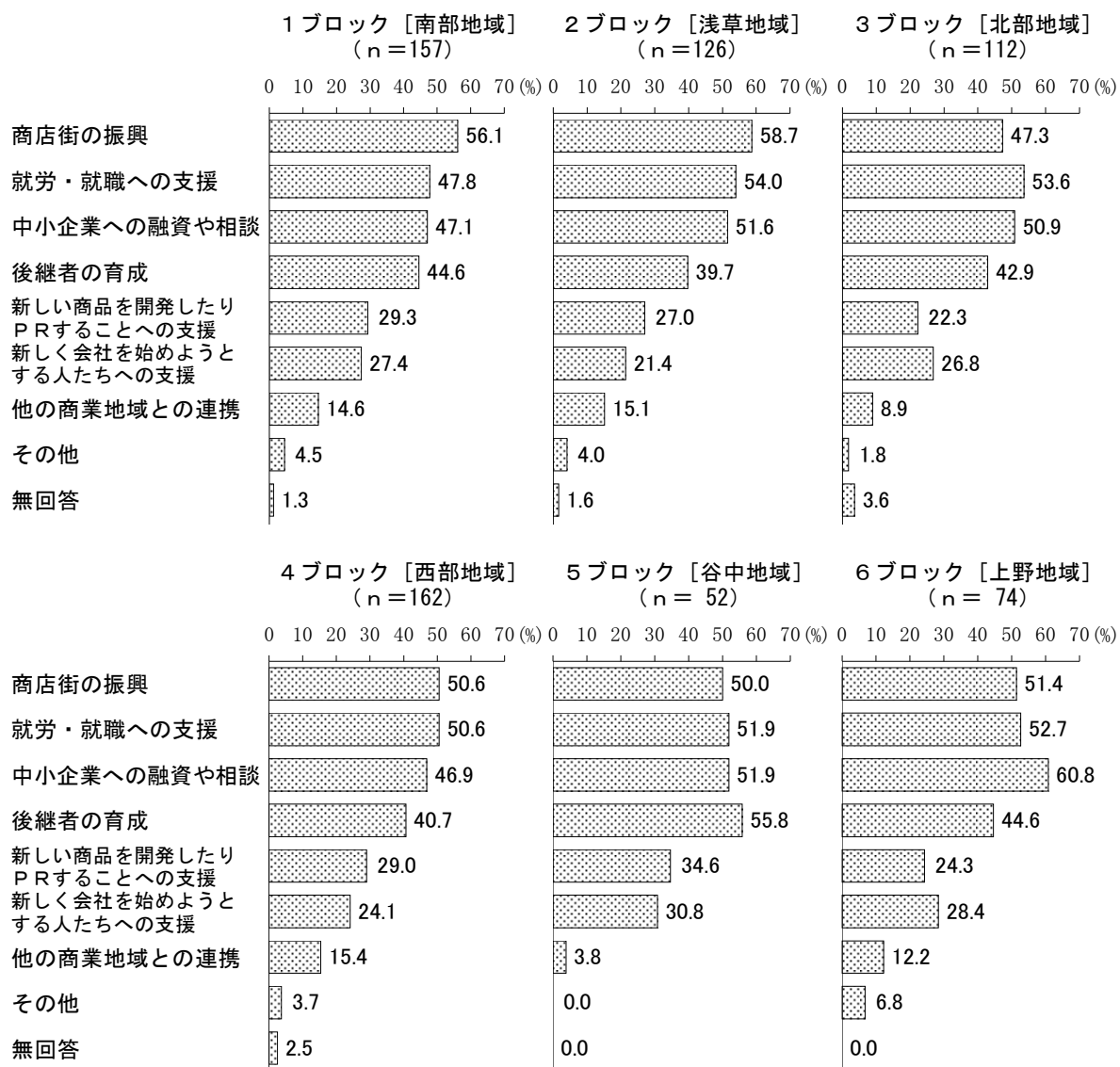
<図表1-7> 産業の振興のための取り組みとして大切なもの（複数回答）



産業の振興のため、どのような取り組みが大切かを聞いたところ、「商店街の振興」(52.9%)が5割を超え最も高く、僅差で「就労・就職への支援」(51.4%)と「中小企業への融資や相談」(50.4%)が続いている。このほか、「後継者の育成」(43.3%)が4割台半ばとなっている。(図表1-7)

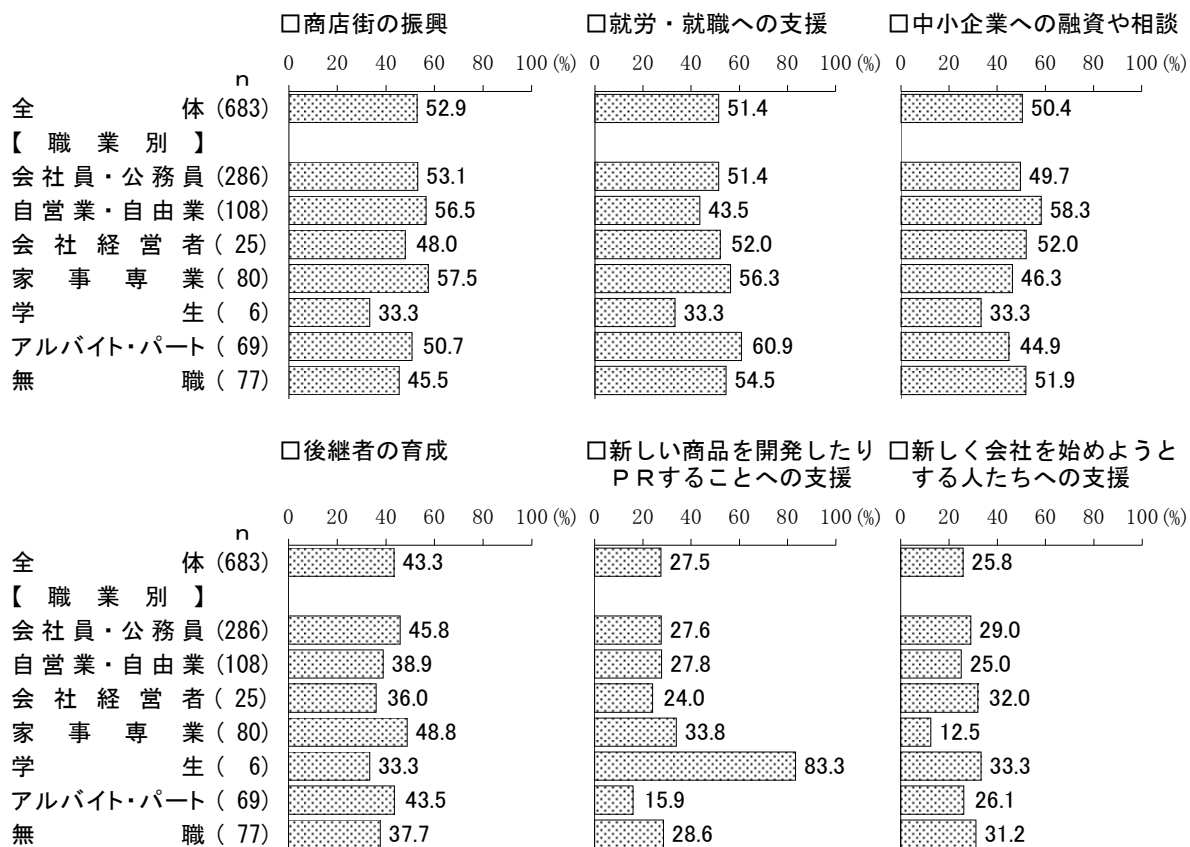
居住地域別でみると、2ブロック[浅草地域]は「商店街の振興」(58.7%)が約6割、6ブロック[上野地域]は「中小企業への融資や相談」(60.8%)が6割で、これらは他の居住地域に比べて高くなっている。(図表1-8)

＜図表1-8＞ 産業の振興のための取り組みとして大切なもの 居住地域別



職業別でみると、「商店街の振興」は、家事専業（57.5%）が約6割で最も高く、次いで自営業・自由業（56.5%）が5割台半ばとなっている。「就労・就職への支援」は、アルバイト・パート（60.9%）が6割で最も高く、次いで家事専業（56.3%）が5割台半ばとなっている。また、「中小企業への融資や相談」は、自営業・自由業（58.3%）が約6割で最も高くなっている。（図表1-10）

＜図表1-10＞ 産業の振興のための取り組みとして大切なもの 職業別（上位6項目）



※ “学生” については「n」（該当者数）が少ないため、具体的なコメントは行わず、参考資料とする。

2. 観光を振興するための取り組み

◆ 台東区には、上野、浅草という、全国的な観光地があり、さまざまな行事などで年間3,900万人を超える人たちが訪れています。

また、史跡や博物館、芸能など、豊かな観光資源があります。

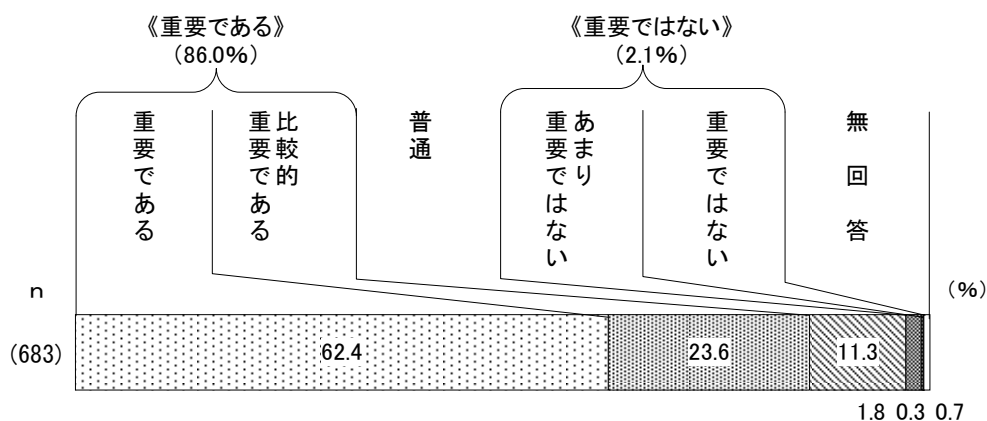
これらの豊富な観光資源を活かして、国内外に情報発信するとともに、より魅力のあるまちにするため、観光コースの整備や観光案内の充実、おもてなし運動などに取り組んでいます。

(1) 観光の振興についての重要度

◇ 《重要である》が8割台半ば

問4 観光の振興についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

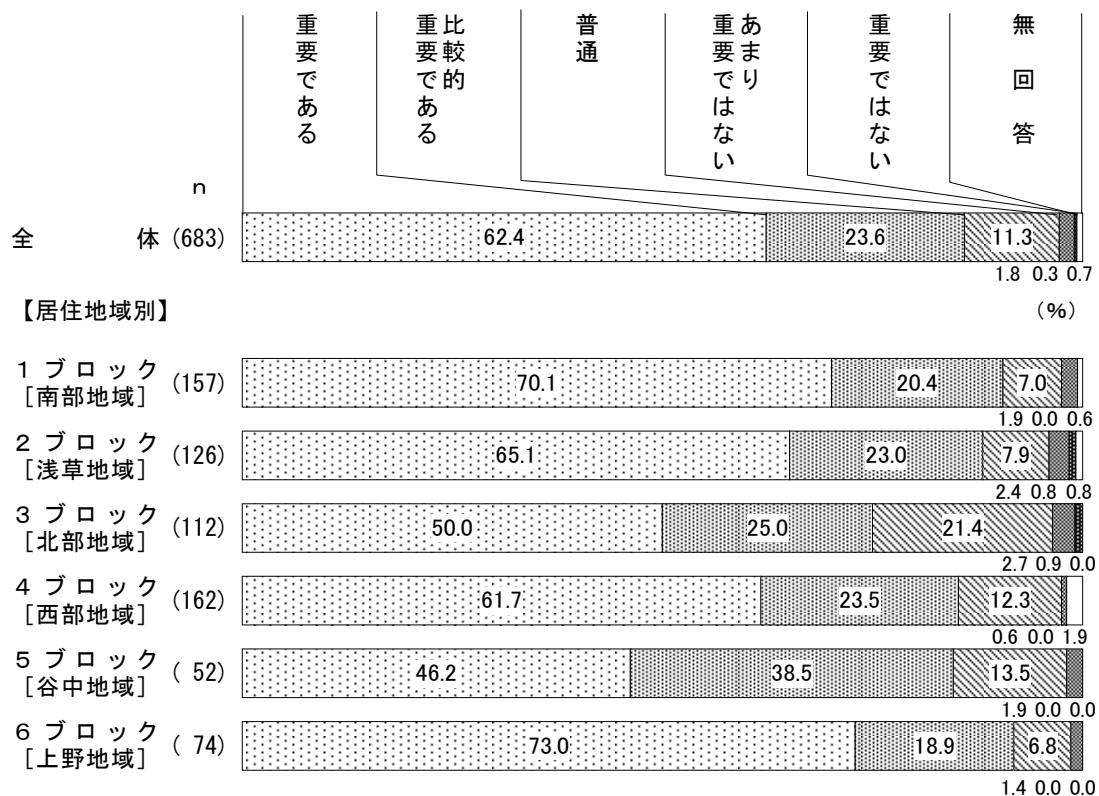
<図表2-1> 観光の振興についての重要度



観光の振興がどの程度重要かを聞いたところ、「重要である」(62.4%)が6割を超え最も高くなっている。これに「比較的である」(23.6%)を合わせると、《重要である》は86.0%で8割台半ばとなっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は2.1%である。(図表2-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、6ブロック[上野地域] (91.9%) が9割を超え最も高く、次いで1ブロック[南部地域] (90.5%) が9割となっている。これらの2つのブロックは、より強い回答である「重要である」でも、6ブロック[上野地域] (73.0%) が7割台半ば、1ブロック[南部地域] (70.1%) が7割と高くなっている。(図表2-2)

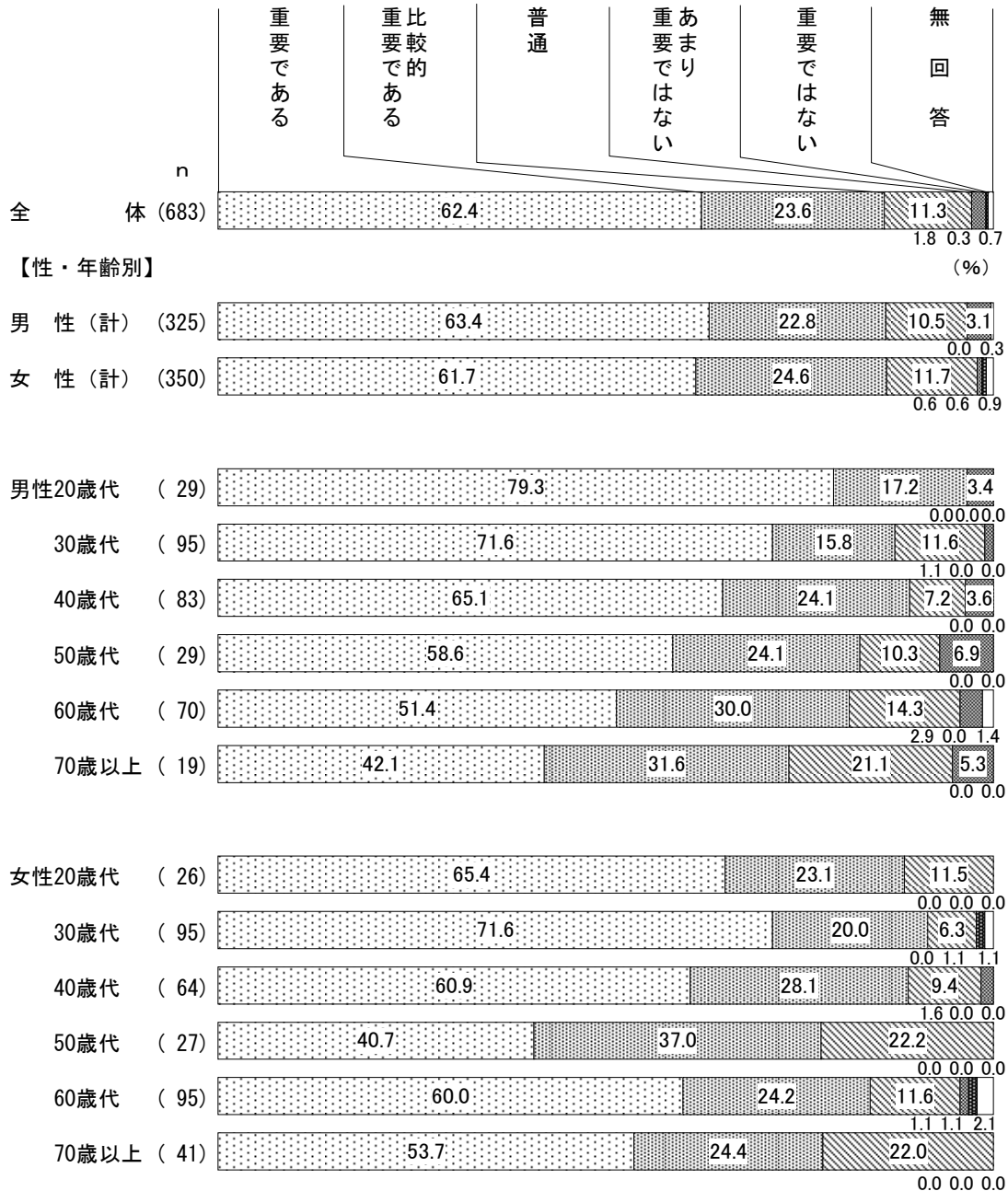
＜図表2-2＞ 観光の振興についての重要度 居住地域別



性別では、大きな違いはみられない。

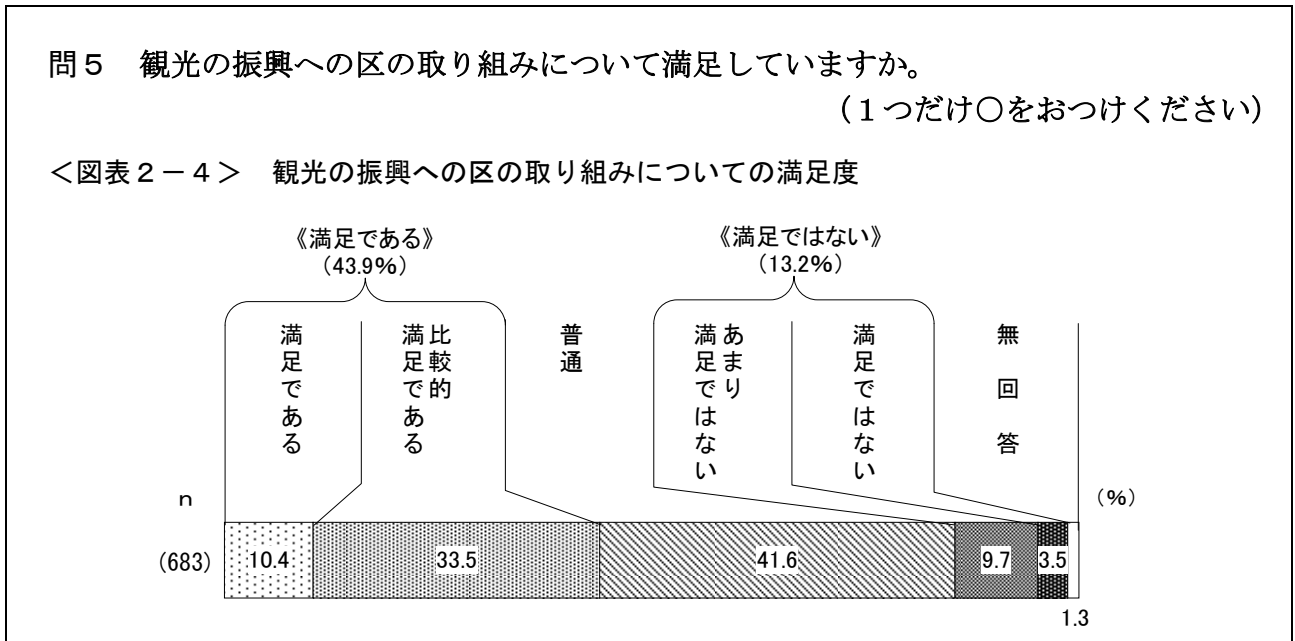
性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では20歳代（96.5%）が9割台半ば、女性では30歳代（91.6%）が9割を超え高くなっている。特に、より強い回答である「重要である」は男性の20歳代（79.3%）で約8割である。（図表2-3）

<図表2-3> 観光の振興についての重要度 性別／性・年齢別



(2) 観光の振興への区の取り組みについての満足度

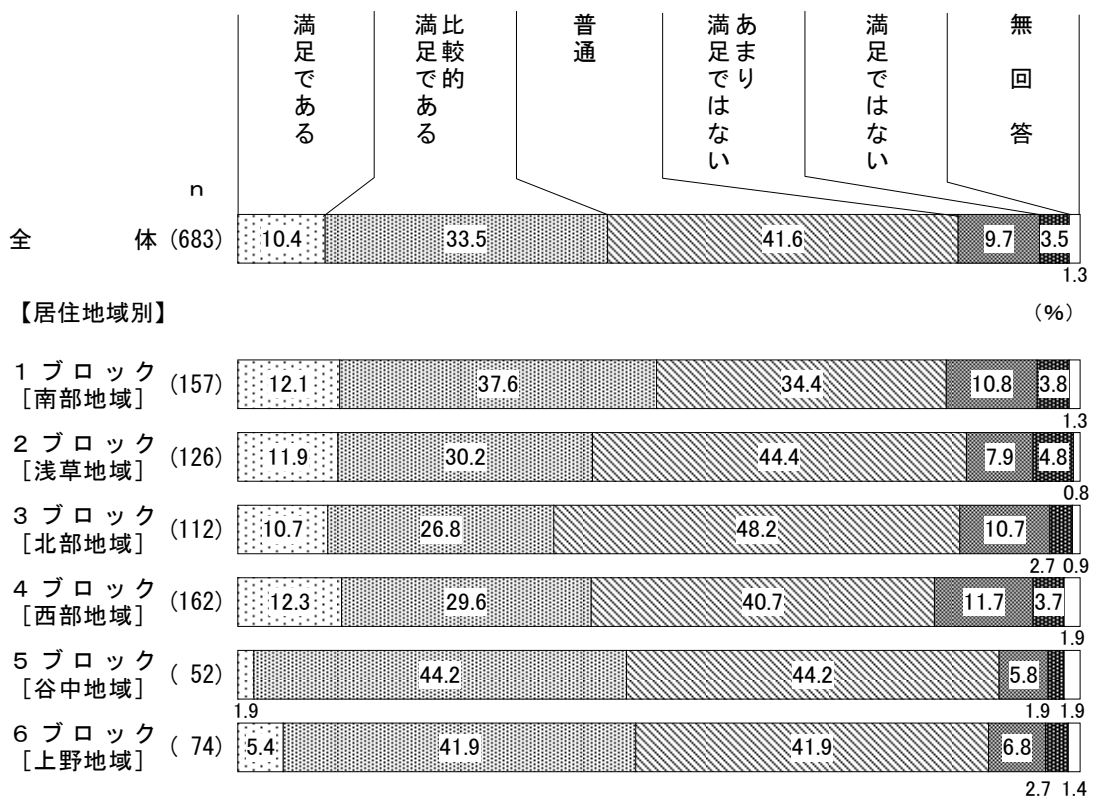
◇ 《満足である》が4割台半ば



観光の振興への区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、《満足である》（「満足である」と「比較的満足である」の合計）は43.9%で4割台半ばとなっている。一方、《満足ではない》（「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計）は13.2%である。（図表2-4）

居住地域別でみると、《満足である》は、1ブロック[南部地域]（49.7%）で約5割と最も高く、次いで6ブロック[上野地域]（47.3%）が約5割となっている。（図表2-5）

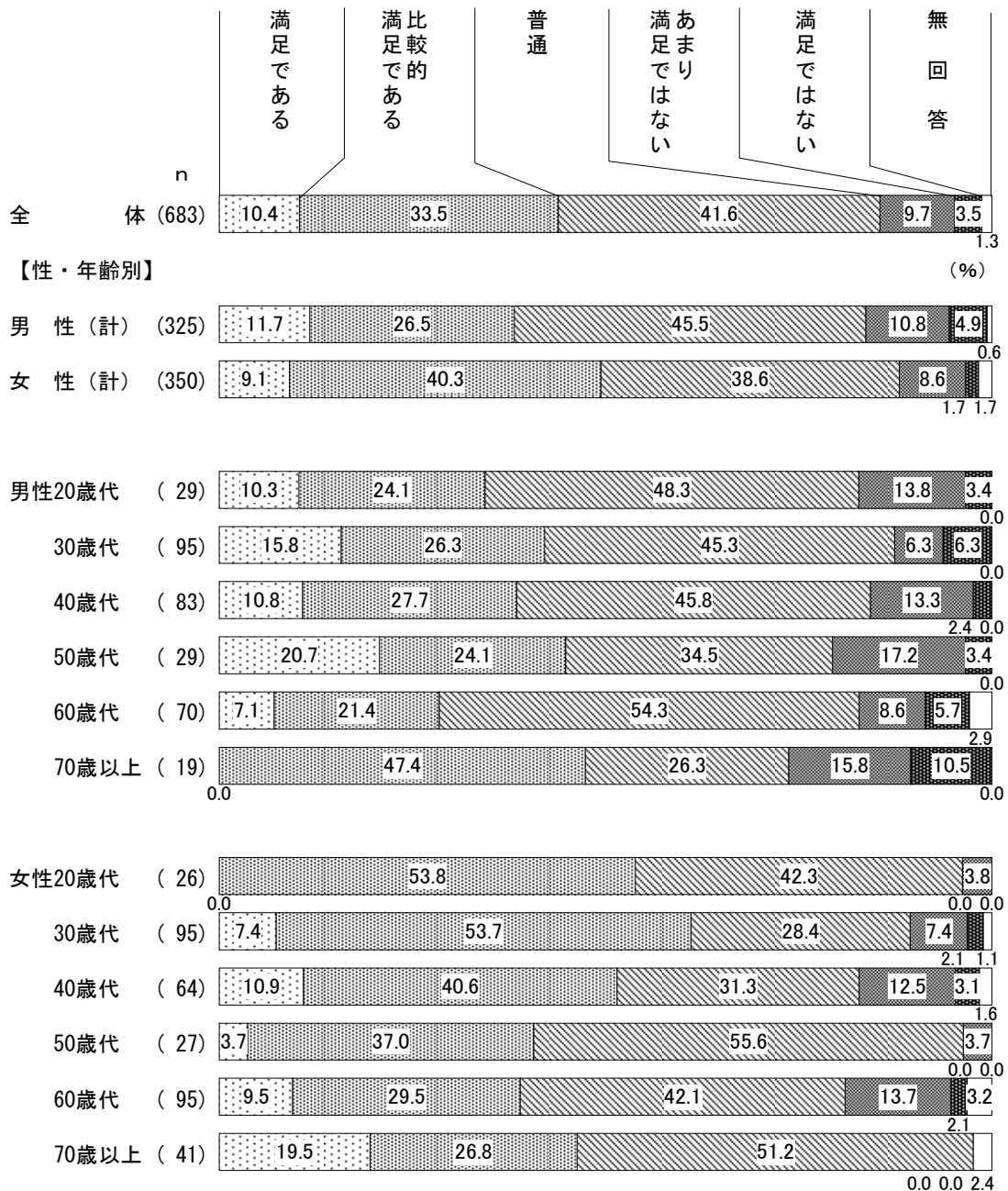
<図表2-5> 観光の振興への区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別でみると、《満足である》は、女性（49.4%）の方が男性（38.2%）より11.2ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では70歳以上（47.4%）が約5割、女性では30歳代（61.1%）が6割を超え高くなっている。一方、《満足ではない》は、男性の70歳以上（26.3%）で2割台半ばと高い。（図表2-6）

＜図表2-6＞ 観光の振興への区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別



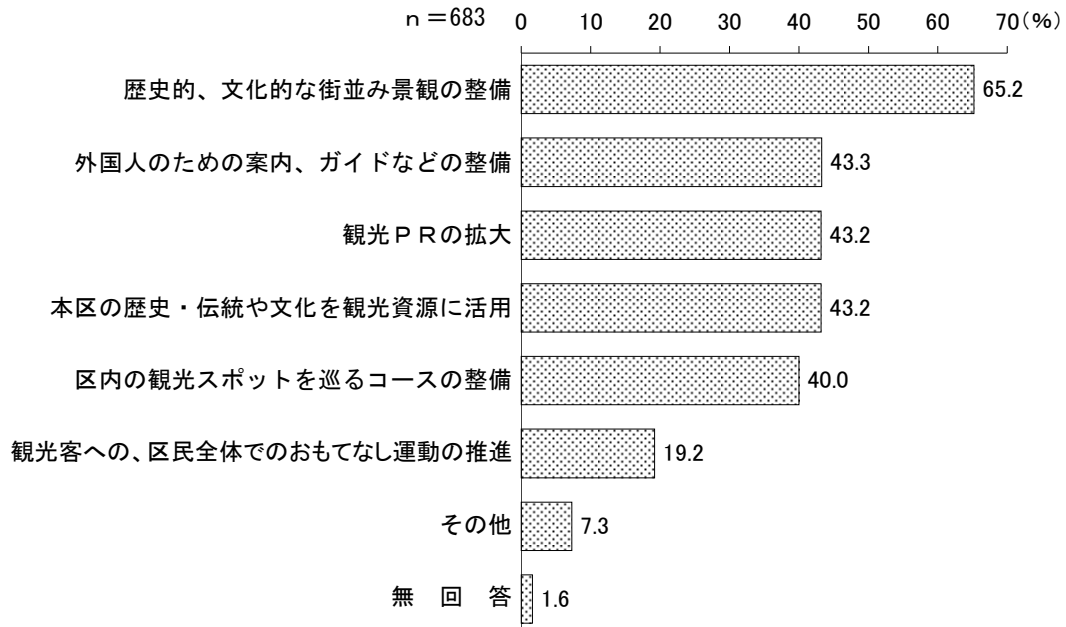
(3) 観光の振興のための取り組みとして大切なもの

◇「歴史的、文化的な街並み景観の整備」が6割台半ば

問6 観光の振興のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

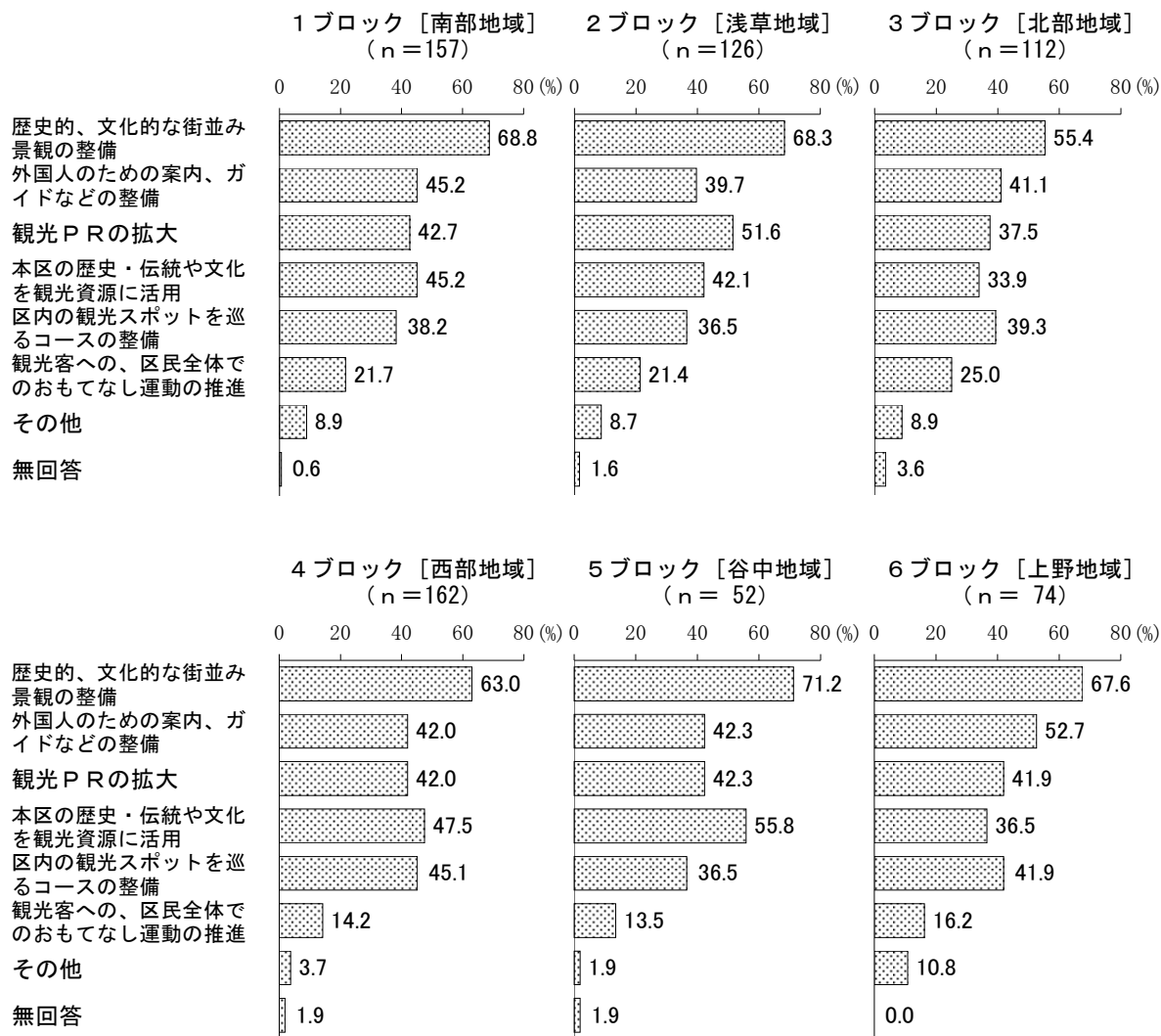
<図表2-7> 観光の振興のための取り組みとして大切なもの(複数回答)



観光の振興のための取り組みとして、大切なものを聞いたところ、「歴史的、文化的な街並み景観の整備」(65.2%)が6割台半ばで最も高くなっている。次いで、「外国人のための案内、ガイドなどの整備」(43.3%)、「観光PRの拡大」と「本区の歴史・伝統や文化を観光資源に活用」(ともに43.2%)が4割台半ばとなっている。(図表2-7)

居住地域別でみると、いずれも「歴史的、文化的な街並み景観の整備」が高くなっており、中でも、5ブロック[谷中地域] (71.2%) は7割を超える。また、「外国人のための案内、ガイドなどの整備」は6ブロック[上野地域] (52.7%) が5割を超え、「観光PRの拡大」は2ブロック[浅草地域] (51.6%) が5割を超え、「観光PRの拡大」は2ブロック[浅草地域] (51.6%) が5割を超え、他の居住地域に比べて高くなっている。(図表2-8)

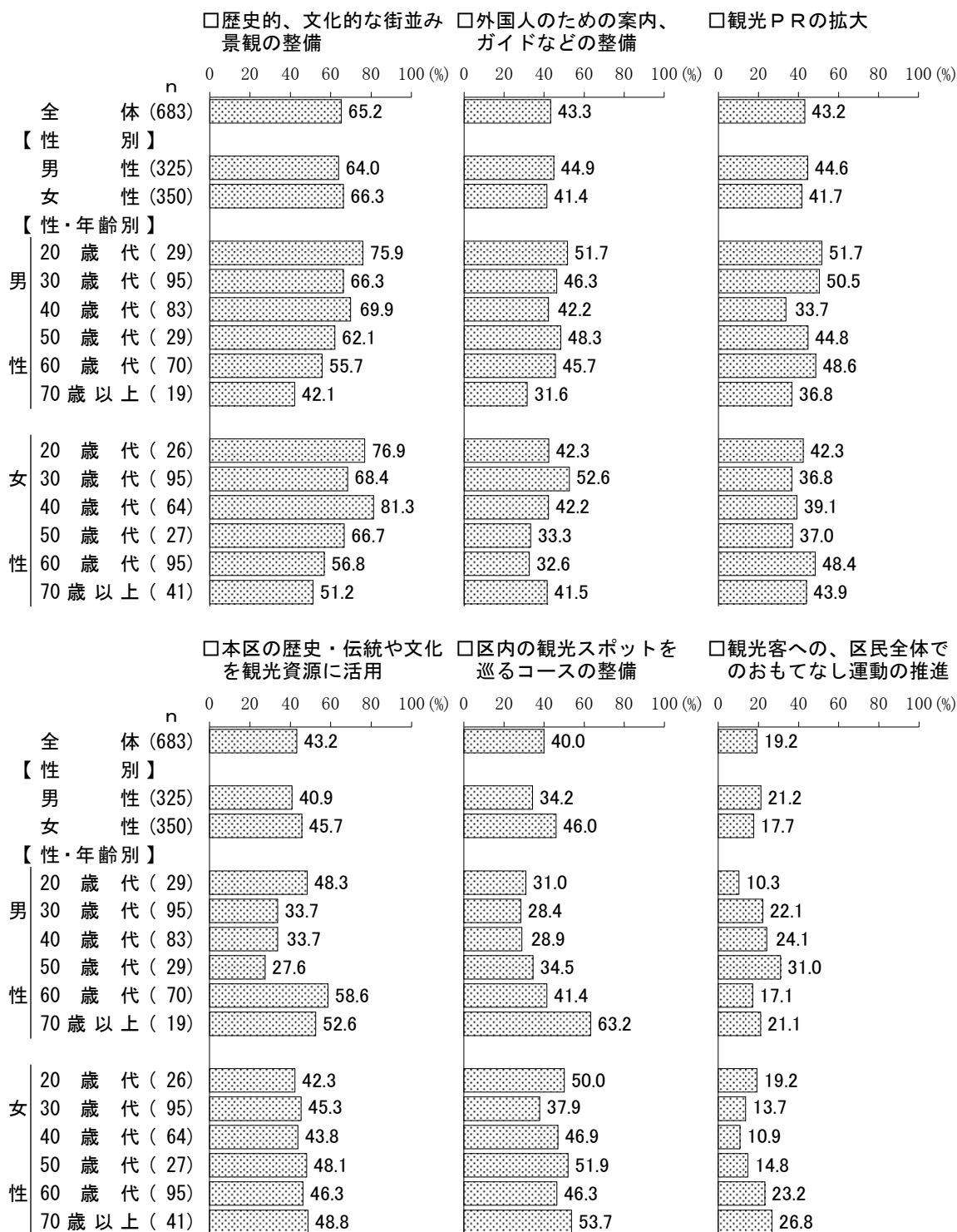
＜図表2-8＞ 観光の振興のための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「区内の観光スポットを巡るコースの整備」は、女性（46.0％）の方が男性（34.2％）よりも11.8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「歴史的、文化的な街並み景観の整備」は、男性では20歳代（75.9％）が7割台半ばで最も高く、女性では40歳代（81.3％）が8割を超える。「外国人のための案内、ガイドなどの整備」は、男性の20歳代（51.7％）、女性の30歳代（52.6％）が5割を超える。「本区の歴史・伝統や文化を観光資源に活用」は、男性の60歳代（58.6％）が約6割で最も高く、次いで男性の70歳以上（52.6％）が5割を超える。（図表2－9）

＜図表2－9＞ 観光の振興のための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別（上位6項目）



3. 文化を振興するための取り組み

◆ 台東区には、数多くの史跡や芸術、芸能など、豊かな文化資源があります。

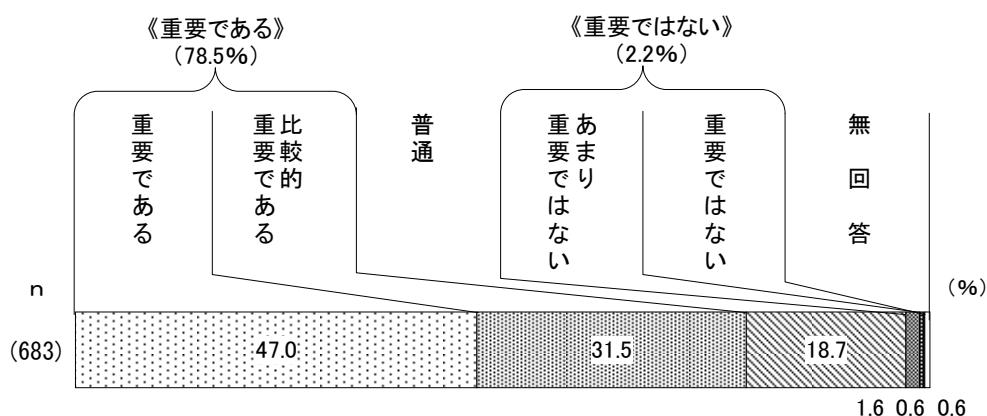
この特徴を活かして、より豊かな生活を創っていくため、伝統的な文化の保存、新しい文化の創造、芸術家と区民の創作活動の振興などに取り組んでいます。

(1) 文化の振興についての重要度

◇ 《重要である》が約8割

問7 文化の振興についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

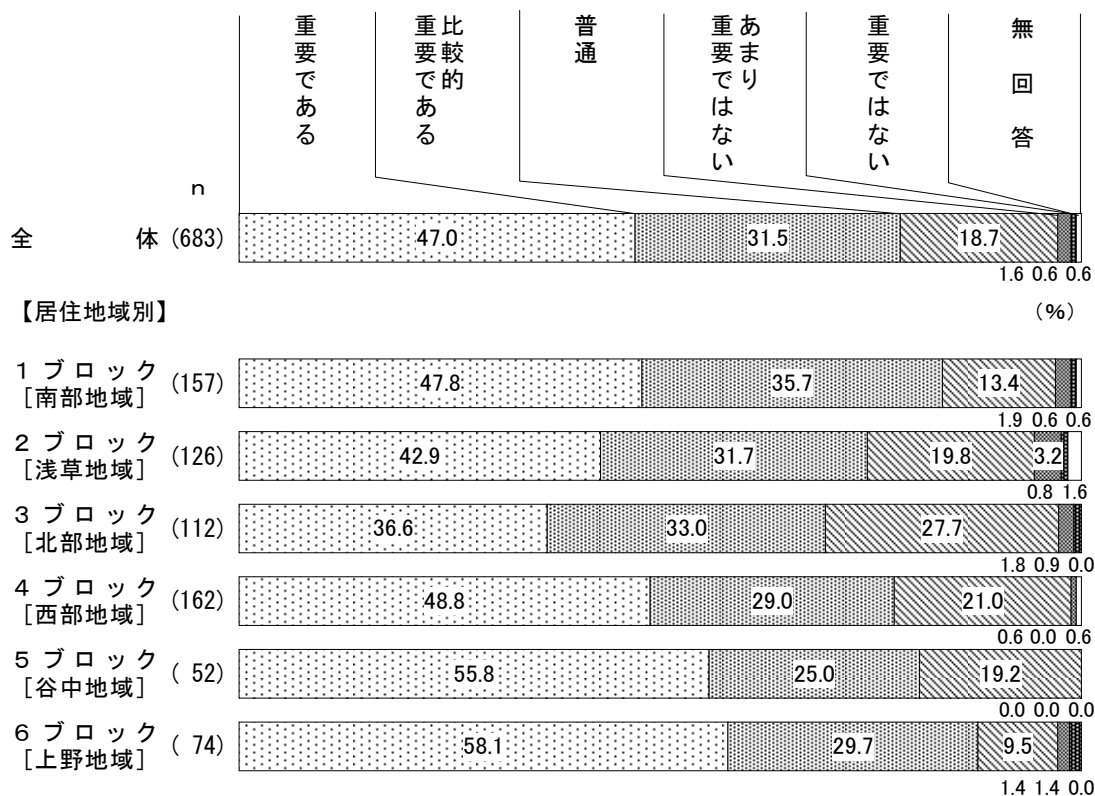
<図表3-1> 文化の振興についての重要度



文化の振興についての重要度を聞いたところ、「重要である」(47.0%)が約5割で最も高く、これに「比較的重要である」(31.5%)を合わせると、《重要である》は78.5%で約8割となっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は2.2%である。(図表3-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、6ブロック[上野地域] (87.8%) が約9割で最も高く、次いで1ブロック[南部地域] (83.5%) が8割台半ばとなっている。特に、より強い回答である「重要である」は、6ブロック[上野地域] (58.1%) が約6割となっている。(図表3-2)

＜図表3-2＞ 文化の振興についての重要度 居住地域別



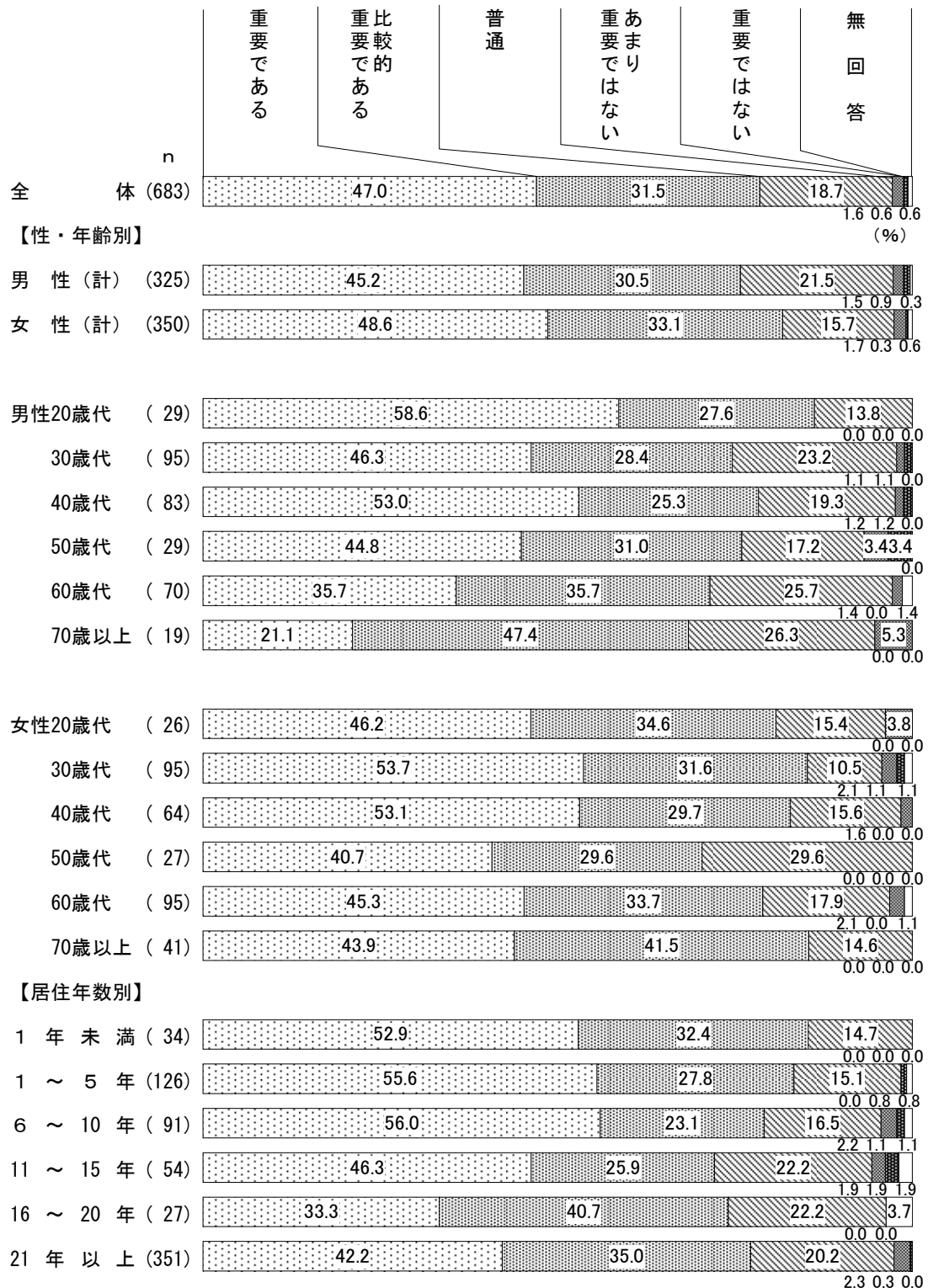
性別でみると、《重要である》は、女性（81.7%）の方が男性（75.7%）より6.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《重要である》は、男性の20歳代（86.2%）と女性の70歳以上（85.4%）、30歳代（85.3%）が8割台半ばとなっている。

居住年数別でみると、《重要である》は、1～5年（85.3%）が8割台半ばで最も高くなっている。

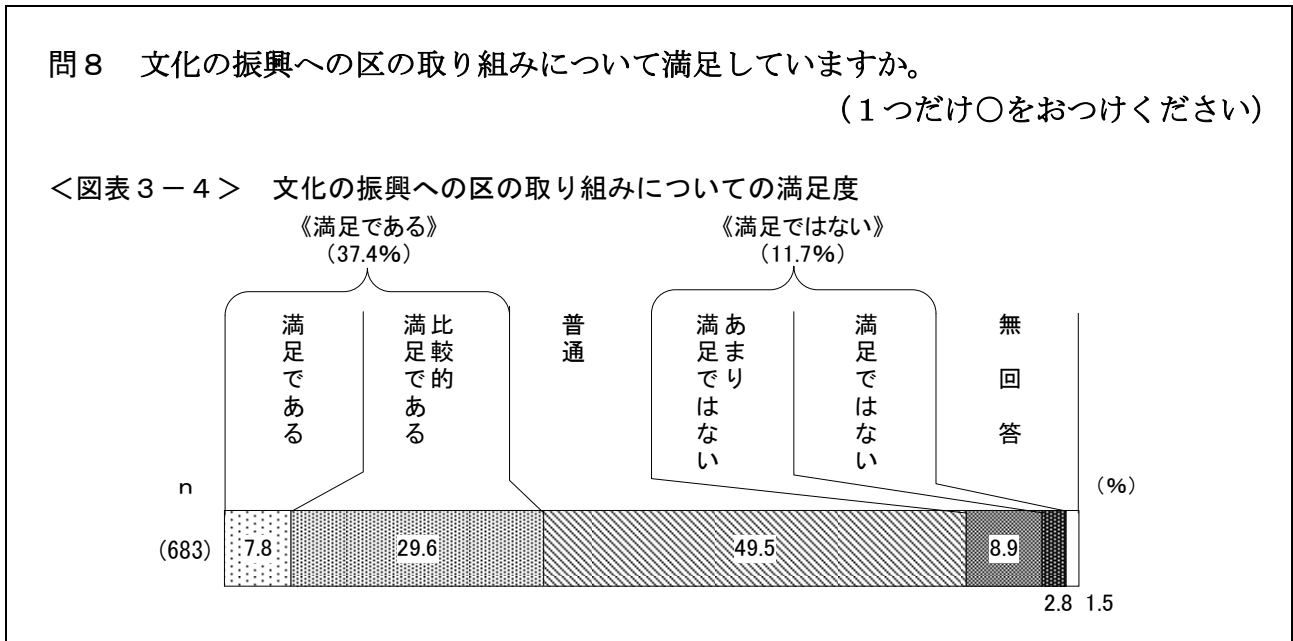
（図表3-3）

＜図表3-3＞ 文化の振興についての重要度 性別／性・年齢別、居住年数別



(2) 文化の振興への区の取り組みについての満足度

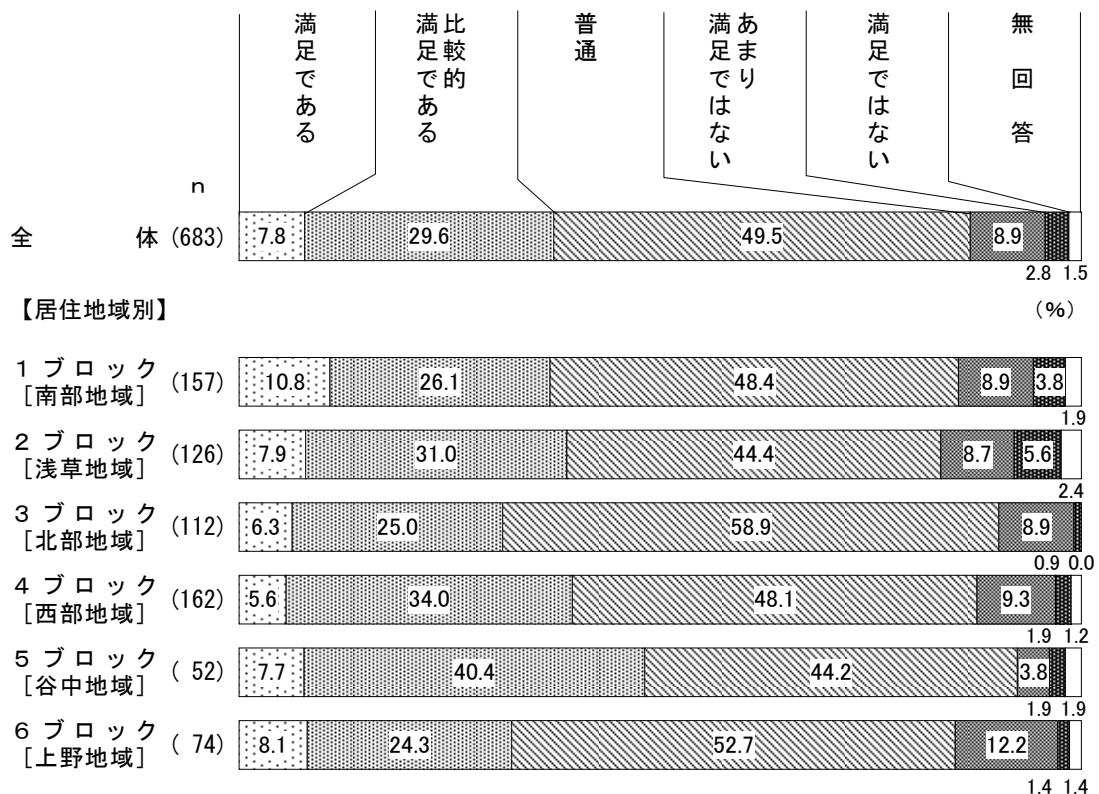
◇「普通」が約5割、「満足である」が約4割



文化の振興への区の取り組みについて聞いたところ、「普通」(49.5%)が約5割で最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は37.4%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は11.7%である。(図表3-4)

居住地域別でみると、《満足である》は、5ブロック[谷中地域](48.1%)が約5割で最も高くなっている。(図表3-5)

<図表3-5> 文化の振興への区の取り組みについての満足度 居住地域別



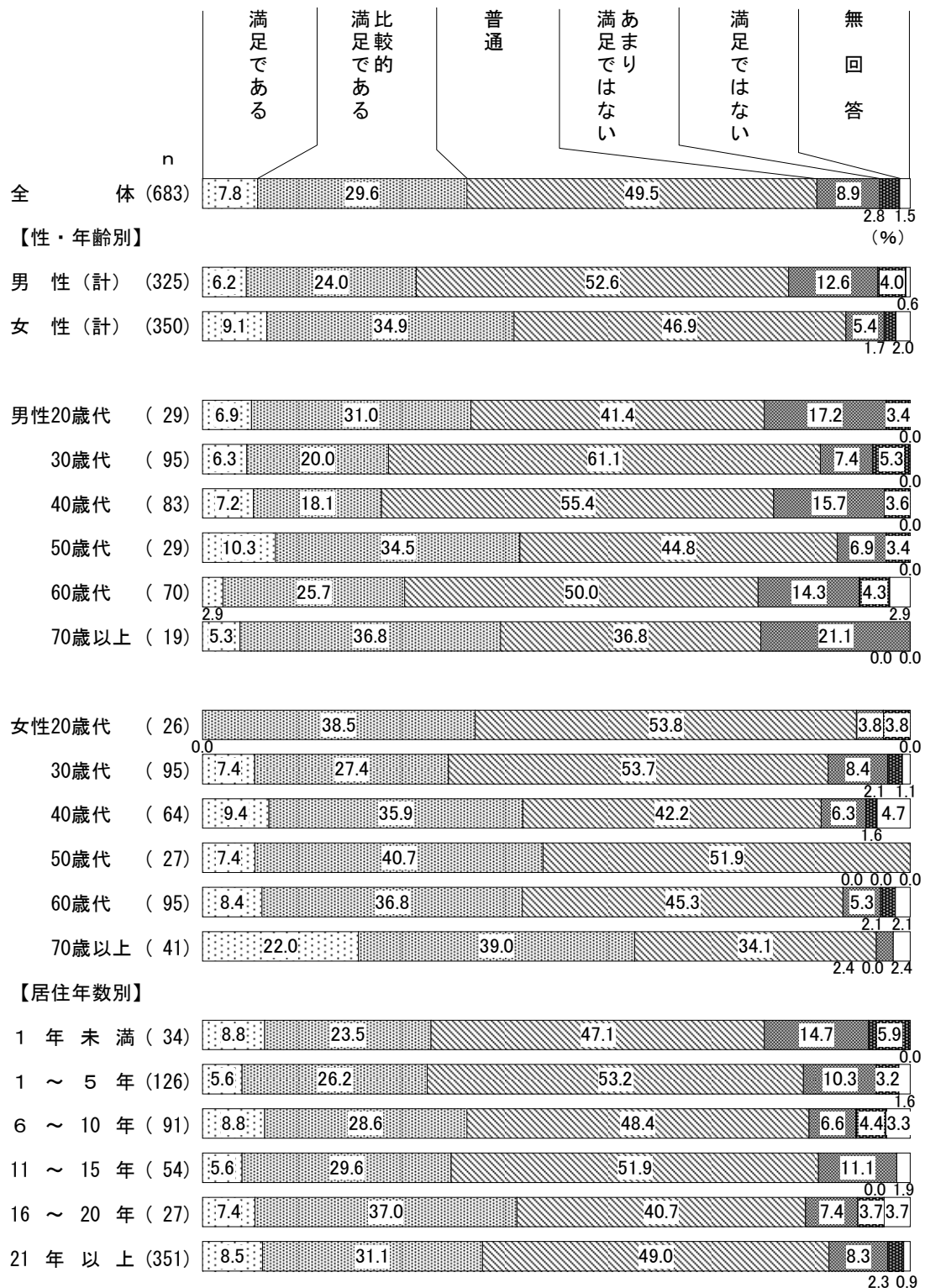
性別でみると、《満足である》は、女性（44.0%）の方が男性（30.2%）より13.8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《満足である》は、女性の70歳以上（61.0%）で6割を超え特に高くなっている。男性では50歳代（44.8%）が4割台半ばで高くなっている。

居住年数別でみると、《満足である》は、16～20年（44.4%）が4割台半ばとなっている。

(図表3-6)

<図表3-6> 文化の振興への区の取り組みについての満足度 性別/性・年齢別、居住年数別



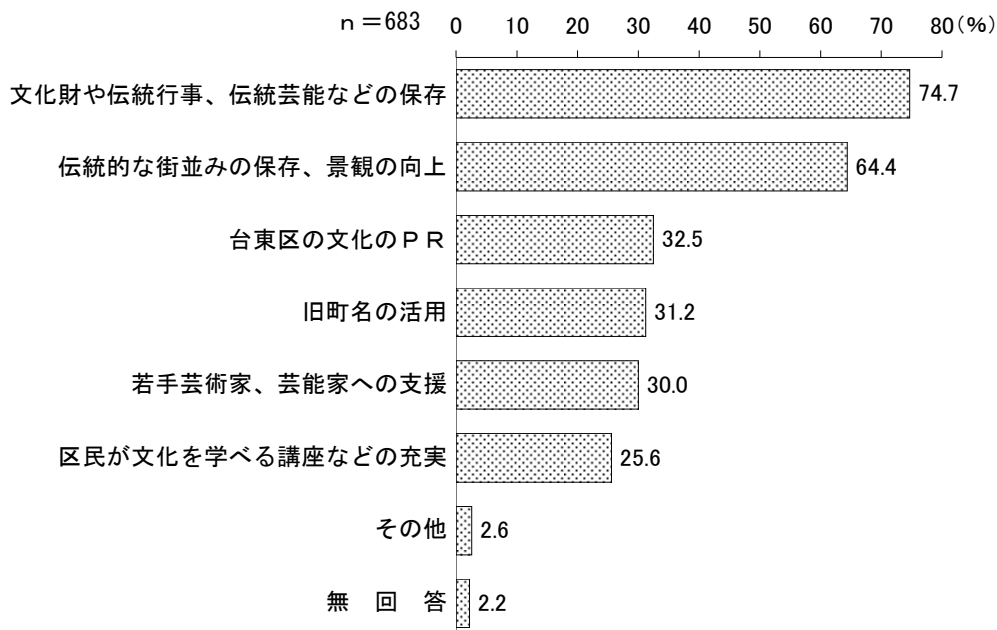
(3) 文化の振興のための取り組みとして大切なもの

◇「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」が7割台半ば

問9 文化の振興のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

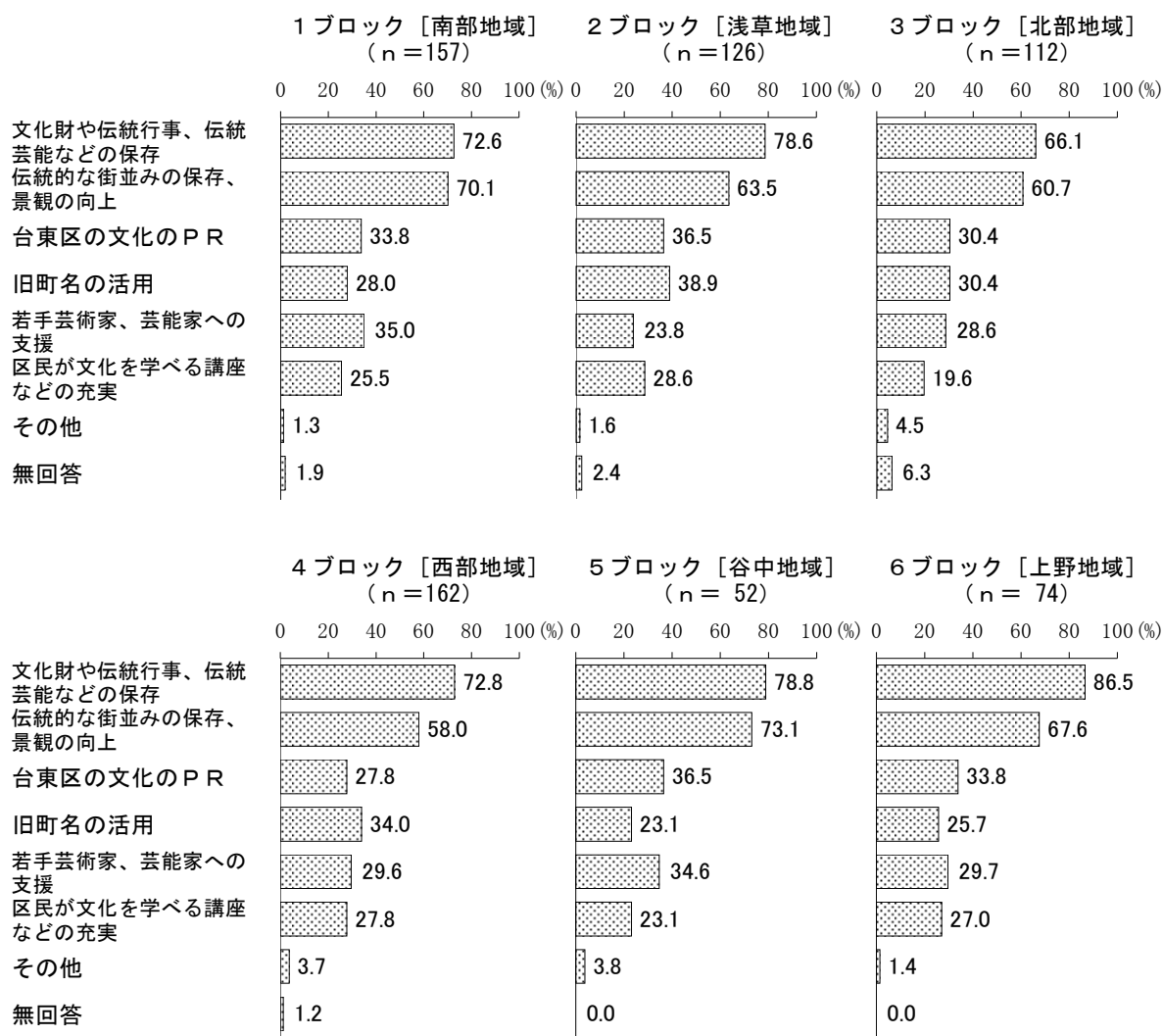
<図表3-7> 文化の振興のための取り組みとして大切なもの(複数回答)



文化の振興のための取り組みとして、何が大切かを聞いたところ、「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」(74.7%)が7割台半ばで最も高くなっている。次いで、「伝統的な街並みの保存、景観の向上」(64.4%)が6割台半ばで、これら2つが高くなっている。(図表3-7)

居住地域別でみると、いずれも「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」と「伝統的な街並みの保存、景観の向上」が高くなっている。特に、「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」は、6ブロック[上野地域] (86.5%) が8割台半ばで最も高くなっている。また、「伝統的な街並みの保存、景観の向上」は、5ブロック[谷中地域] (73.1%) が7割台半ばで最も高く、次いで1ブロック[南部地域] (70.1%) が7割となっている。(図表3-8)

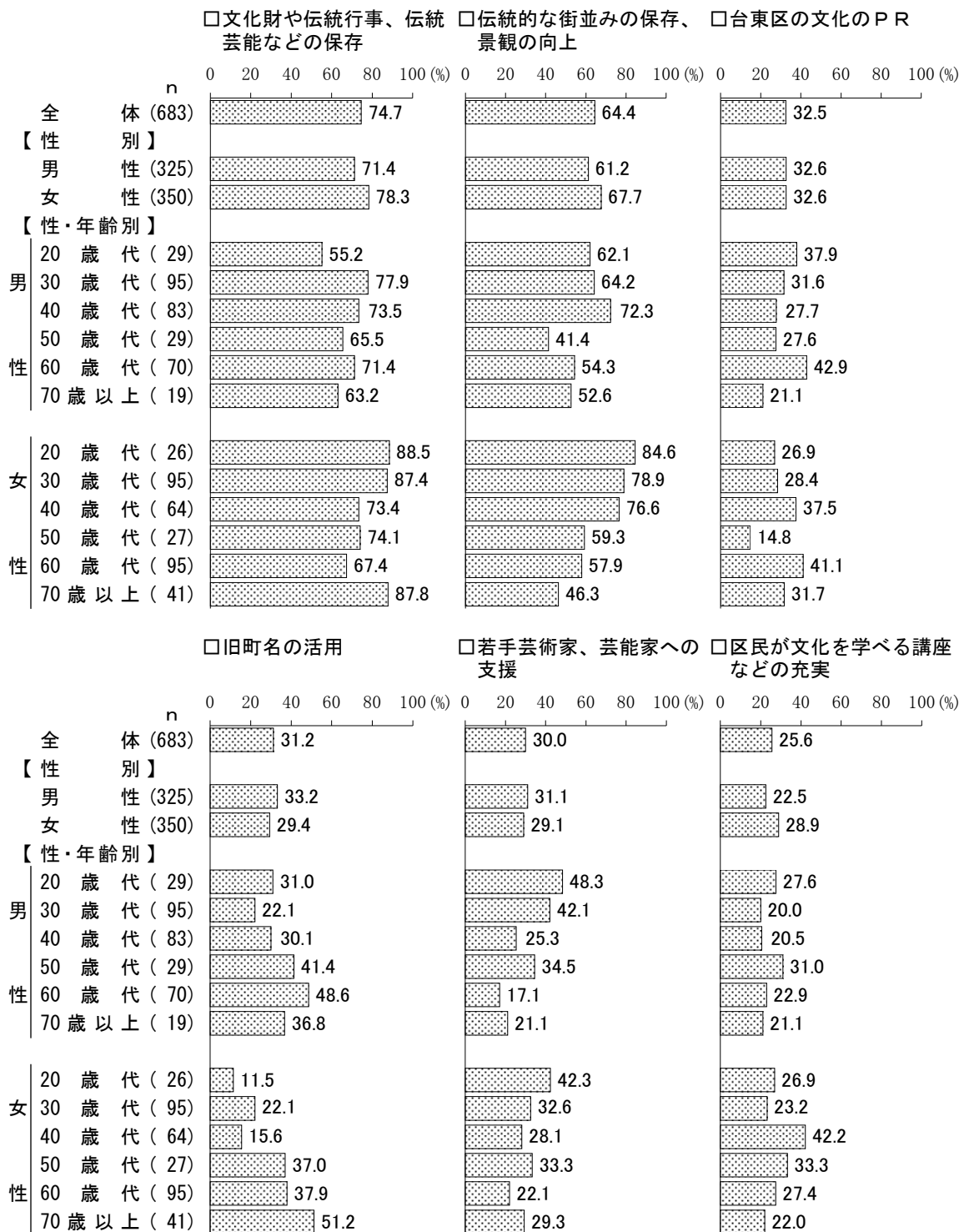
<図表3-8> 文化の振興のための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」は、女性（78.3%）の方が男性（71.4%）よりも6.9ポイント、「伝統的な街並みの保存、景観の向上」は、女性（67.7%）の方が男性（61.2%）よりも6.5ポイント、「区民が文化を学べる講座などの充実」は、女性（28.9%）の方が男性（22.5%）よりも6.4ポイント、それぞれ高くなっている。

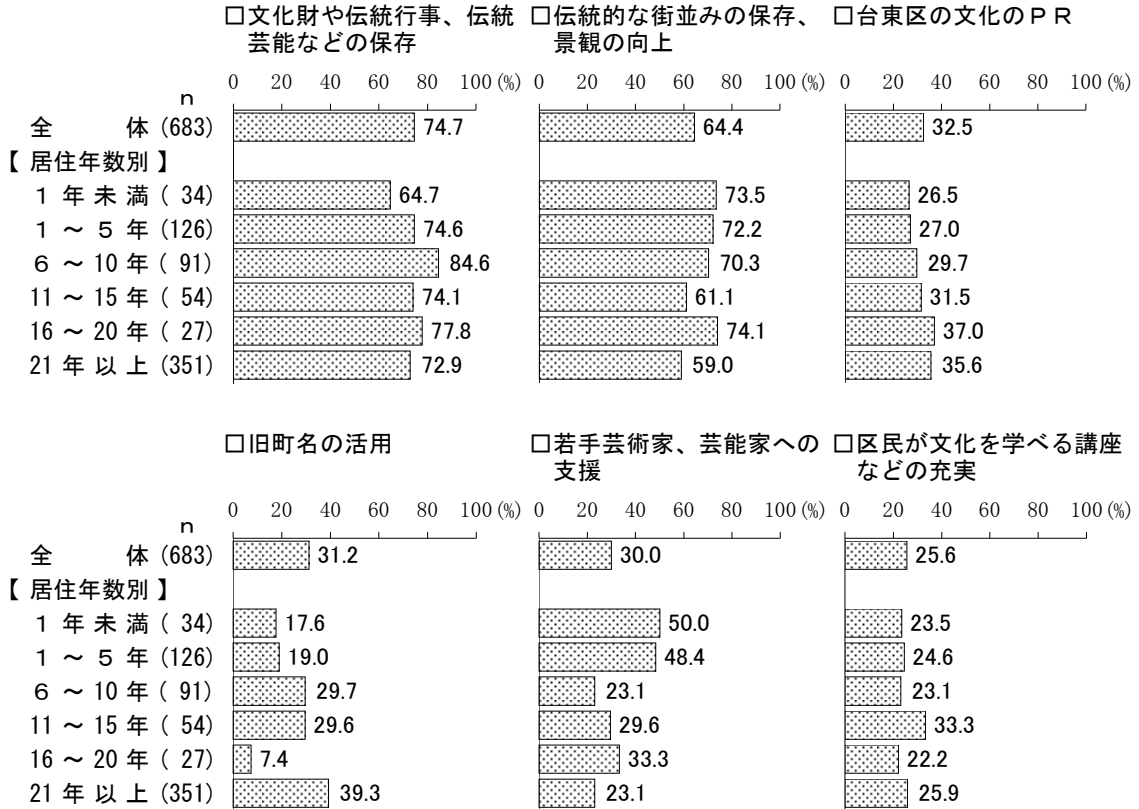
性・年齢別でみると、「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」は、男性では30歳代（77.9%）が約8割で高く、女性では20歳代（88.5%）、70歳以上（87.8%）、30歳代（87.4%）が約9割と高くなっている。また、「伝統的な街並みの保存、景観の向上」は、女性の20歳代（84.6%）が8割台半ばと最も高く、女性の30歳代（78.9%）が約8割となっている。（図表3-9）

＜図表3-9＞ 文化の振興のための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別（上位6項目）



居住年数別でみると、「文化財や伝統行事、伝統芸能などの保存」は、6～10年（84.6%）が8割台半ばで最も高くなっている。（図表3-10）

＜図表3-10＞ 文化の振興のための取り組みとして大切なもの 居住年数別（上位6項目）



4. まちづくりのための取り組み

◆ 台東区は、地域ごとにまちの個性があります。

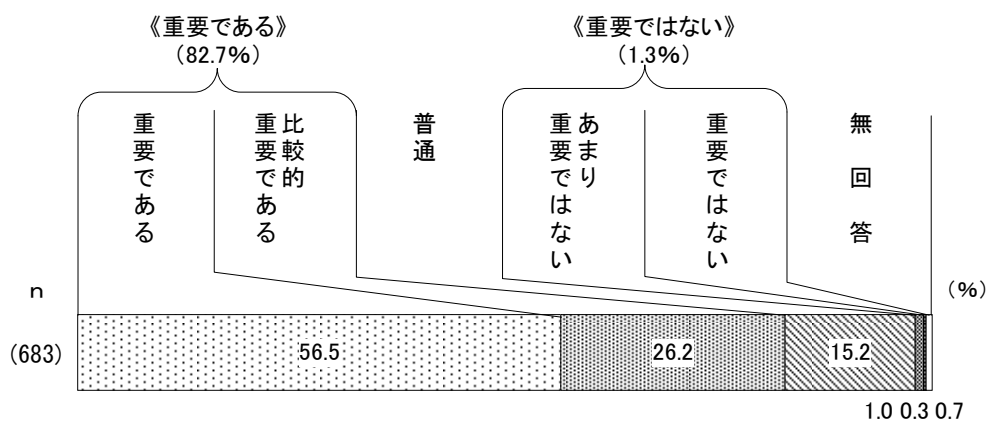
その個性を活かしたまちづくりを推進するため、台東区は、交通、土地利用などの基盤整備、街並み景観の誘導、住まいの環境整備やマンション対策、防災・防犯の強化などに取り組んでいます。

(1) まちづくりについての重要度

◇ 《重要である》が8割を超える

問10 まちづくりについてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

<図表4-1> まちづくりについての重要度

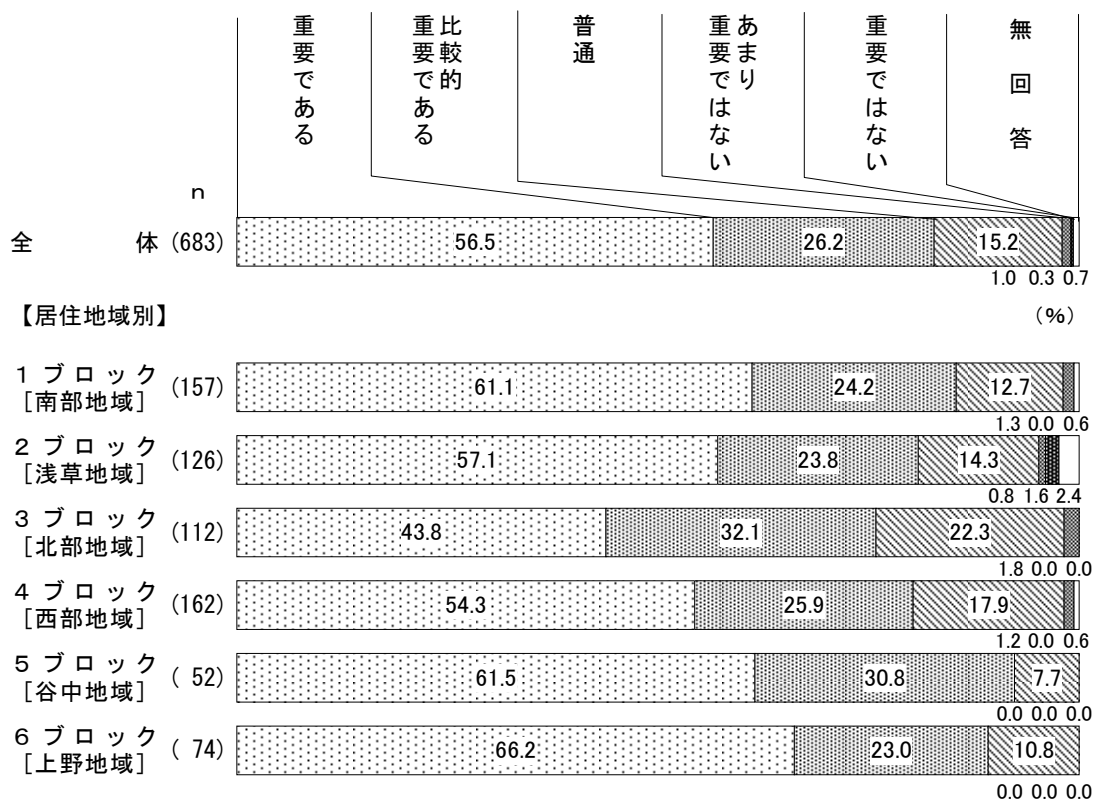


まちづくりについての重要度を聞いたところ、「重要である」(56.5%)が5割台半ばで最も高くなっている。これに「比較的である」(26.2%)を合わせると、《重要である》は82.7%で8割を超える。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は1.3%である。

(図表4-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、5ブロック[谷中地域] (92.3%) が9割を超え最も高くなっている。より強い回答である「重要である」は6ブロック[上野地域] (66.2%) が6割台半ばと最も高くなっている。(図表4-2)

＜図表4-2＞ まちづくりについての重要度 居住地域別

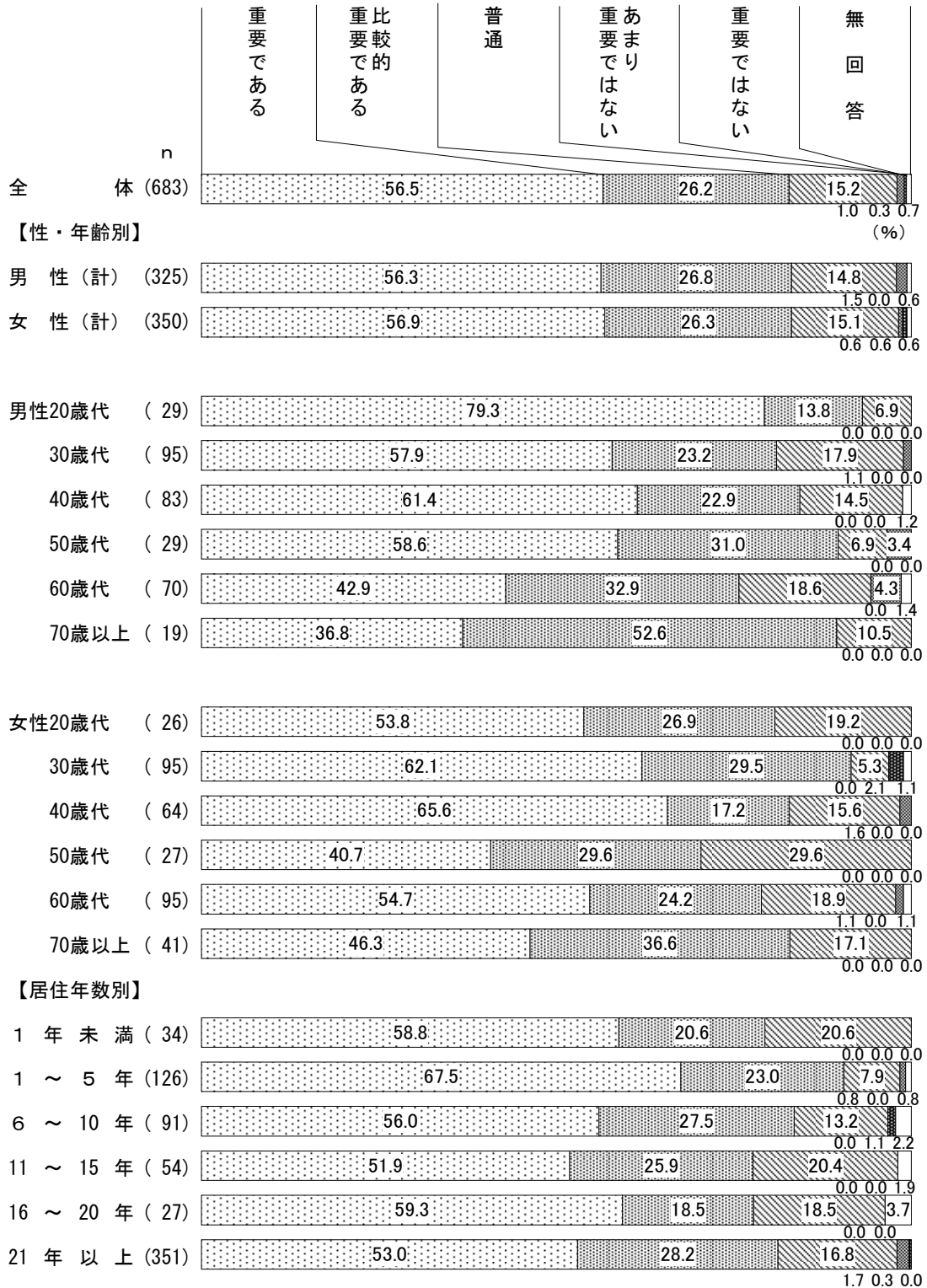


性別では、大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では20歳代（93.1%）が9割台半ばで最も高く、女性では30歳代（91.6%）が9割を超え最も高くなっている。

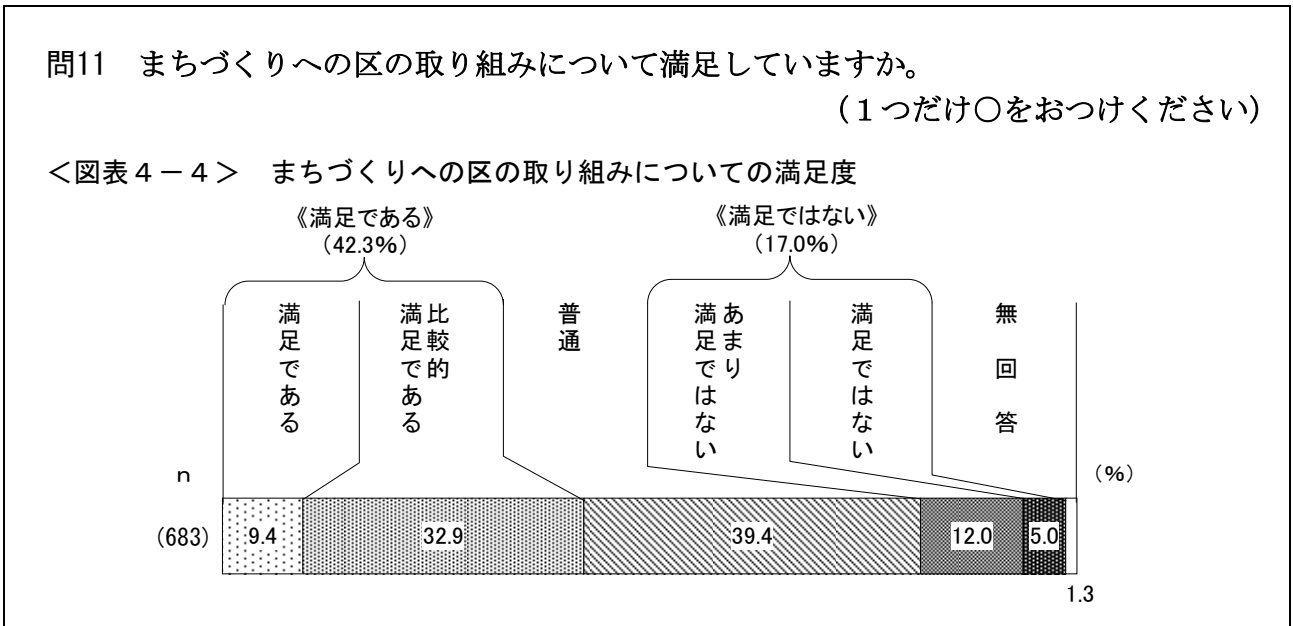
居住年数別でみると、《重要である》は、1～5年（90.5%）が9割となっている。（図表4-3）

＜図表4-3＞ まちづくりについての重要度 性別／性・年齢別、居住年数別



(2) まちづくりへの区の取り組みについての満足度

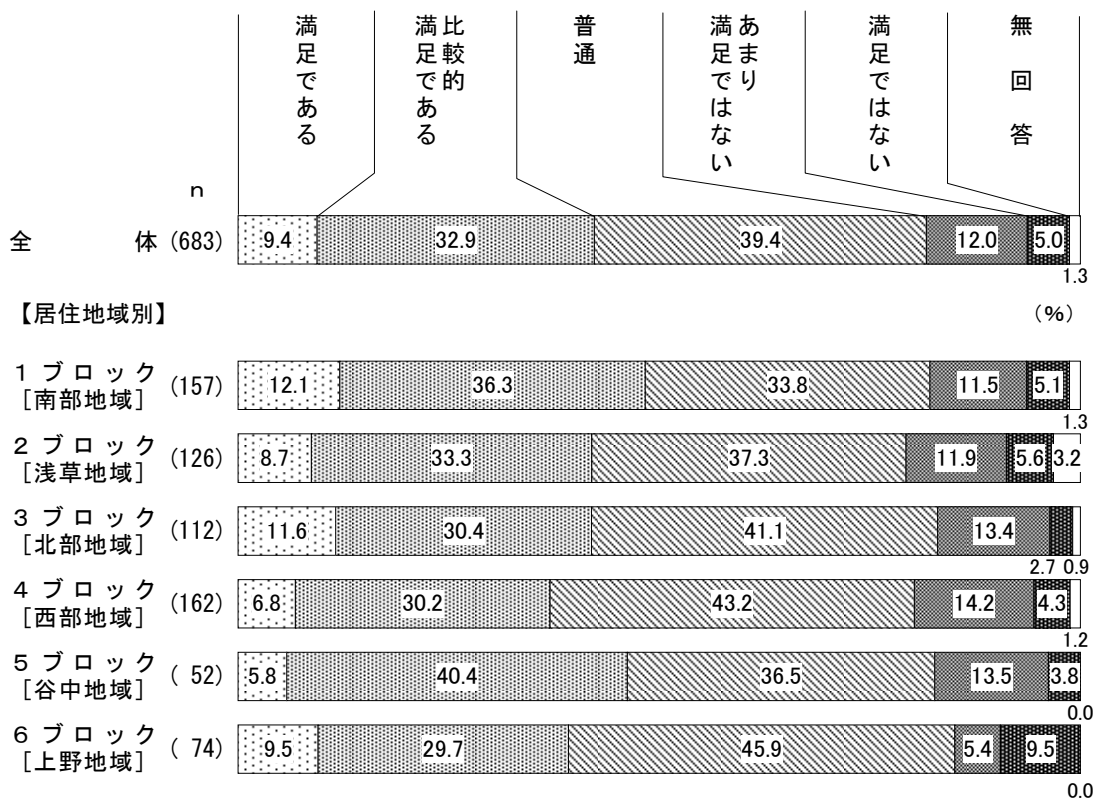
◇「普通」が約4割、「満足である」が4割を超える



まちづくりへの区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、「普通」(39.4%)が約4割で最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は42.3%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は17.0%である。(図表4-4)

居住地域別でみると、《満足である》は、1ブロック[南部地域](48.4%)が約5割で最も高く、次いで5ブロック[谷中地域](46.2%)が4割台半ばとなっている。(図表4-5)

<図表4-5> まちづくりへの区の取り組みについての満足度 居住地域別

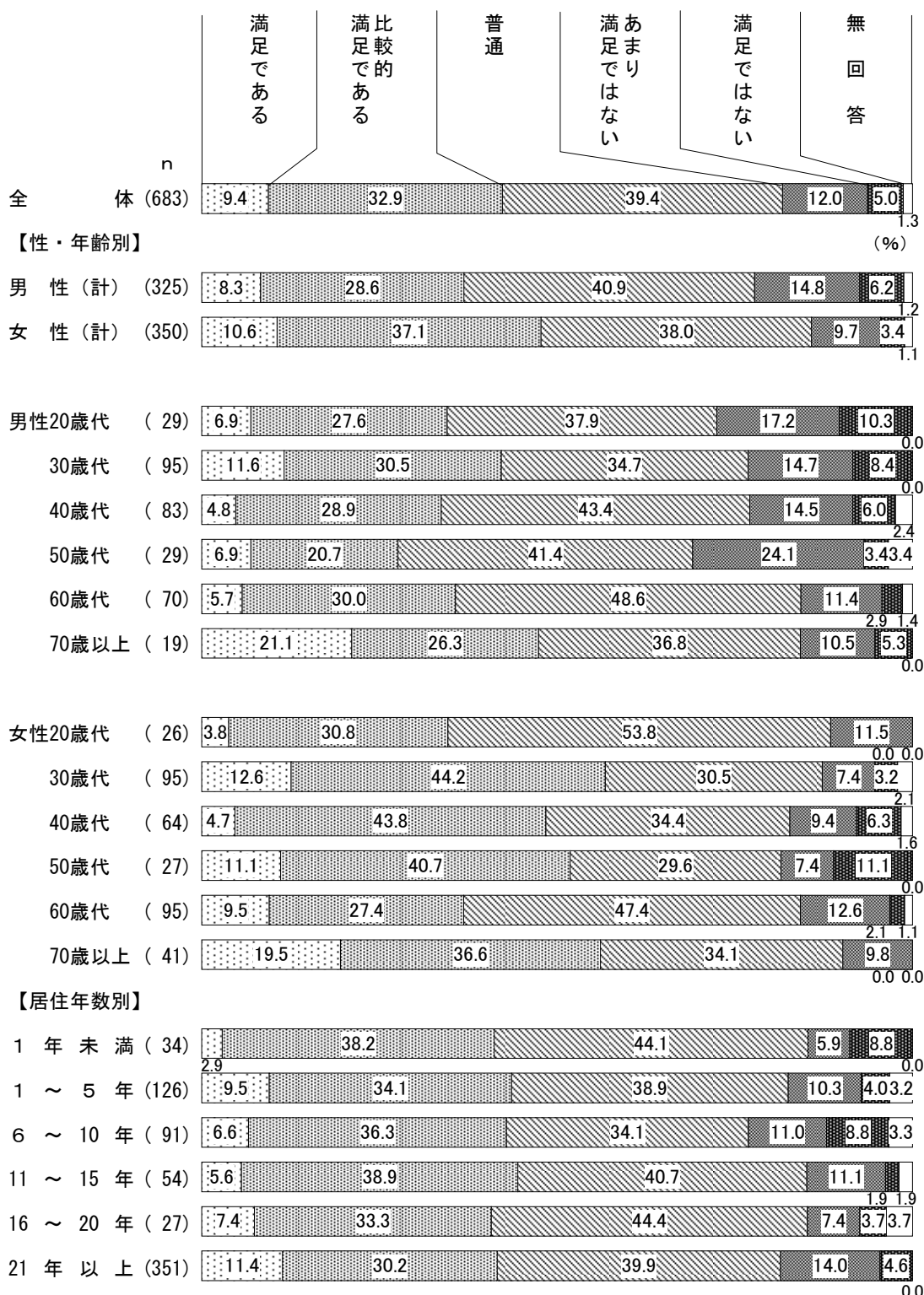


性別でみると、《満足である》は、女性（47.7%）の方が男性（36.9%）より10.8ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《満足である》は、女性の30歳代（56.8%）と70歳以上（56.1%）で5割台半ばと高くなっているが、男性では50歳代（27.6%）が約3割、女性では20歳代（34.6%）が3割台半ばにとどまり低くなっている。一方、《満足ではない》は、男性の20歳代（27.5%）、50歳代（27.5%）が約3割と高くなっている。

居住年数別でみると、《満足である》は、11～15年（44.5%）と1～5年（43.6%）が4割台半ばとなっている。（図表4-6）

＜図表4-6＞ まちづくりへの区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別、居住年数別



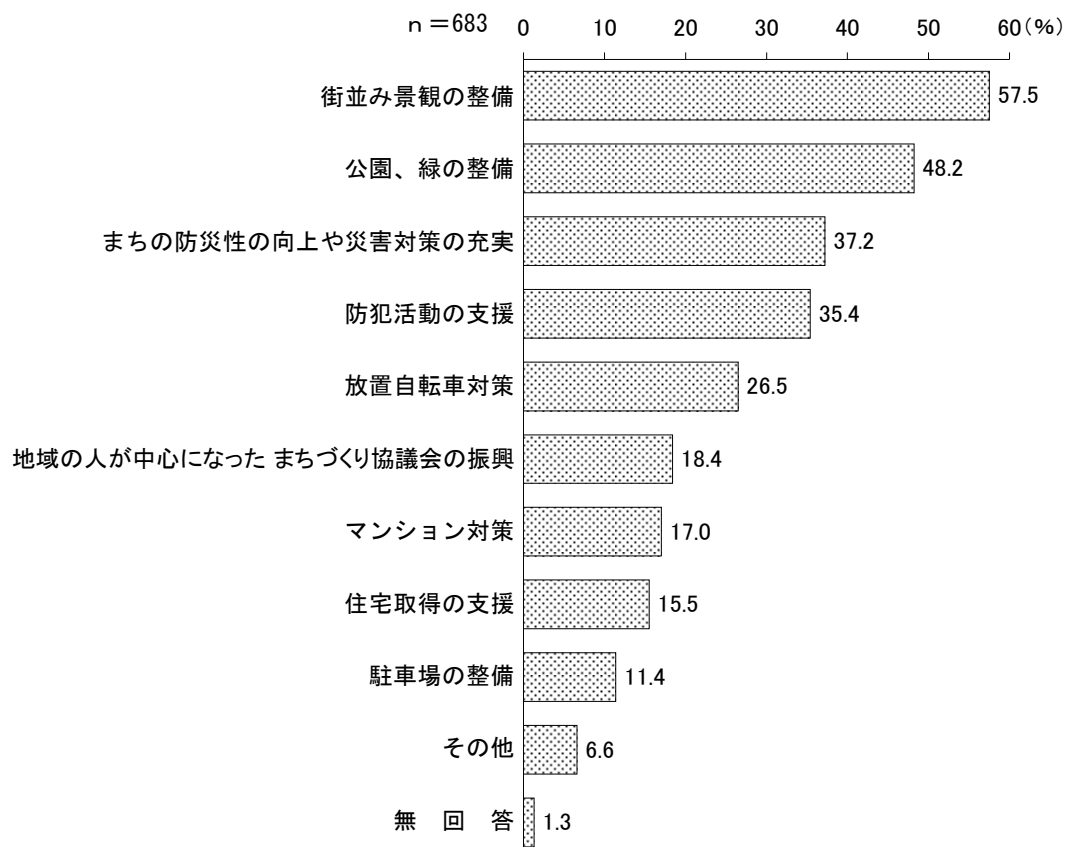
(3) まちづくりのための取り組みとして大切なもの

◇「街並み景観の整備」が約6割

問12 まちづくりのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

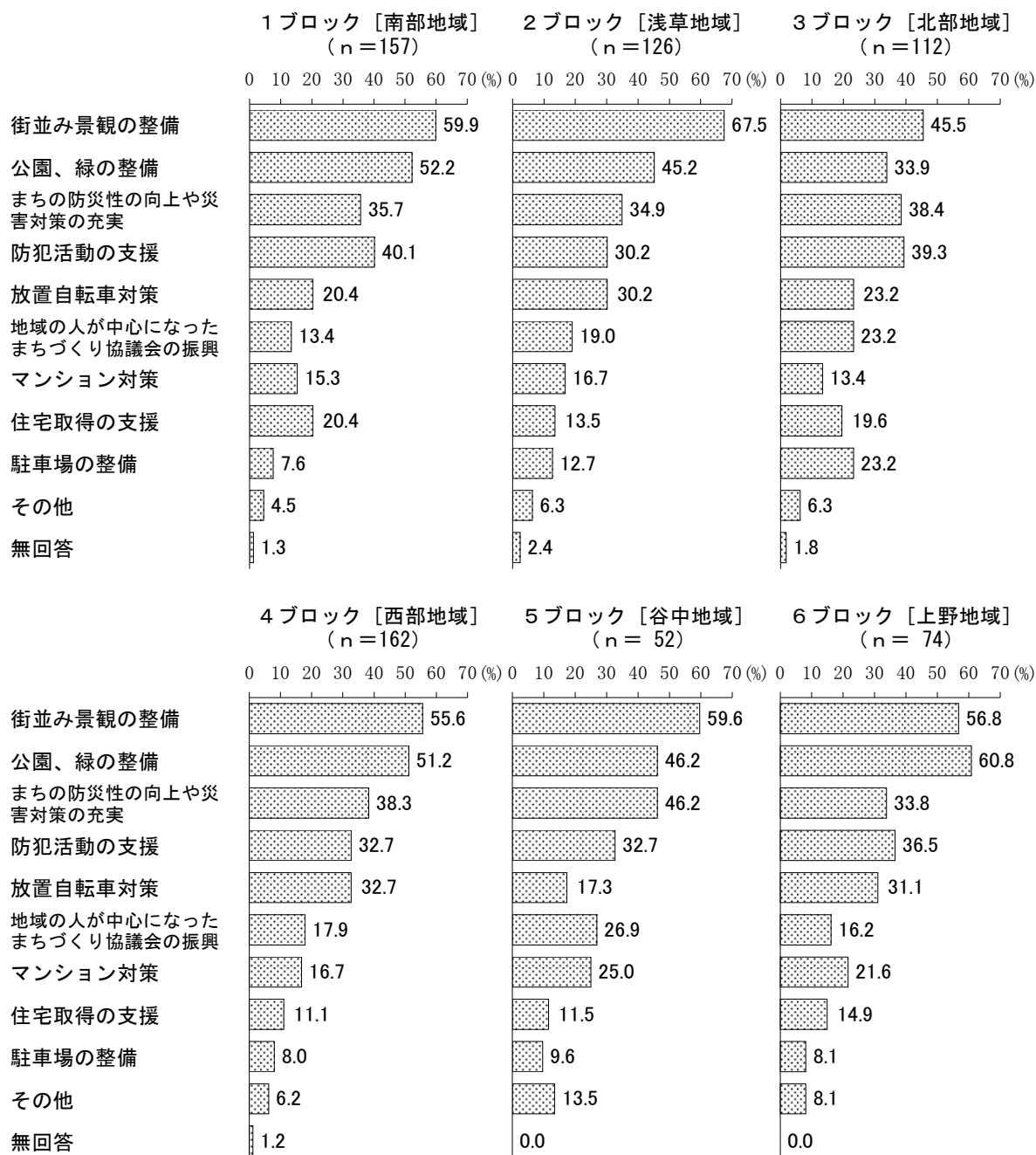
<図表4-7> まちづくりのための取り組みとして大切なもの(複数回答)



まちづくりのための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「街並み景観の整備」(57.5%)が約6割で最も高く、次いで「公園、緑の整備」(48.2%)が約5割となっている。このほか、「まちの防災性の向上や災害対策の充実」(37.2%)が約4割となっている。(図表4-7)

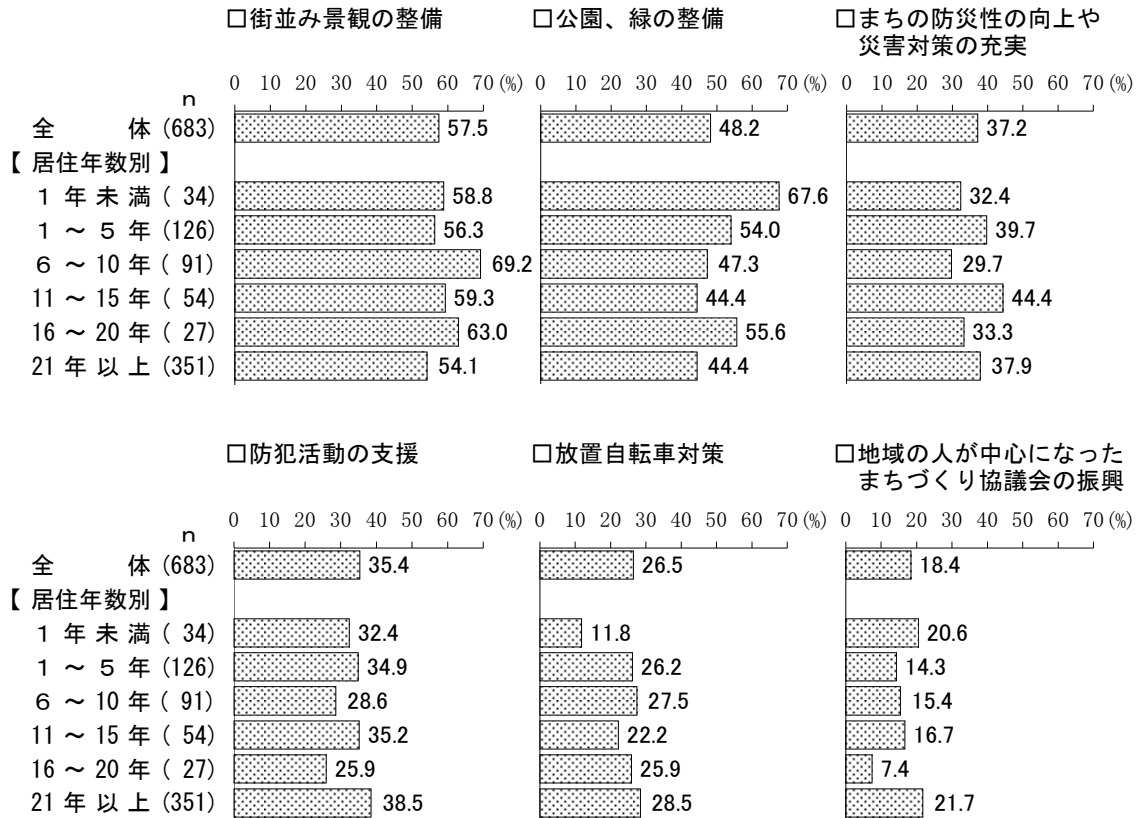
居住地域別でみると、いずれも「街並み景観の整備」、「公園、緑の整備」、「まちの防災性の向上や災害対策の充実」、「防犯活動の支援」が高くなっている。その中でも、「街並み景観の整備」は2ブロック[浅草地域] (67.5%) が約7割、「公園、緑の整備」は6ブロック[上野地域] (60.8%) が6割で高い。(図表4-8)

<図表4-8> まちづくりのための取り組みとして大切なもの 居住地域別



居住年数別でみると、「街並み景観の整備」は、6～10年（69.2%）が約7割となっている。また、「公園、緑の整備」は、1年未満（67.6%）が約7割である。（図表4－10）

＜図表4－10＞ まちづくりのための取り組みとして大切なもの 居住年数別（上位6項目）



5. 環境対策のための取り組み

◆ 台東区には、上野公園、隅田川など自然的な環境があります。

一方、ごみ減量、リサイクル、地球温暖化対策など、環境問題への取り組みが強く求められています。

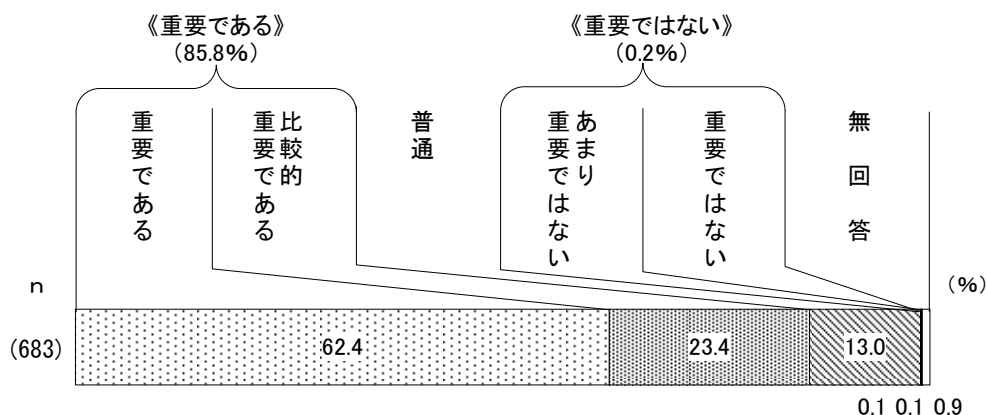
そのため、区では、水と緑の保全など、うるおいのある生活環境づくりと、昔ながらの知恵を生かして生活様式を見直すなど、環境に配慮した社会づくりに取り組んでいます。

(1) 環境対策についての重要度

◇ 《重要である》が8割台半ば

問13 環境対策についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

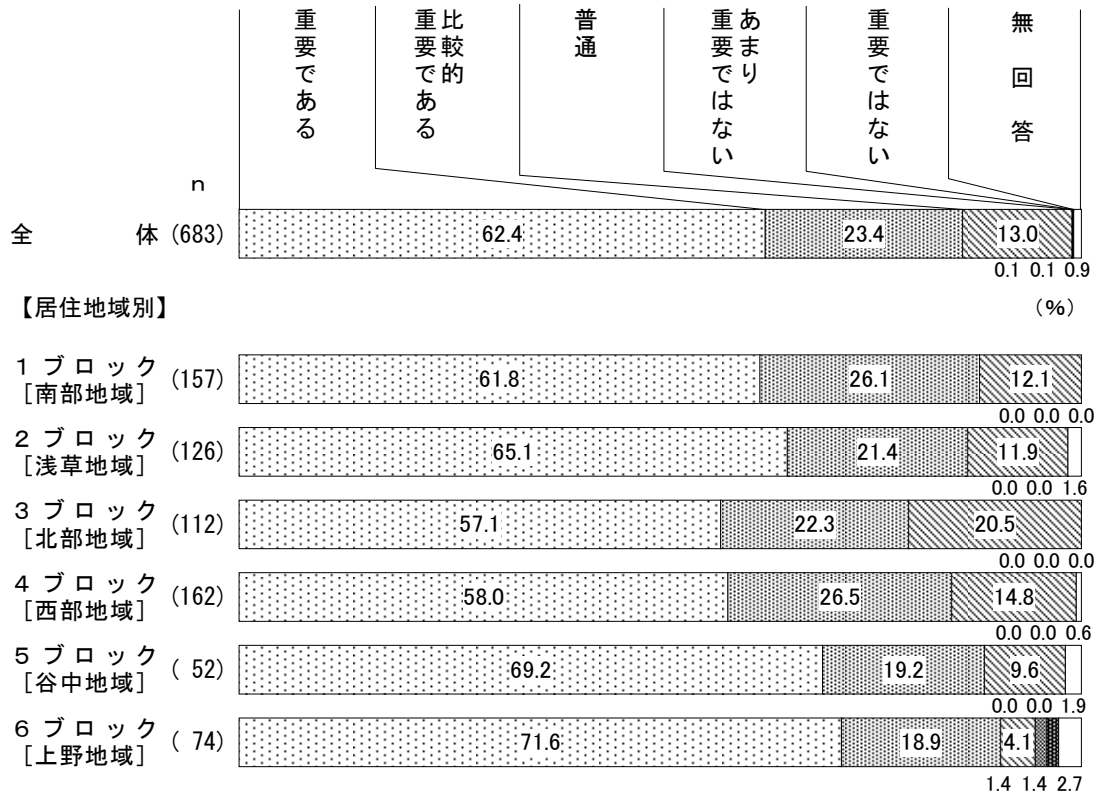
<図表5-1> 環境対策についての重要度



環境対策についての重要度について聞いたところ、「重要である」(62.4%)が6割を超え最も高くなっている。これに「比較的重要な」(23.4%)を合わせると、「重要である」は85.8%で8割台半ばとなっている。一方、「重要ではない」(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は0.2%である。(図表5-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、6ブロック[上野地域] (90.5%) が9割で最も高く、次いで5ブロック[谷中地域] (88.4%) が約9割となっている。(図表5-2)

＜図表5-2＞ 環境対策についての重要度 居住地域別

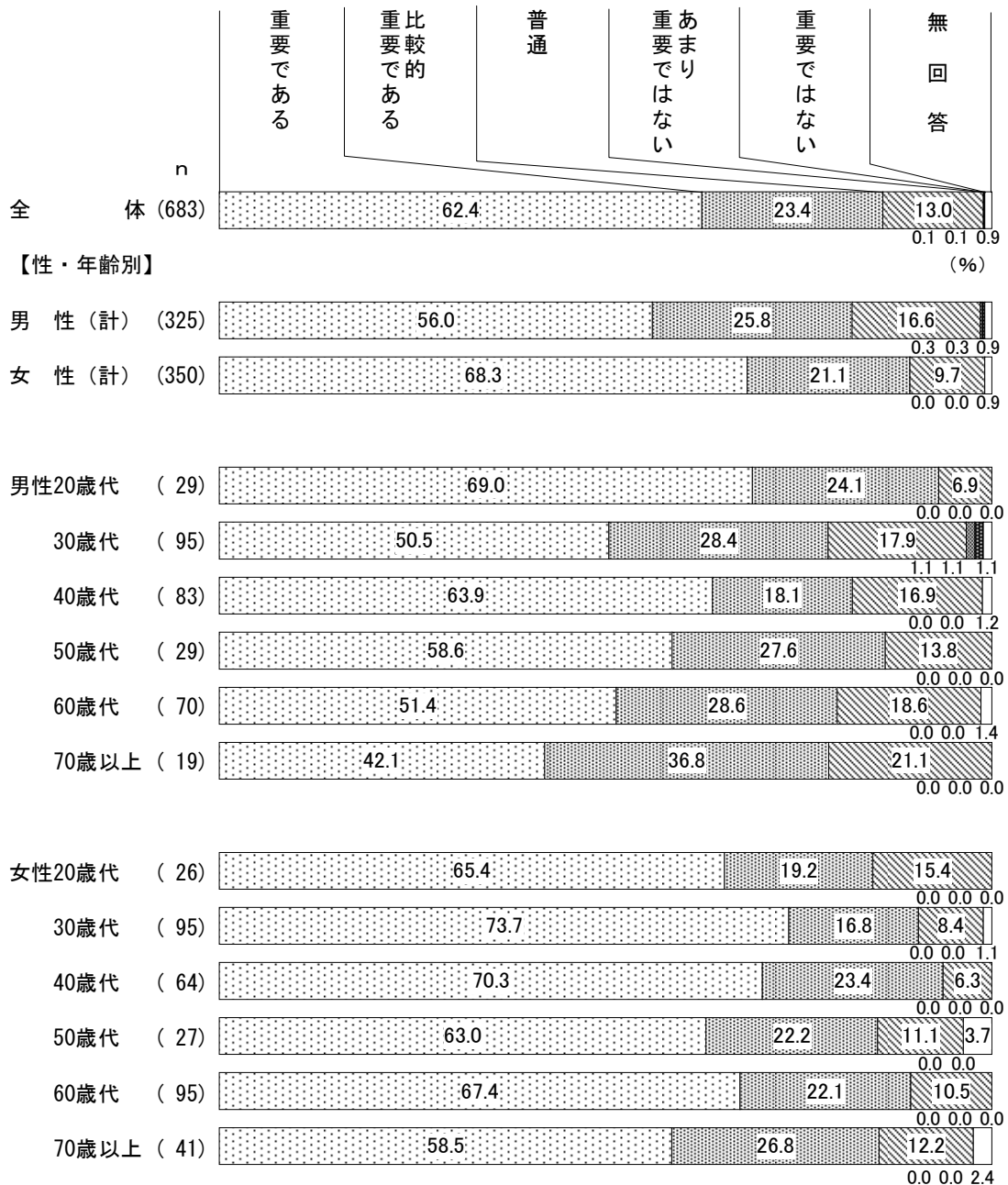


性別でみると、《重要である》は、女性（89.4%）の方が男性（81.8%）より7.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では20歳代（93.1%）が9割台半ばで最も高くなっている。女性では40歳代（93.7%）が9割台半ばで最も高く、30歳代（90.5%）が9割となっている。

（図表5-3）

＜図表5-3＞ 環境対策についての重要度 性別／性・年齢別



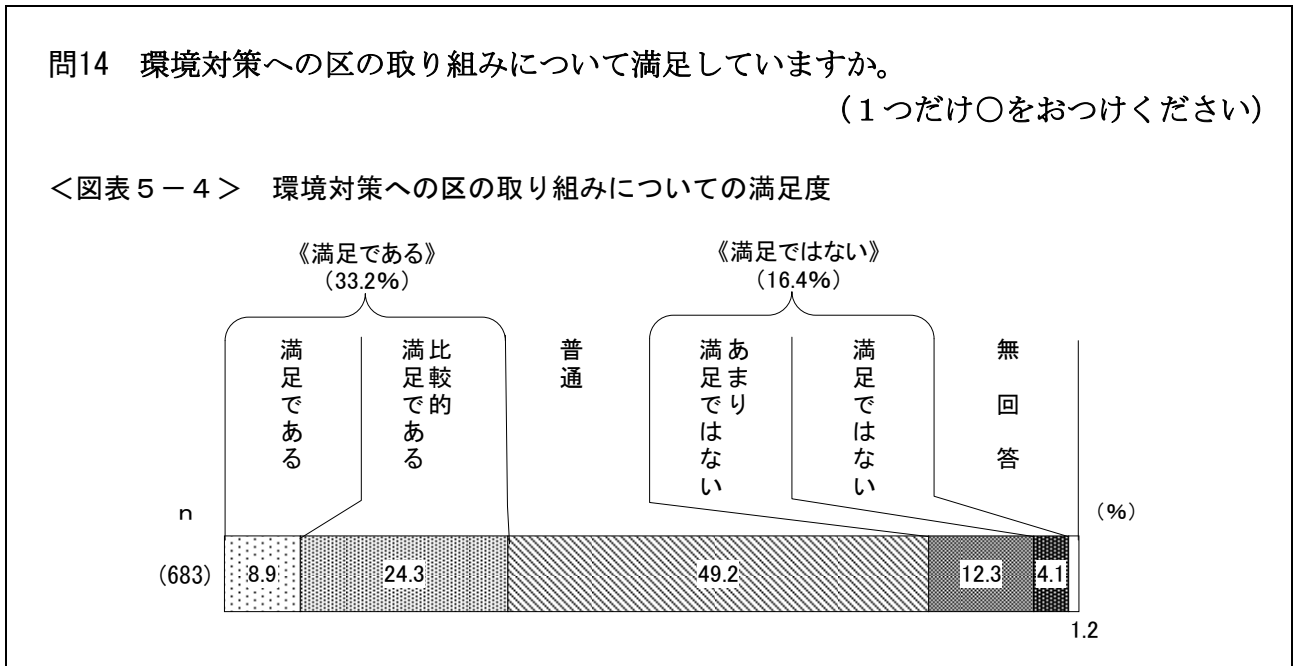
(2) 環境対策への区の取り組みについての満足度

◇「普通」が約5割、「満足である」は3割台半ば

問14 環境対策への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

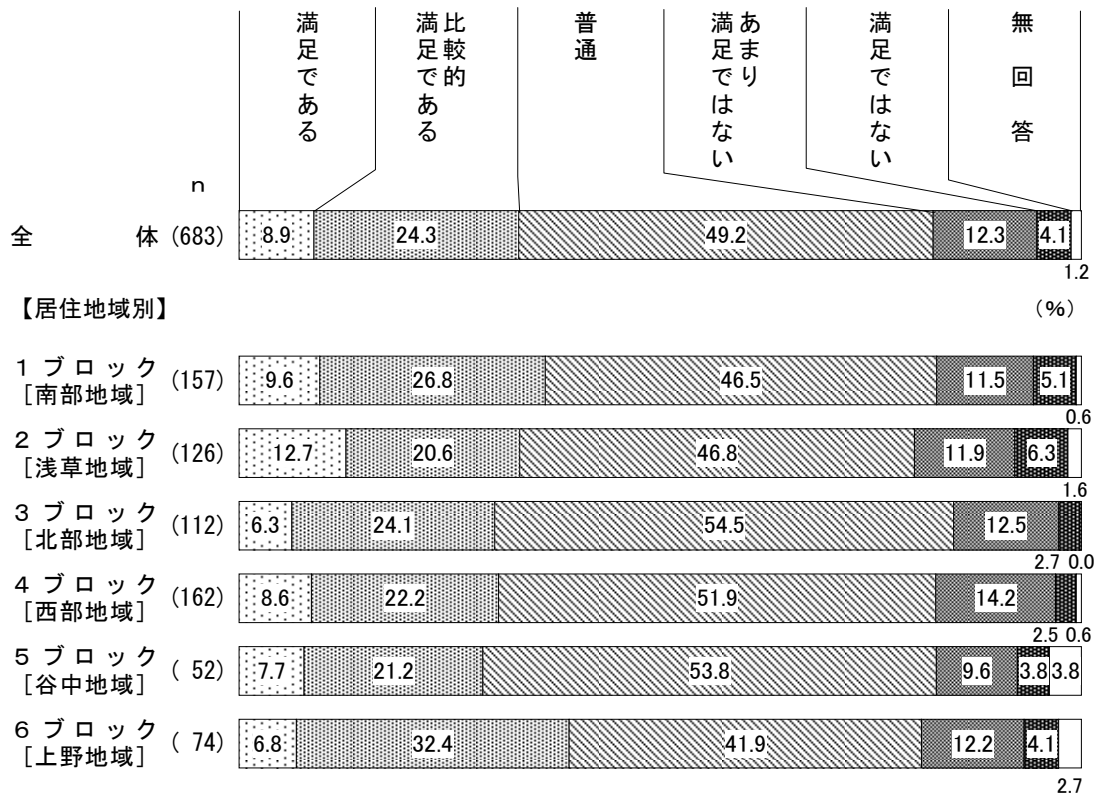
<図表5-4> 環境対策への区の取り組みについての満足度



環境対策への区の取り組みについて満足度を聞いたところ、「普通」(49.2%)が約5割で最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は33.2%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は16.4%である。(図表5-4)

居住地域別でみると、《満足である》は、6ブロック[上野地域](39.2%)が約4割で最も高くなっている。(図表5-5)

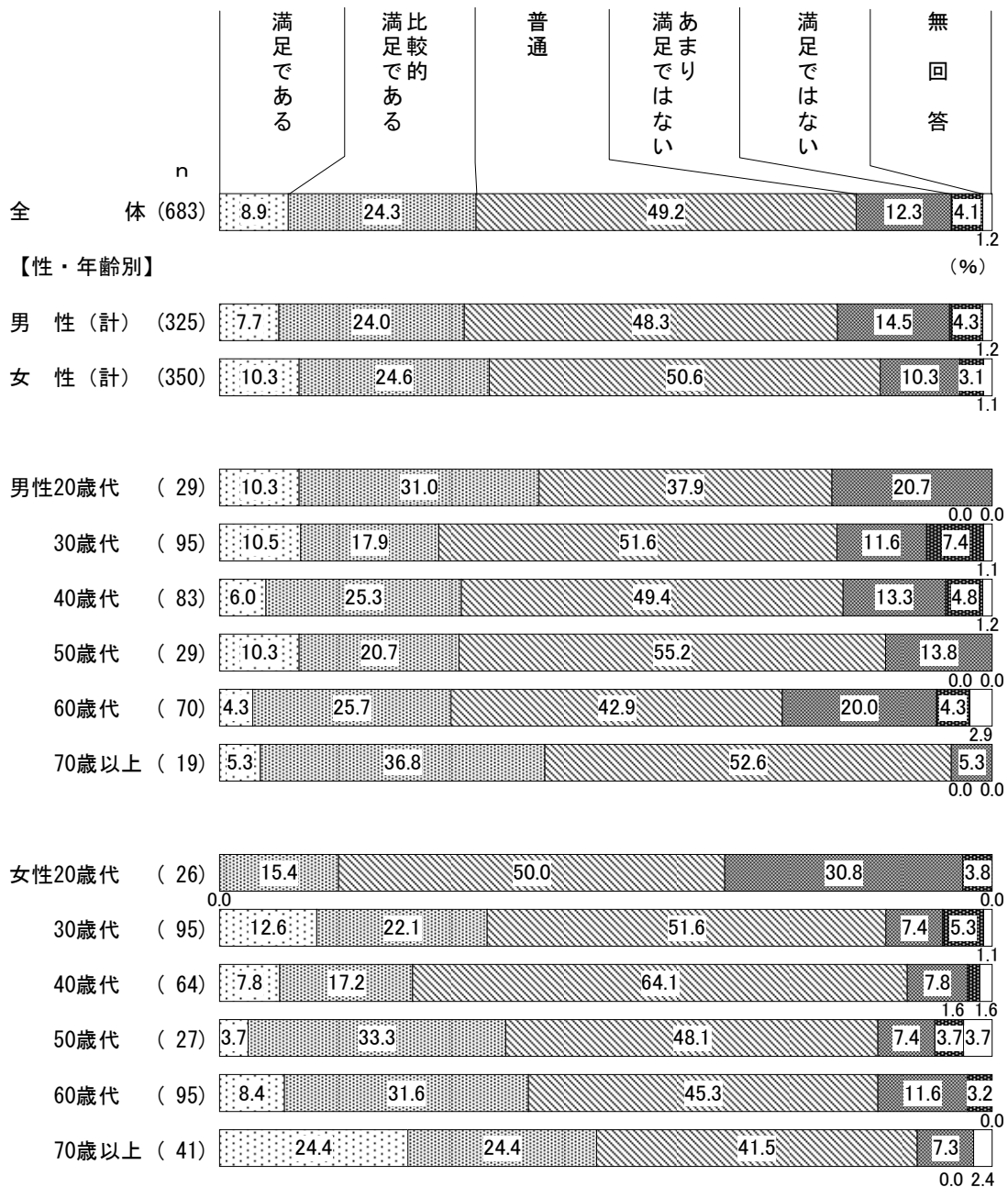
<図表5-5> 環境対策への区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別でみると、《満足である》は、女性（34.9%）の方が男性（31.7%）よりも3.2ポイント高く、《満足ではない》は、男性（18.8%）の方が女性（13.4%）よりも5.4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では70歳以上（42.1%）と20歳代（41.3%）が4割を超え高く、女性では70歳以上（48.8%）で約5割で最も高くなっている。一方、《満足ではない》は、女性の20歳代（34.6%）が3割台半ばで最も高くなっている。（図表5-6）

＜図表5-6＞ 環境対策への区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別



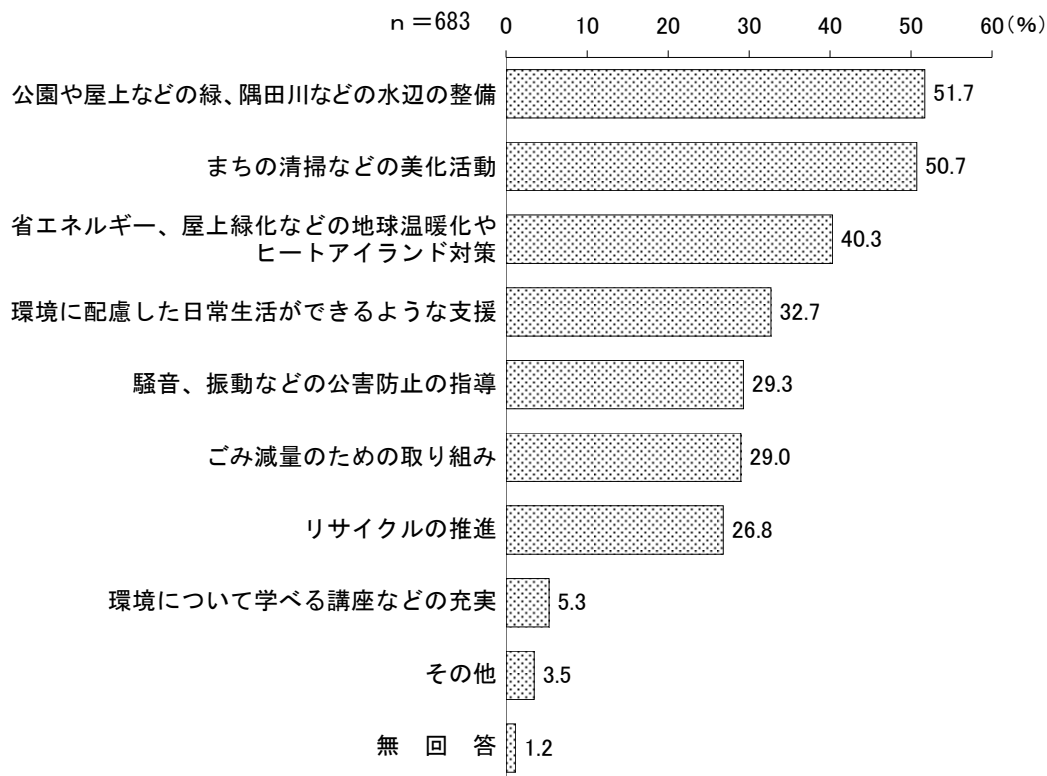
(3) 環境対策のための取り組みとして大切なもの

◇「緑、水辺の整備」が5割を超え、僅差で「美化活動」が続く

問15 環境対策のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

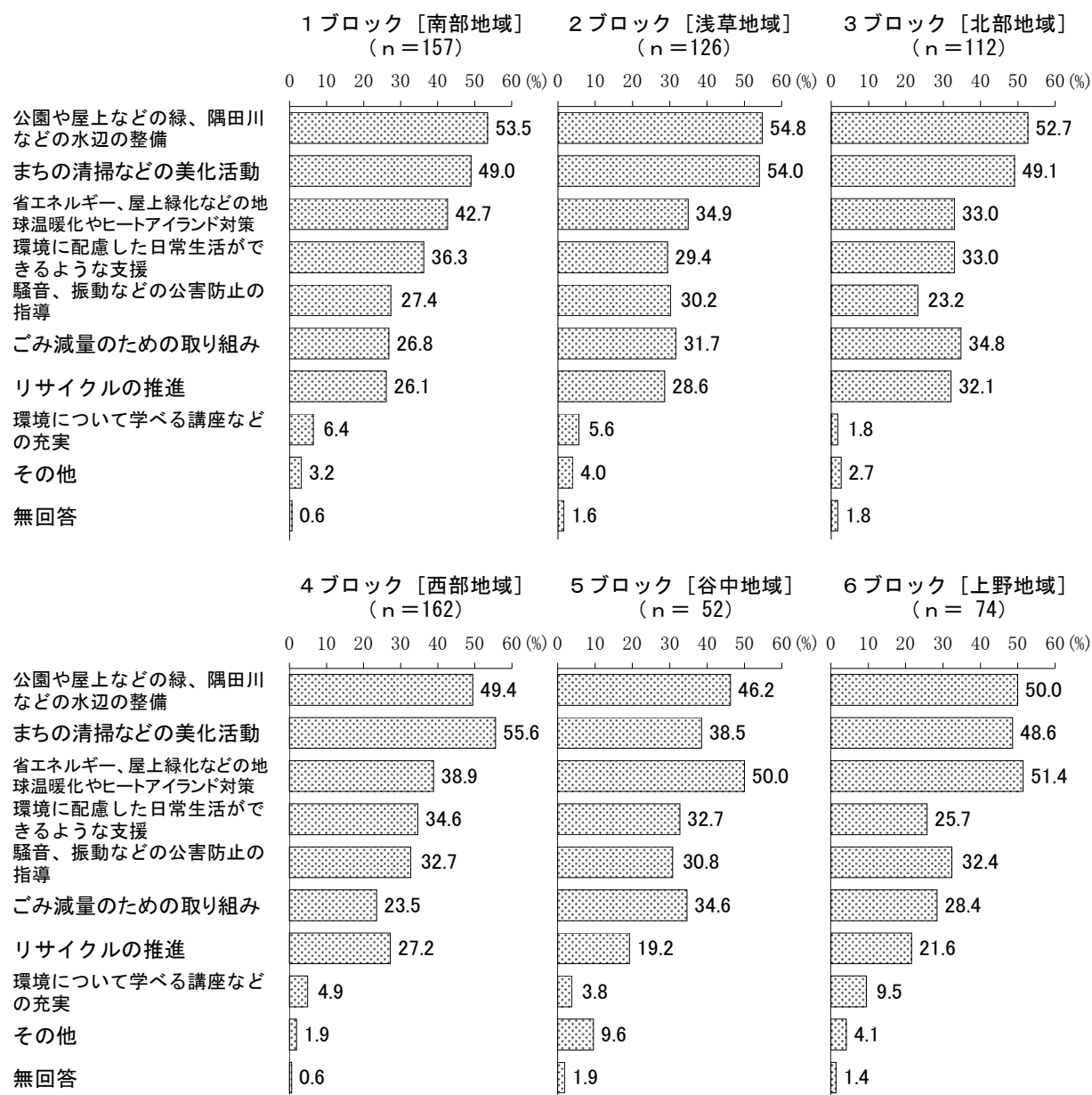
<図表5-7> 環境対策のための取り組みとして大切なもの(複数回答)



環境対策のための取り組みとして、大切なものを聞いたところ、「公園や屋上などの緑、隅田川などの水辺の整備」(51.7%)が5割を超え最も高く、僅差で「まちの清掃などの美化活動」(50.7%)が続いている。このほか「省エネルギー、屋上緑化などの地球温暖化やヒートアイランド対策」(40.3%)が4割となっている。(図表5-7)

居住地域別でみると、「公園や屋上などの緑、隅田川などの水辺の整備」は、2ブロック[浅草地域] (54.8%)と1ブロック[南部地域] (53.5%)が5割台半ばとなっている。「まちの清掃などの美化活動」は、4ブロック[西部地域] (55.6%)と2ブロック[浅草地域] (54.0%)が5割台半ばとなっている。「省エネルギー、屋上緑化などの地球温暖化やヒートアイランド対策」は、5ブロック[谷中地域] (50.0%)と6ブロック[上野地域] (51.4%)が5割台となっている。(図表5-8)

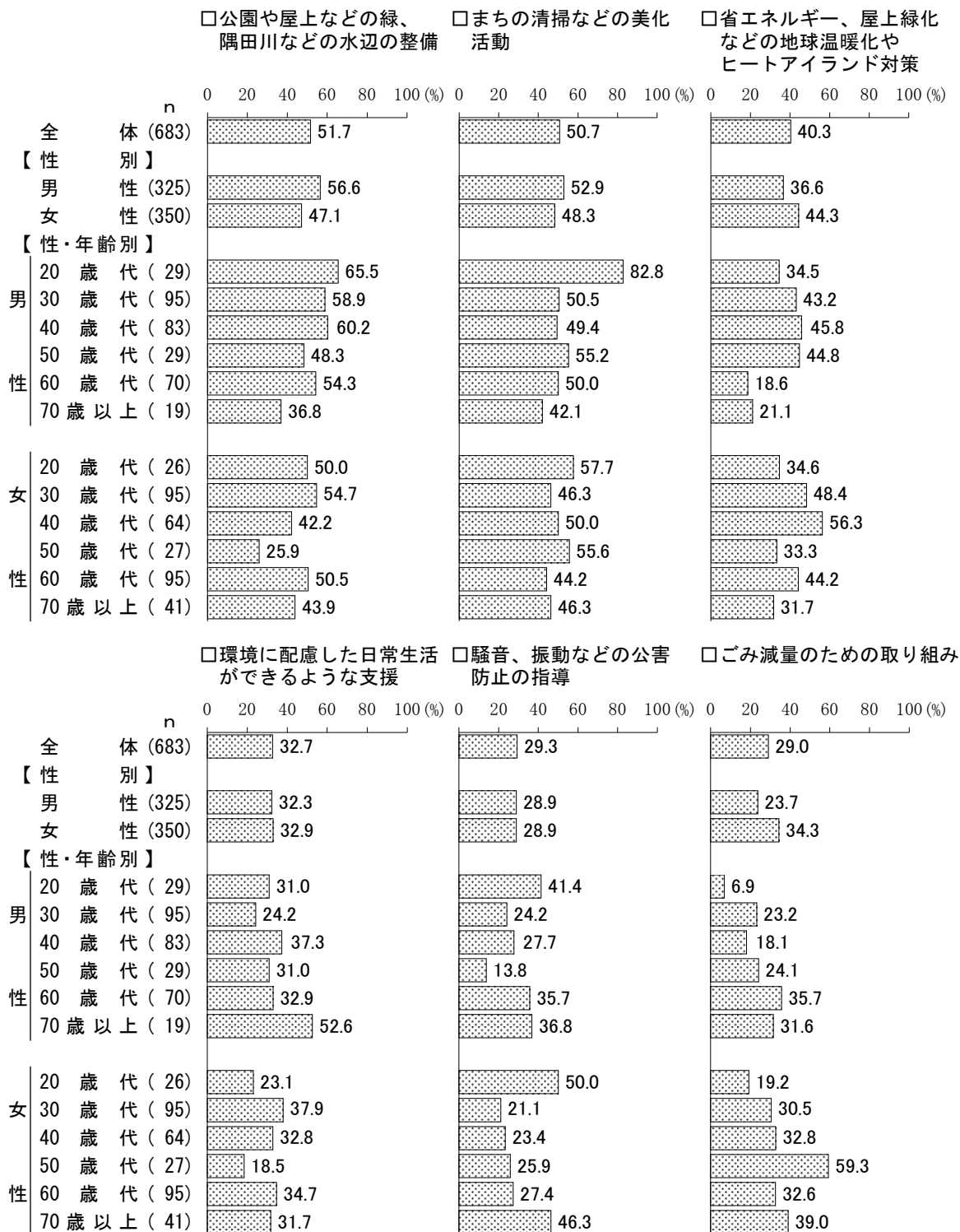
＜図表5-8＞ 環境対策のための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「公園や屋上などの緑、隅田川などの水辺の整備」は、男性（56.6%）の方が女性（47.1%）よりも9.5ポイント高くなっている。逆に、「ごみ減量のための取り組み」は、女性（34.3%）の方が男性（23.7%）よりも10.6ポイント高く、「省エネルギー、屋上緑化などの地球温暖化やヒートアイランド対策」でも、女性（44.3%）は男性（36.6%）を7.7ポイント上回っている。

性・年齢別でみると、「公園や屋上などの緑、隅田川などの水辺の整備」は男性の20歳代（65.5%）で6割台半ばと最も高く、「まちの清掃などの美化活動」は男性の20歳代（82.8%）が8割を超え特に高くなっている。「省エネルギー、屋上緑化などの地球温暖化やヒートアイランド対策」は、女性の40歳代（56.3%）で5割台半ばと高く、「ごみ減量のための取り組み」は、女性の50歳代（59.3%）で約6割と特に高くなっている。（図表5-9）

＜図表5-9＞ 環境対策のための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別（上位6項目）

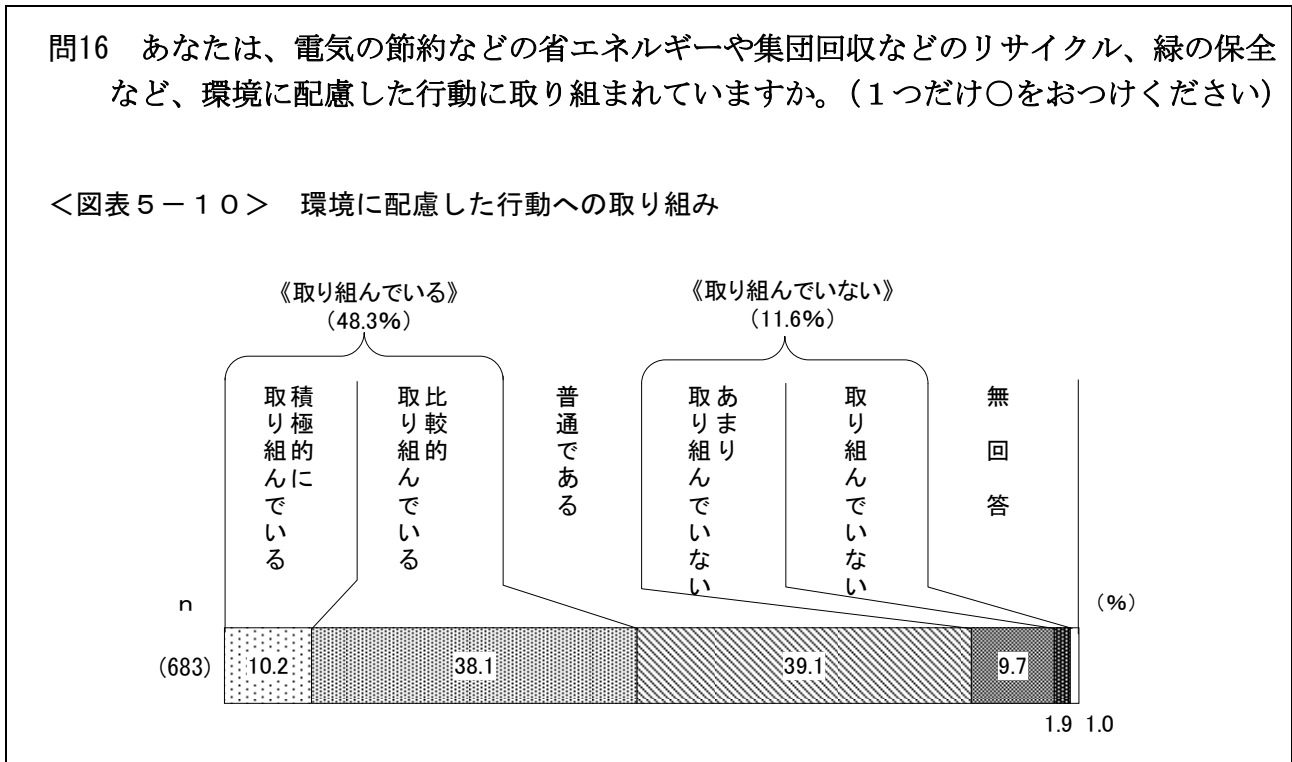


(4) 環境に配慮した行動への取り組み

◇ 《取り組んでいる》が約5割

問16 あなたは、電気の節約などの省エネルギーや集団回収などのリサイクル、緑の保全など、環境に配慮した行動に取り組まれていますか。(1つだけ○をおつけください)

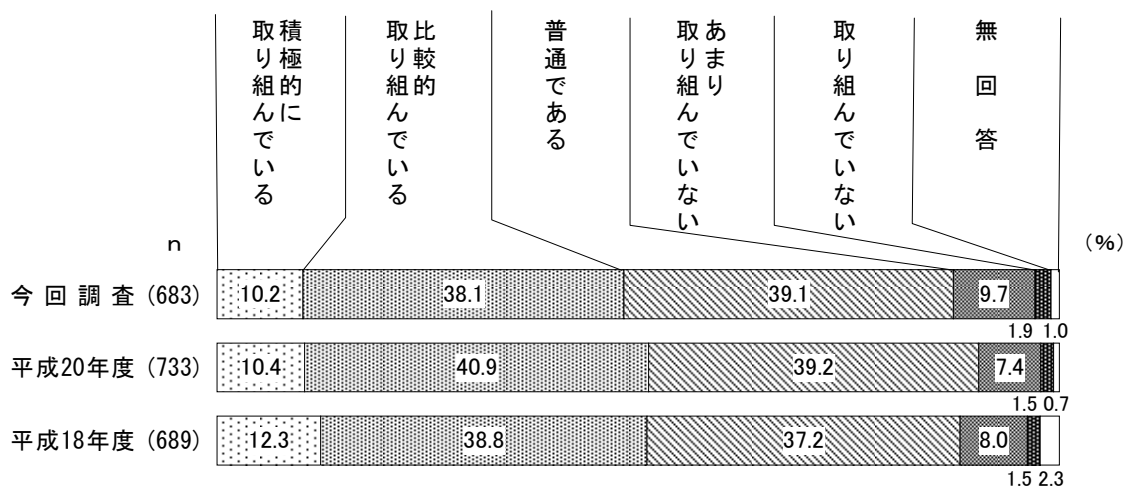
<図表5-10> 環境に配慮した行動への取り組み



環境に配慮した行動への取り組みについて聞いたところ、《取り組んでいる》（「積極的に取り組んでいる」と「比較的取り組んでいる」の合計）が48.3%で約5割となっている。「普通である」（39.1%）は約4割で、《取り組んでいない》（「取り組んでいない」と「あまり取り組んでいない」の合計）は11.6%である。（図表5-10）

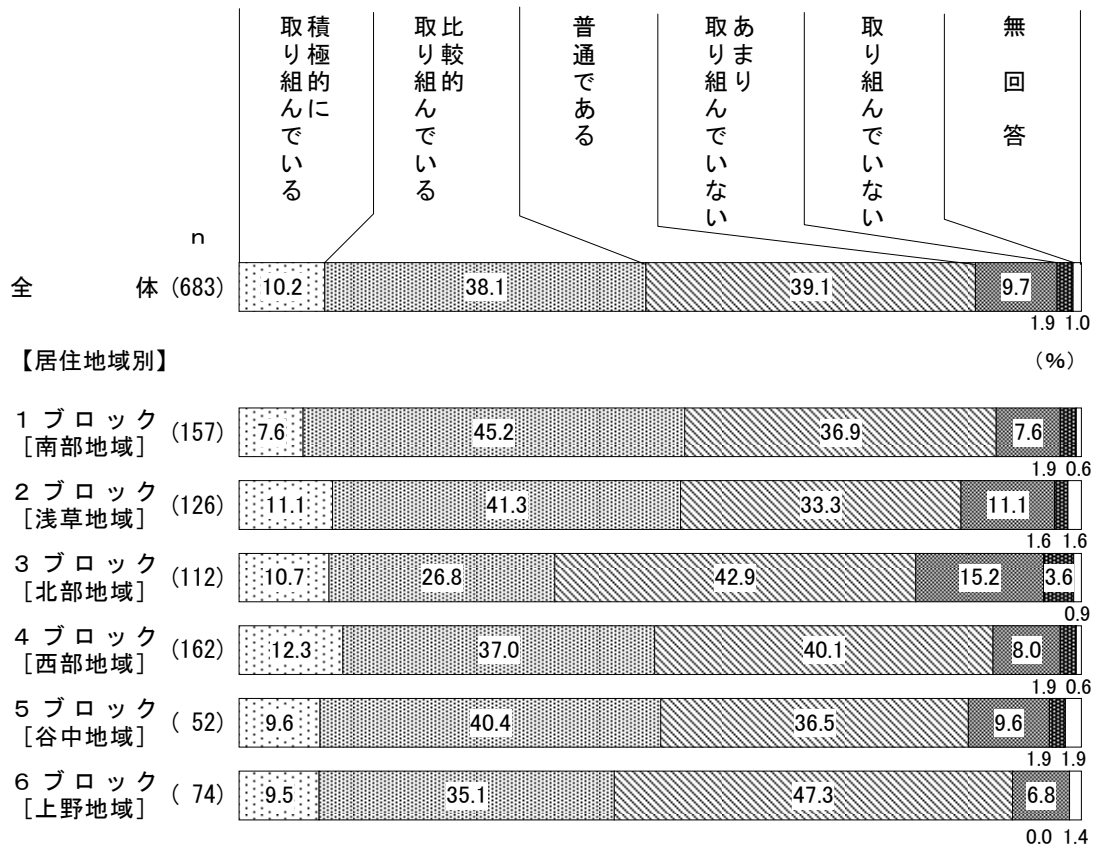
過去の調査結果と比較すると、《取り組んでいる》（48.3%）は平成20年度（51.3%）と比べて3.0ポイント減少している。（図表5-11）

<図表5-11> 環境に配慮した行動への取り組み 経年比較



居住地域別でみると、《取り組んでいる》は、1ブロック[南部地域] (52.8%) と2ブロック[浅草地域] (52.4%) が5割を超え高くなっている。一方、《取り組んでいない》は、3ブロック[北部地域] (18.8%) が約2割となっている。(図表5-12)

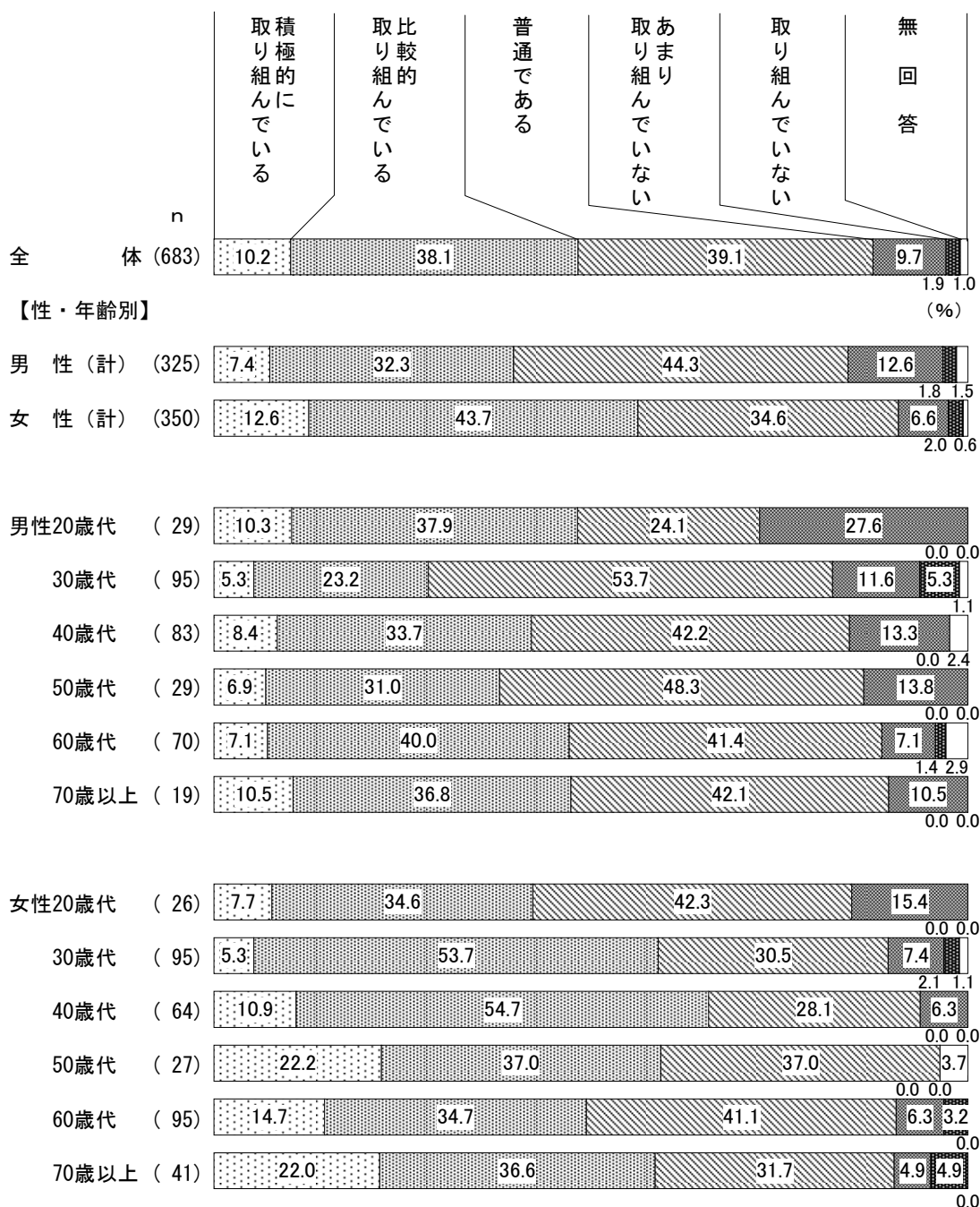
<図表5-12> 環境に配慮した行動への取り組み 居住地域別



性別でみると、《取り組んでいる》は、女性（56.3%）の方が男性（39.7%）よりも16.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《取り組んでいる》は、女性の40歳代（65.6%）が6割台半ばで最も高く、次いで女性の50歳代（59.2%）、30歳代（59.0%）、70歳以上（58.6%）が約6割となっている。一方、《取り組んでいない》は、男性の20歳代（27.6%）が約3割で最も高い。（図表5-13）

＜図表5-13＞ 環境に配慮した行動への取り組み 性別／性・年齢別



6. 生涯学習のための取り組み

◆ 区民の一人ひとりが、心の豊かさや生きがいを、自分にあったかたちで実現していくことや、学習の成果を地域での交流やさまざまな課題解決に活かしていくことが大切です。

また、地域の課題の解決のため、さまざまな活動が行われています。

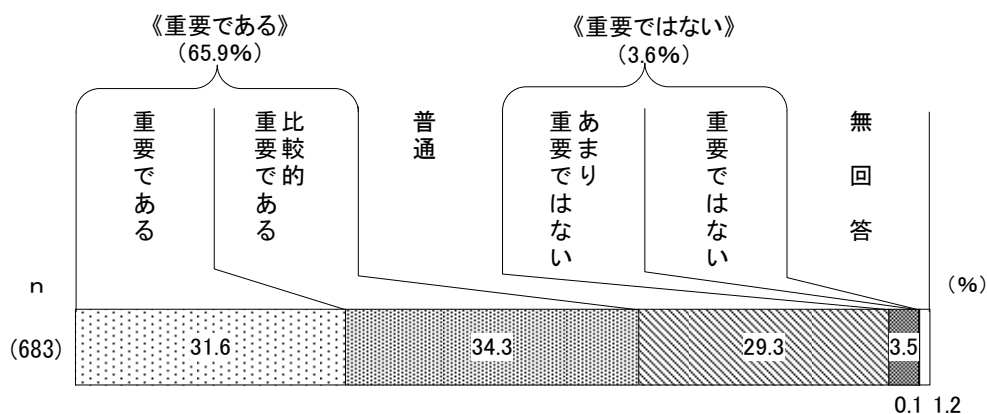
区では、区民のさまざまな学習ニーズに応えるため、生涯学習センター、図書館などの整備、多様な講座などの学ぶ機会の充実に取り組んでいます。

(1) 生涯学習についての重要度

◇ 《重要である》が6割台半ば

問17 生涯学習についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

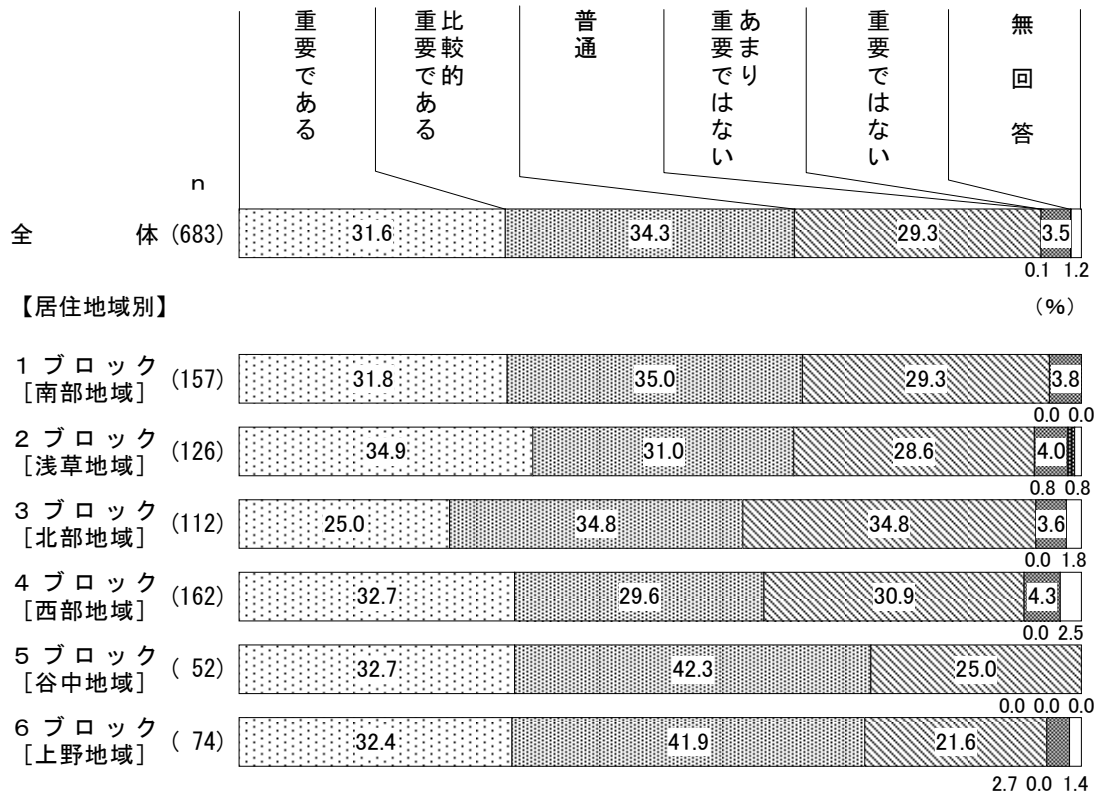
<図表6-1> 生涯学習についての重要度



生涯学習がどの程度重要かを聞いたところ、「重要である」(31.6%)に「比較的重要な」(34.3%)を合わせると、《重要である》は65.9%で6割台半ばとなっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は3.6%である。(図表6-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、5ブロック[谷中地域]（75.0%）と6ブロック[上野地域]（74.3%）が7割台半ばで高くなっている。（図表6-2）

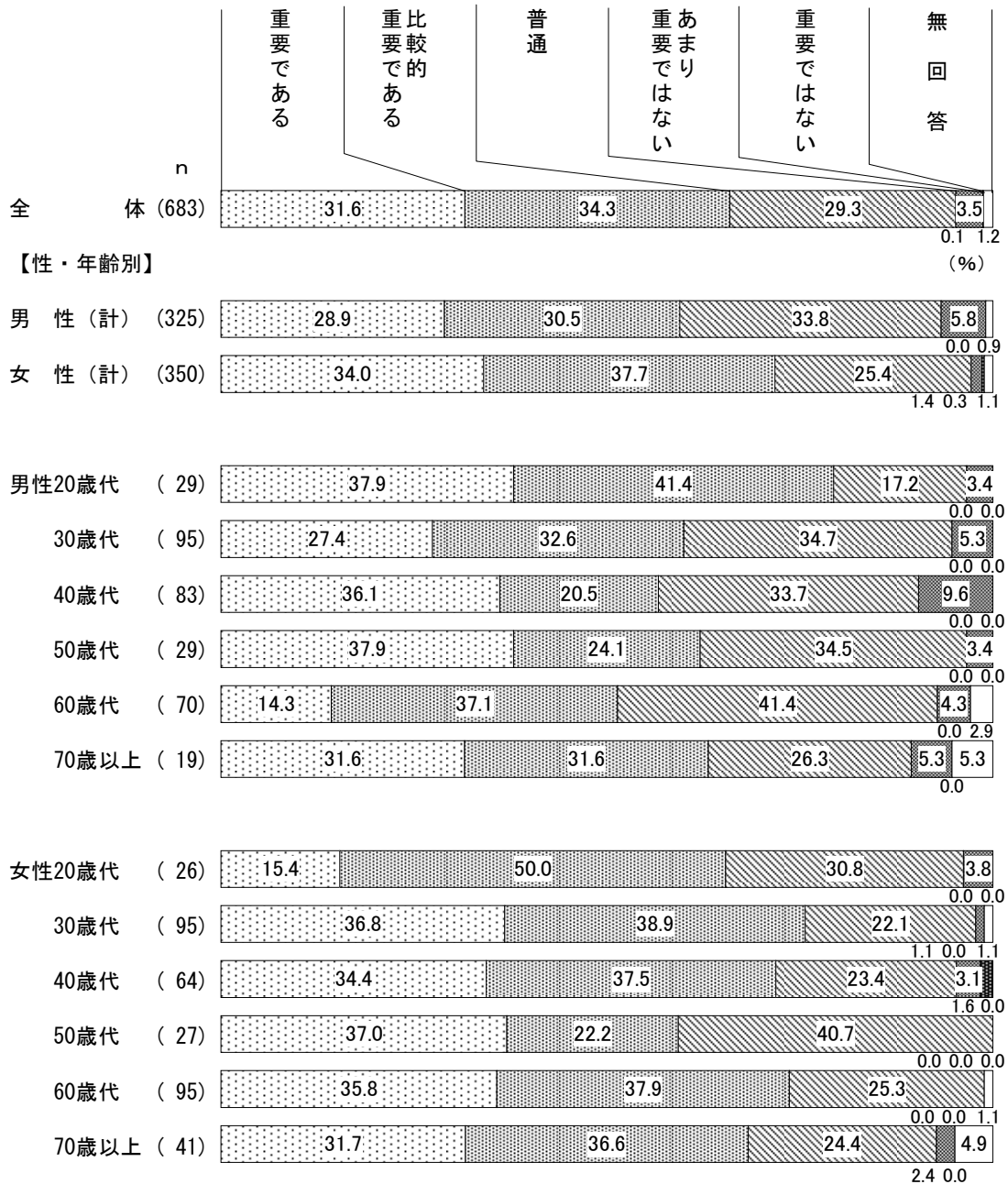
＜図表6-2＞ 生涯学習についての重要度 居住地域別



性別で見ると、《重要である》は、女性（71.7%）の方が男性（59.4%）より12.3ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、《重要である》は、男性では20歳代（79.3%）が約8割で最も高く、女性では30歳代（75.7%）が7割台半ばで最も高い。（図表6-3）

＜図表6-3＞ 生涯学習についての重要度 性別／性・年齢別



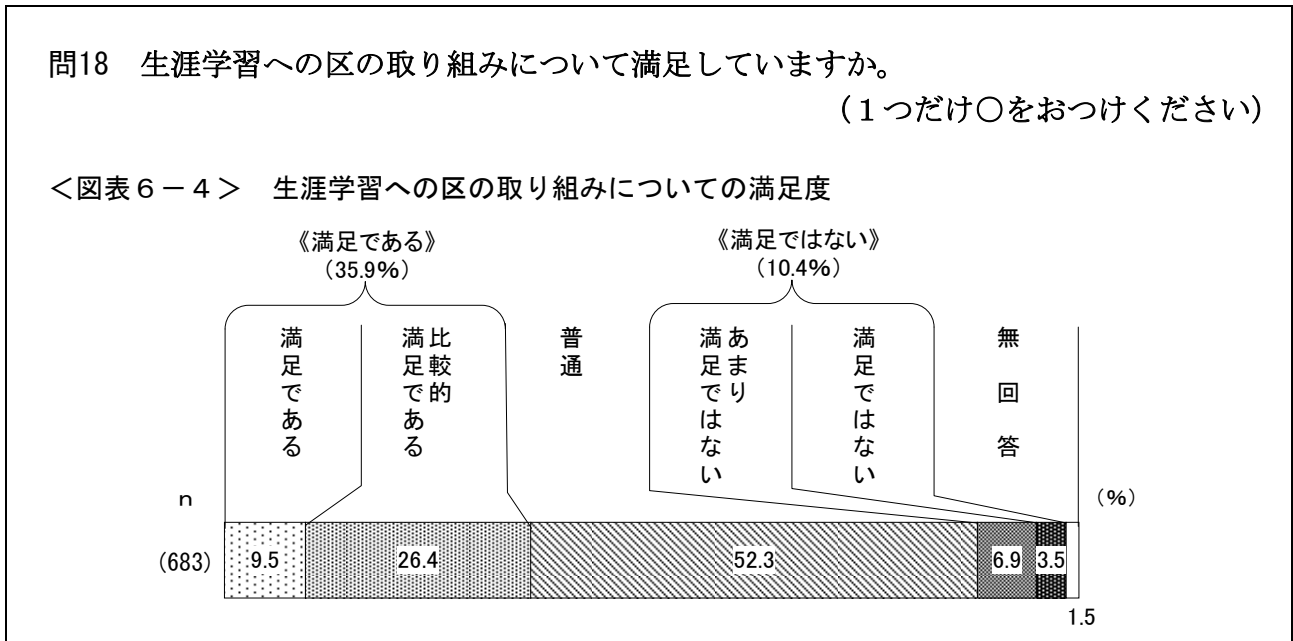
(2) 生涯学習への区の取り組みについての満足度

◇「普通」が5割を超える

問18 生涯学習への区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

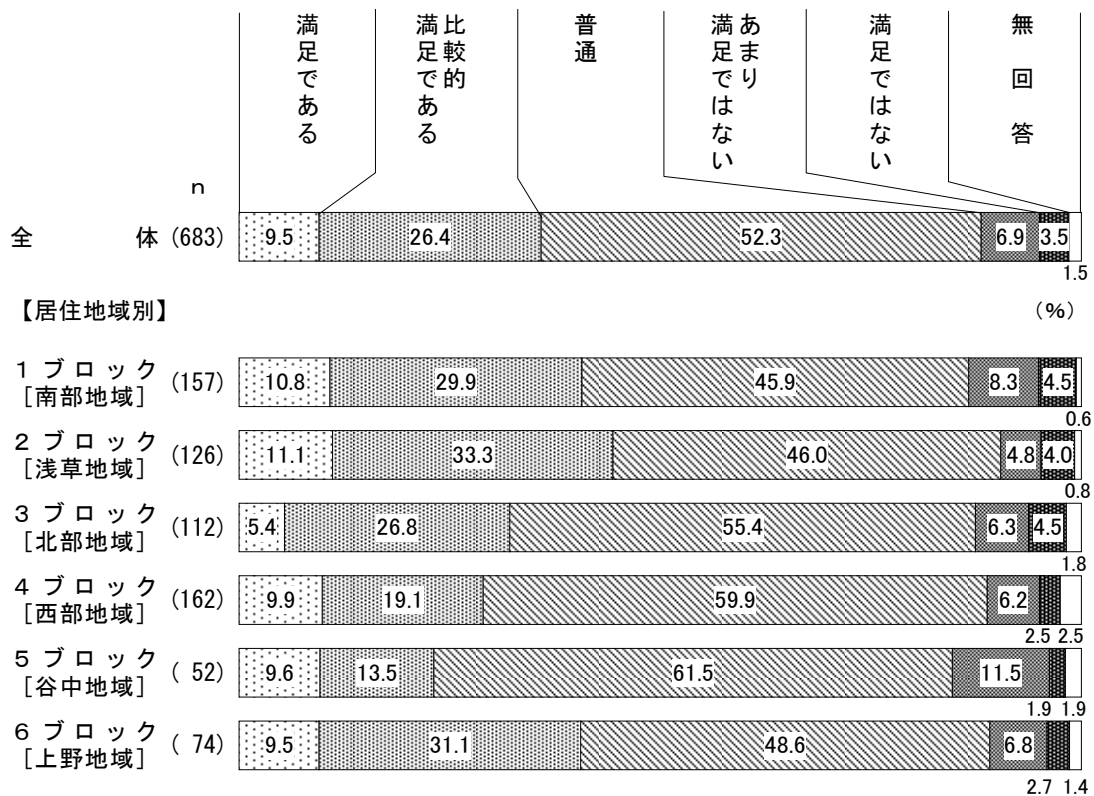
<図表6-4> 生涯学習への区の取り組みについての満足度



生涯学習への区の取り組みについての満足度を聞いたところ、「普通」(52.3%)が5割を超え最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は35.9%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は10.4%である。(図表6-4)

居住地域別でみると、《満足である》は、2ブロック[浅草地域](44.4%)が4割台半ばで高くなっている。(図表6-5)

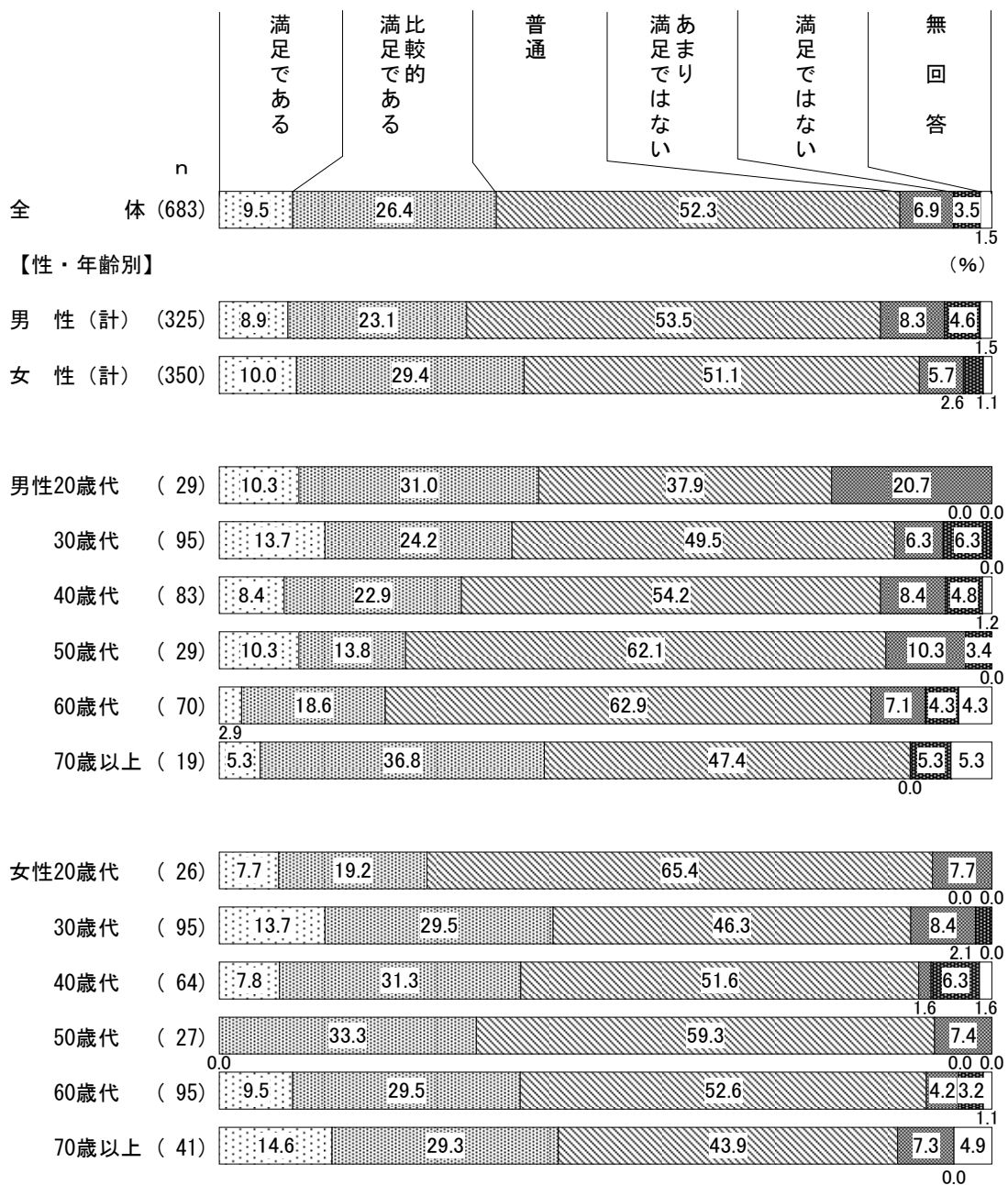
<図表6-5> 生涯学習への区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別でみると、《満足である》は、女性（39.4%）の方が男性（32.0%）より7.4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では70歳以上（42.1%）と20歳代（41.3%）が4割を超え、女性では70歳以上（43.9%）と30歳代（43.2%）が4割台半ばとなっている。（図表6-6）

<図表6-6> 生涯学習への区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別



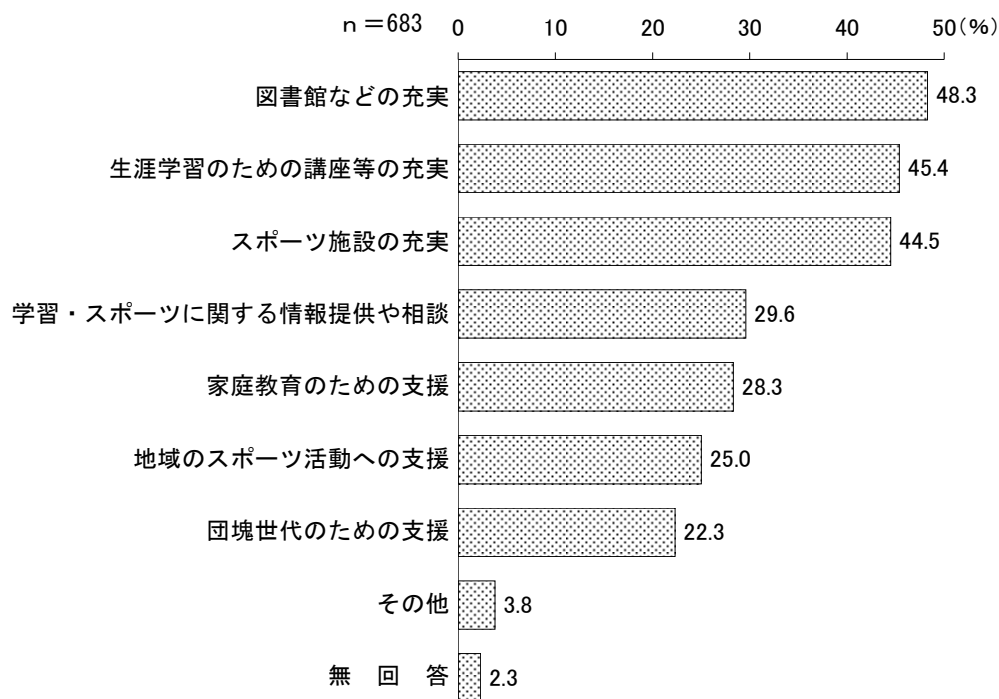
(3) 生涯学習のための取り組みとして大切なもの

◇「図書館などの充実」が約5割

問19 生涯学習のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

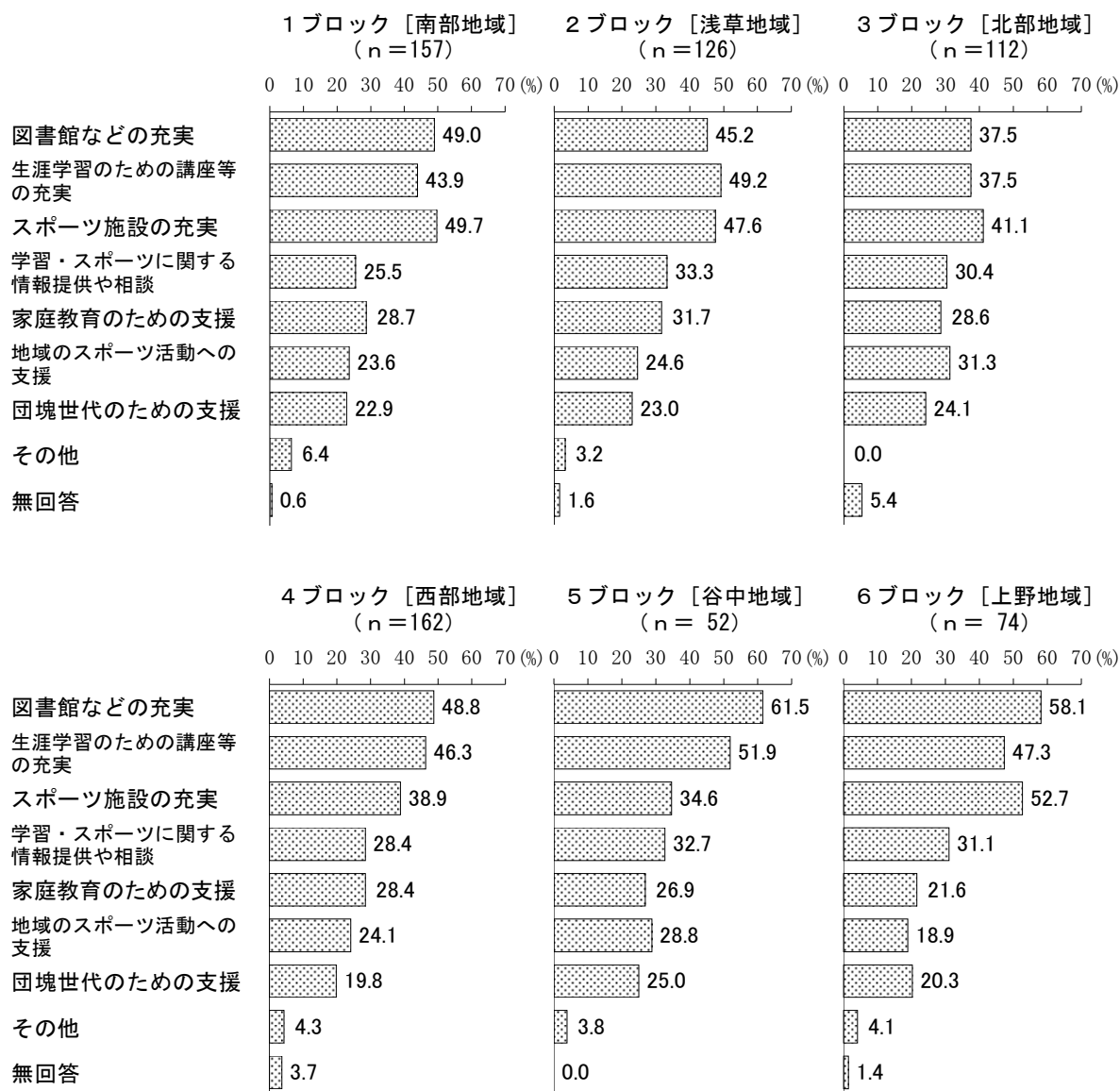
<図表6-7> 生涯学習のための取り組みとして大切なもの(複数回答)



生涯学習のための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「図書館などの充実」(48.3%)が約5割で最も高くなっている。次いで「生涯学習のための講座等の充実」(45.4%)と「スポーツ施設の充実」(44.5%)が4割台半ばで続いている。(図表6-7)

居住地域別でみると、「図書館などの充実」は、5ブロック[谷中地域] (61.5%) が6割を超え最も高く、次いで6ブロック[上野地域] (58.1%) が約6割となっている。「生涯学習のための講座等の充実」は、5ブロック[谷中地域] (51.9%) が5割を超え最も高く、次いで2ブロック[浅草地域] (49.2%) が約5割となっている。「スポーツ施設の充実」は、6ブロック[上野地域] (52.7%) で5割を超えている。(図表6-8)

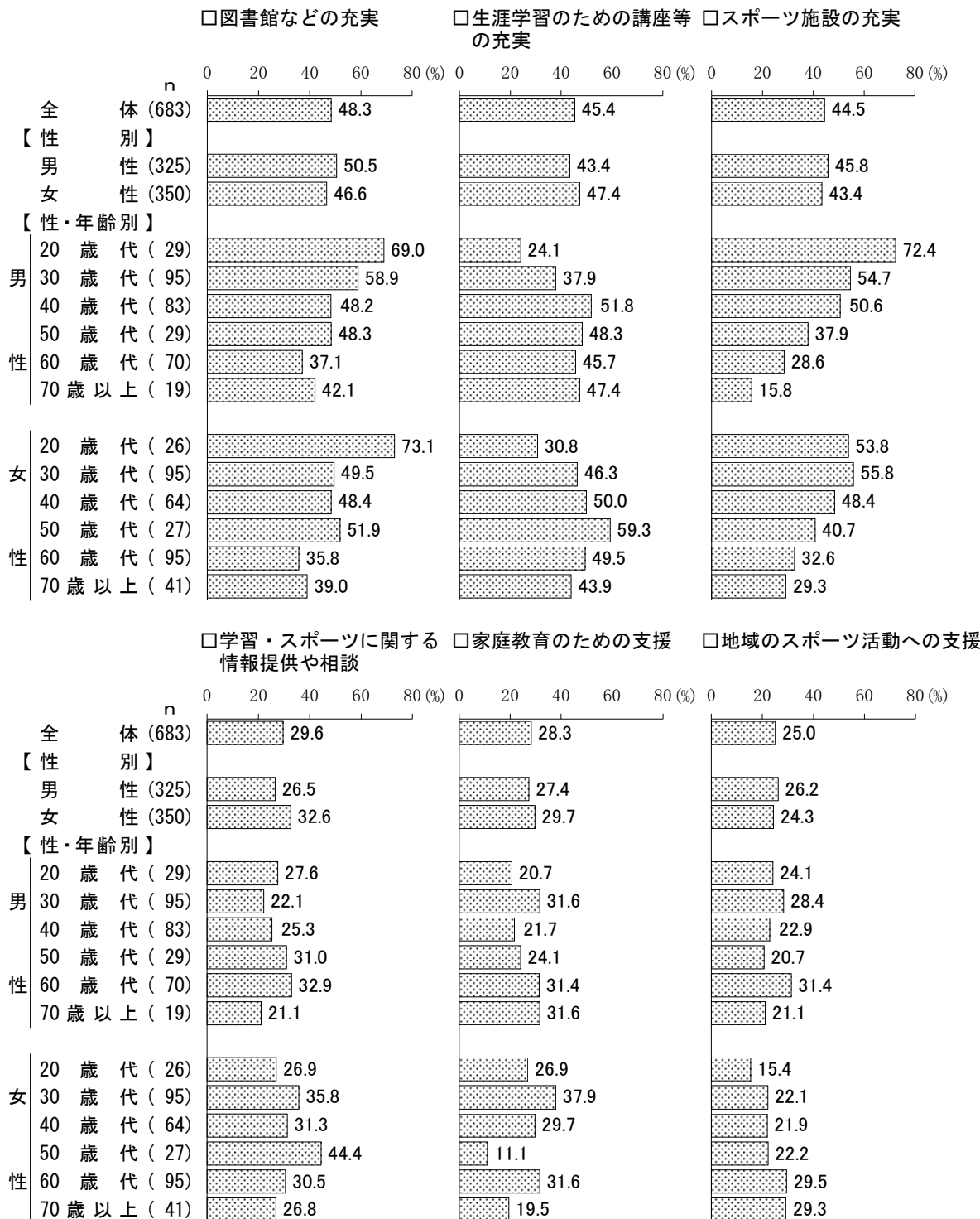
＜図表6-8＞ 生涯学習のための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「学習・スポーツに関する情報提供や相談」は、女性（32.6%）の方が男性（26.5%）よりも6.1ポイント高くなっている。

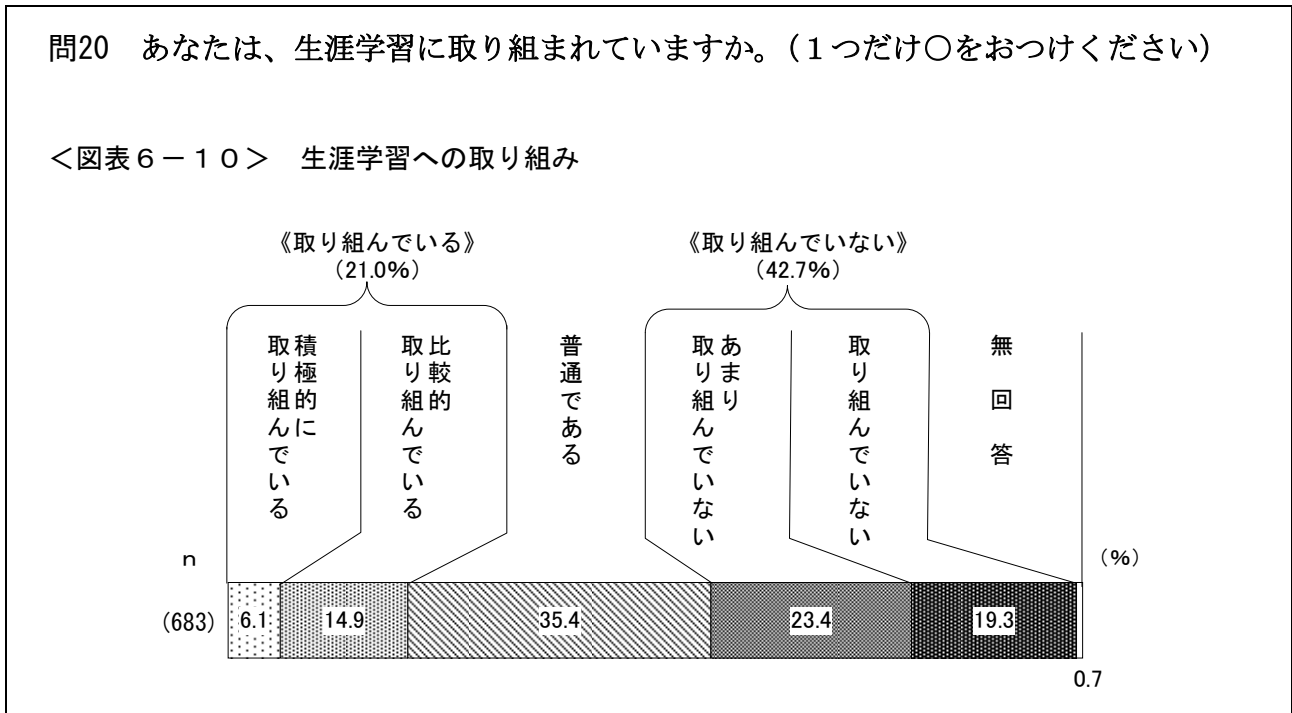
性・年齢別でみると、「図書館などの充実」は、男女とも20歳代が高く、男性（69.0%）が約7割、女性（73.1%）が7割台半ばで高くなっている。「生涯学習のための講座等の充実」は、女性の50歳代（59.3%）が約6割で最も高い。また、「スポーツ施設の充実」は、男性の20歳代（72.4%）が7割を超え高く、男女ともおおむね年齢が上がるほど減少する傾向がみられる。このほか、「学習・スポーツに関する情報提供や相談」は女性の50歳代（44.4%）が4割台半ばで高くなっている。（図表6-9）

＜図表6-9＞ 生涯学習のための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別（上位6項目）



(4) 生涯学習への取り組み

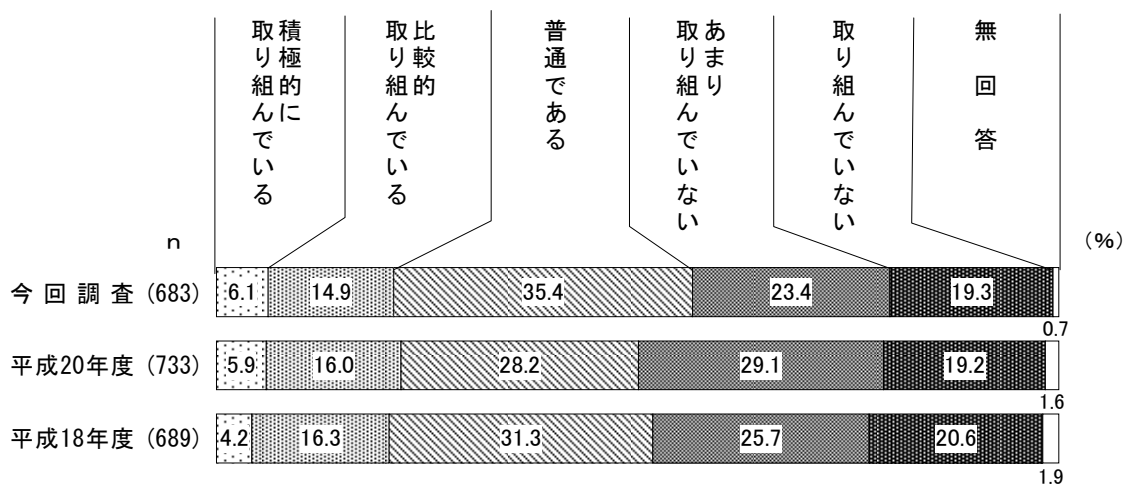
◇ 《取り組んでいない》は4割を超える



生涯学習への取り組みについて聞いたところ、《取り組んでいる》(「積極的に取り組んでいる」と「比較的取り組んでいる」の合計)は21.0%で、「普通である」(35.4%)が3割台半ばとなっている。一方、《取り組んでいない》(「取り組んでいない」と「あまり取り組んでいない」の合計)は42.7%で4割を超え高い。(図表6-10)

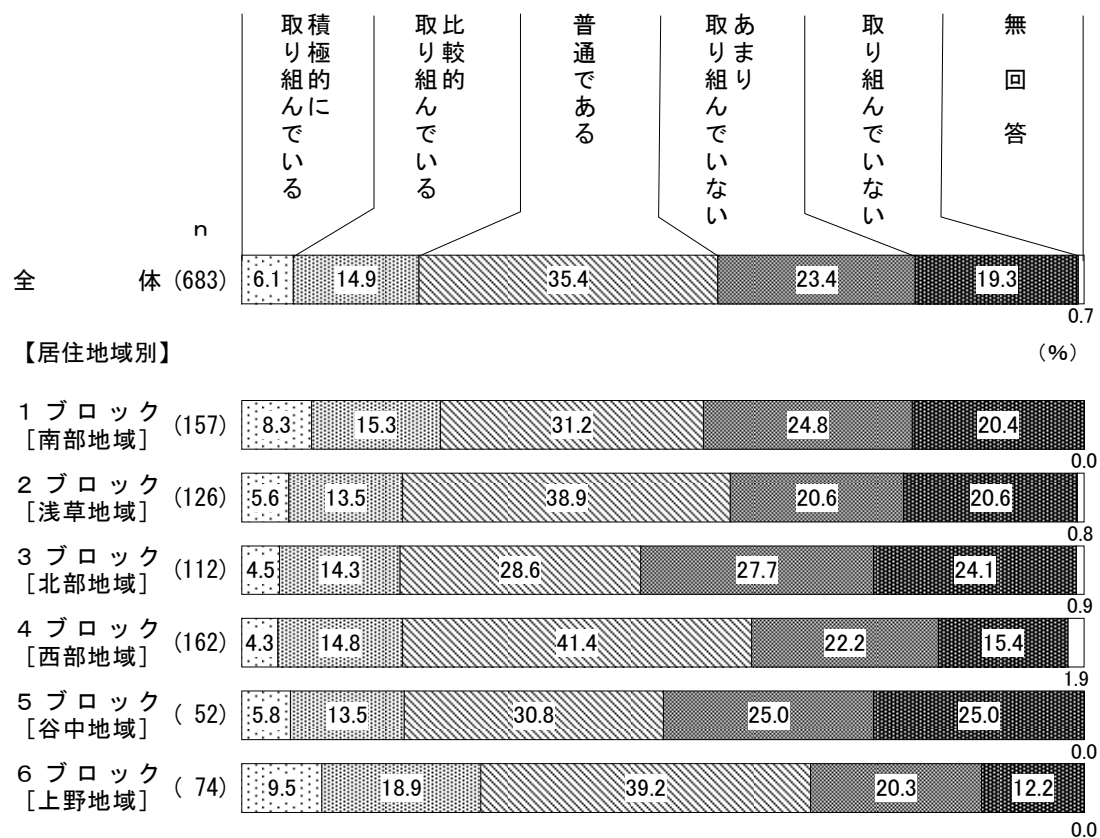
過去の調査結果と比較すると、《取り組んでいない》(42.7%)は、平成20年度(48.3%)に比べて5.6ポイント減少している。(図表6-11)

<図表6-11> 生涯学習への取り組み 経年比較



居住地域別でみると、《取り組んでいる》は、6ブロック[上野地域] (28.4%) が約3割で最も高く、次いで1ブロック[南部地域] (23.6%) が2割台半ばとなっている。(図表6-12)

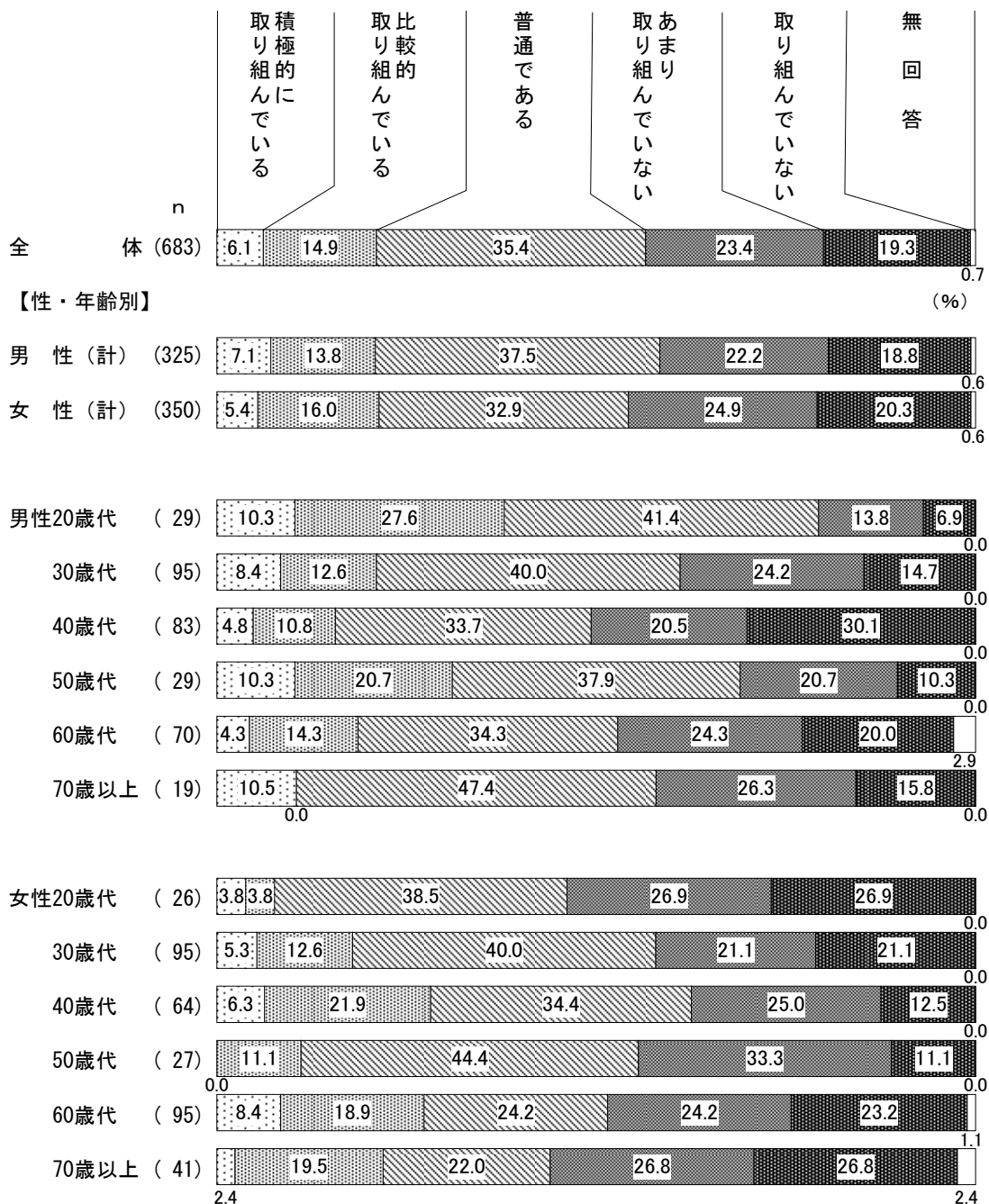
＜図表6-12＞ 生涯学習への取り組み 居住地域別



性別でみると、《取り組んでいない》は、女性（45.2%）の方が男性（41.0%）よりも4.2ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《取り組んでいる》は、男性では20歳代（37.9%）が約4割で高く、女性では40歳代（28.2%）と60歳代（27.3%）が約3割で高くなっている。一方、《取り組んでいない》は、女性の20歳代（53.8%）と70歳以上（53.6%）が5割台半ばで高い。（図表6-13）

＜図表6-13＞ 生涯学習への取り組み 性別／性・年齢別

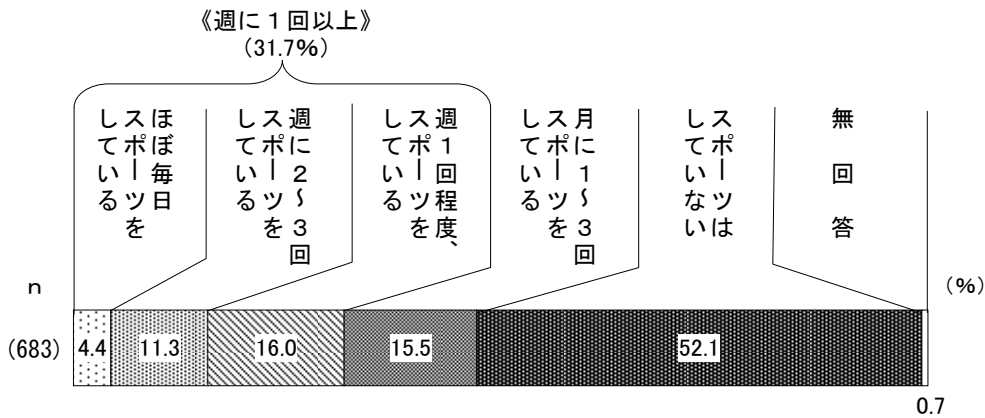


(5) スポーツの頻度

◇「スポーツはしていない」が5割を超え、《週に1回以上》が3割を超える

問21 あなたは、スポーツをしていますか。(1つだけ○をおつけください)

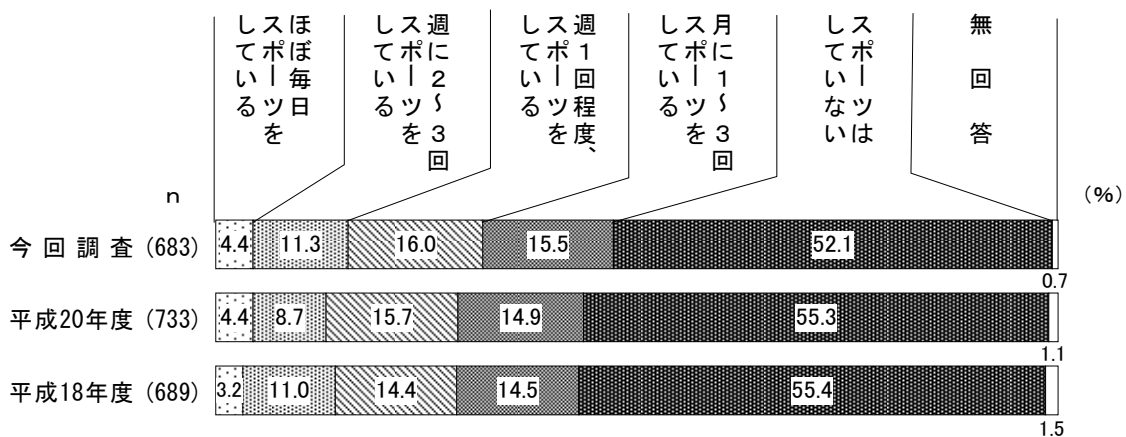
<図表6-14> スポーツの頻度



スポーツの頻度について聞いたところ、「スポーツはしていない」(52.1%)が5割を超え最も高くなっている。一方、「ほぼ毎日スポーツをしている」(4.4%)から「週に2〜3回スポーツをしている」(11.3%)、「週1回程度、スポーツをしている」(16.0%)までを合わせると、《週に1回以上》は31.7%で3割を超えている。(図表6-14)

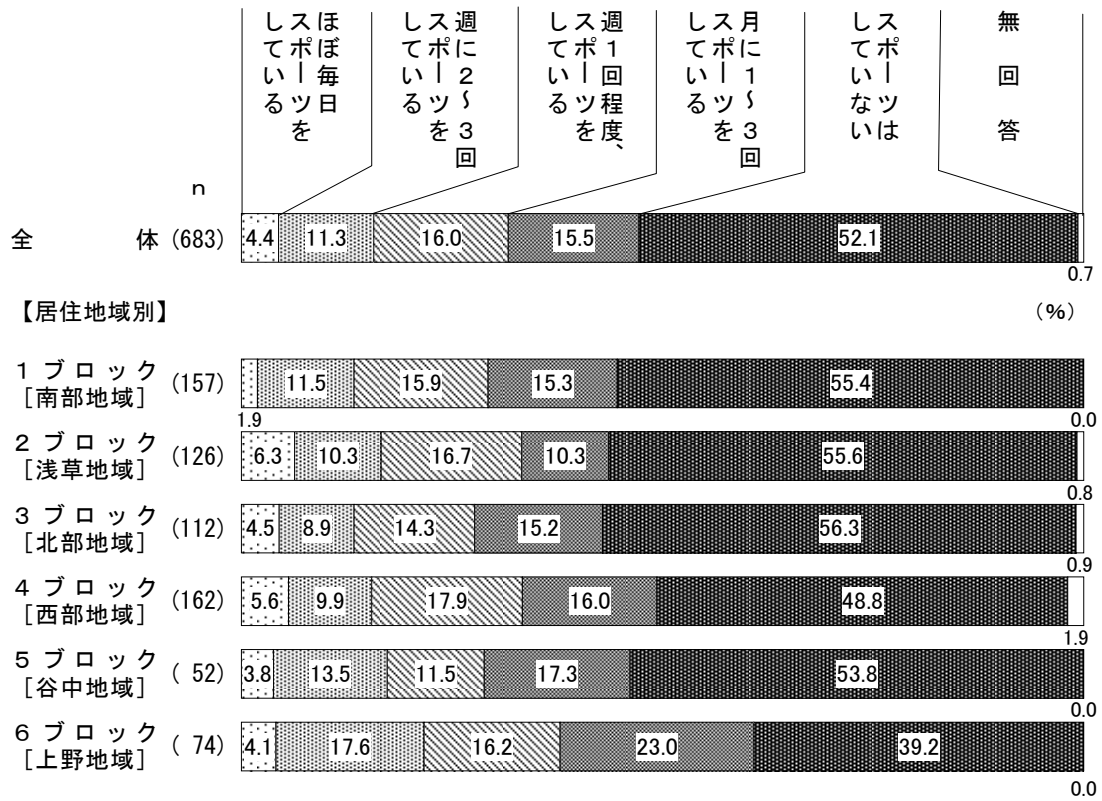
過去の調査結果と比較すると、《週に1回以上》(31.7%)は、平成20年度(28.8%)に比べて2.9ポイント高くなっている。(図表6-15)

<図表6-15> スポーツの頻度 経年比較



居住地域別でみると、《週に1回以上》は、6ブロック[上野地域] (37.9%) が約4割で最も高くなっている。(図表6-16)

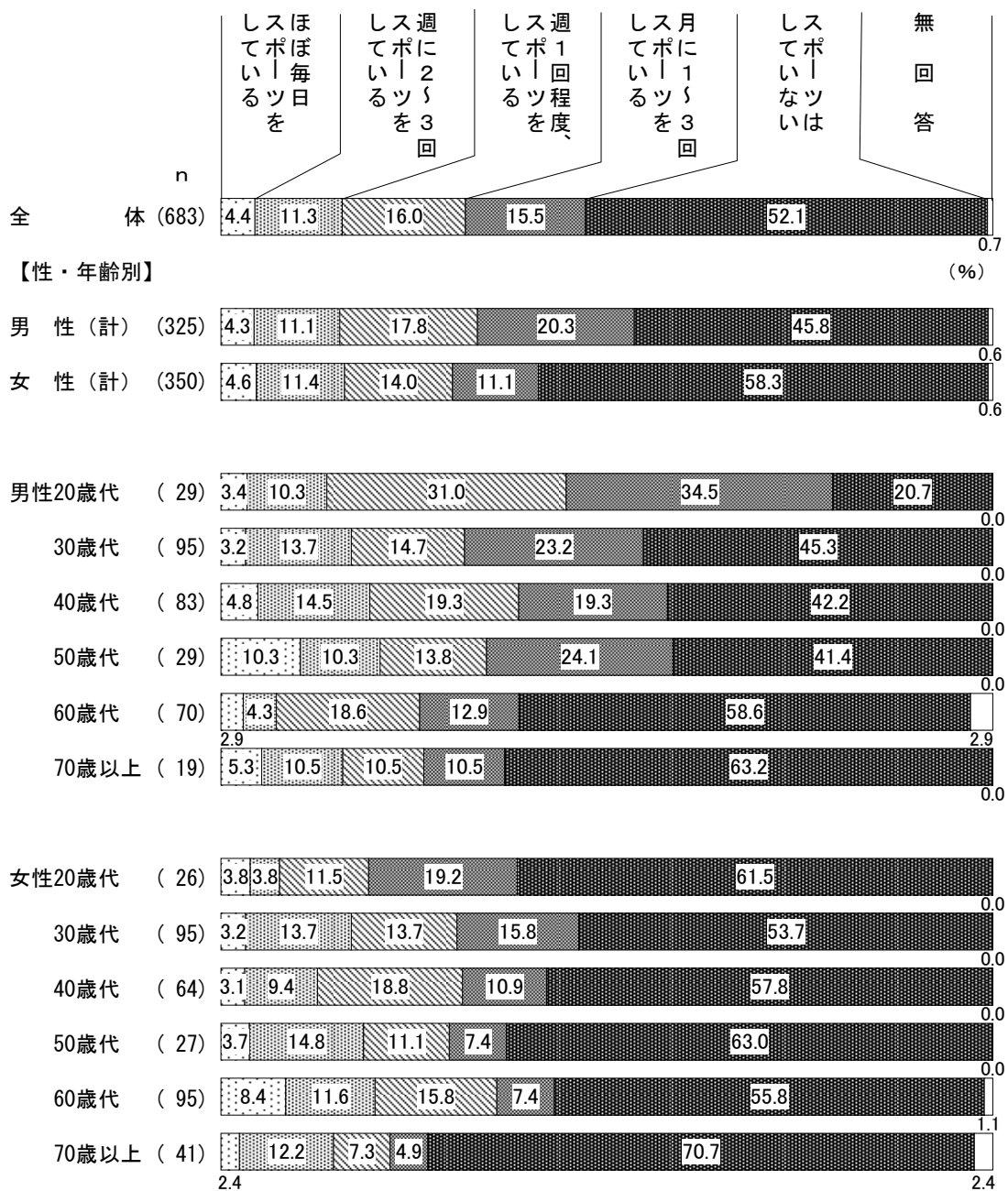
＜図表6-16＞ スポーツの頻度 居住地域別



性別で見ると、《週に1回以上》は、男性（33.2%）の方が女性（30.0%）よりも3.2ポイント高くなっている。逆に、「スポーツはしていない」は、女性（58.3%）が男性（45.8%）を12.5ポイント上回る。

性・年齢別で見ると、《週に1回以上》は、男性では20歳代（44.7%）が4割台半ばで最も高く、女性では60歳代（35.8%）が3割台半ばで最も高くなっている。一方、「スポーツはしていない」は、女性の70歳以上（70.7%）が7割と最も高く、次いで男性の70歳以上（63.2%）と女性の50歳代（63.0%）が6割台半ばとなっている。（図表6-17）

<図表6-17> スポーツの頻度 性別／性・年齢別



7. 健康づくりのための取り組み

◆ すべての区民が、それぞれに、健康を維持し、いきいきとした日常生活を送れることが大切です。

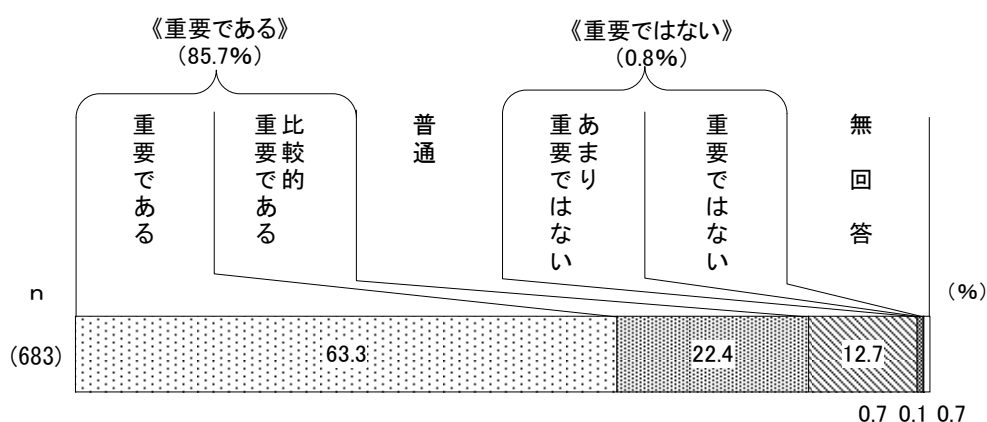
そのため、区では、誰もが生涯を通じて心と体の健康づくりに取り組めるように、生活習慣病の予防、親子の健康づくり、介護の予防、地域の健康づくり活動などを支援しています。

(1) 健康づくりについての重要度

◇ 《重要である》が8割台半ば

問22 健康づくりについてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

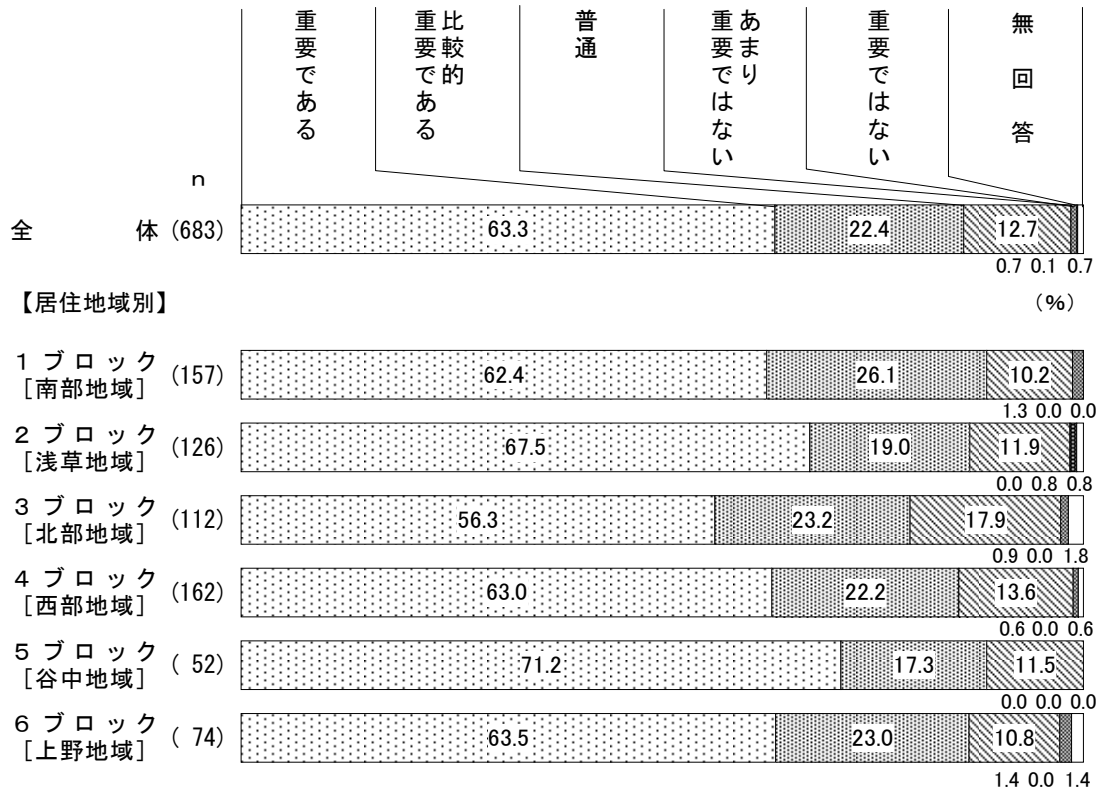
<図表7-1> 健康づくりについての重要度



健康づくりがどの程度重要かを聞いたところ、「重要である」(63.3%)が6割台半ばで最も高くなっている。これに「比較的である」(22.4%)を合わせると、《重要である》は85.7%で8割台半ばとなっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は0.8%である。(図表7-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、1ブロック[南部地域] (88.5%) と5ブロック[谷中地域] (88.5%) が約9割で並び高くなっている。特に、より強い回答である「重要である」は、5ブロック[谷中地域] (71.2%) で7割を超える。(図表7-2)

＜図表7-2＞ 健康づくりについての重要度 居住地域別

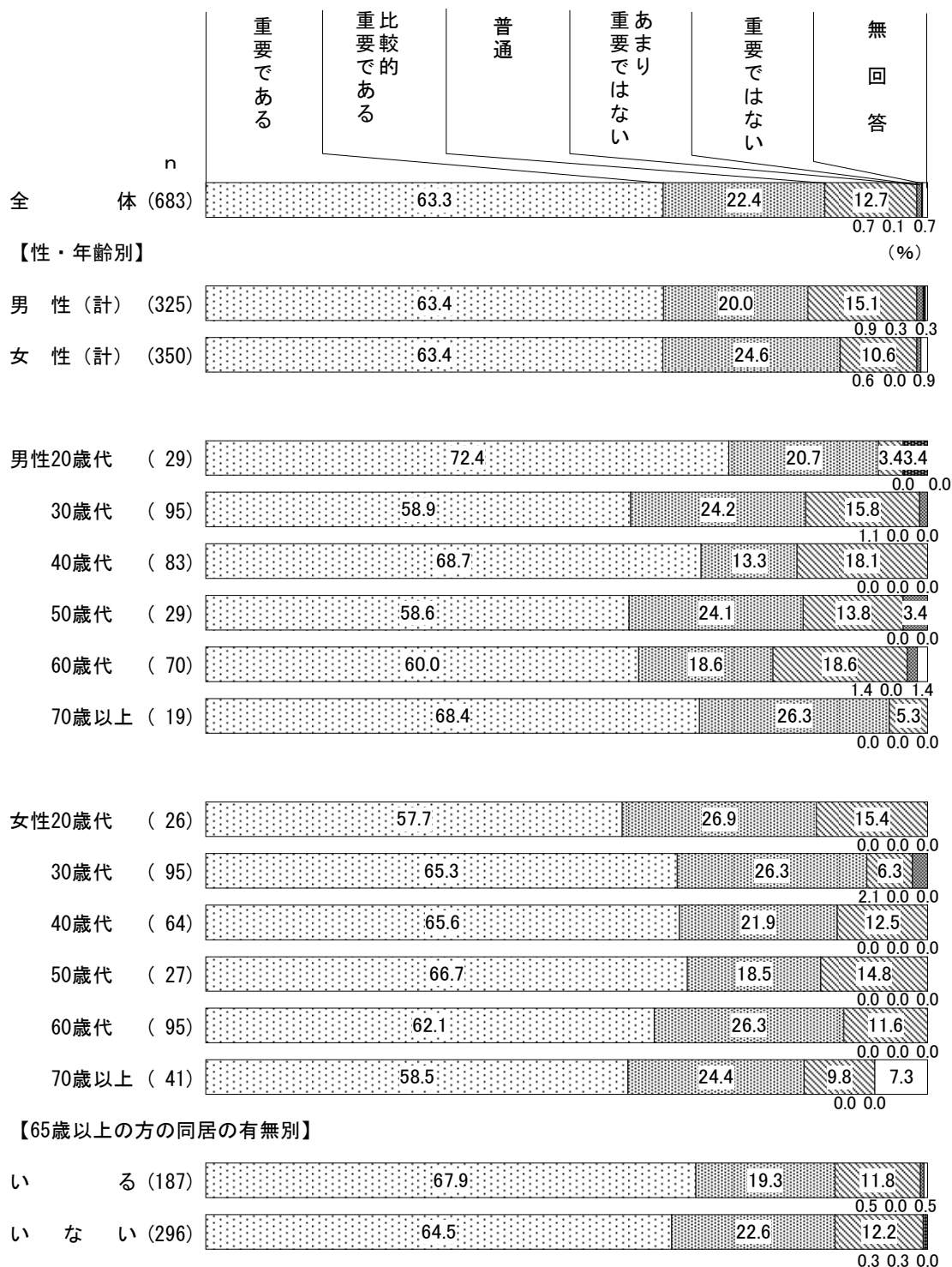


性別でみると、《重要である》は、女性（88.0%）の方が男性（83.4%）より4.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では70歳以上（94.7%）と20歳代（93.1%）が9割台半ばで高く、女性では30歳代（91.6%）が9割を超え高くなっている。

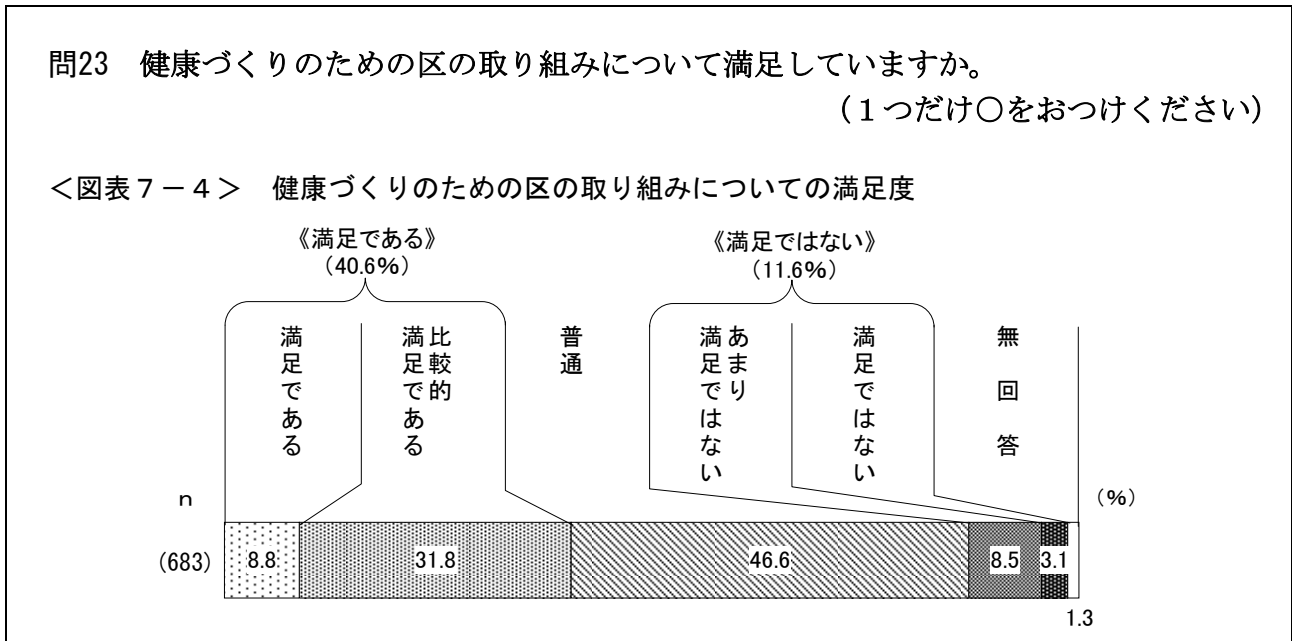
65歳以上の方の同居の有無別では、大きな違いはみられない。（図表7-3）

＜図表7-3＞ 健康づくりについての重要度 性別／性・年齢別、同居者の有無別



(2) 健康づくりのための区の取り組みについての満足度

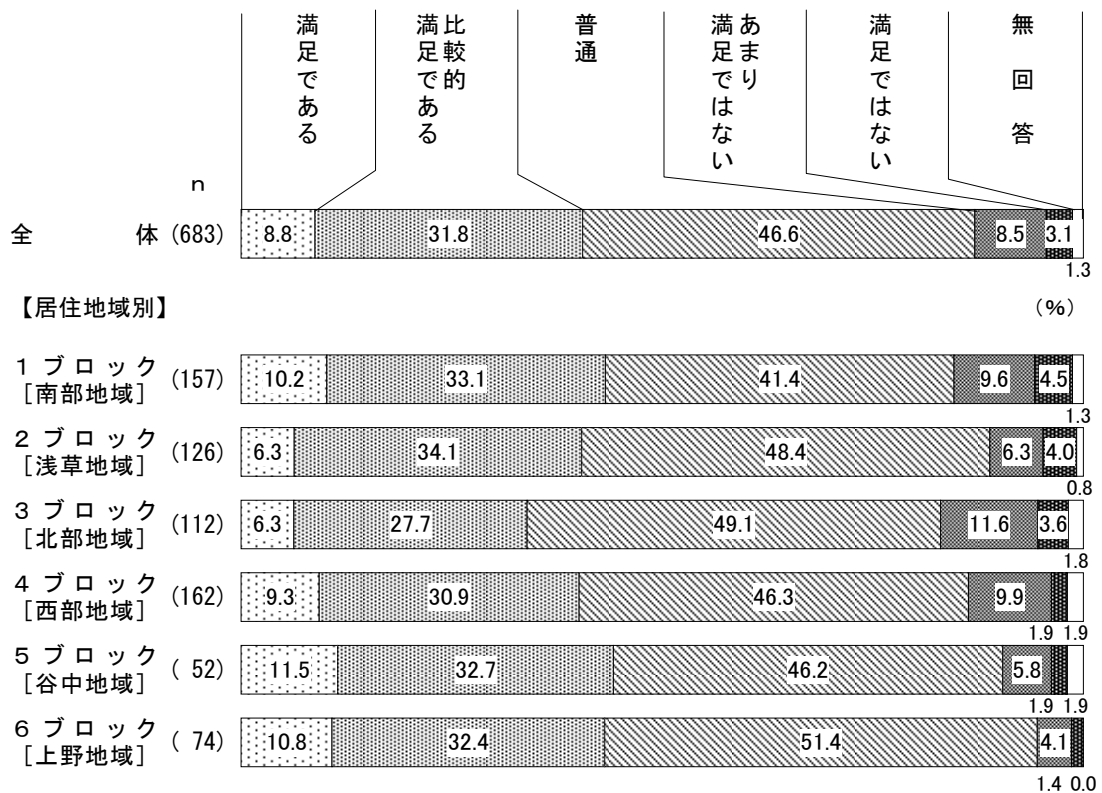
◇「普通」が4割台半ば、「満足である」は4割



健康づくりのための区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、「普通」(46.6%)が4割台半ばで最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は40.6%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は11.6%である。(図表7-4)

居住地域別でみると、《満足である》は、5ブロック[谷中地域](44.2%)が4割台半ばで最も高くなっている。(図表7-5)

<図表7-5> 健康づくりのための区の取り組みについての満足度 居住地域別

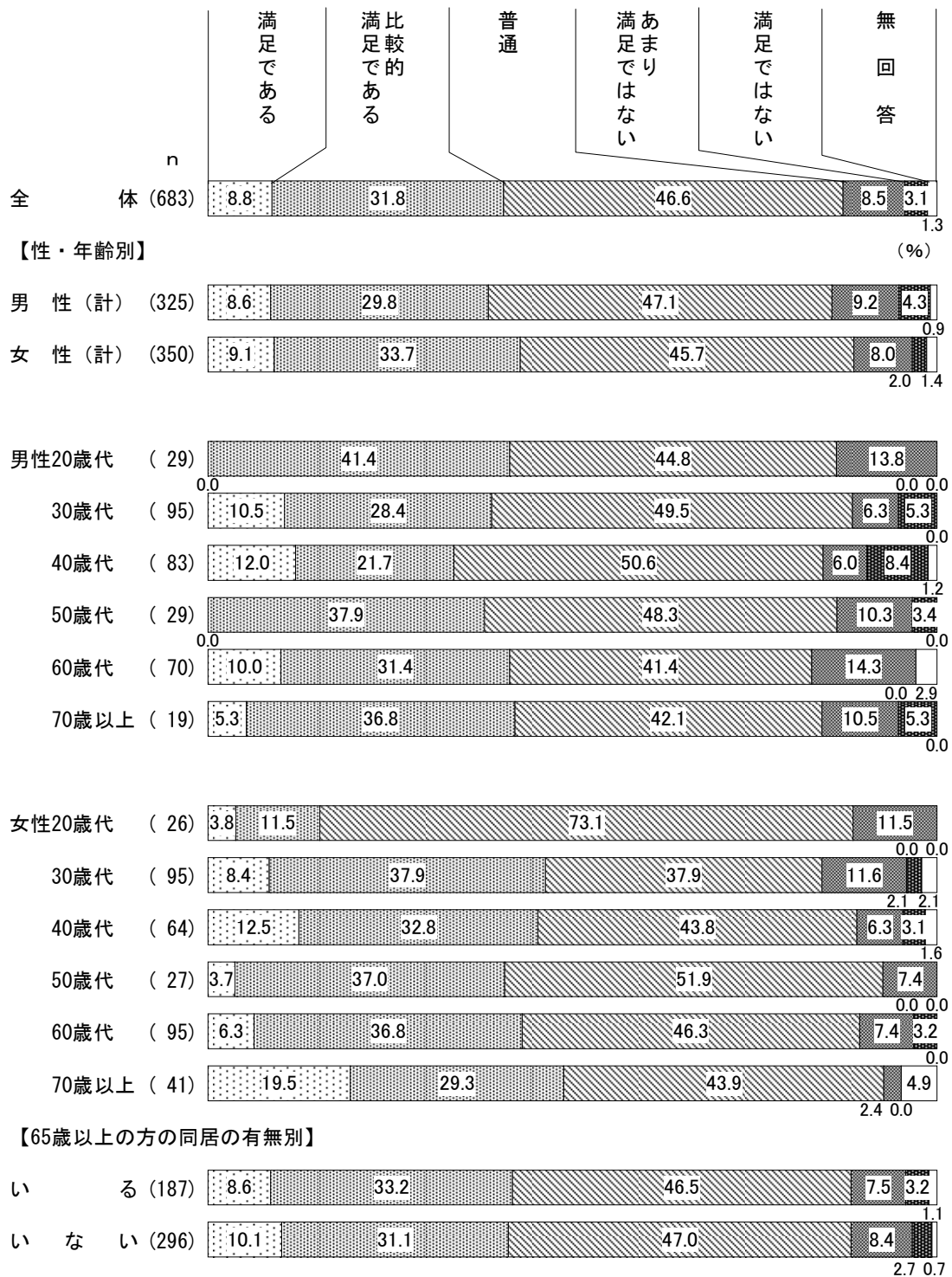


性別でみると、《満足である》は、女性（42.8%）の方が男性（38.4%）より4.4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では70歳以上（42.1%）、20歳代（41.4%）、60歳代（41.4%）が4割を超え、女性では70歳以上（48.8%）が約5割で最も高くなっている。

65歳以上の方の同居の有無別でみると、大きな違いはみられない。（図表7-6）

＜図表7-6＞ 健康づくりのための区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別、同居者の有無別



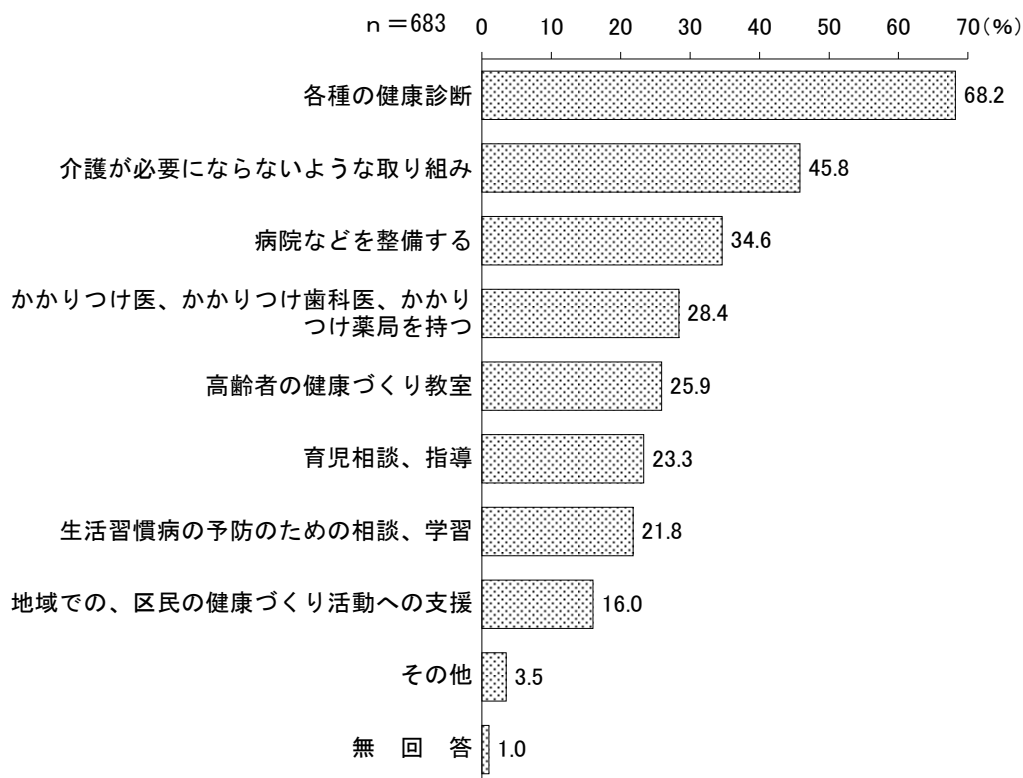
(3) 健康づくりのための取り組みとして大切なもの

◇「各種の健康診断」が約7割

問24 健康づくりのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

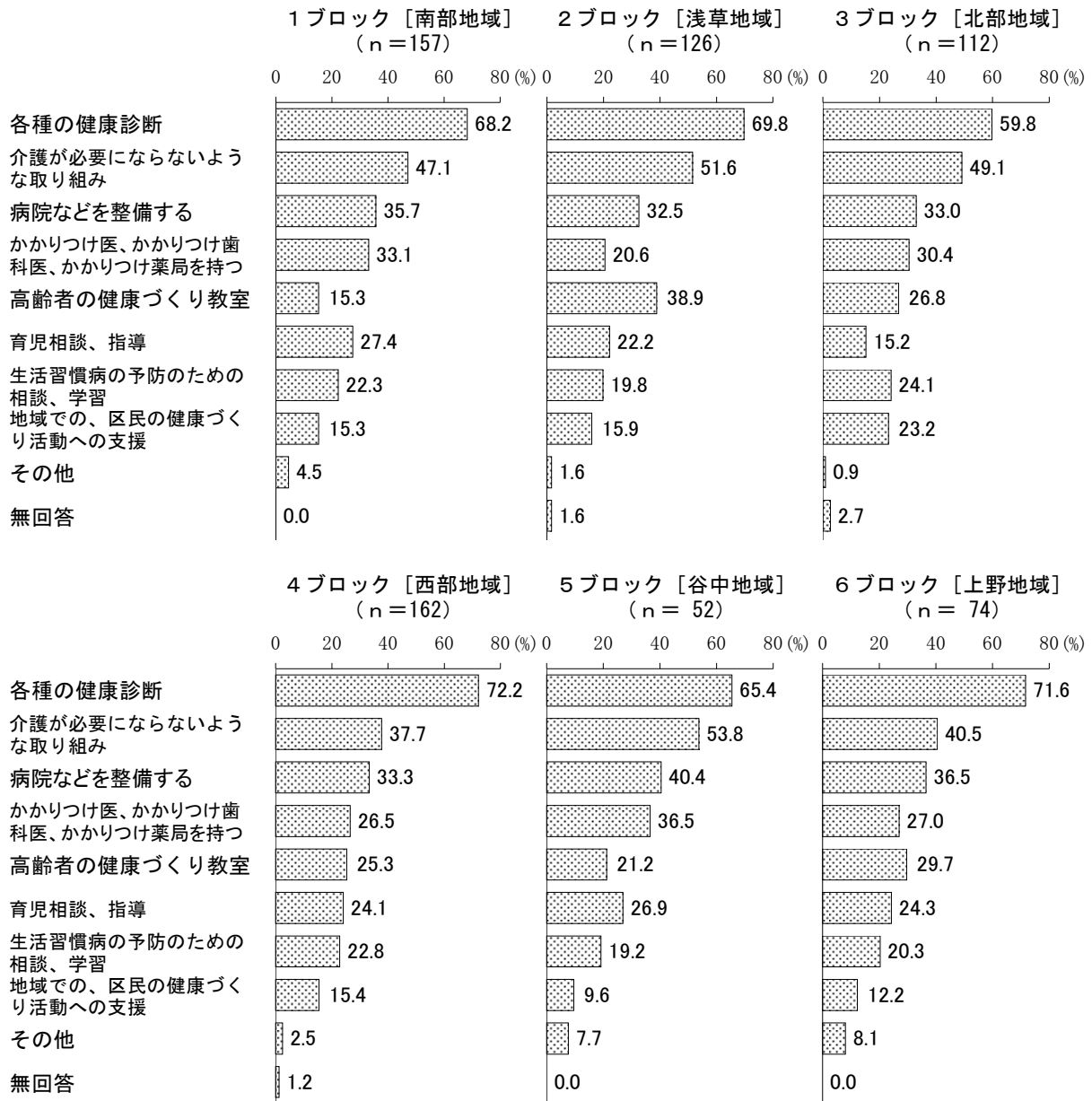
<図表7-7> 健康づくりのための取り組みとして大切なもの(複数回答)



健康づくりのための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「各種の健康診断」(68.2%)が約7割で最も高くなっている。次いで「介護が必要にならないような取り組み」(45.8%)が4割台半ば、「病院などを整備する」(34.6%)が3割台半ばとなっている。(図表7-7)

居住地域別でみると、いずれも「各種の健康診断」が高く、中でも、4ブロック [西部地域] (72.2%) と6ブロック [上野地域] (71.6%) は7割を超えている。「介護が必要にならないような取り組み」は、5ブロック [谷中地域] (53.8%) で5割台半ばとなっている。(図表7-8)

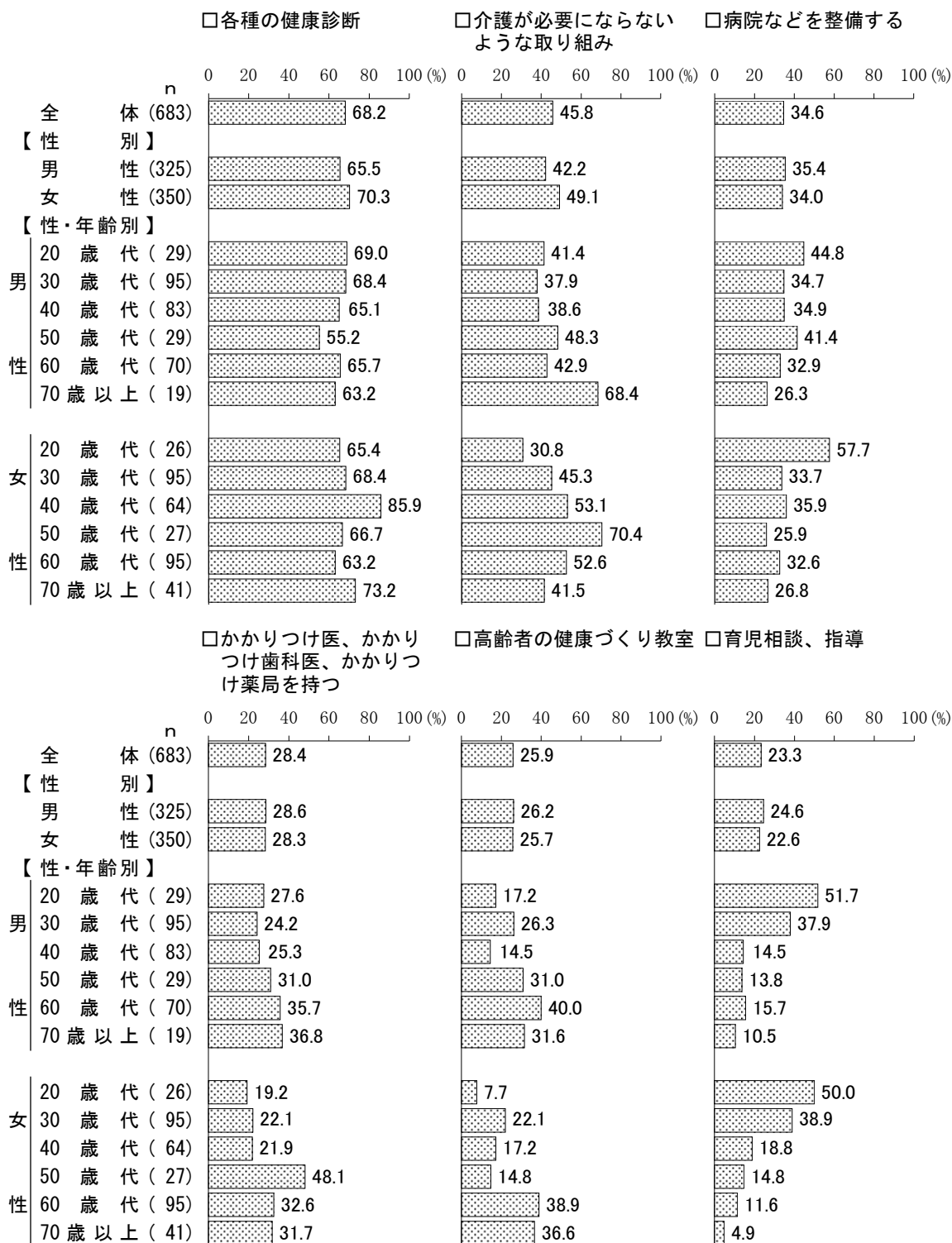
<図表7-8> 健康づくりのための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「介護が必要にならないような取り組み」は、女性（49.1%）の方が男性（42.2%）よりも6.9ポイント高くなっている。

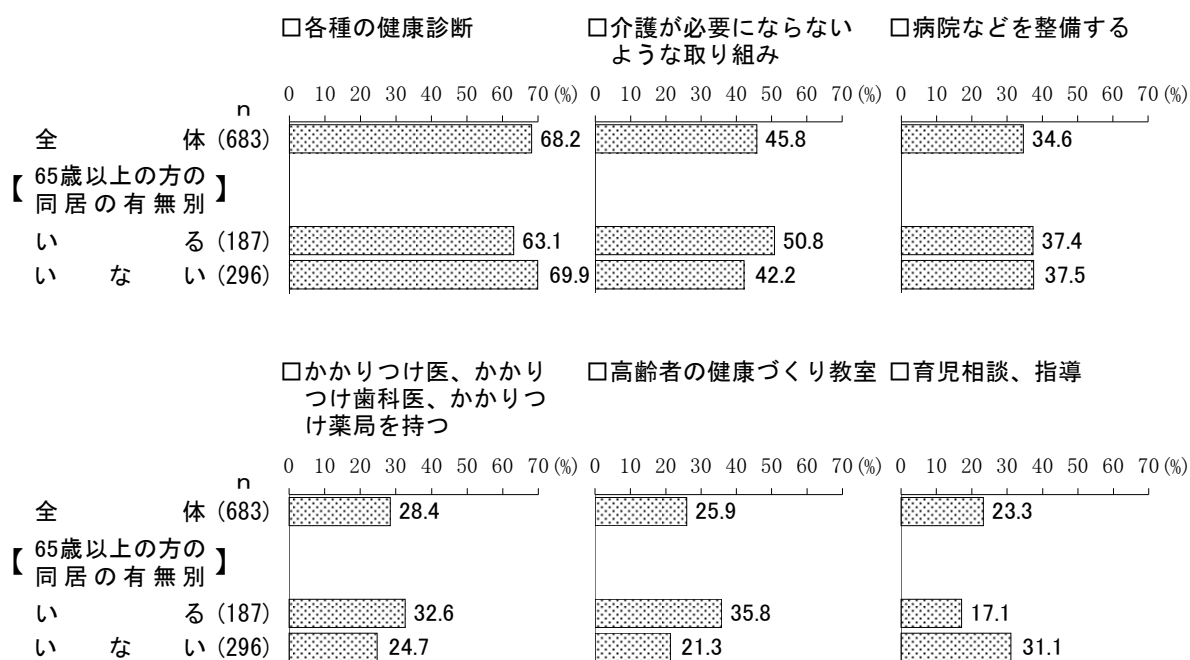
性・年齢別でみると、「各種の健康診断」は、女性の40歳代（85.9%）が8割台半ばで最も高く、次いで70歳以上（73.2%）が7割を超える。また、「介護が必要にならないような取り組み」は、女性の50歳代（70.4%）で7割となっている。「病院などを整備する」は、女性の20歳代（57.7%）で約6割と最も高くなっている。（図表7-9）

<図表7-9> 健康づくりのための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別（上位6項目）



65歳以上の方の同居の有無別でみると、「高齢者の健康づくり教室」は、65歳以上の方がいる人（35.8%）がいない人（21.3%）よりも14.5ポイント高く、「介護が必要にならないような取り組み」では、65歳以上の方がいる人（50.8%）はいない人（42.2%）を8.6ポイント、「かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持つ」では、65歳以上の方がいる人（32.6%）はいない人（24.7%）を7.9ポイント、それぞれ上回る。逆に、「育児相談、指導」は65歳以上の方がいない人（31.1%）がいる人（17.1%）よりも14.0ポイント高く、「各種の健康診断」は、65歳以上の方がいない人（69.9%）がいる人（63.1%）よりも6.8ポイント高くなっている。（図表7-10）

＜図表7-10＞ 健康づくりのための取り組みとして大切なもの 同居者の有無別（上位6項目）



8. 福祉のための取り組み

◆ 高齢の方、障害のある方など、すべての区民が、住みなれた地域で、安心して日常生活を送ることが大切です。

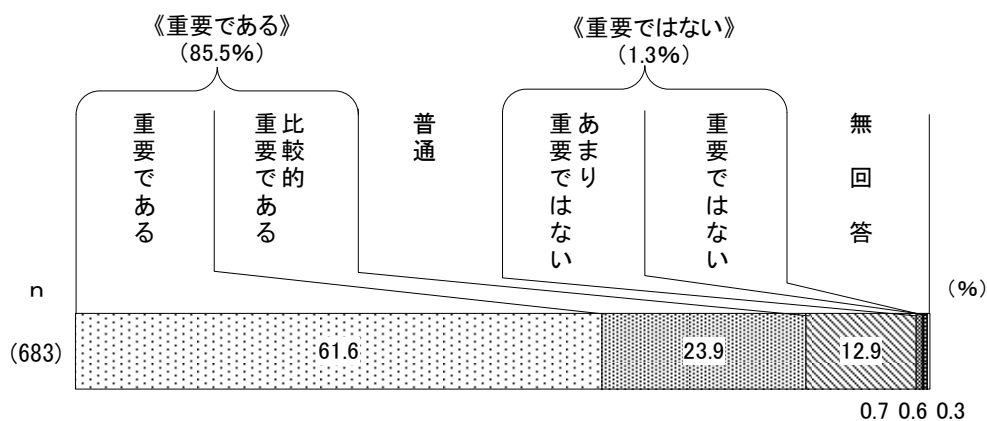
そのため、区では、総合的な相談の充実、在宅サービスや施設サービスの質と量の確保、地域の支えあいの活動への支援などを行っています。

(1) 福祉についての重要度

◇ 《重要である》が8割台半ば

問25 福祉についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

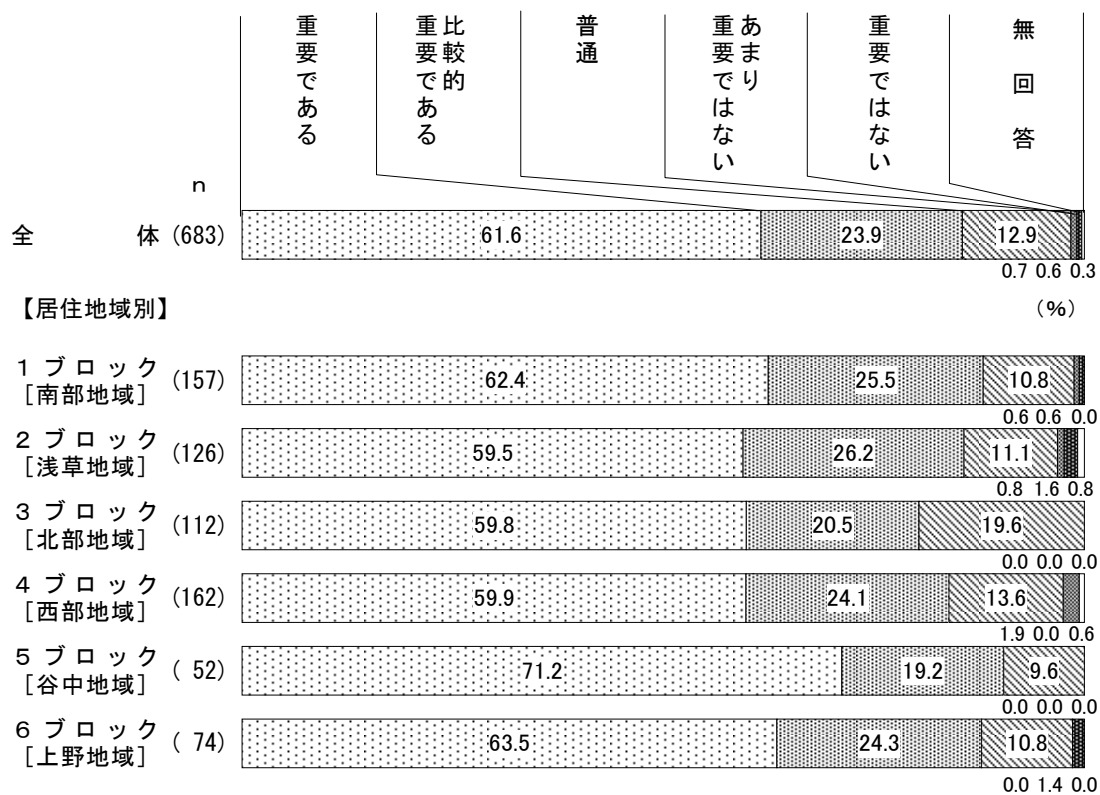
<図表 8-1> 福祉についての重要度



福祉についての重要度を聞いたところ、「重要である」(61.6%)が6割を超え最も高く、これに「比較的重要な」(23.9%)を合わせると、《重要である》は85.5%で8割台半ばとなっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は1.3%である。(図表8-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、5ブロック[谷中地域] (90.4%) が9割で最も高くなっている。(図表8-2)

＜図表8-2＞ 福祉についての重要度 居住地域別

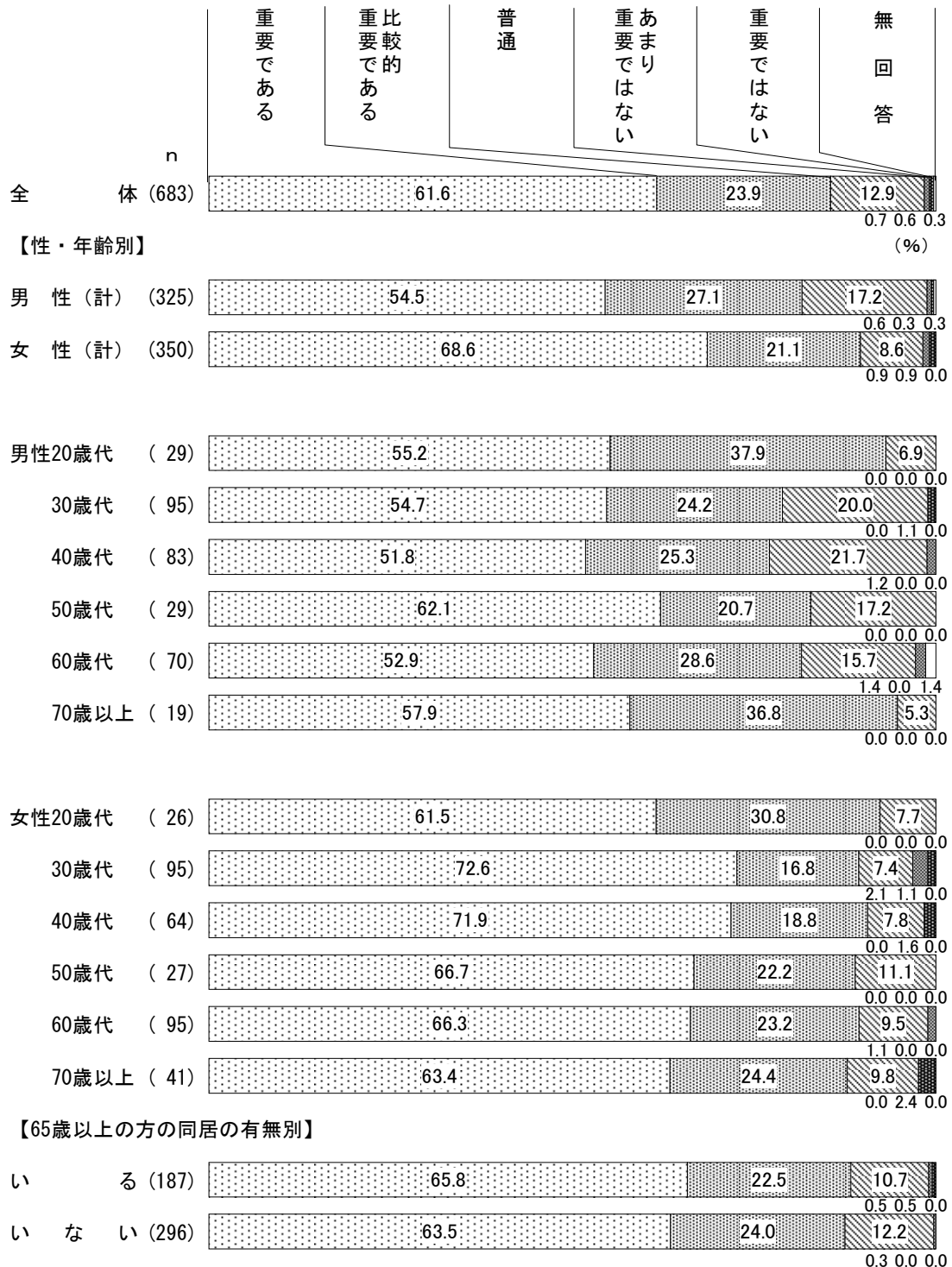


性別でみると、《重要である》は、女性（89.7%）の方が男性（81.6%）より8.1ポイント高く、より強い回答である「重要である」でも、女性（68.6%）の方が男性（54.5%）よりも14.1ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では70歳以上（94.7%）と20歳代（93.1%）が9割台半ばで高く、女性では20歳代（92.3%）が9割を超え、次いで40歳代（90.7%）が9割である。なお、より強い回答である「重要である」に限ると、女性の30歳代（72.6%）と40歳代（71.9%）が7割を超えて高くなっている。

65歳以上の方の同居の有無別でみると、大きな違いはみられない。（図表8-3）

＜図表8-3＞ 福祉についての重要度 性別／性・年齢別、同居者の有無別



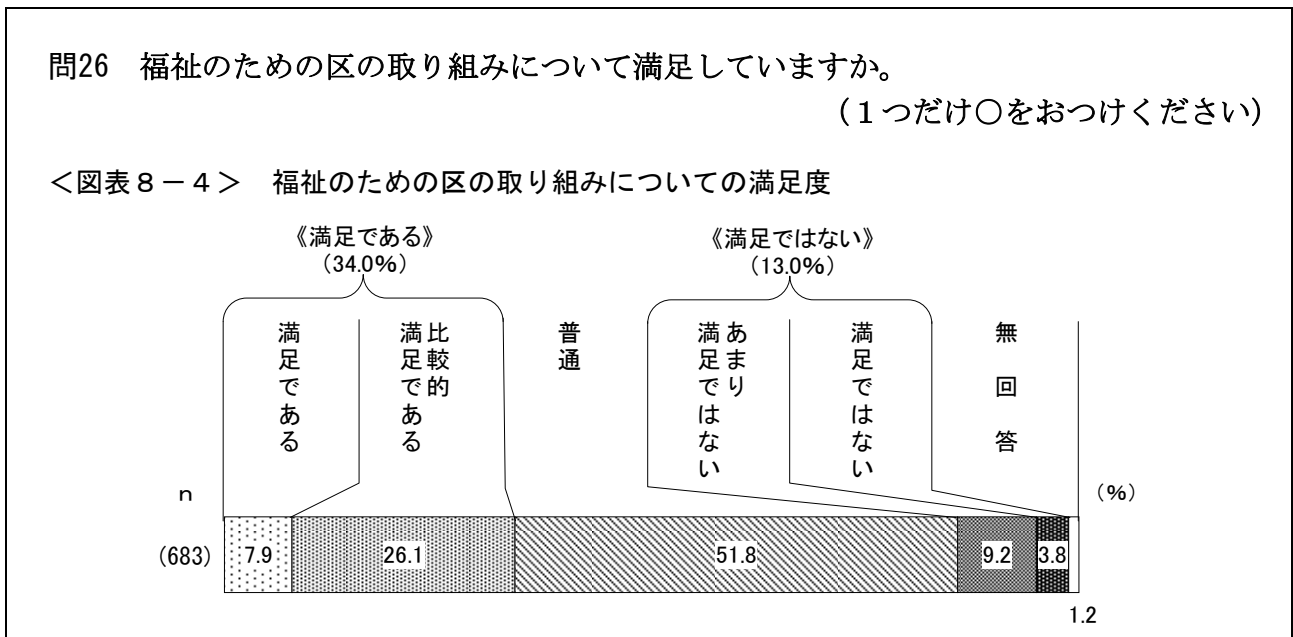
(2) 福祉のための区の取り組みについての満足度

◇「普通」が5割を超える

問26 福祉のための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

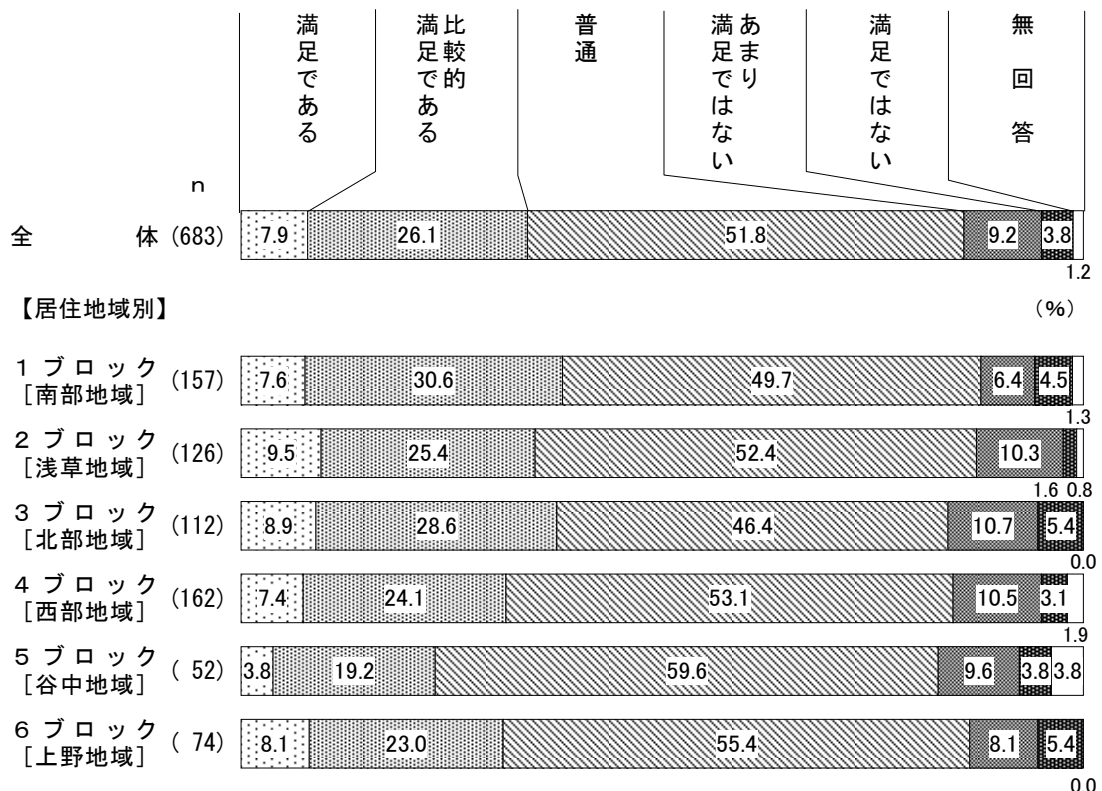
<図表8-4> 福祉のための区の取り組みについての満足度



福祉のための区の取り組みに対する満足度を聞いたところ、「普通」(51.8%)が5割を超え最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は34.0%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は13.0%となっている。(図表8-4)

居住地域別でみると、《満足である》は、1ブロック[南部地域](38.2%)と3ブロック[北部地域](37.5%)が約4割で高くなっている。(図表8-5)

<図表8-5> 福祉のための区の取り組みについての満足度 居住地域別

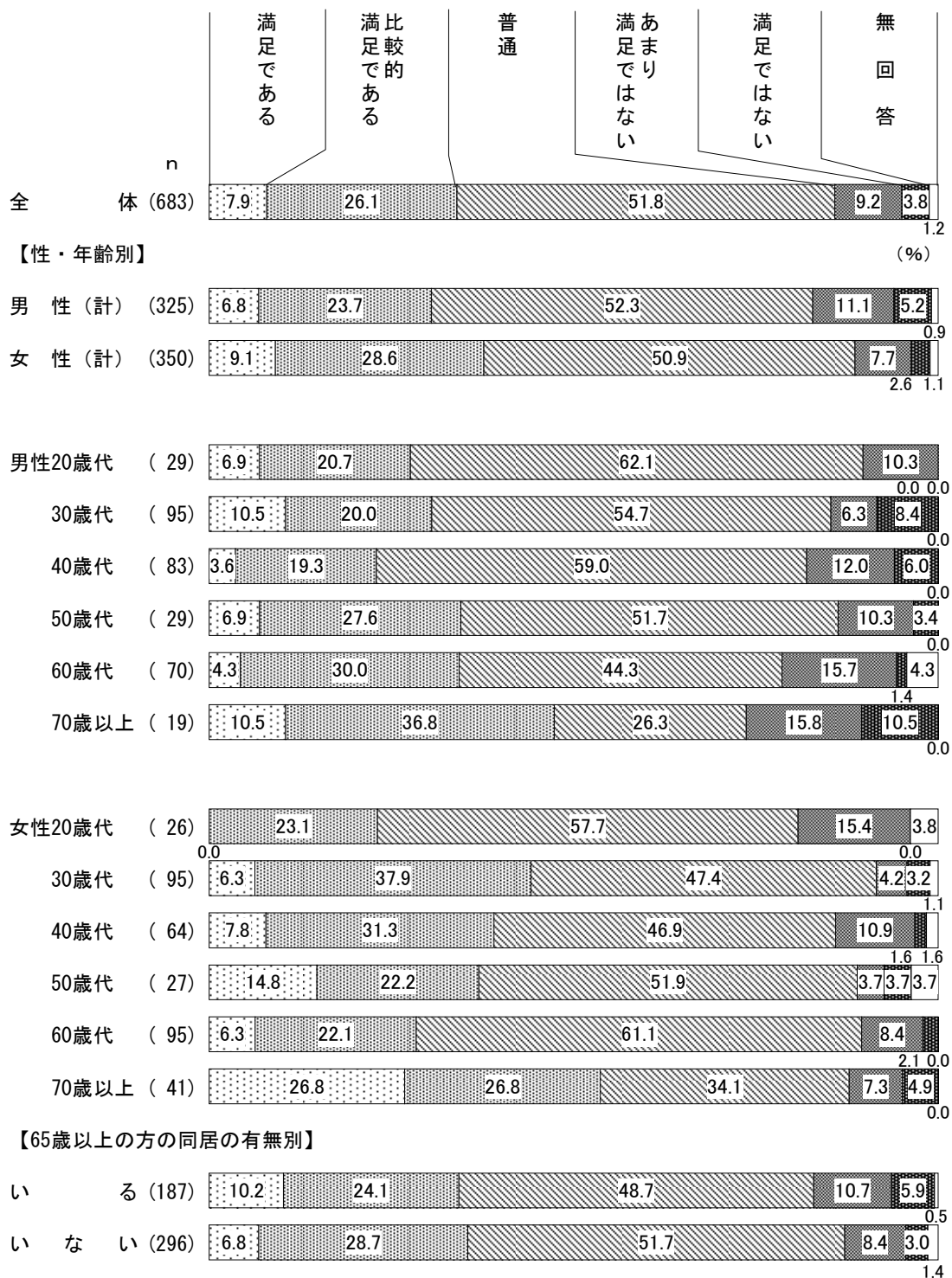


性別でみると、《満足である》は、女性（37.7%）の方が男性（30.5%）より7.2ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《満足である》は、女性の70歳以上（53.6%）が5割台半ばで最も高くなっている。一方、《満足ではない》は、男性の70歳以上（26.3%）が2割台半ばと高くなっている。

65歳以上の方の同居の有無別でみると、《満足である》の割合には大きな差がみられないが、《満足ではない》は、65歳以上の方がいる人（16.6%）の方がいない人（11.4%）より5.2ポイント高くなっている。（図表8-6）

＜図表8-6＞ 福祉のための区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別、同居者の有無別



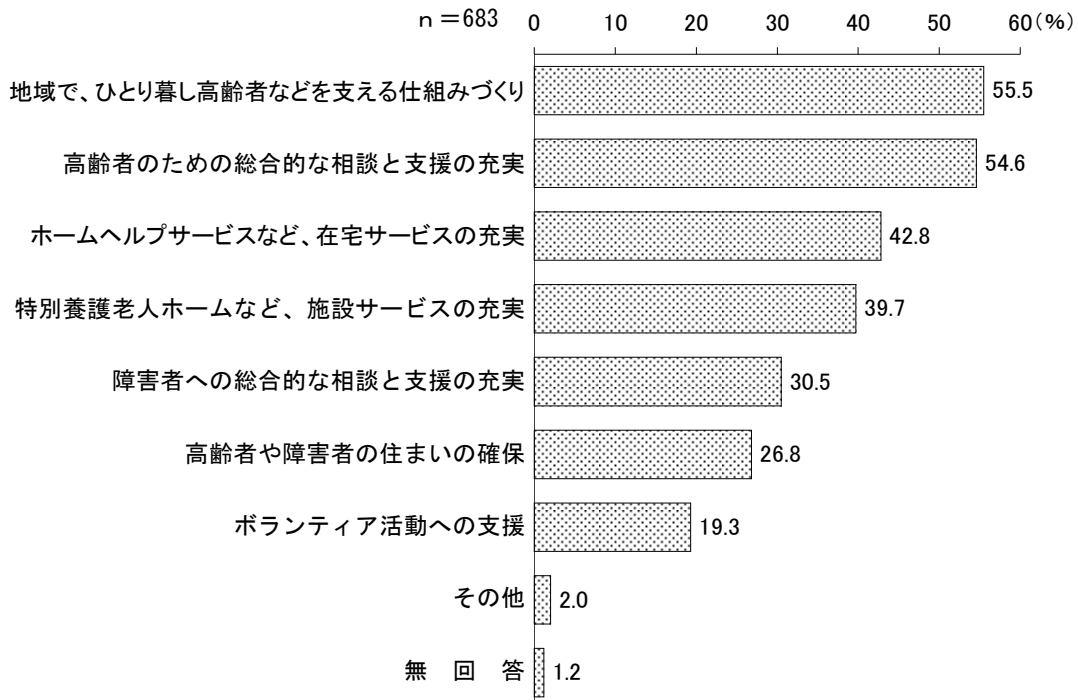
(3) 福祉のための取り組みとして大切なもの

◇「地域で支える仕組み」と「総合的な相談と支援」が5割台半ば

問27 福祉のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

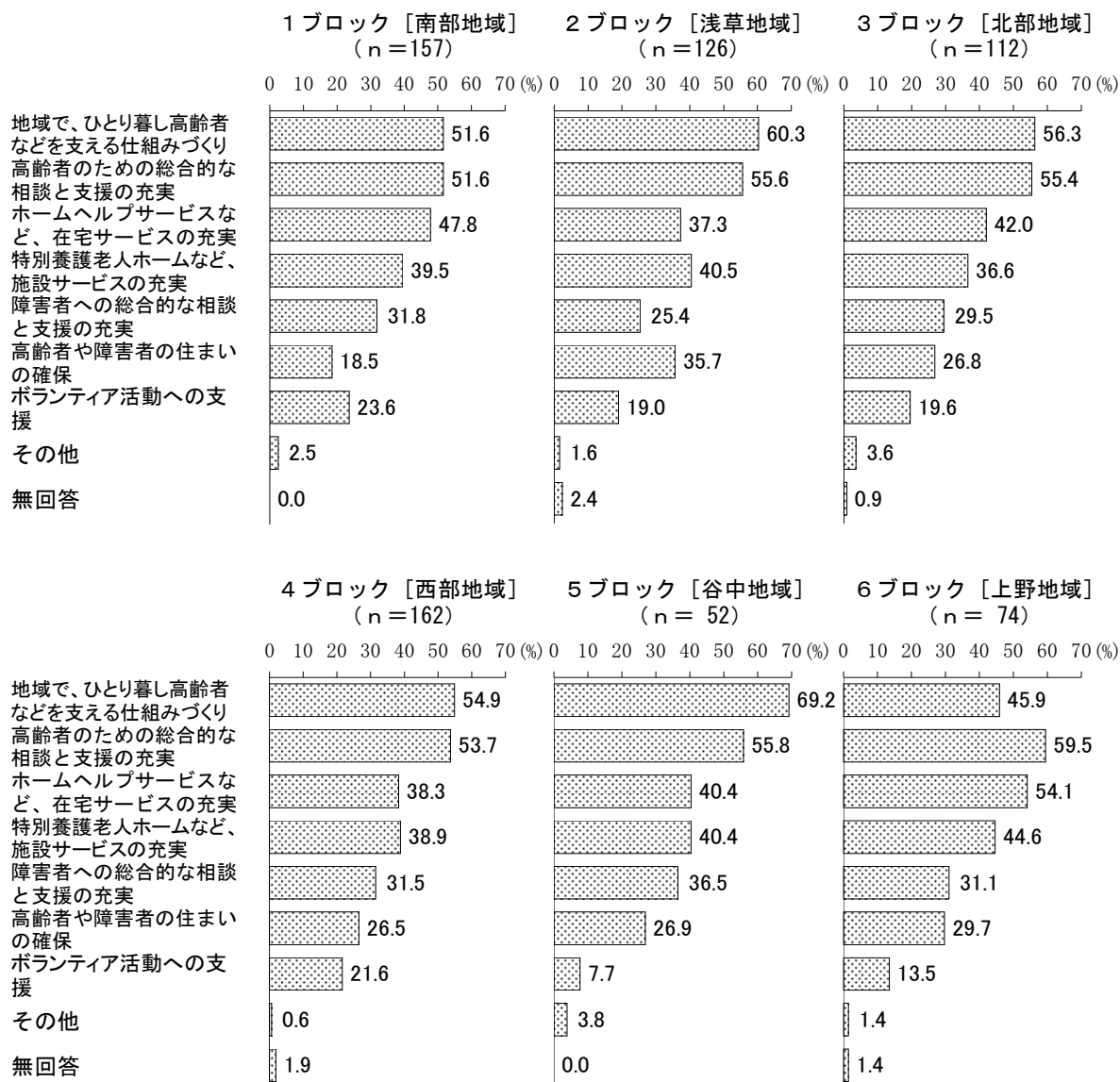
<図表8-7> 福祉のための取り組みとして大切なもの(複数回答)



福祉のための取り組みとして大切なものについて聞いたところ、「地域で、ひとり暮らし高齢者などを支える仕組みづくり」(55.5%)と「高齢者のための総合的な相談と支援の充実」(54.6%)が5割台半ばで並び高くなっている。次いで「ホームヘルプサービスなど、在宅サービスの充実」(42.8%)が4割を超えている。(図表8-7)

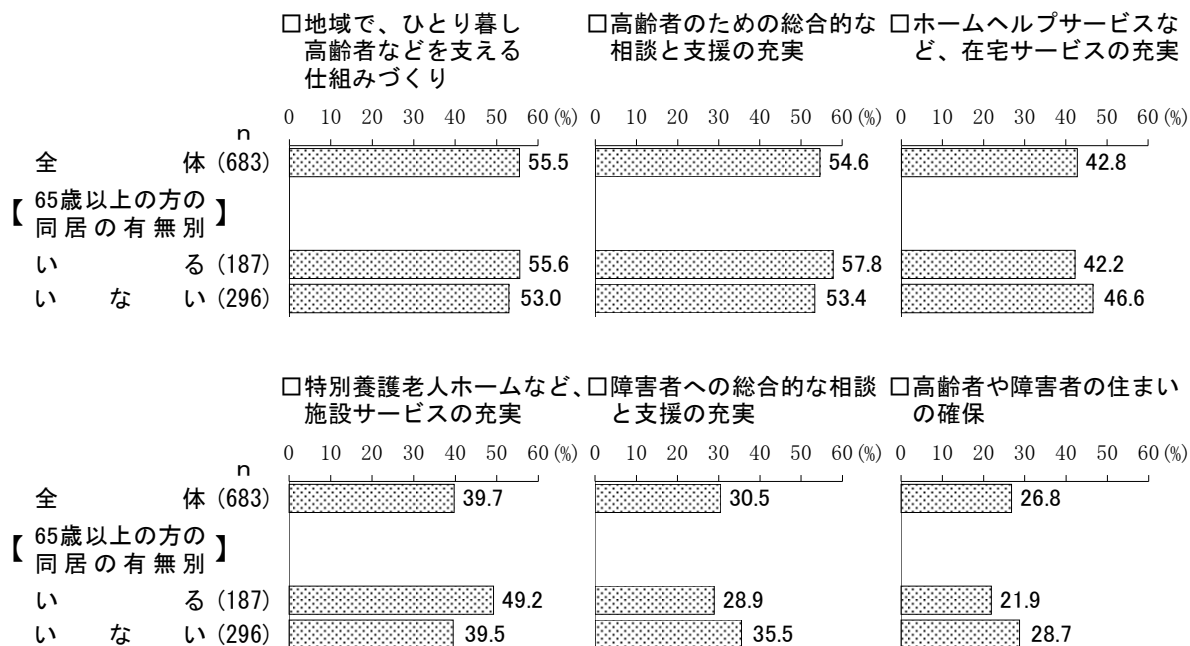
居住地域別でみると、「地域で、ひとり暮らし高齢者などを支える仕組みづくり」は、5ブロック[谷中地域] (69.2%) が約7割で最も高く、次いで2ブロック[浅草地域] (60.3%) が6割となっている。「高齢者のための総合的な相談と支援の充実」は、6ブロック[上野地域] (59.5%) が約6割で最も高くなっている。「ホームヘルプサービスなど、在宅サービスの充実」でも、6ブロック[上野地域] (54.1%) が5割台半ばと最も高くなっている。(図表8-8)

<図表8-8> 福祉のための取り組みとして大切なもの 居住地域別



65歳以上の方の同居の有無別でみると、「特別養護老人ホームなど、施設サービスの充実」は、65歳以上の方がいる人（49.2%）がいない人（39.5%）を9.7ポイント上回っているが、「高齢者や障害者の住まいの確保」は、65歳以上の方がいない人（28.7%）がいる人（21.9%）を6.8ポイント上回っている。「障害者への総合的な相談と支援の充実」は、65歳以上の方がいない人（35.5%）がいる人（28.9%）を6.6ポイント上回っている。（図表8-10）

＜図表8-10＞ 福祉のための取り組みとして大切なもの 同居者の有無別（上位6項目）



9. 子育てのための取り組み

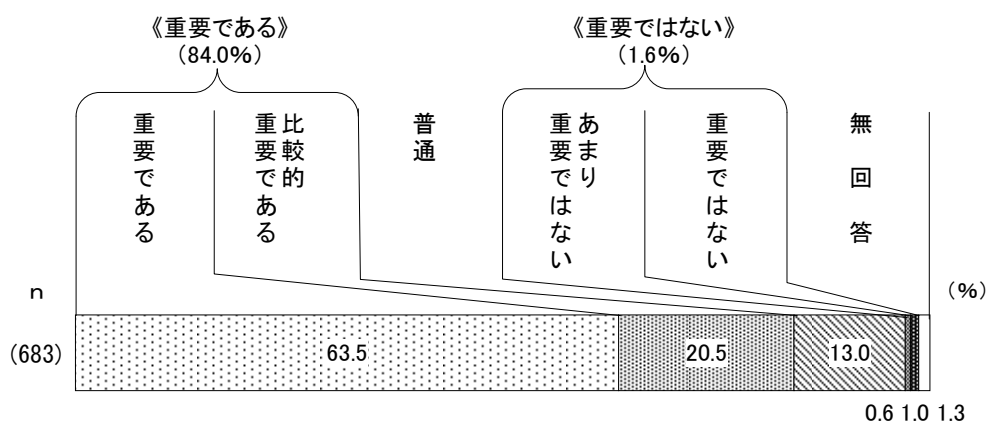
◆ 少子化が進行する中、家庭や地域での子育てを積極的に支援していくことが大切です。
 そのため、区では、若い世代の育児不安の解消、地域での子育て支援、保育園の整備、子どもの医療費の助成などを行っています。

(1) 子育てについての重要度

◇ 《重要である》が8割台半ば

問28 子育てについてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

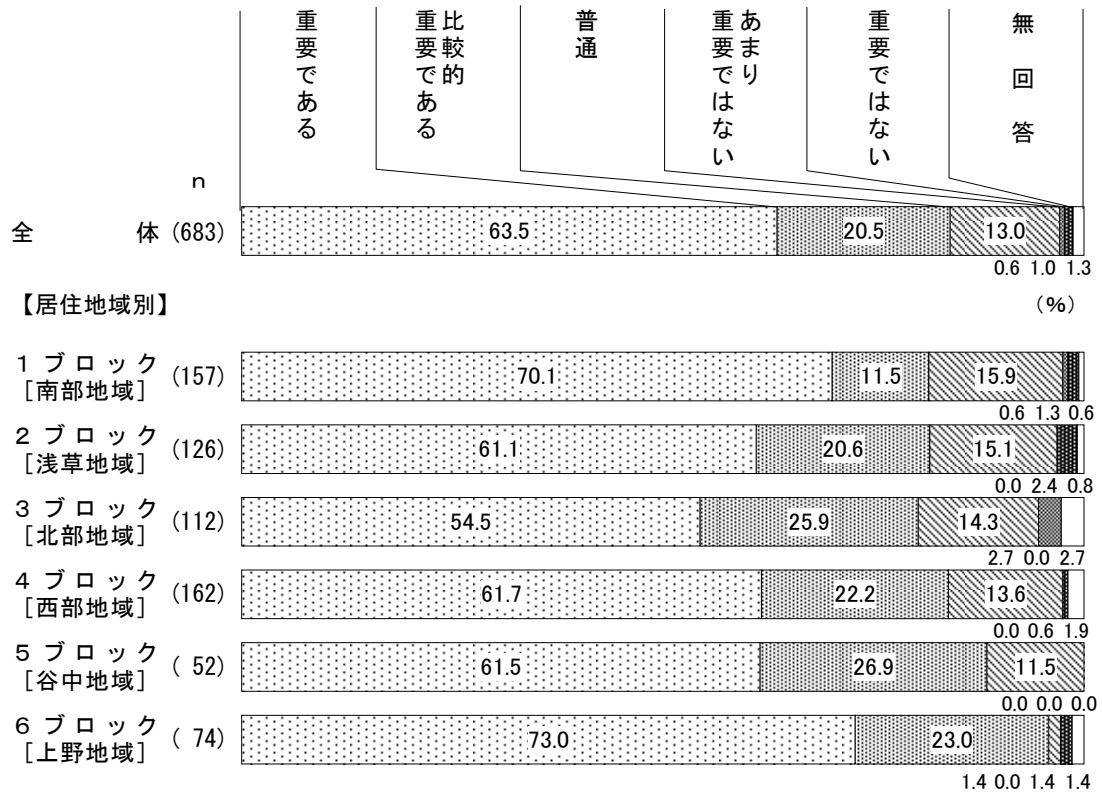
<図表9-1> 子育てについての重要度



子育てについての重要度を聞いたところ、「重要である」(63.5%)が6割台半ばで最も高くなっている。これに「比較的である」(20.5%)を合わせると、《重要である》は84.0%で8割台半ばとなっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は1.6%である。
 (図表9-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、6ブロック[上野地域]（96.0%）が9割台半ばで最も高くなっている。（図表9-2）

＜図表9-2＞ 子育てについての重要度 居住地域別

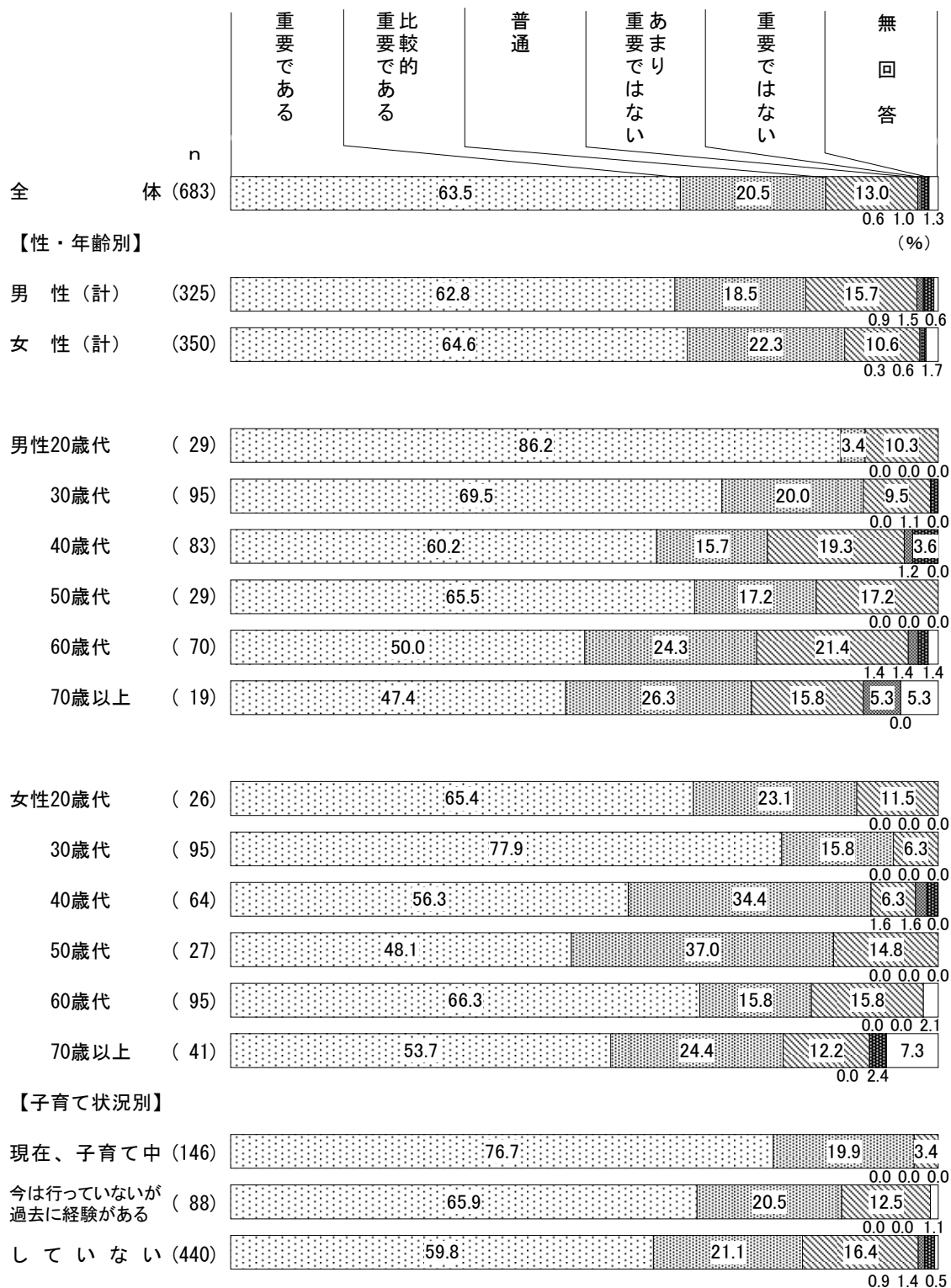


性別でみると、《重要である》は、女性（86.9%）の方が男性（81.3%）より5.6ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では20歳代（89.6%）が約9割で最も高く、女性では30歳代（93.7%）が9割台半ばで最も高くなっている。より強い回答である「重要である」に限れば、男性の20歳代（86.2%）は8割台半ばで最も高い。

子育て状況別でみると、《重要である》は、現在、子育て中の人（96.6%）が9割台半ばで最も高く、この層は、より強い回答である「重要である」（76.7%）に限ると、7割台半ばである。（図表9-3）

＜図表9-3＞ 子育てについての重要度 性別／性・年齢別、子育て状況別



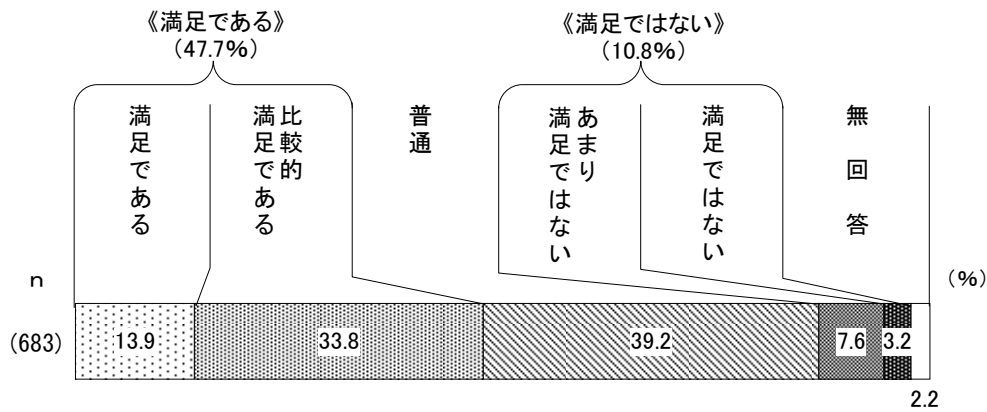
(2) 子育てのための区の取り組みについての満足度

◇ 《満足である》が約5割

問29 子育てのための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

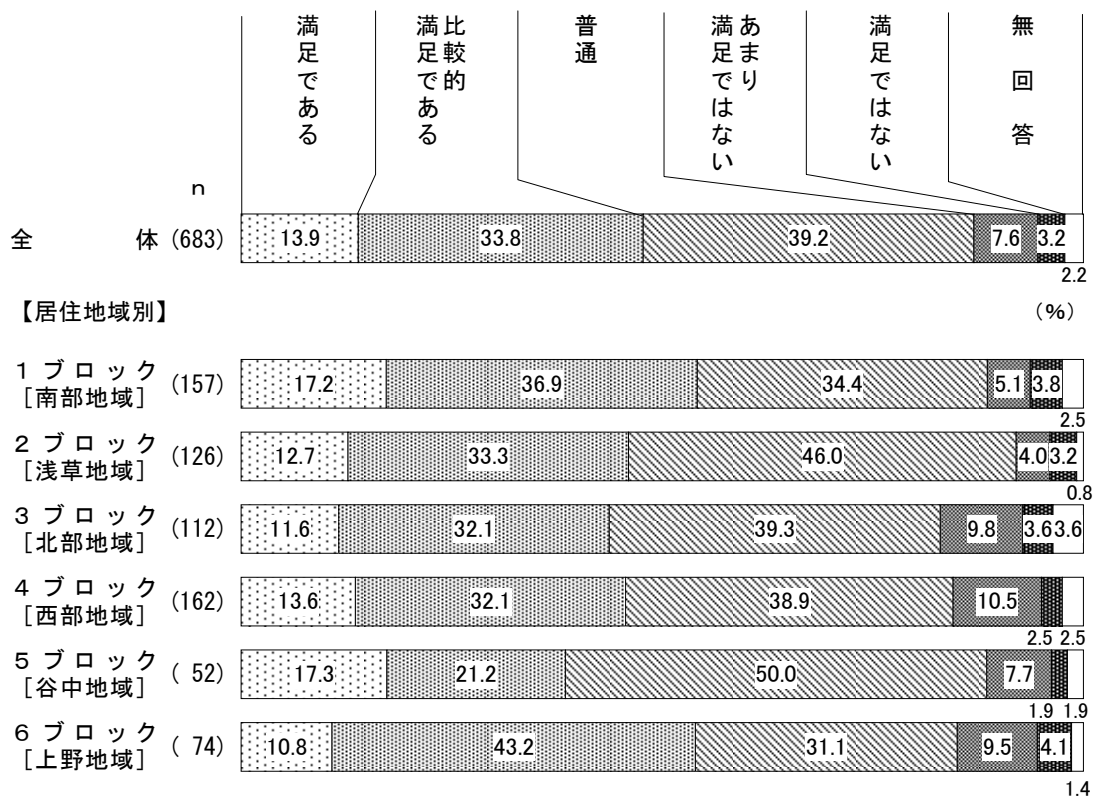
<図表9-4> 子育てのための区の取り組みについての満足度



子育てのための区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は47.7%で約5割となっている。一方、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は10.8%である。(図表9-4)

居住地域別でみると、《満足である》は、1ブロック[南部地域](54.1%)と6ブロック[上野地域](54.0%)が5割台半ばと高くなっている。(図表9-5)

<図表9-5> 子育てのための区の取り組みについての満足度 居住地域別



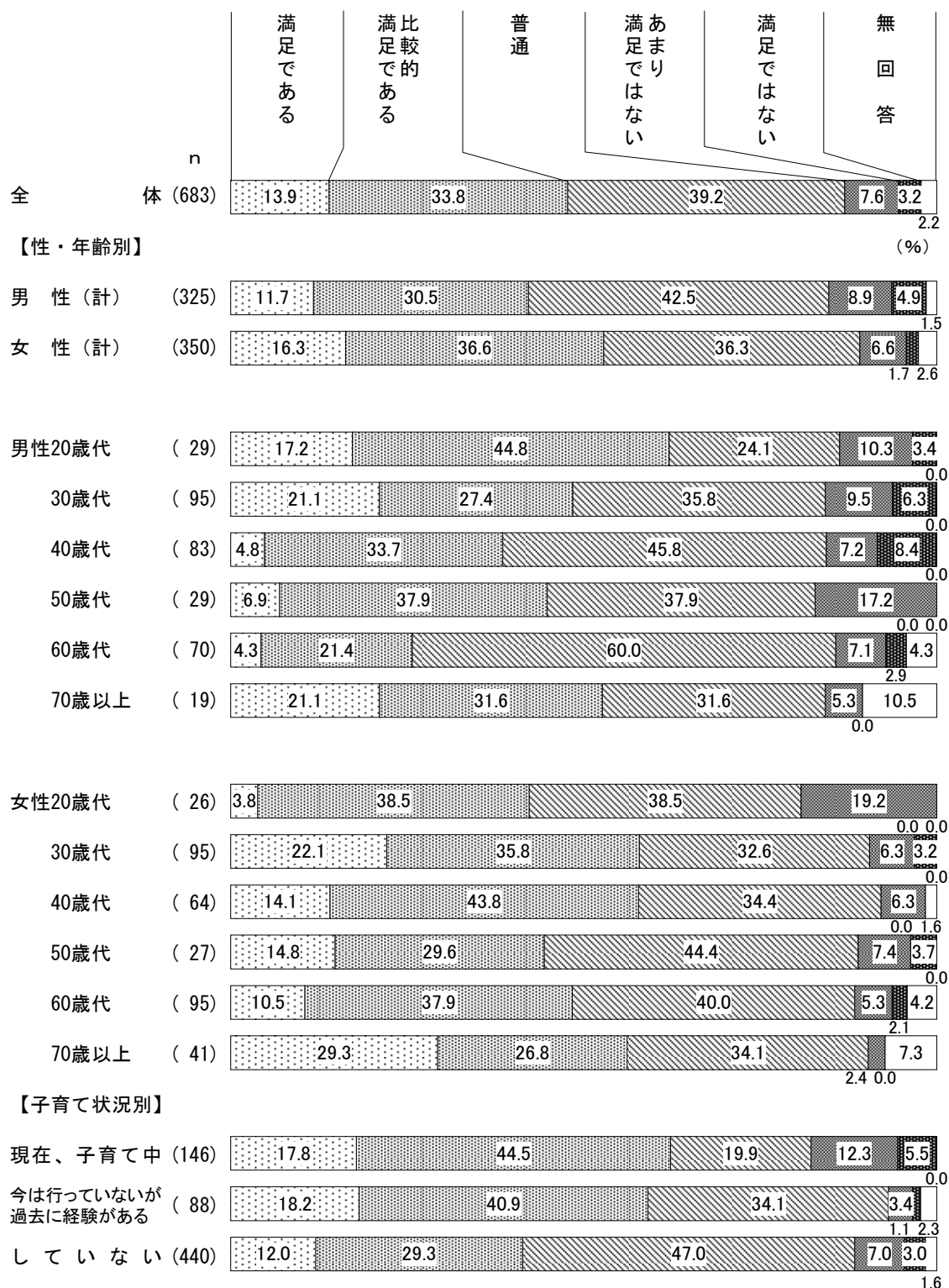
性別でみると、《満足である》は、女性（52.9%）の方が男性（42.2%）より10.7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では20歳代（62.0%）が6割を超え、女性では30歳代（57.9%）と40歳代（57.9%）が約6割で高くなっている。

子育て状況別でみると、《満足である》は、現在、子育て中の人（62.3%）が6割を超え最も高くなっている。しかし、《満足ではない》でも、現在、子育て中の人（17.8%）は約2割となっている。

（図表9-6）

<図表9-6> 子育てのための区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別、子育て状況別



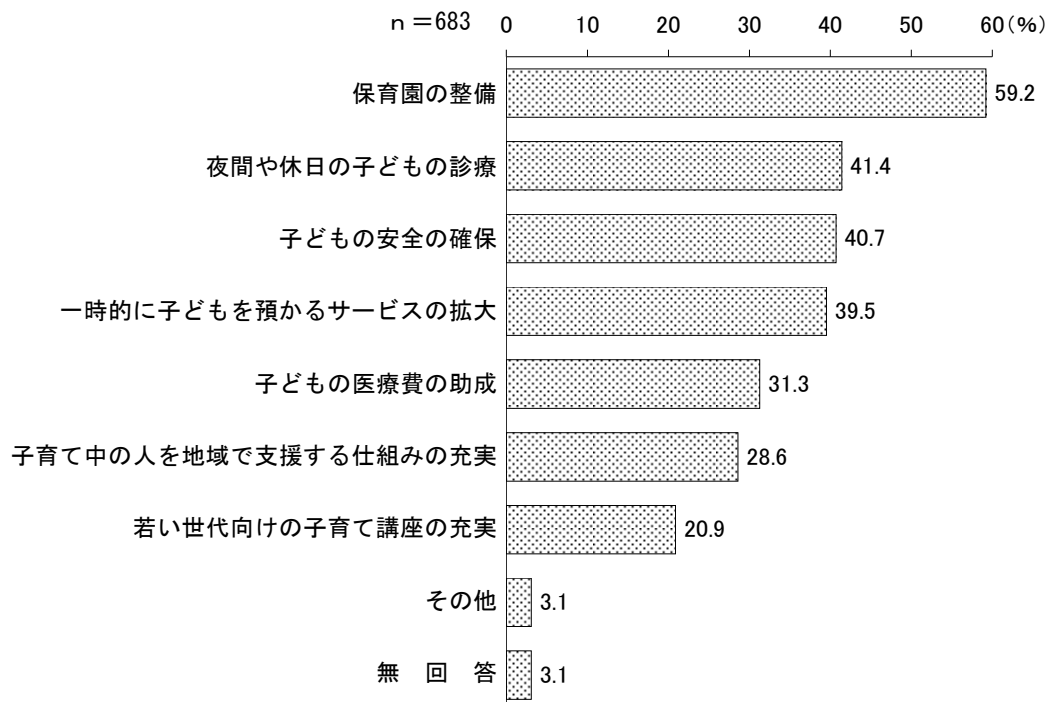
(3) 子育てのための取り組みとして大切なもの

◇「保育園の整備」が約6割

問30 子育てのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

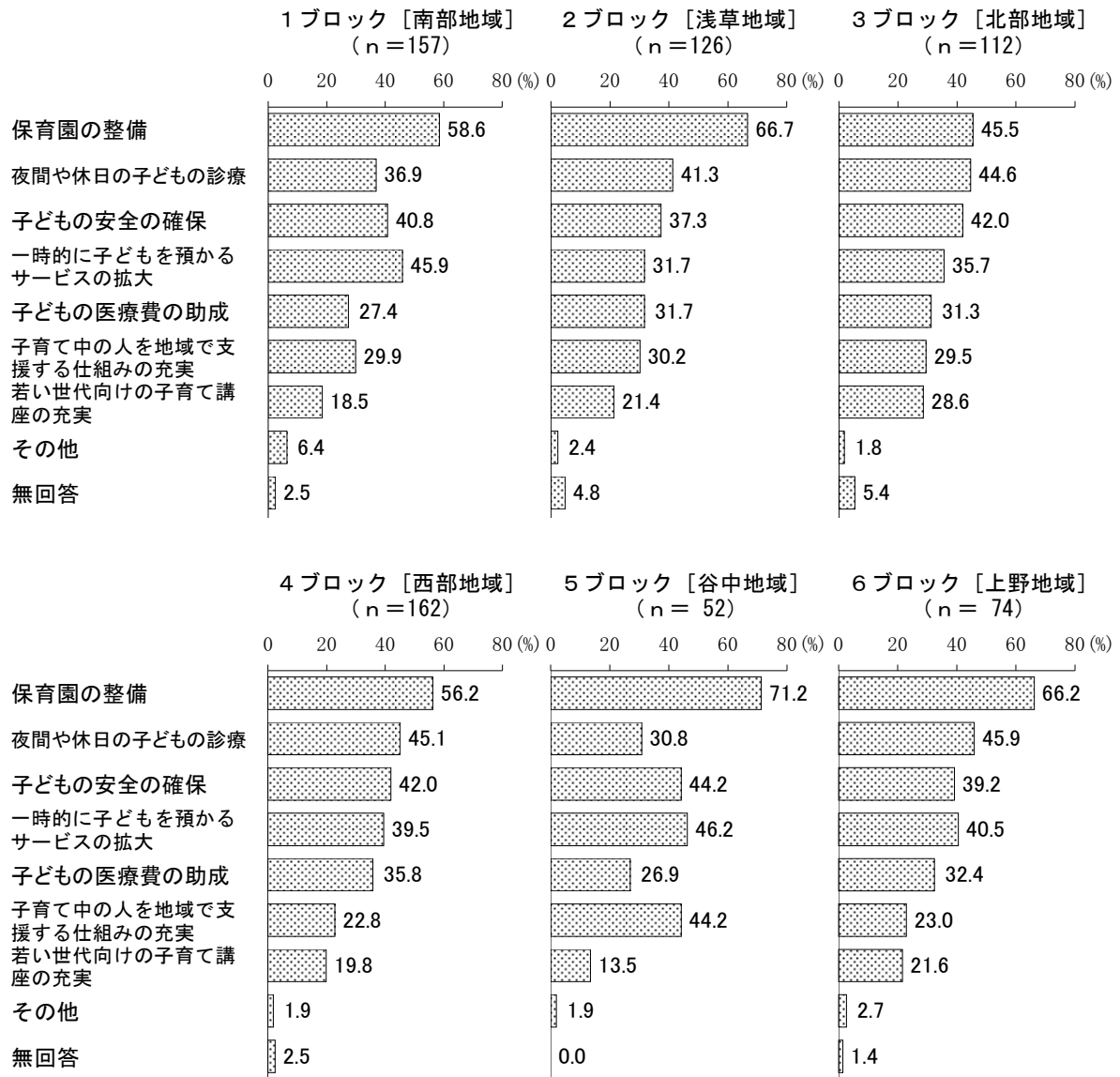
<図表9-7> 子育てのための取り組みとして大切なもの(複数回答)



子育てのための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「保育園の整備」(59.2%)が約6割で最も高く、次いで「夜間や休日の子どもの診療」(41.4%)、「子どもの安全の確保」(40.7%)となっている。(図表9-7)

居住地域別でみると、「保育園の整備」は、5ブロック[谷中地域] (71.2%) が7割を超え特に高く、「一時的に子どもを預かるサービスの拡大」は、5ブロック[谷中地域] (46.2%) と1ブロック[南部地域] (45.9%) が4割台半ばと高くなっている。「子育て中の人を地域で支援する仕組みの充実」は、5ブロック[谷中地域] (44.2%) が4割台半ばと高くなっている。(図表9-8)

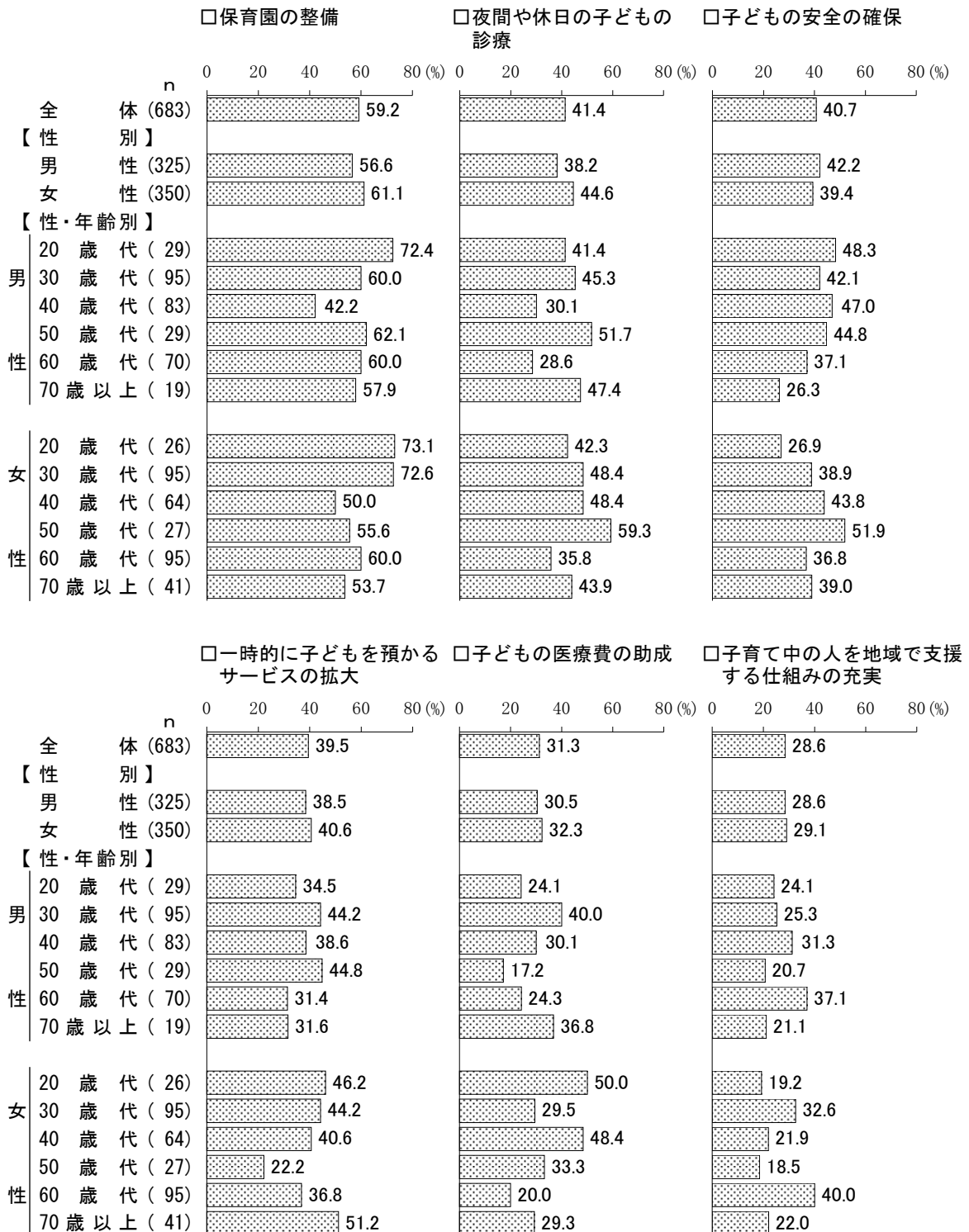
＜図表9-8＞ 子育てのための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「夜間や休日の子どもの診療」は、女性（44.6%）の方が男性（38.2%）よりも6.4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「保育園の整備」は女性の20歳代（73.1%）、30歳代（72.6%）、男性の20歳代（72.4%）が7割を超え高くなっている。また、「夜間や休日の子どもの診療」は、女性の50歳代（59.3%）が約6割で最も高くなっている。「子どもの安全の確保」は女性の50歳代（51.9%）が5割を超え高くなっている。（図表9-9）

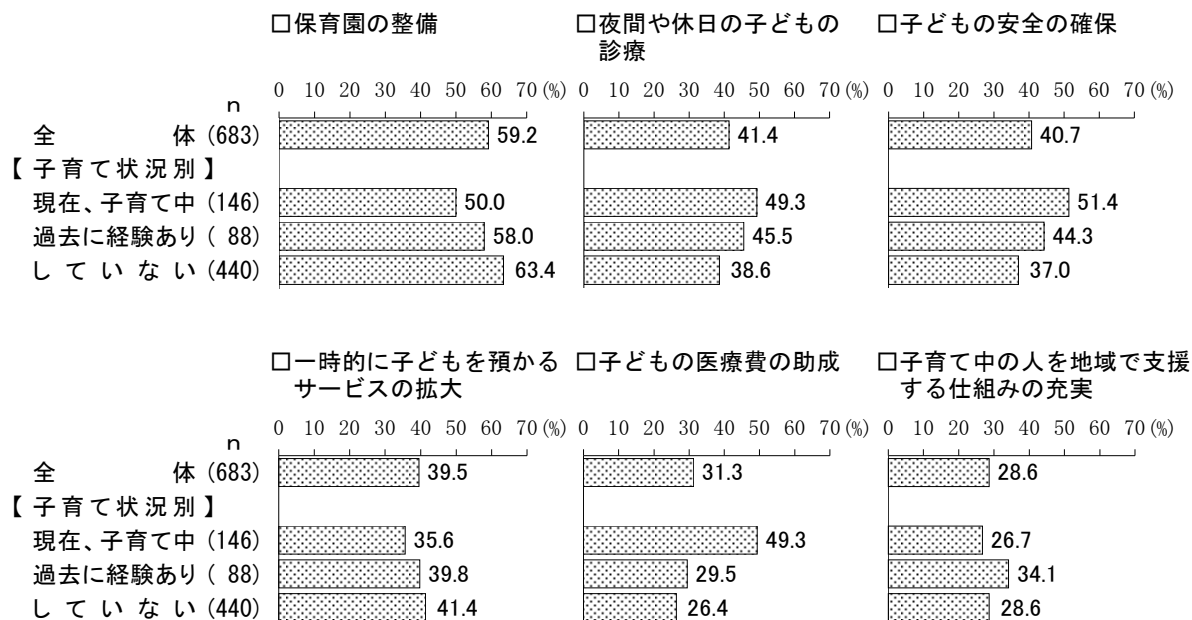
＜図表9-9＞ 子育てのための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別（上位6項目）



子育て状況別でみると、「夜間や休日の子どもの診療」、「子どもの安全の確保」、「子どもの医療費の助成」は、現在、子育て中の人が高く、特に、「子どもの安全の確保」(51.4%)は5割を超えている。また、「保育園の整備」は、子育てをしていない人(63.4%)が6割台半ばで最も高い。

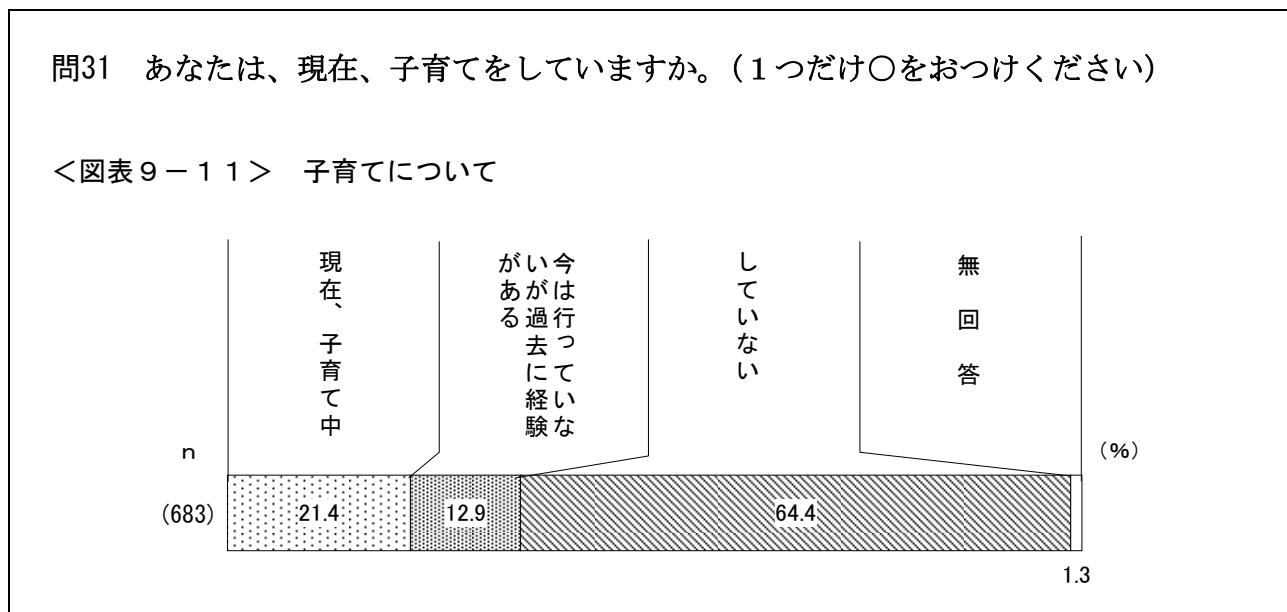
(図表9-10)

<図表9-10> 子育てのための取り組みとして大切なもの 子育て状況別(上位6項目)



(4) 子育てについて

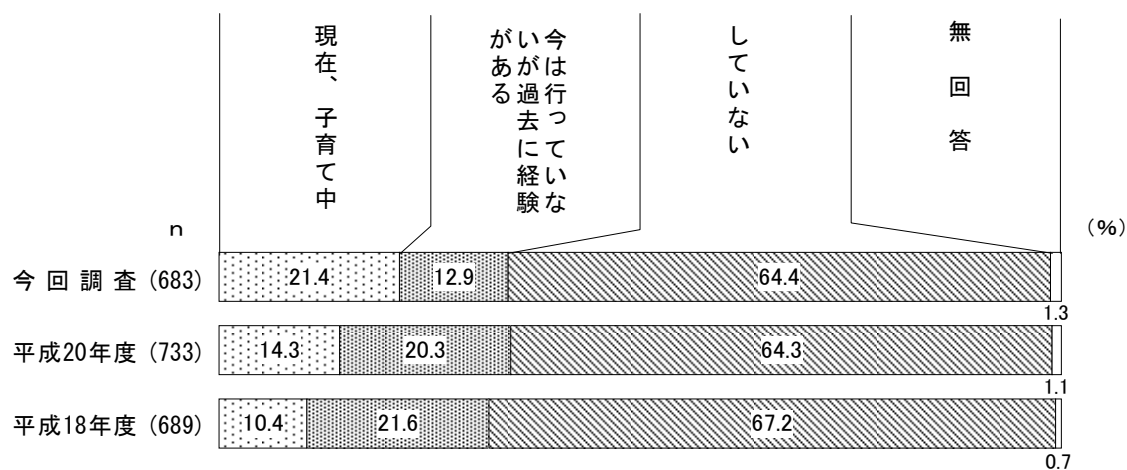
◇「現在、子育て中」は2割を超える



子育てについて聞いたところ、「現在、子育て中」(21.4%)は2割を超えて、「今は行っていないが過去に経験がある」(12.9%)は1割を超えている。一方、「していない」(64.4%)は6割台半ばである。(図表9-11)

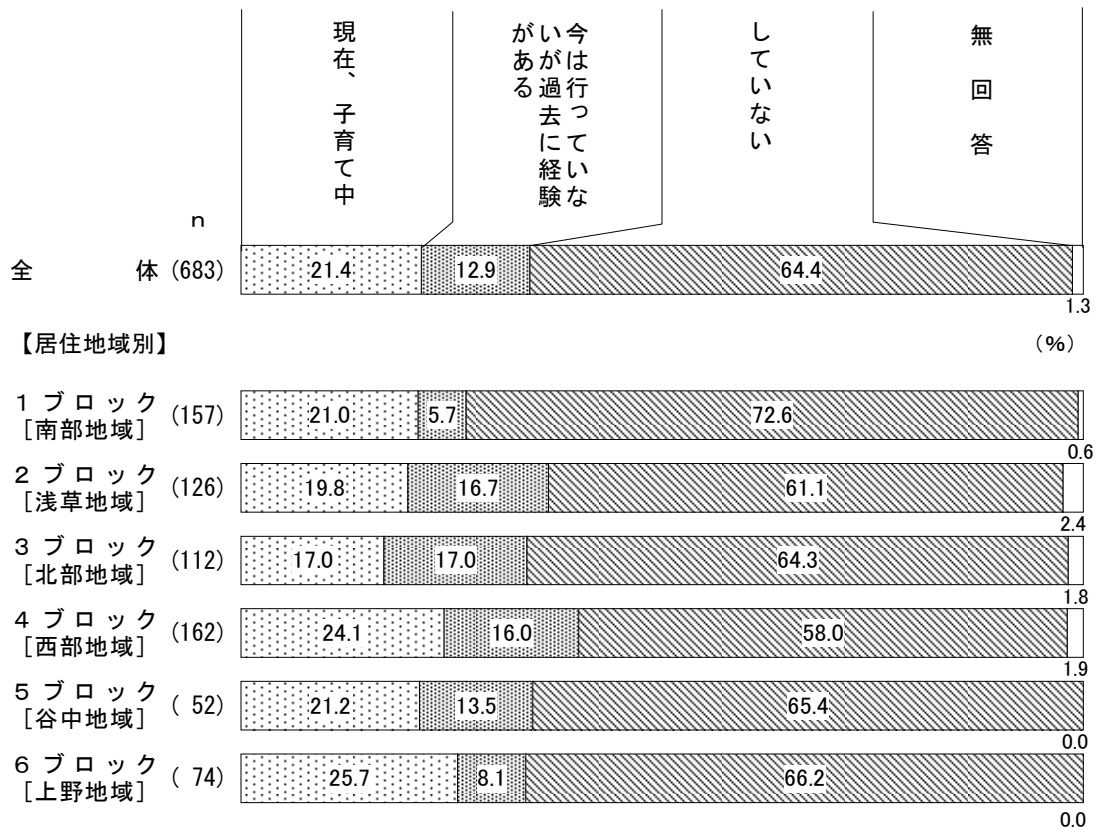
過去の調査結果と比較すると、「現在、子育て中」(21.4%)は平成20年度(14.3%)より7.1ポイント高くなっている。(図表9-12)

<図表9-12> 子育てについて 経年比較



居住地域別でみると、「現在、子育て中」は、6ブロック[上野地域] (25.7%) と4ブロック[西部地域] (24.1%) が2割台半ばで高くなっている。一方、「していない」は、1ブロック[南部地域] (72.6%) が7割を超え高くなっている。(図表9-13)

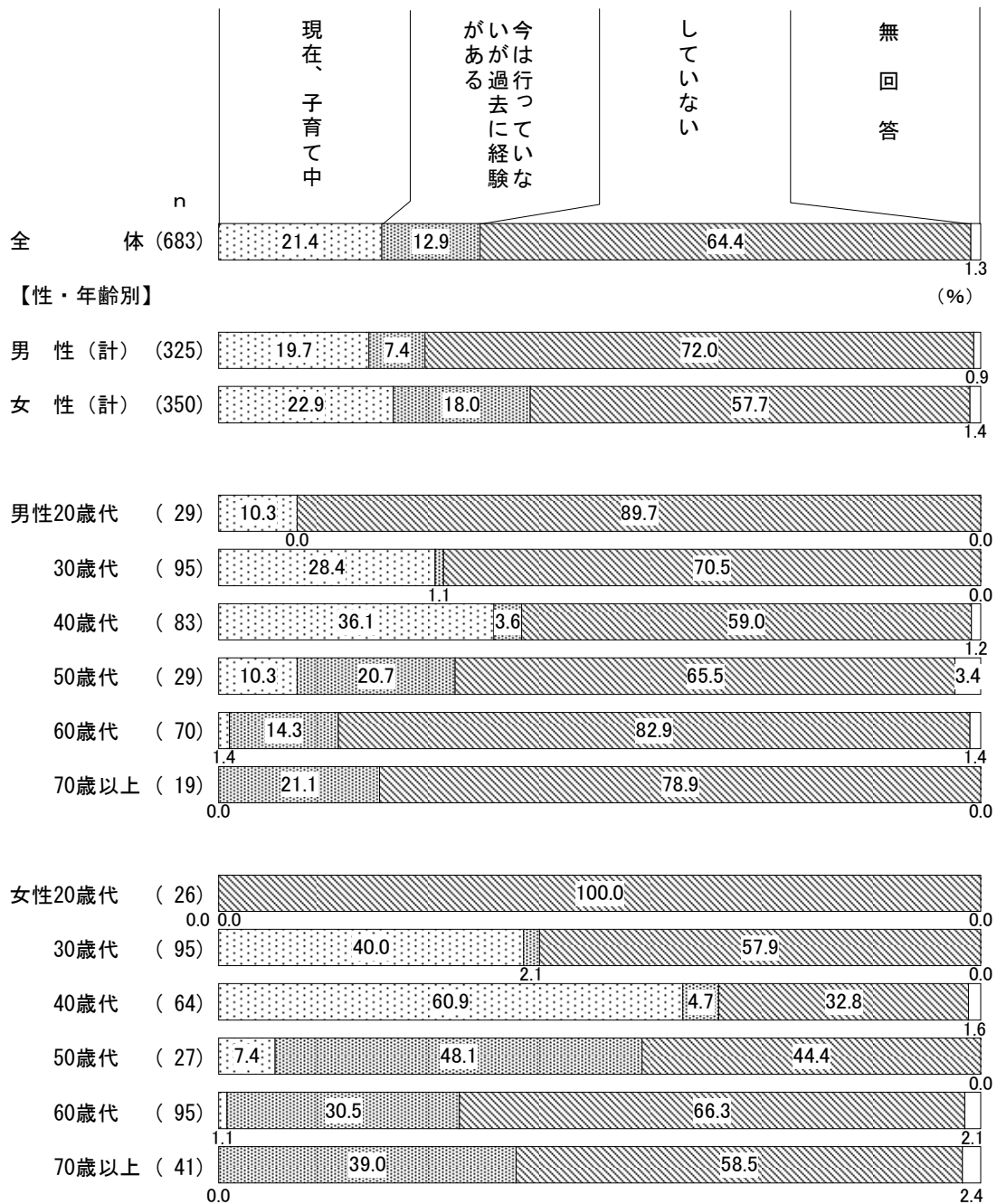
<図表9-13> 子育てについて 居住地域別



性別でみると、「今は行っていないが過去に経験がある」は、女性（18.0%）の方が男性（7.4%）よりも10.6ポイント高くなっている。逆に、「していない」は、男性（72.0%）が女性（57.7%）を14.3ポイント上回る。

性・年齢別でみると、「現在、子育て中」は男女ともに30歳～40歳代が高く、中でも、女性の40歳代（60.9%）が6割と特に高い。（図表9-14）

<図表9-14> 子育てについて 性別／性・年齢別

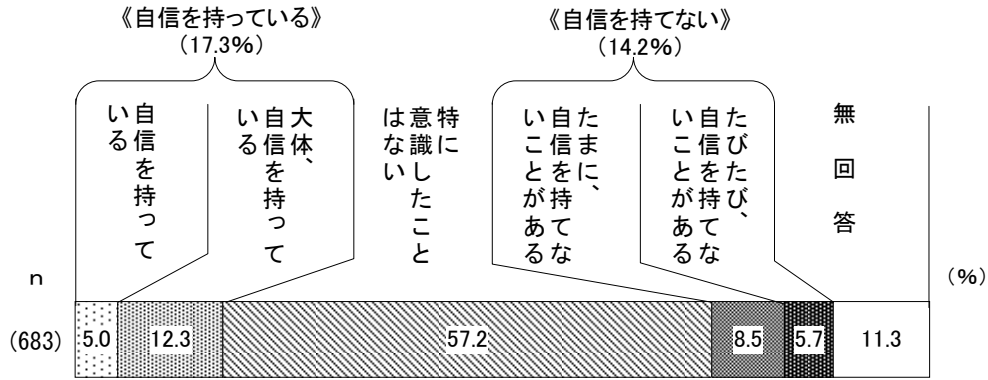


(5) 子育てへの自信

◇「特に意識したことはない」が約6割、《自信を持っている》は約2割

問32 あなたは、子育てに自信を持っていますか。(1つだけ○をおつけください)

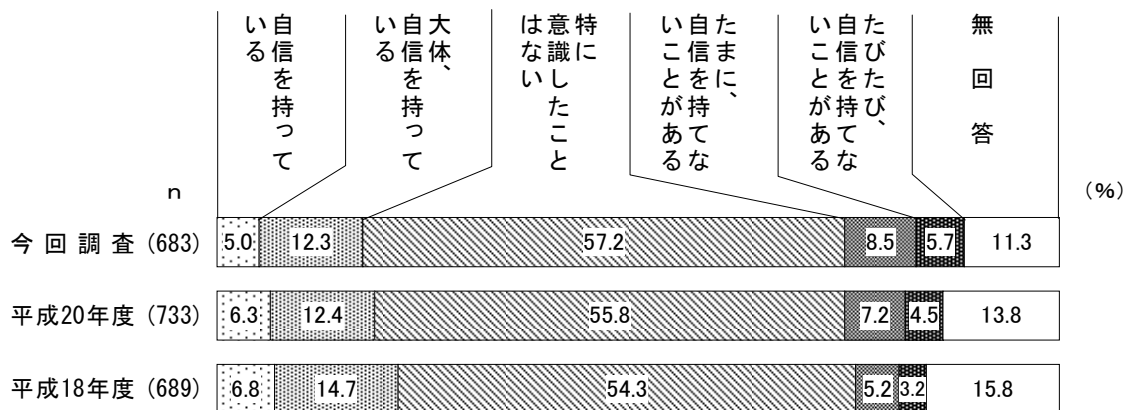
<図表9-15> 子育てへの自信



子育てへの自信について聞いたところ、「特に意識したことはない」(57.2%)が約6割で最も高くなっている。《自信を持っている》(「自信を持っている」と「大体、自信を持っている」の合計)は17.3%、《自信を持ってない》(「たびたび、自信を持ってないことがある」と「たまたま、自信を持ってないことがある」の合計)は14.2%である。(図表9-15)

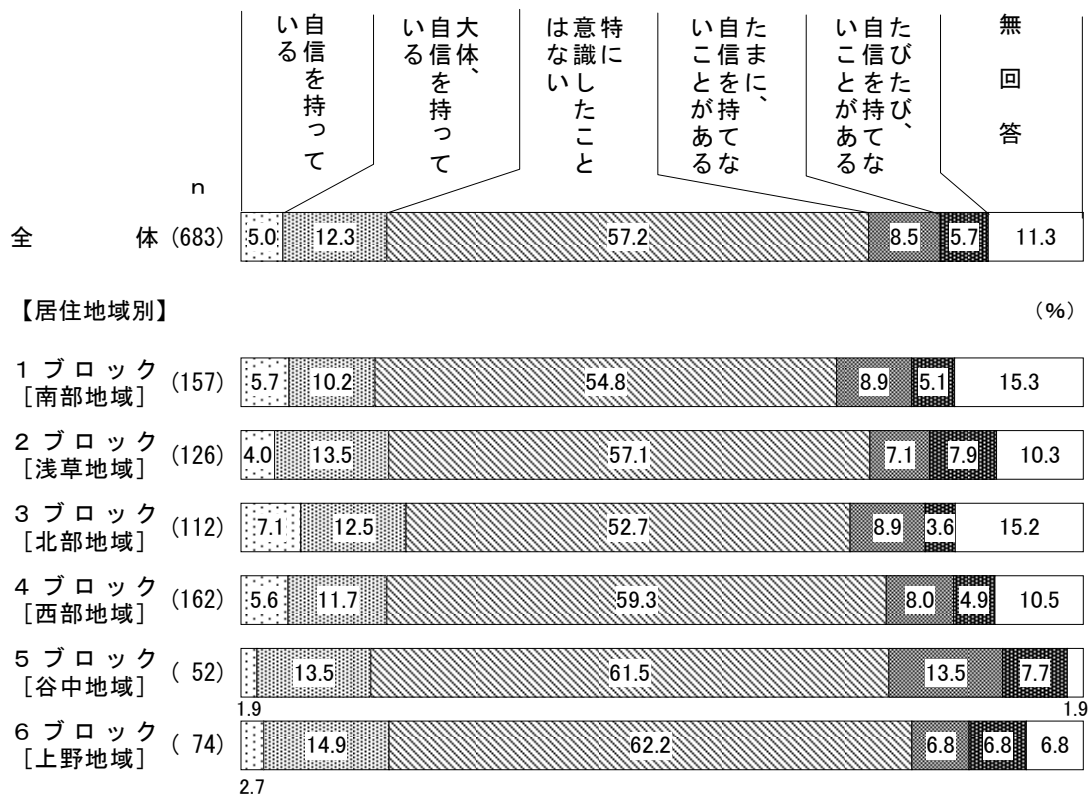
過去の調査結果と比較すると、特に大きな変化はみられない。(図表9-16)

<図表9-16> 子育てへの自信 経年比較



居住地域別でみると、《自信を持っている》は、特に大きな違いはみられない。一方、《自信を持ってない》は、5ブロック[谷中地域] (21.2%) で2割を超えている。(図表9-17)

＜図表9-17＞ 子育てへの自信 居住地域別

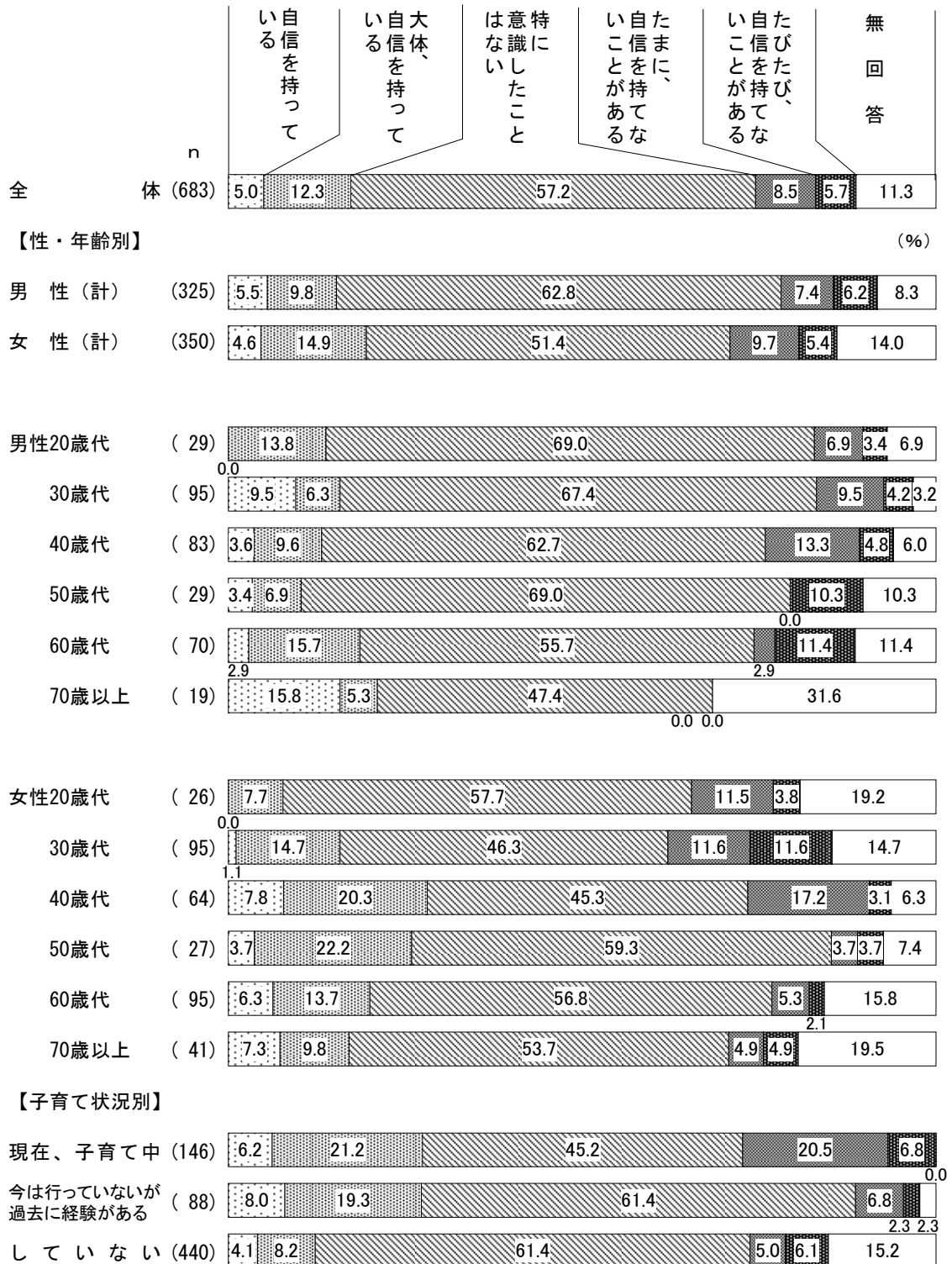


性別でみると、《自信を持っている》は、女性（19.5%）の方が男性（15.3%）より4.2ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《自信を持っている》は、女性の40歳代（28.1%）が約3割で最も高く、逆に女性の20歳代（7.7%）は約1割にとどまる。

子育て状況別でみると、今は行っていないが過去に経験がある人では《自信を持っている》（27.3%）が《自信を持ってない》（9.1%）を大きく上回っているが、現在、子育て中の人やしていない人では、《自信を持っている》と《自信を持ってない》の割合に差はない。（図表9-18）

＜図表9-18＞ 子育てへの自信 性別／性・年齢別、子育て状況別



10. 教育のための取り組み

◆ 子どもたちが、こころざしを抱き、夢や希望をもち、これからの時代を自らの力でたくましく生きることのできる教育が大切です。

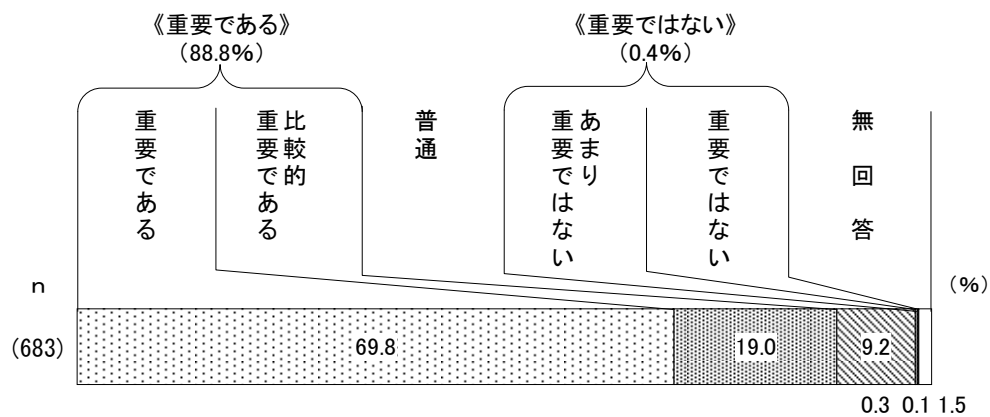
そのため、区では、基礎学力の向上、心と体の育成、学校施設の整備、学校と家庭・地域との連携などを行っています。

(1) 教育についての重要度

◇ 《重要である》が約9割

問33 教育についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

<図表10-1> 教育についての重要度

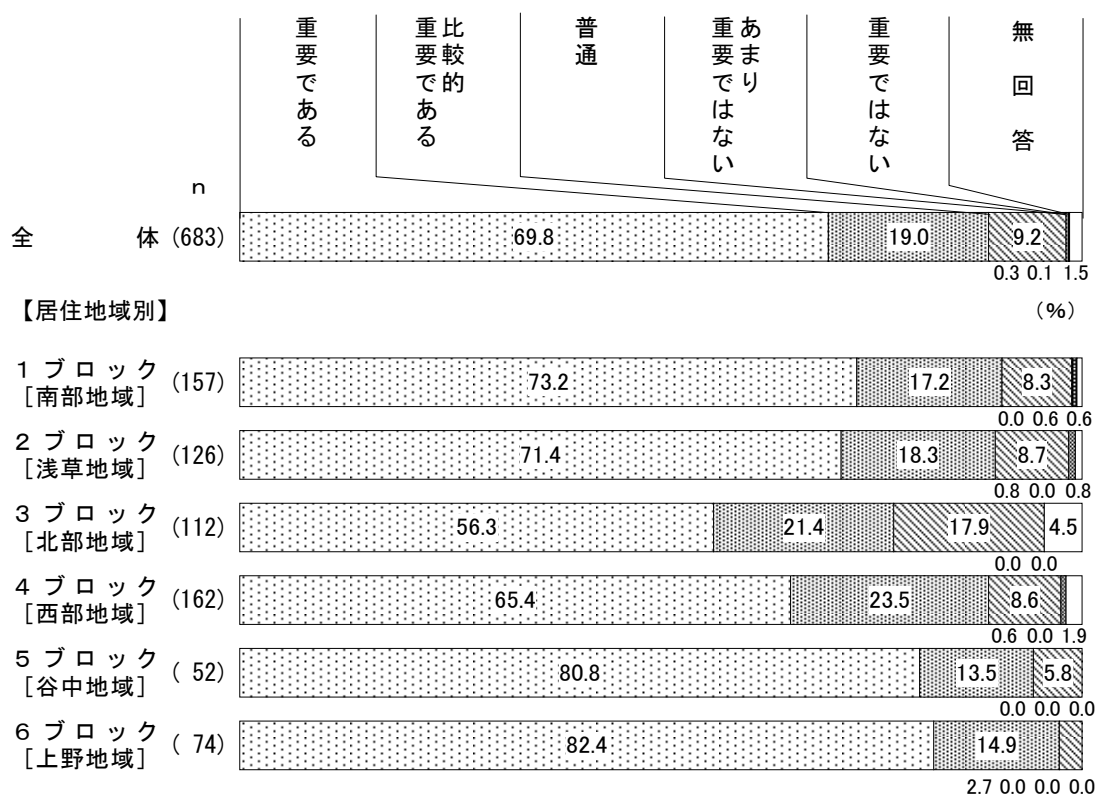


教育についての重要度を聞いたところ、「重要である」(69.8%)が約7割で最も高くなっている。これに「比較的重要な」(19.0%)を合わせると、《重要である》は88.8%で約9割となっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は0.4%である。

(図表10-1)

居住地域別でみると、《重要である》は、6ブロック[上野地域]が97.3%で最も高く、次いで5ブロック[谷中地域]（94.3%）が9割台半ばとなっている。（図表10-2）

＜図表10-2＞ 教育についての重要度 居住地域別

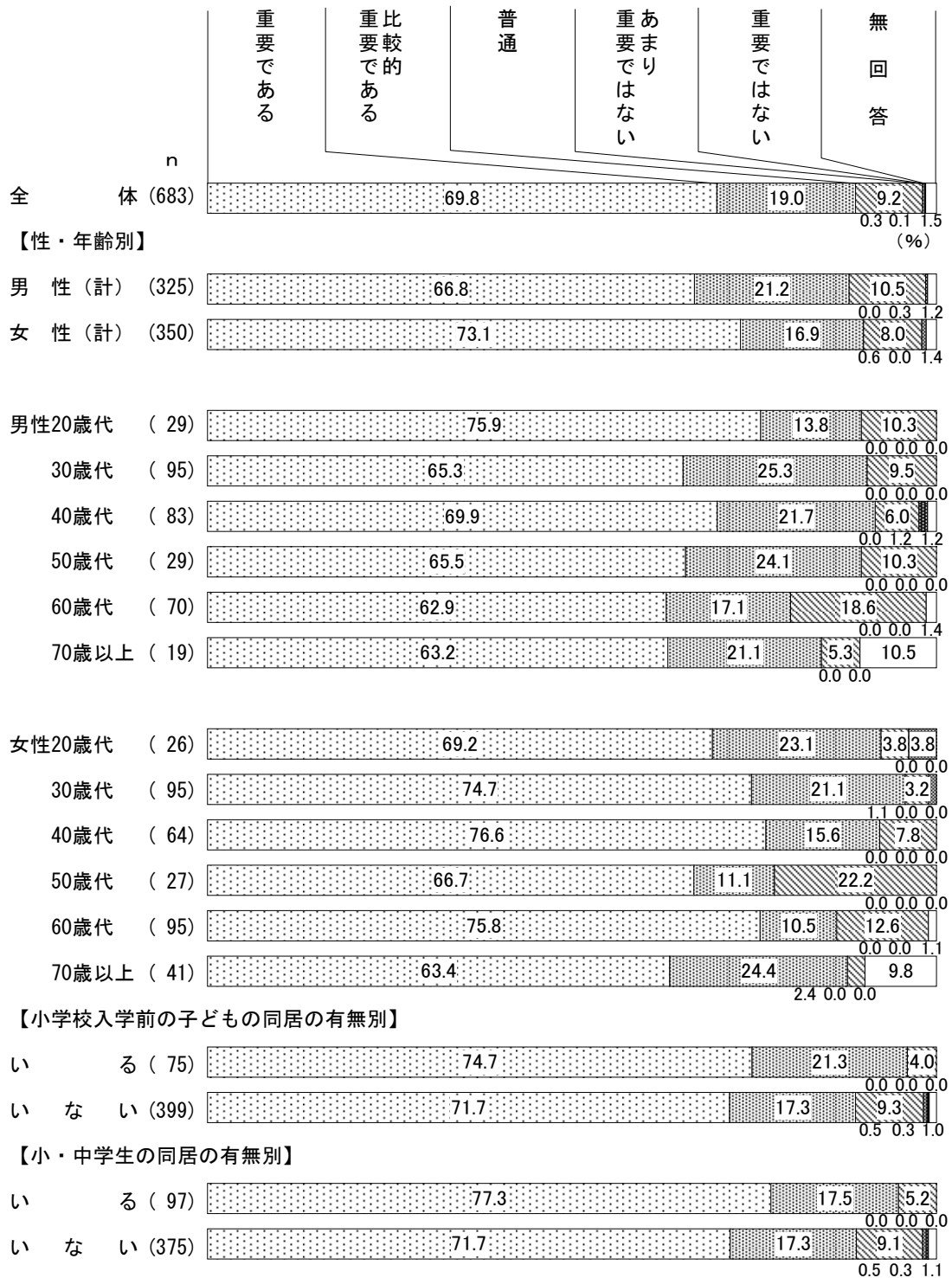


性別では、特に大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では40歳代（91.6%）が9割を超え最も高く、女性では30歳代（95.8%）が9割台半ばで最も高い。

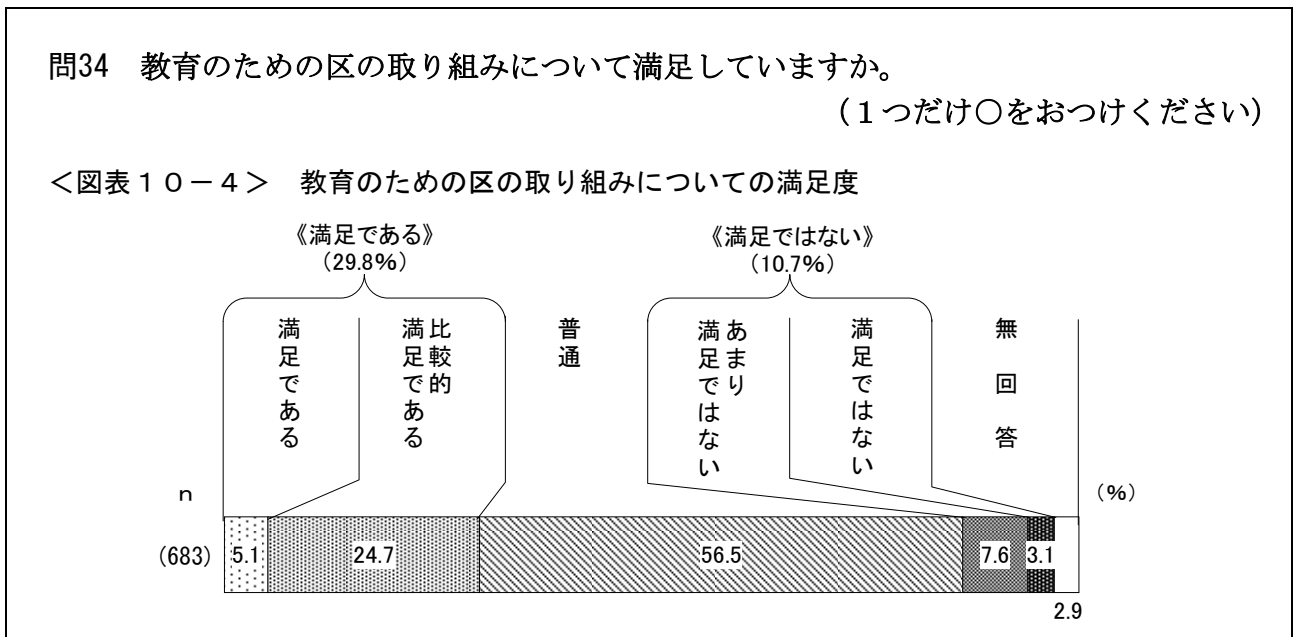
同居者の有無別でみると、《重要である》は、小学校入学前の子どもがいる人（96.0%）と小・中学生がいる人（94.8%）が9割台半ばで、それぞれいない人よりも高くなっている。（図表10-3）

＜図表10-3＞ 教育についての重要度 性別／性・年齢別、同居者の有無別



(2) 教育のための区の取り組みについての満足度

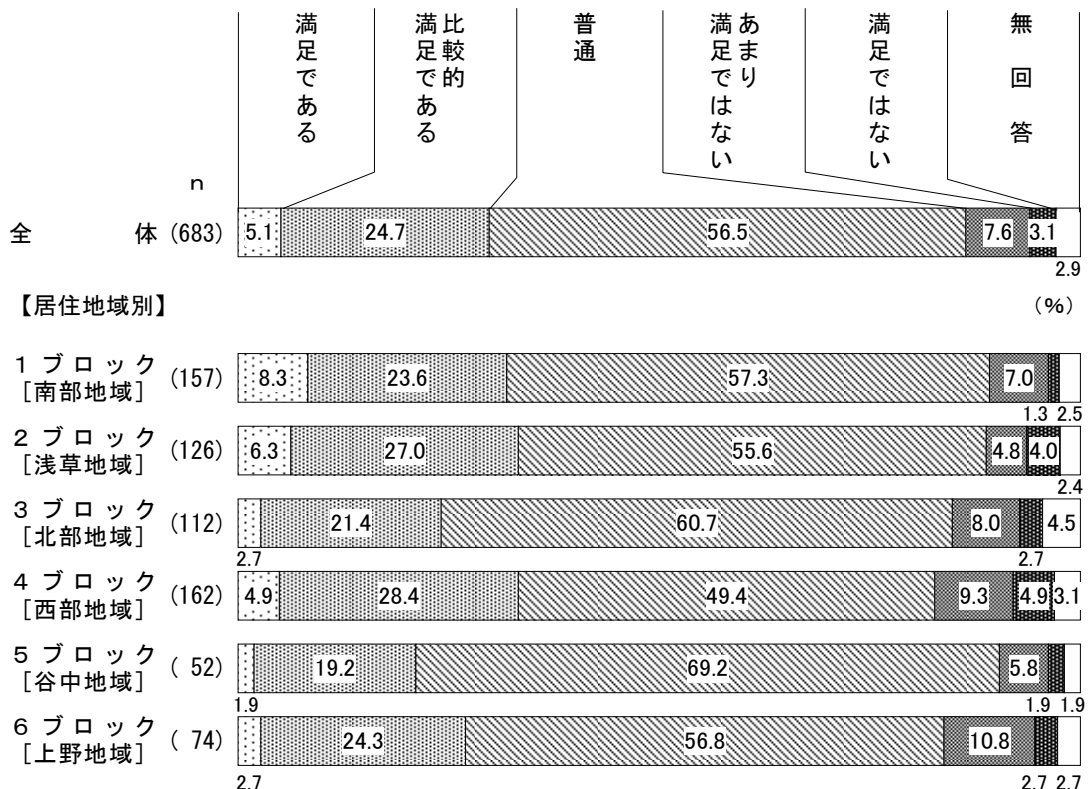
◇「普通」が5割台半ば、「満足である」は約3割



教育のための区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、「普通」(56.5%)が5割台半ばで最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は29.8%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は10.7%である。(図表10-4)

居住地域別でみると、《満足である》は、2ブロック[浅草地域](33.3%)と4ブロック[西部地域](33.3%)が3割台半ばで高くなっている。(図表10-5)

<図表10-5> 教育のための区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別でみると、《満足である》は、女性（34.2%）の方が男性（25.2%）より9.0ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《満足である》は、女性の70歳以上（41.5%）と30歳代（41.0%）、50歳代（40.7%）が4割を超え高くなっている。

同居者の有無別でみると、《満足である》は、小学校入学前の子どもがいる人（46.7%）が4割台半ばで高くなっている。（図表10-6）

＜図表10-6＞ 教育のための区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別、同居者の有無別



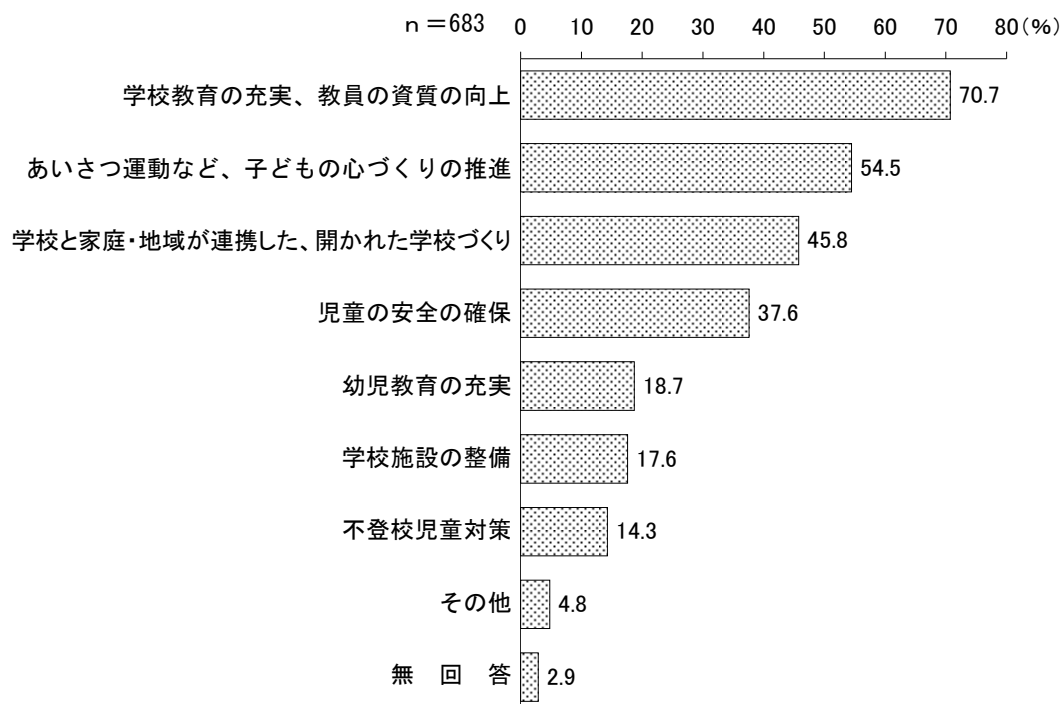
(3) 教育のための取り組みとして大切なもの

◇「学校教育の充実、教員の資質の向上」が7割

問35 教育のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

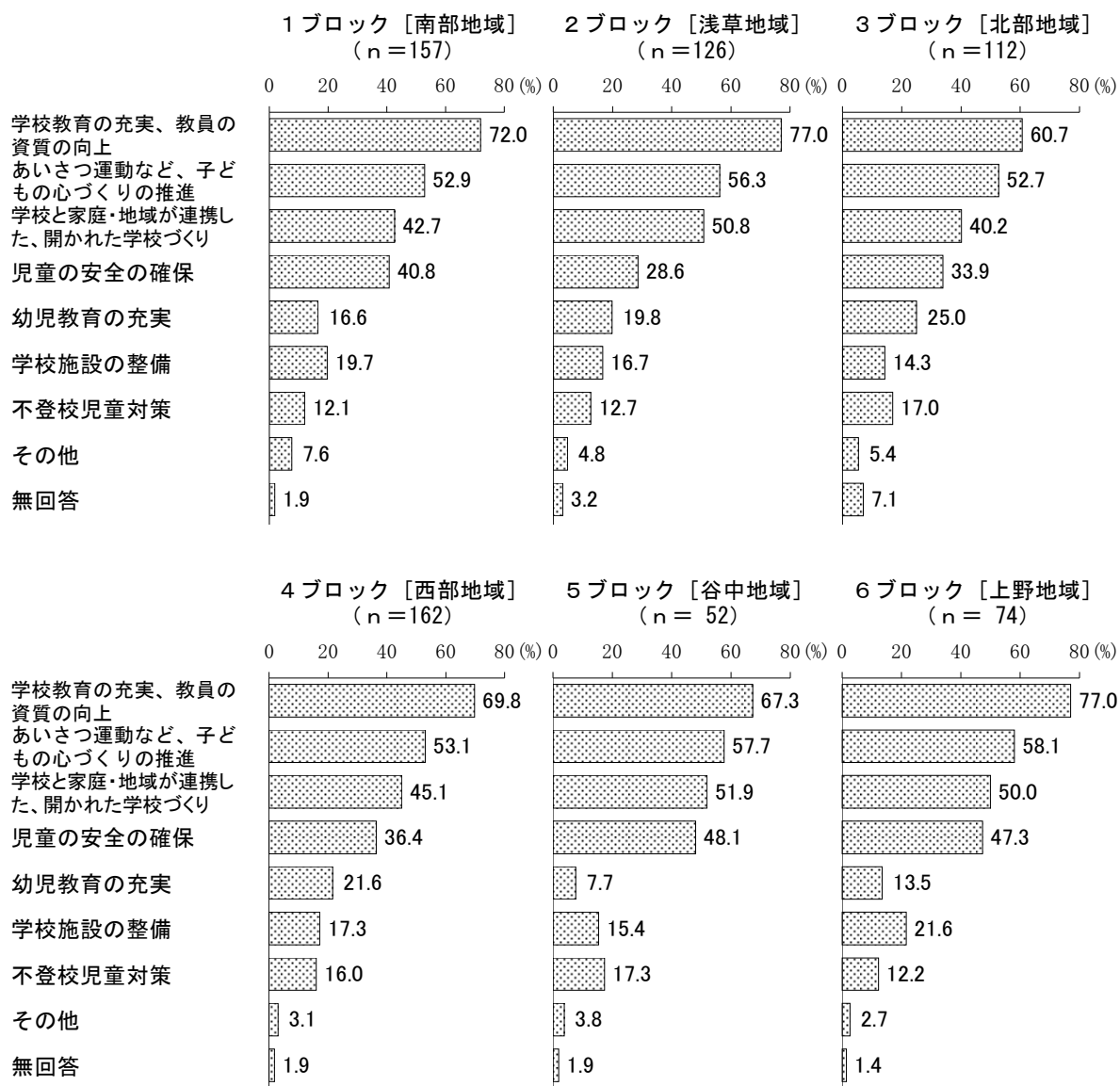
<図表10-7> 教育のための取り組みとして大切なもの(複数回答)



教育のための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「学校教育の充実、教員の資質の向上」(70.7%)が7割で最も高く、次いで「あいさつ運動など、子どもの心づくりの推進」(54.5%)が5割台半ばとなっている。このほか、「学校と家庭・地域が連携した、開かれた学校づくり」(45.8%)が4割台半ばとなっている。(図表10-7)

居住地域別でみると、いずれも「学校教育の充実、教員の資質の向上」が最も高く、中でも、2ブロック[浅草地域] (77.0%) と6ブロック[上野地域] (77.0%) が約8割で高くなっている。「あいさつ運動など、子どもの心づくりの推進」は、それぞれの地域の中で2番目に高く、6ブロック[上野地域] (58.1%) と5ブロック[谷中地域] (57.7%) が約6割となっている。(図表10-8)

＜図表10-8＞ 教育のための取り組みとして大切なもの 居住地域別

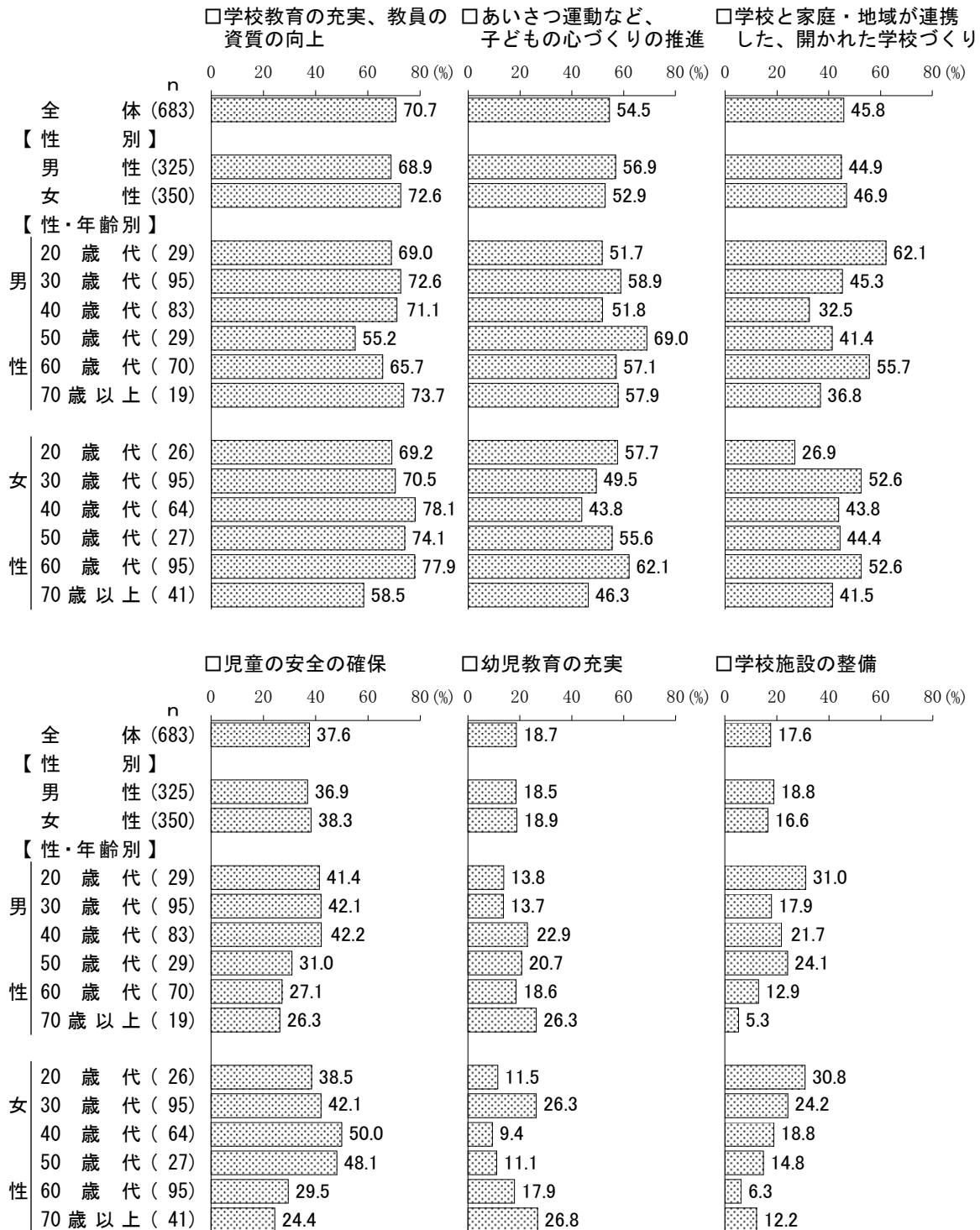


性別でみると、「あいさつ運動など、子どもの心づくりの推進」は、男性（56.9%）の方が女性（52.9%）よりも4.0ポイント高くなっている。逆に、「学校教育の充実、教員の資質の向上」は、女性（72.6%）が男性（68.9%）を3.7ポイント上回る。

性・年齢別でみると、「学校教育の充実、教員の資質の向上」は、女性の40歳代（78.1%）と60歳代（77.9%）が約8割となっている。「あいさつ運動など、子どもの心づくりの推進」は、男性の50歳代（69.0%）が約7割、「児童の安全の確保」は女性の40歳代（50.0%）が5割で最も高くなっている。

（図表10-9）

＜図表10-9＞ 教育のための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別（上位6項目）



1 1 . パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み

◆ 本区は、支えあいの地域性があり、地域での活動が盛んです。また、社会では、ボランティアやNPO（非営利の社会貢献活動団体）の活動が増加しています。

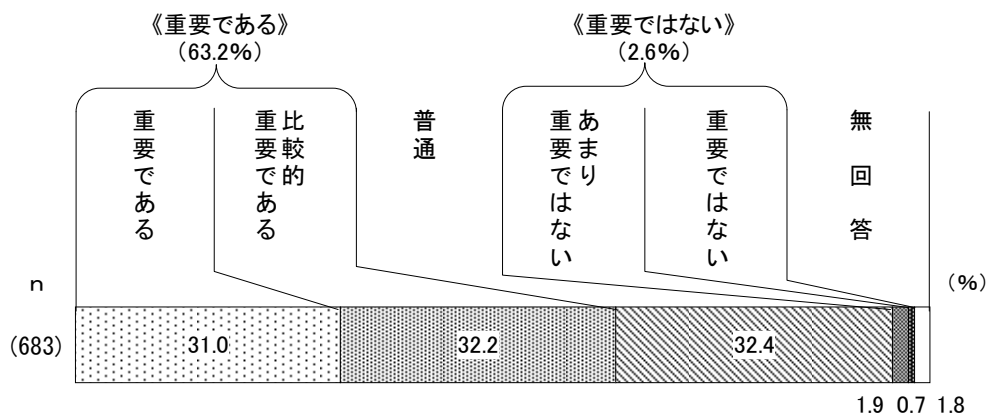
地域の課題の解決のため、区民一人ひとりと、区、企業などが協力関係を深めていくことが大切です。そのため、区では、区政やまちづくり活動への参加の拡大、NPOなどとの協働の促進などに取り組んでいます。

(1) パートナーシップについての重要度

◇ 《重要である》が6割台半ば

問36 パートナーシップ（区民と区との協力関係）についてどの程度重要だと思いますか。
(1つだけ○をおつけください)

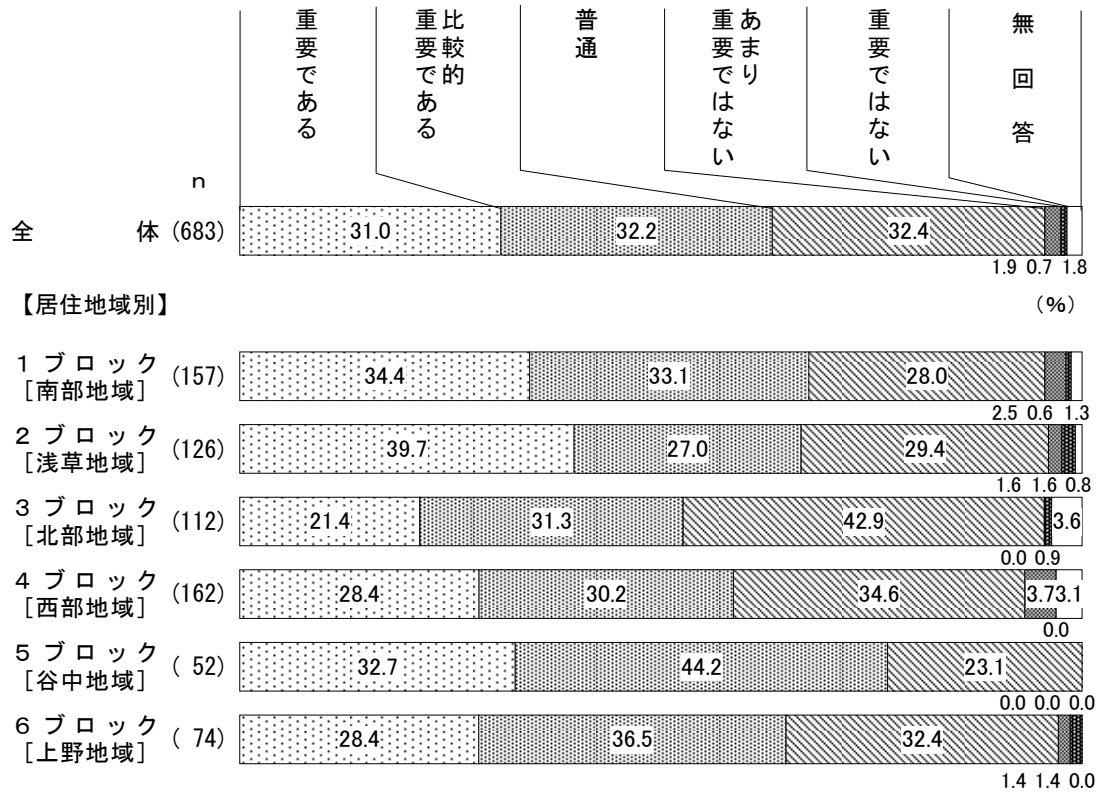
<図表 1 1 - 1> パートナーシップについての重要度



パートナーシップの重要度を聞いたところ、「重要である」(31.0%)に「比較的重要な」(32.2%)を合わせると、《重要である》は63.2%で6割台半ばとなっている。一方、《重要ではない》(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は2.6%である。(図表 1 1 - 1)

居住地域別でみると、《重要である》は、5ブロック[谷中地域]（76.9%）が7割台半ばで最も高くなっている。（図表11-2）

＜図表11-2＞ パートナーシップについての重要度 居住地域別

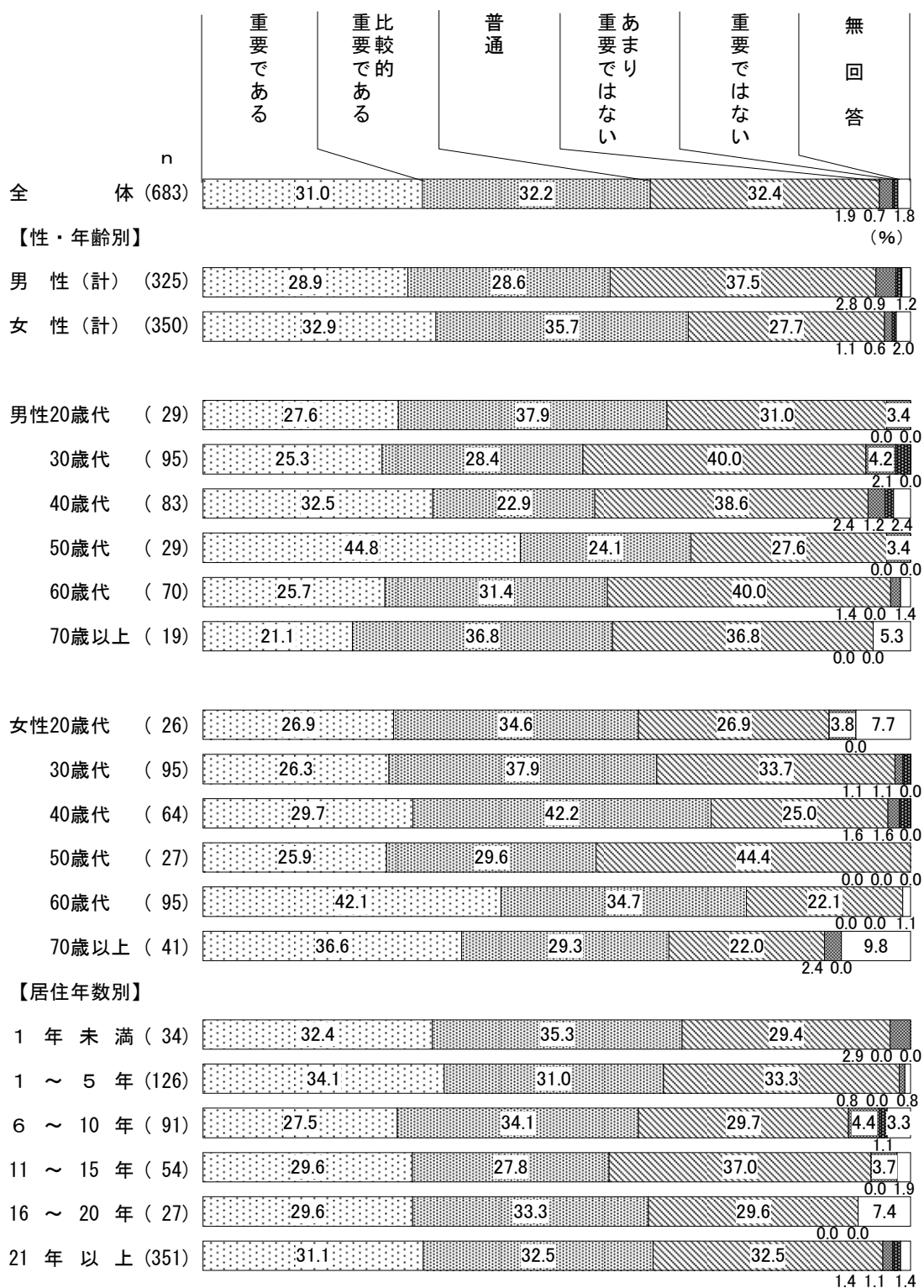


性別でみると、《重要である》は、女性（68.6%）の方が男性（57.5%）より11.1ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《重要である》は、男性では50歳代（68.9%）が約7割で最も高く、次いで20歳代（65.5%）が6割台半ばとなっている。女性では、60歳代（76.8%）が7割台半ば、40歳代（71.9%）が7割を超えている。

居住年数別でみると、《重要である》は、1年未満（67.7%）が約7割である。（図表11-3）

＜図表11-3＞ パートナーシップについての重要度 性別／性・年齢別、居住年数別

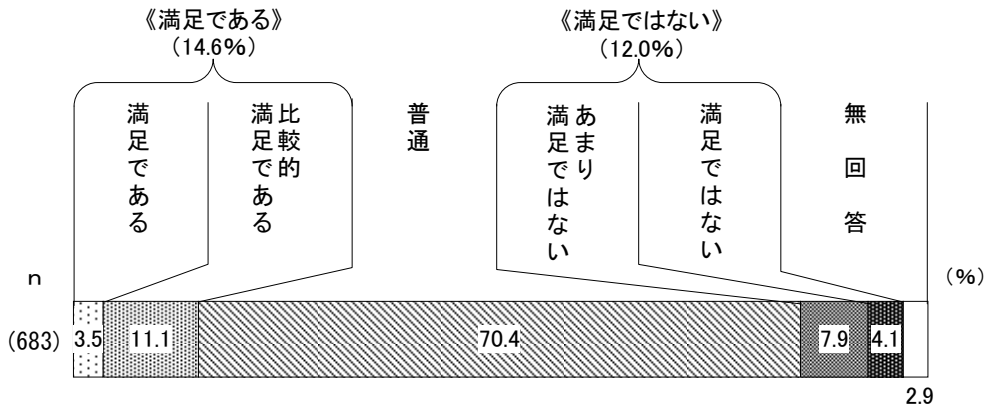


(2) パートナーシップのための区の取り組みについての満足度

◇「普通」が7割、《満足である》は1割台半ば

問37 パートナーシップのための区の取り組みについて満足していますか。
(1つだけ○をおつけください)

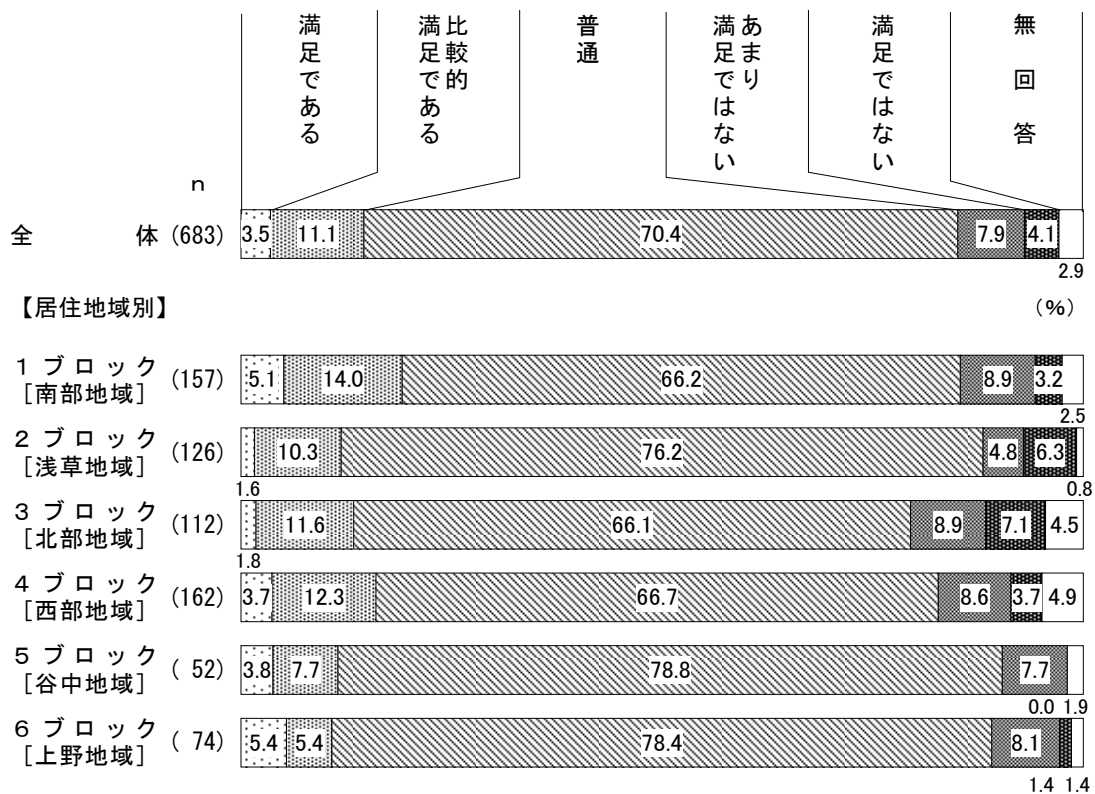
<図表 1 1 - 4> パートナーシップのための区の取り組みについての満足度



パートナーシップのための区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、「普通」(70.4%)が7割で最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は14.6%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は12.0%である。(図表 1 1 - 4)

居住地域別でみると、《満足である》は、1ブロック[南部地域](19.1%)が約2割で最も高くなっている。(図表 1 1 - 5)

<図表 1 1 - 5> パートナーシップのための区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別でみると、《満足である》は、女性（17.4%）の方が男性（12.0%）より5.4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《満足である》は、女性の70歳以上（29.3%）が約3割で最も高く、次いで女性の20歳代（23.0%）が2割台半ばとなっている。一方、《満足ではない》は、男性の20歳代（31.0%）が3割を超える。

居住年数別でみると、《満足である》は、16～20年（7.4%）が約1割と低くなっているほかは、いずれも1割台となっている。（図表11-6）

<図表11-6> パートナーシップのための区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別、居住年数別

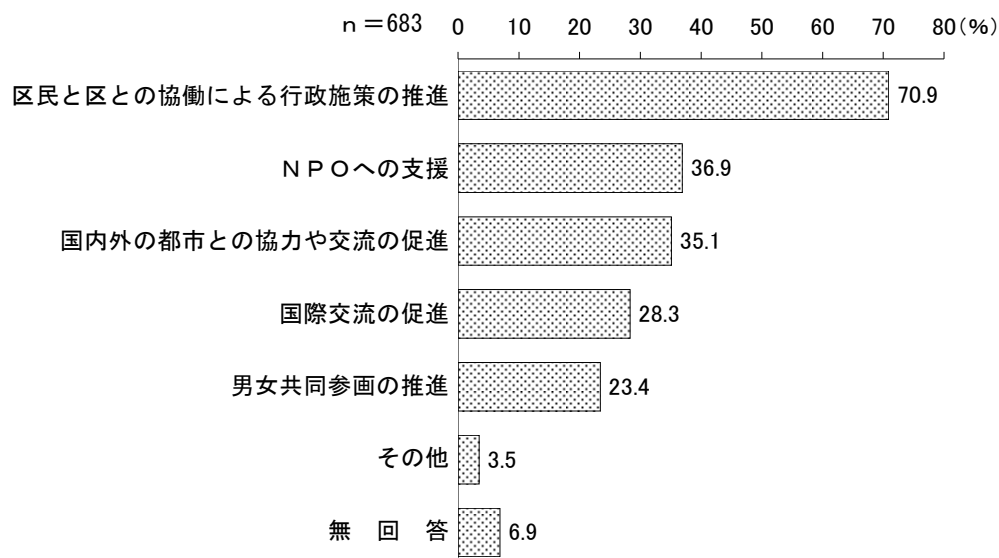


(3) パートナーシップのための取り組みとして大切なもの

◇「区民と区との協働による行政施策の推進」が7割

問38 パートナーシップのため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。
(3つまで○をおつけください)

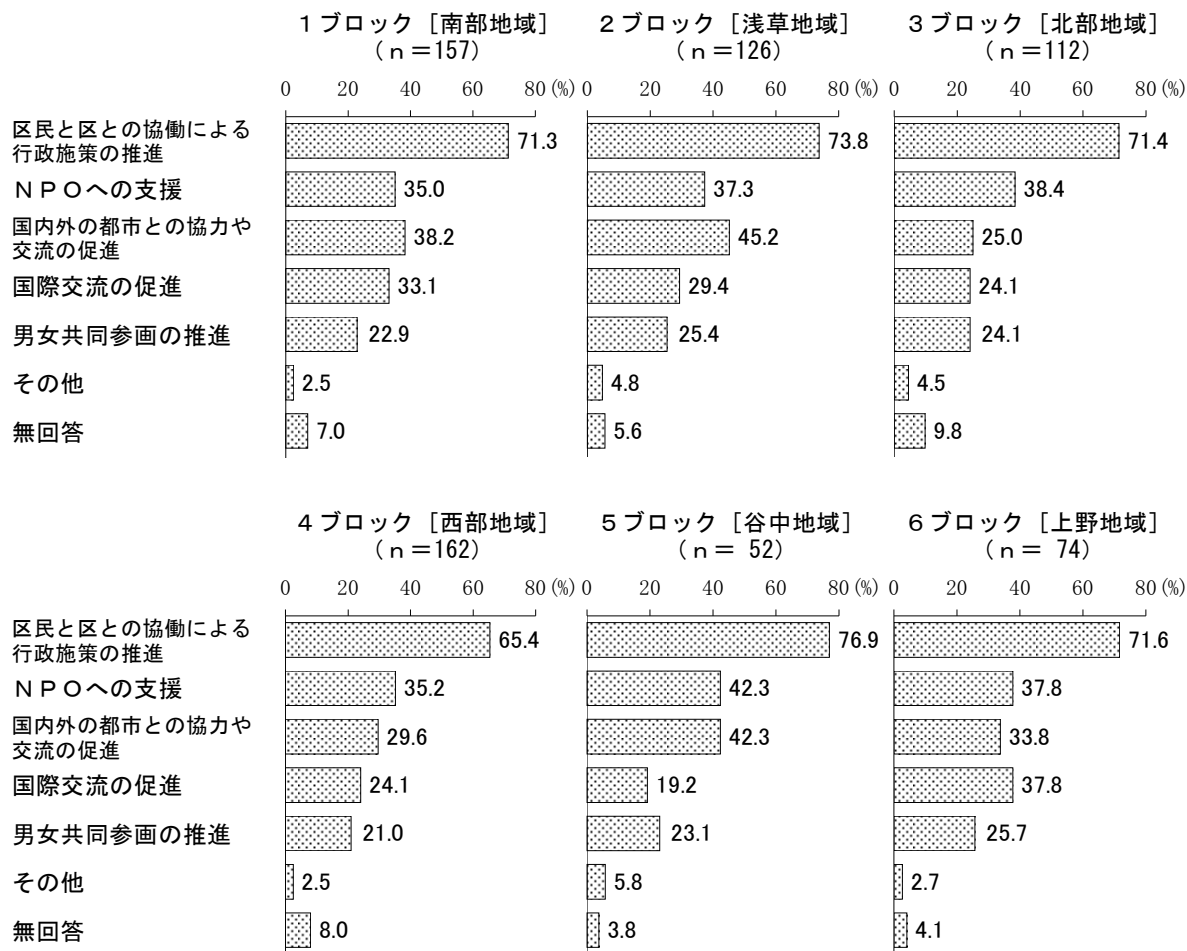
<図表11-7> パートナーシップのための取り組みとして大切なもの(複数回答)



パートナーシップのための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「区民と区との協働による行政施策の推進」(70.9%)が7割で最も高くなっている。次いで「NPOへの支援」(36.9%)と「国内外の都市との協力や交流の促進」(35.1%)が3割台半ばとなっている。(図表11-7)

居住地域別でみると、いずれも「区民と区との協働による行政施策の推進」が高く、中でも、5ブロック [谷中地域] (76.9%) と2ブロック [浅草地域] (73.8%) は7割台半ばである。また、「国内外の都市との協力や交流の促進」は2ブロック [浅草地域] (45.2%) が4割台半ば、5ブロック [谷中地域] (42.3%) が4割を超え高くなっている。(図表 1 1 - 8)

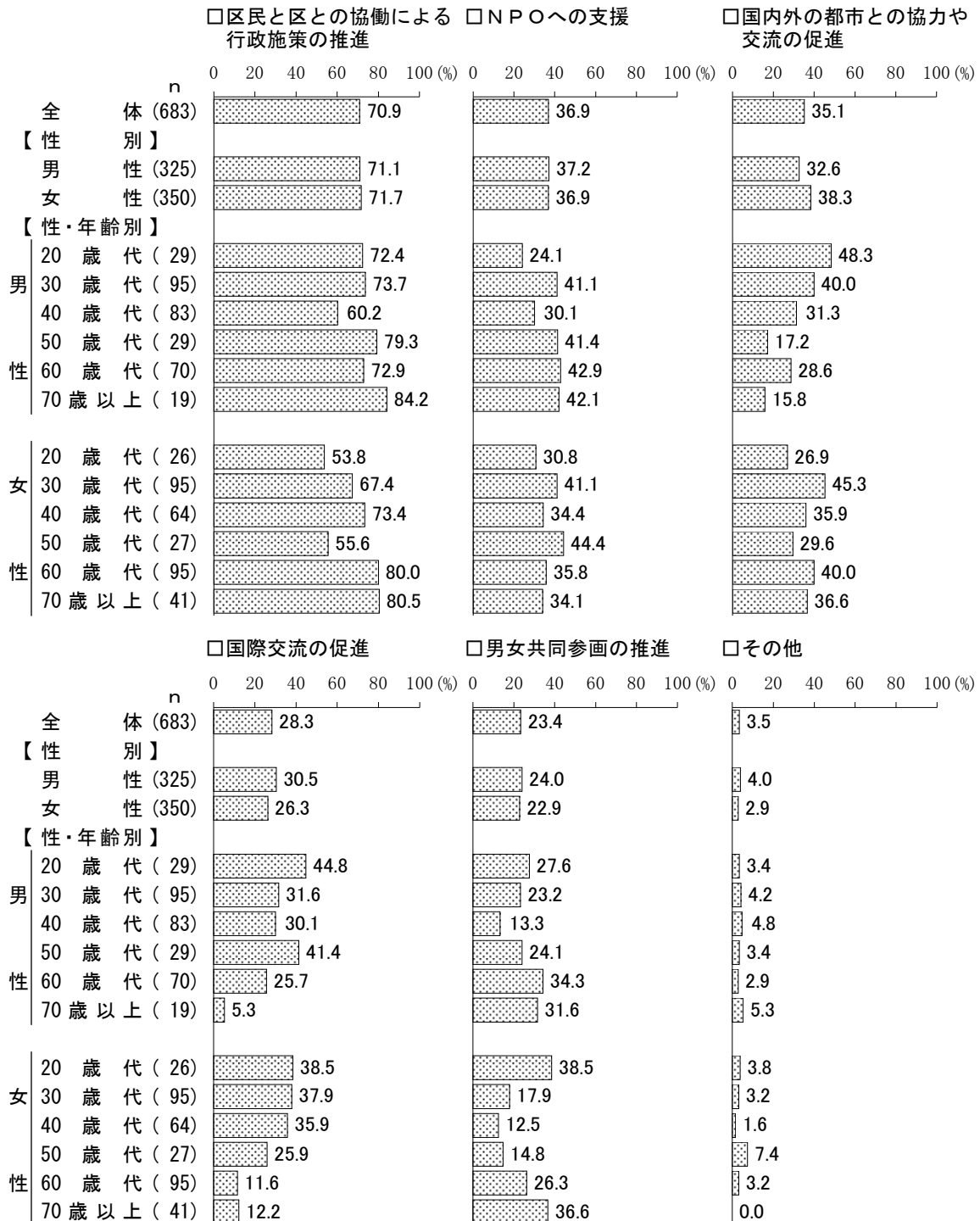
＜図表 1 1 - 8＞ パートナーシップのための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「国内外の都市との協力や交流の促進」は、女性（38.3%）の方が男性（32.6%）よりも5.7ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「区民と区との協働による行政施策の推進」は、男性では70歳以上（84.2%）が8割台半ばで最も高く、女性では70歳以上（80.5%）が8割、僅差で60歳代（80.0%）が続く。「国内外の都市との協力や交流の促進」は男性の20歳代（48.3%）が約5割で、「NPOへの支援」は女性の50歳代（44.4%）が4割台半ばと高い。また、「国際交流の促進」は、男性の20歳代（44.8%）が4割台半ばとなっている。（図表11-9）

＜図表11-9＞ パートナーシップのための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別(上位6項目)

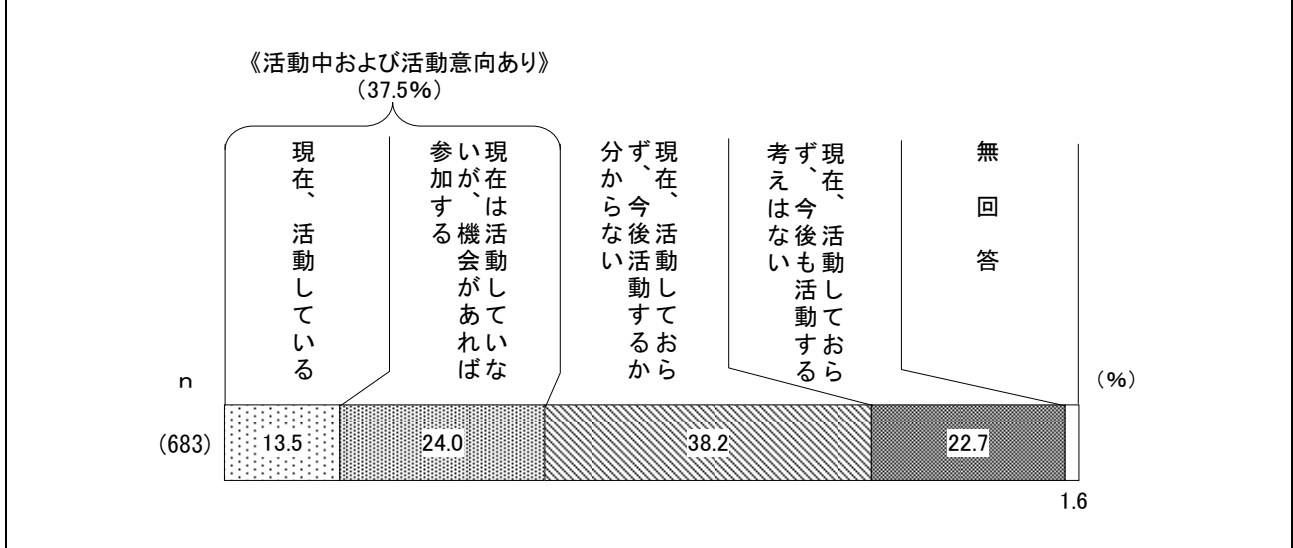


(4) 地域の活動の状況と今後の活動予定

◇ 《活動中および活動意向あり》が約4割

問39 あなたは、地域の活動（町会やPTAなど）をしていますか、または、今後、活動するお考えがありますか。
（1つだけ○をおつけください）

<図表11-11> 地域の活動の状況と今後の活動予定

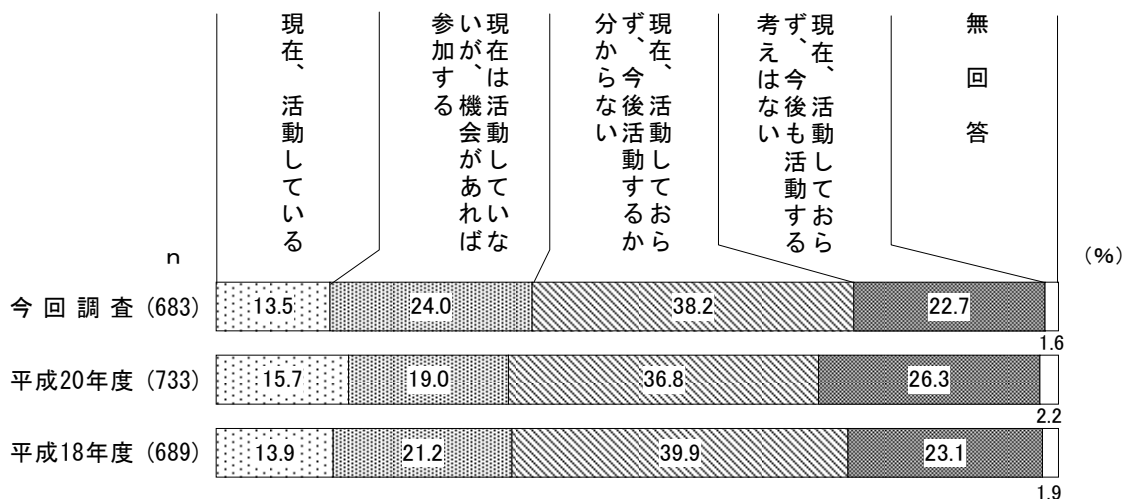


地域の活動の状況と今後の活動予定について聞いたところ、「現在、活動している」(13.5%)と「現在は活動していないが、機会があれば参加する」(24.0%)を合わせると、《活動中および活動意向あり》は37.5%で約4割となっている。「現在、活動しておらず、今後活動するか分からない」(38.2%)は約4割で、「現在、活動しておらず、今後も活動する考えはない」(22.7%)は2割を超えている。

(図表11-11)

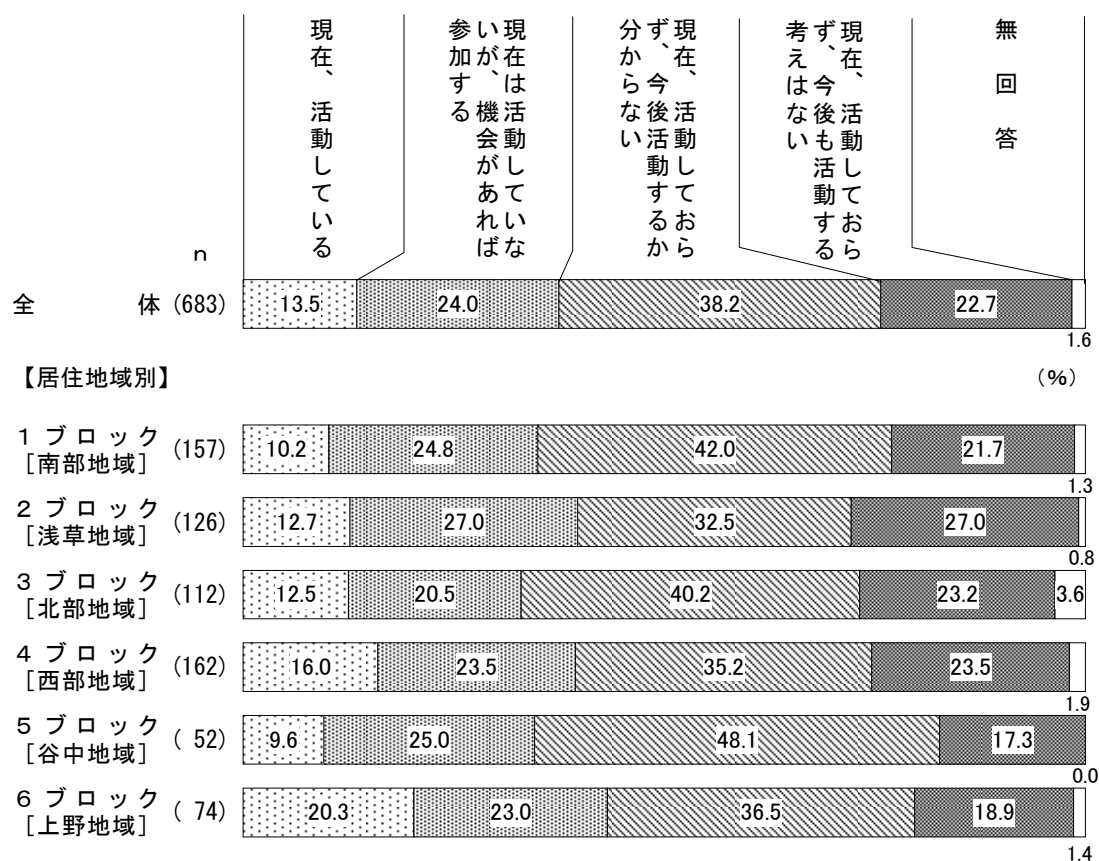
過去の調査結果と比較すると、《活動中および活動意向あり》(37.5%)は平成20年度(34.7%)より2.8ポイント増加している。(図表11-12)

<図表11-12> 地域の活動の状況と今後の活動予定 経年比較



居住地域別でみると、「現在、活動している」は、6ブロック[上野地域] (20.3%) が2割で最も高くなっている。《活動中および活動意向あり》でも、6ブロック[上野地域] (43.3%) が4割台半ばで最も高くなっている。(図表11-13)

<図表11-13> 地域の活動の状況と今後の活動予定 居住地域別

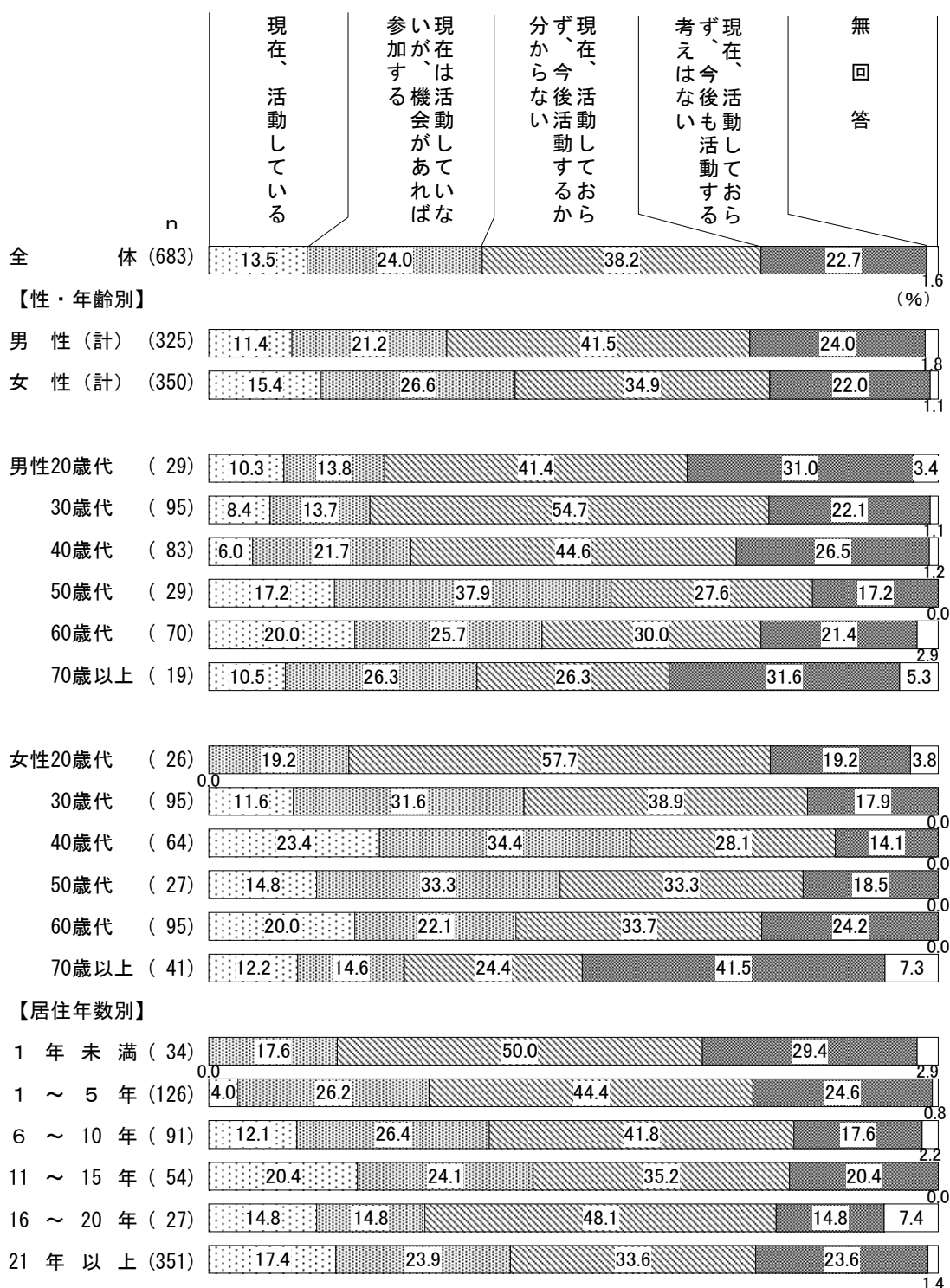


性別でみると、《活動中および活動意向あり》は、女性（42.0%）の方が男性（32.6%）より9.4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「現在、活動している」は、女性の40歳代（23.4%）が2割台半ばで最も高く、男女とも60歳代（20.0%）でも2割となっている。また、《活動中および活動意向あり》は、女性の40歳代（57.8%）が約6割で最も高い。

居住年数別でみると、《活動中および活動意向あり》は、11～15年（44.5%）が4割台半ば、21年以上（41.3%）が4割を超えている。（図表11-14）

＜図表11-14＞ 地域の活動の状況と今後の活動予定 性別／性・年齢別、居住年数別

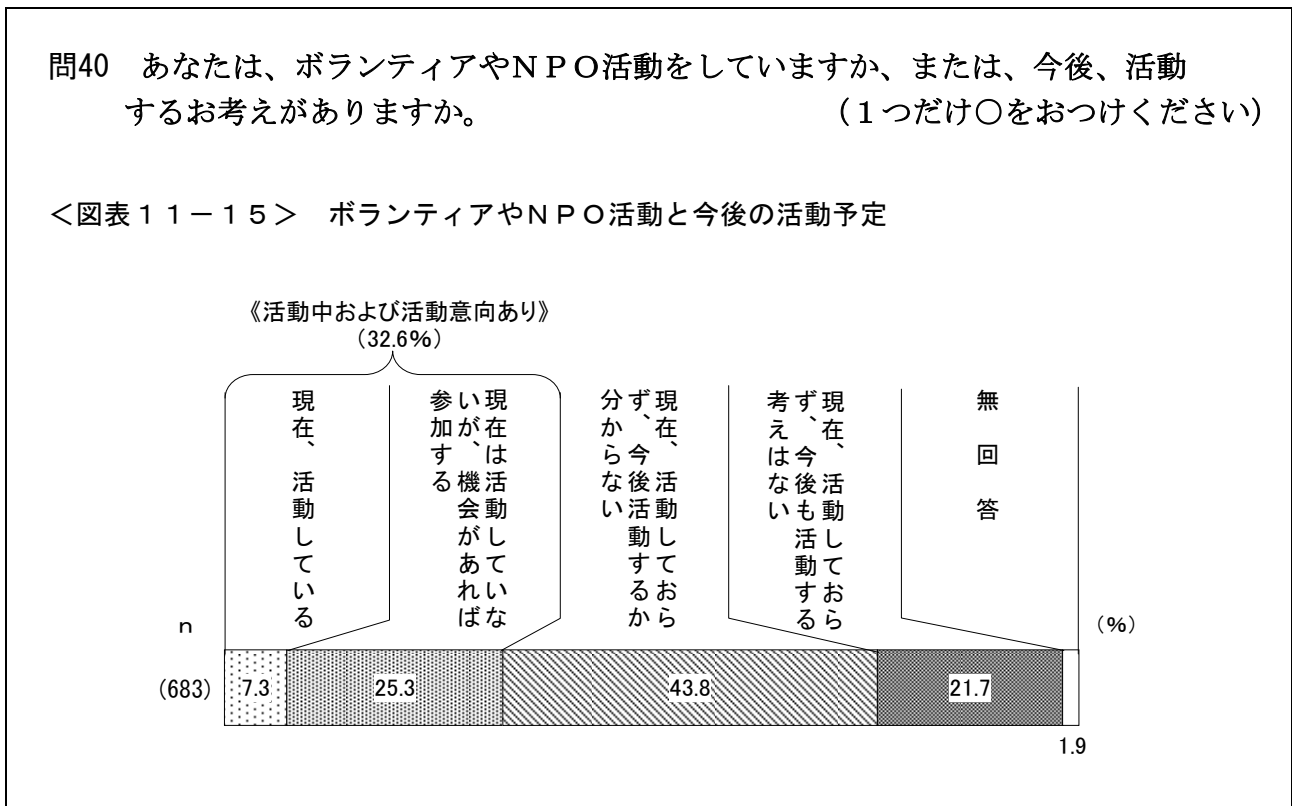


(5) ボランティアやNPO活動と今後の活動予定

◇ 《活動中および活動意向あり》が3割を超える

問40 あなたは、ボランティアやNPO活動をしていますか、または、今後、活動するお考えがありますか。
(1つだけ○をおつけください)

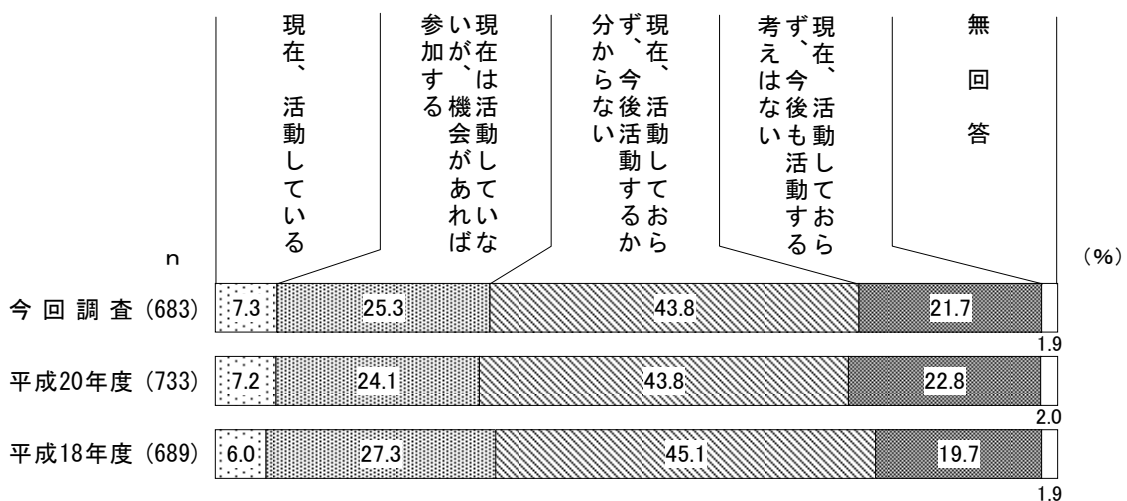
<図表11-15> ボランティアやNPO活動と今後の活動予定



ボランティアやNPO活動と今後の活動予定について聞いたところ、「現在、活動している」(7.3%)と「現在は活動していないが、機会があれば参加する」(25.3%)を合わせると、《活動中および活動意向あり》は32.6%で3割を超える。ただし、「現在、活動しておらず、今後活動するか分からない」(43.8%)が4割台半ばで最も高く、「現在、活動しておらず、今後も活動する考えはない」(21.7%)が2割を超える。(図表11-15)

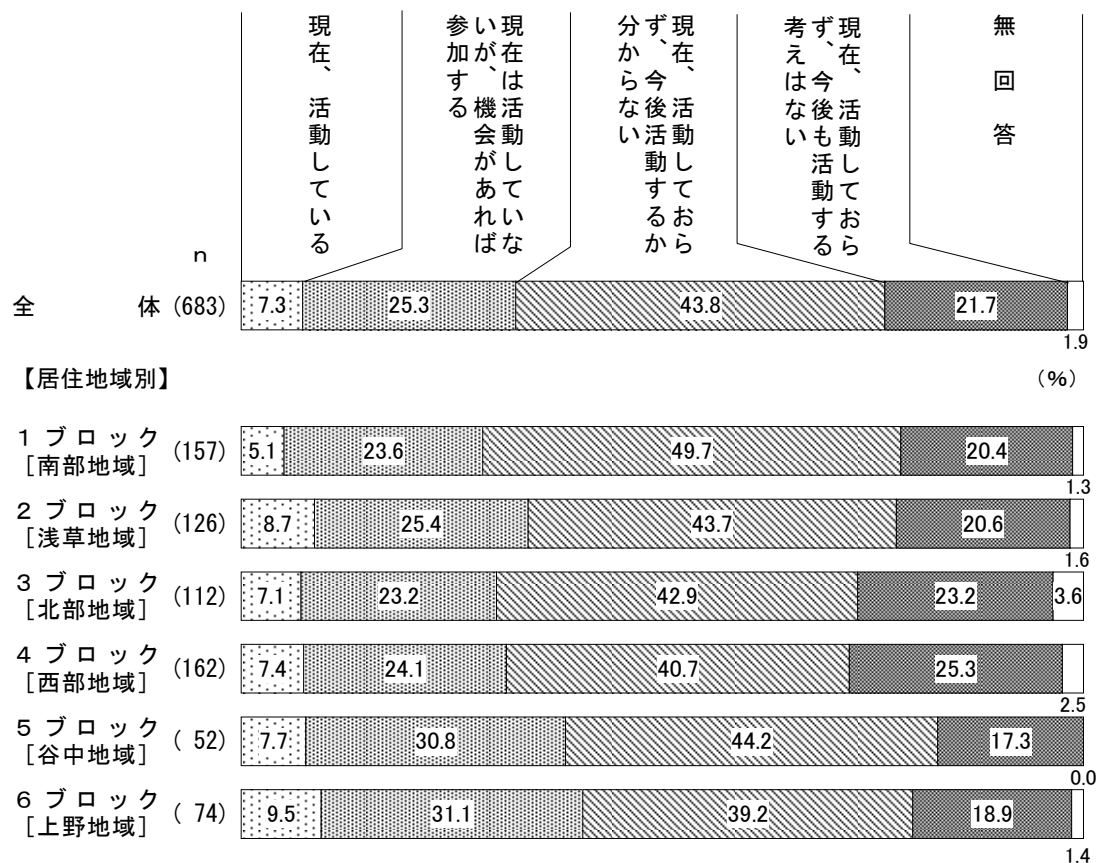
過去の調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。(図表11-16)

<図表11-16> ボランティアやNPO活動と今後の活動予定 経年比較



居住地域別でみると、《活動中および活動意向あり》は、6ブロック[上野地域] (40.6%) が4割で最も高くなっている。(図表11-17)

＜図表11-17＞ ボランティアやNPO活動と今後の活動予定 居住地域別

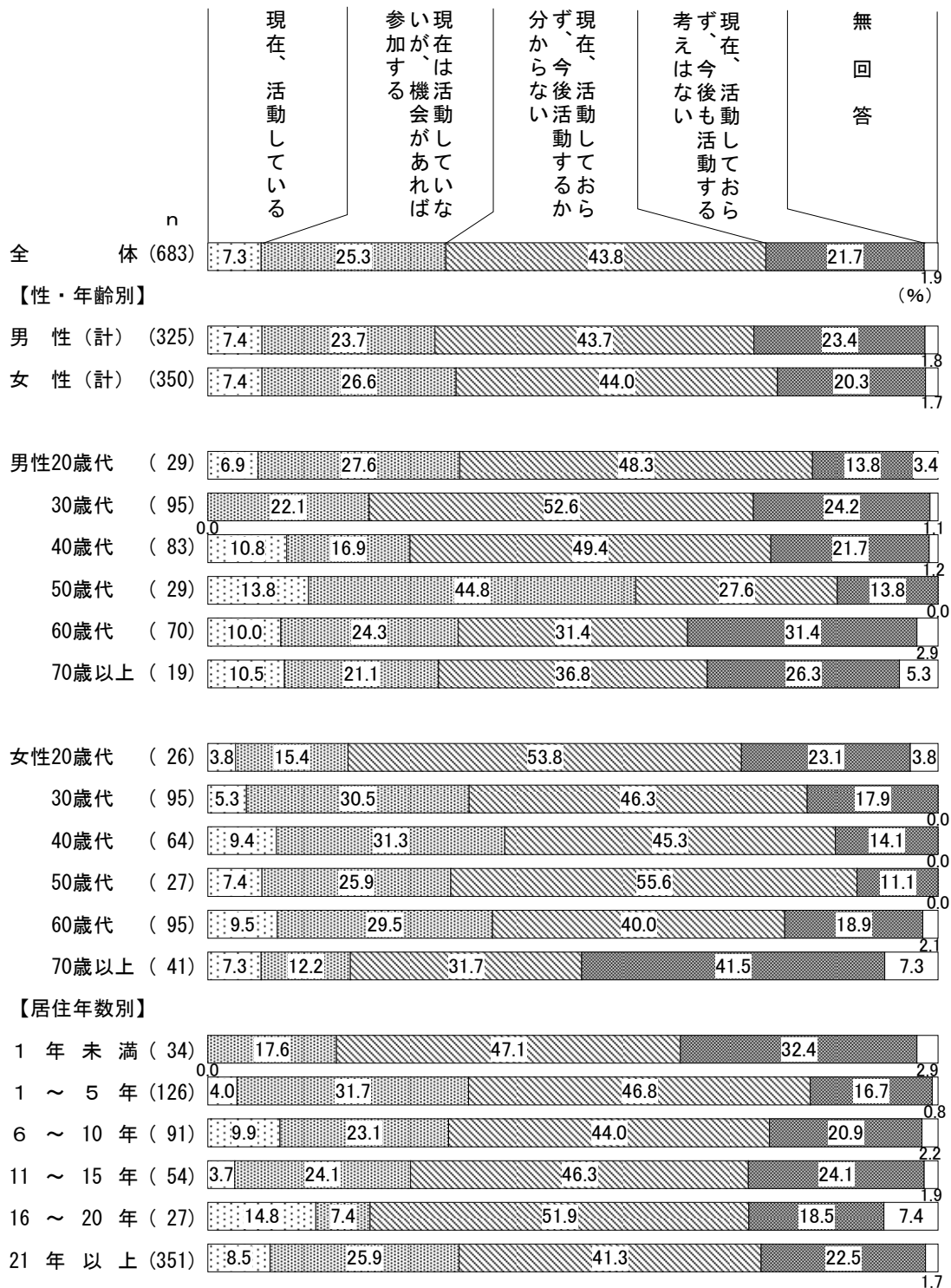


性別では、特に大きな違いはみられない。

性・年齢別でみると、《活動中および活動意向あり》は、男性では50歳代（58.6%）が約6割と特に高くなっている。女性では40歳代（40.7%）と60歳代（39.0%）が4割前後で高い。

居住年数別でみると、《活動中および活動意向あり》は、1～5年（35.7%）と21年以上（34.4%）が3割台半ば、6～10年（33.0%）が3割を超える。（図表11-18）

＜図表11-18＞ ボランティアやNPO活動と今後の活動予定 性別／性・年齢別、居住年数別



1 2. 行政経営のための取り組み

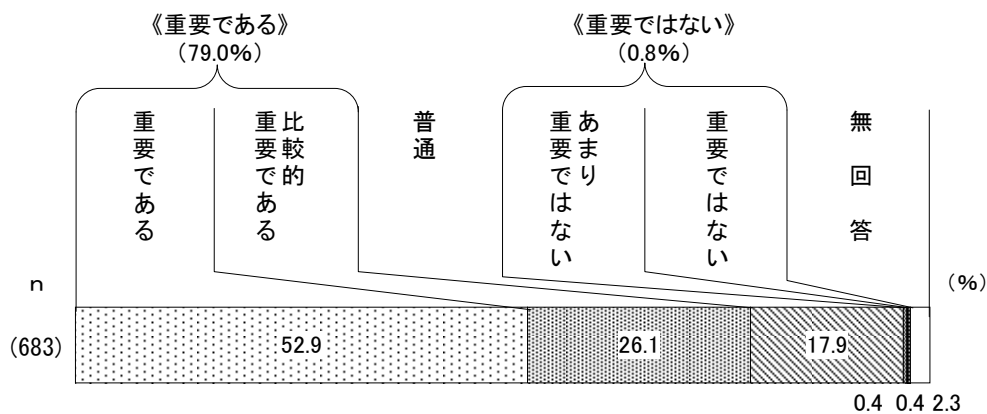
◆ 国全体で行政改革が進められています。本区も行政改革を進めてきました。今後、区民に満足していただける行政サービスを提供していくためには、限られた財源や人員を、より効果的・効率的に活かしていく行政が必要です。そのため、区では、施策や事業の不断の見直し、健全な財政の推進、職員数の削減、そして行政の外部からのチェックなど、行政経営の取り組みを進めています。

(1) 行政経営についての重要度

◇ 《重要である》が約8割

問41 行政経営についてどの程度重要だと思いますか。(1つだけ○をおつけください)

<図表1 2 - 1> 行政経営についての重要度

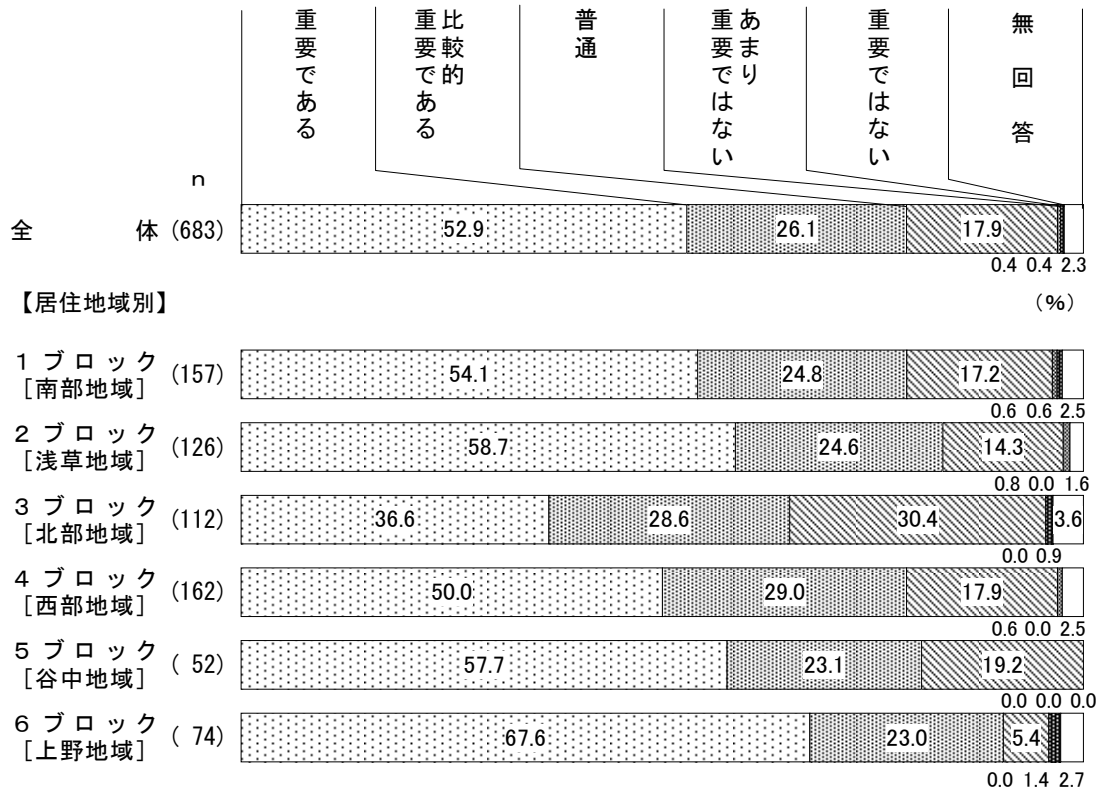


行政経営についての重要度を聞いたところ、「重要である」(52.9%)が5割を超え最も高くなっている。これに「比較的である」(26.1%)を合わせると、「重要である」は79.0%で約8割となっている。一方、「重要ではない」(「重要ではない」と「あまり重要ではない」の合計)は0.8%である。

(図表1 2 - 1)

居住地域別でみると、《重要である》は、6ブロック[上野地域]（90.6%）が9割で最も高く、次いで、2ブロック[浅草地域]（83.3%）、5ブロック[谷中地域]（80.8%）が続く。（図表12-2）

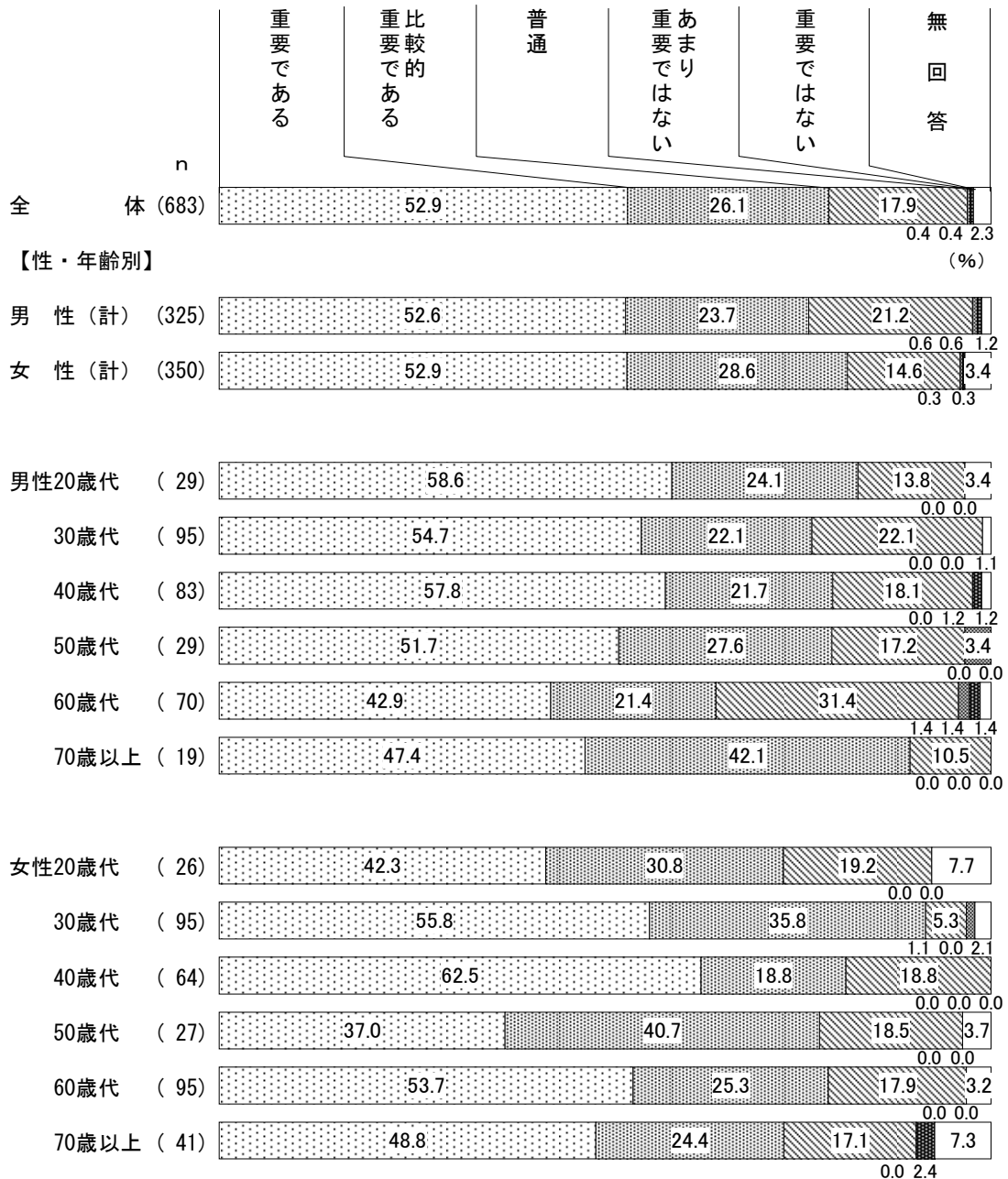
＜図表12-2＞ 行政経営についての重要度 居住地域別



性別で見ると、《重要である》は、女性（81.5%）の方が男性（76.3%）より5.2ポイント高くなっている。

性・年齢別で見ると、《重要である》は、男性では70歳以上（89.5%）が約9割、女性では30歳代（91.6%）が9割を超え高くなっている。（図表12-3）

＜図表12-3＞ 行政経営についての重要度 性別／性・年齢別



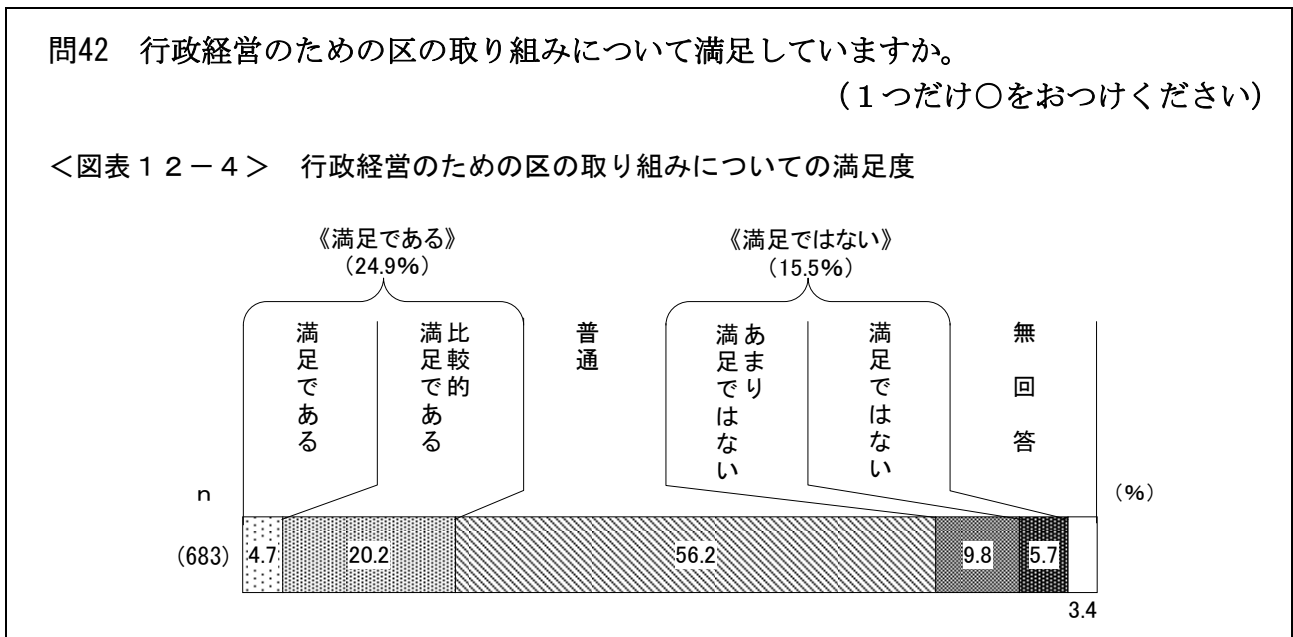
(2) 行政経営のための区の取り組みについての満足度

◇「普通」が5割台半ば、「満足である」が2割台半ば

問42 行政経営のための区の取り組みについて満足していますか。

(1つだけ○をおつけください)

<図表12-4> 行政経営のための区の取り組みについての満足度

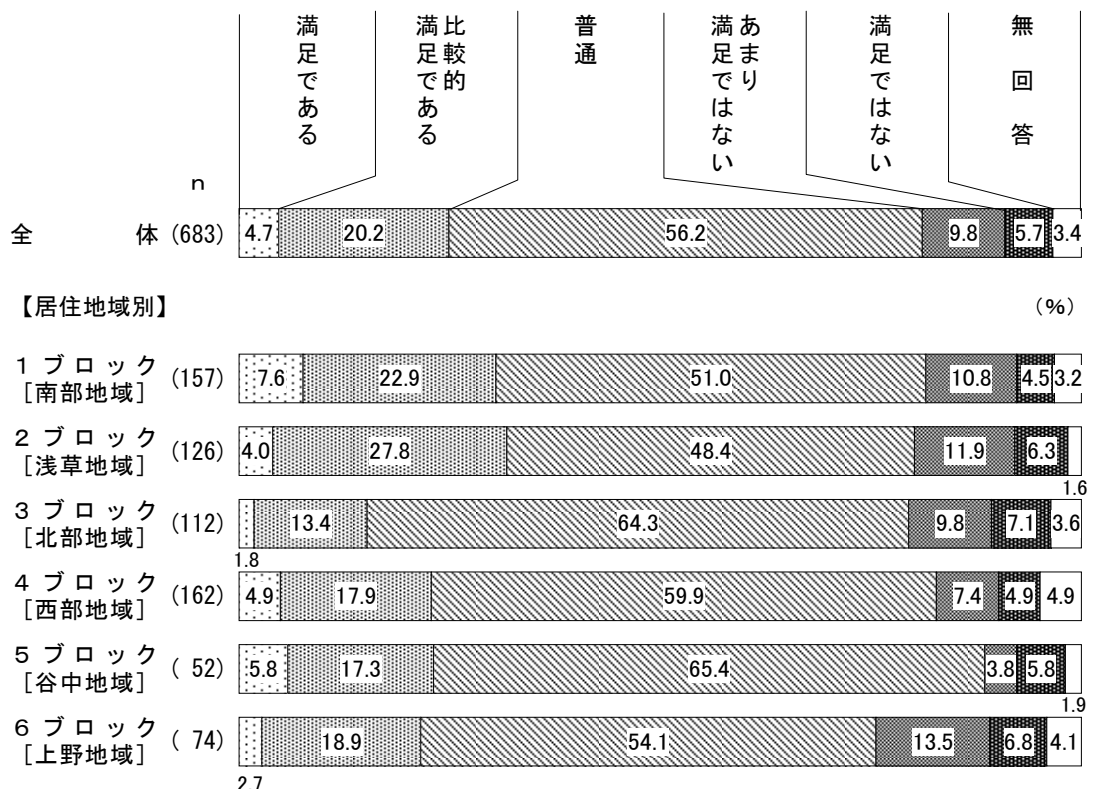


行政経営のための区の取り組みについて、満足度を聞いたところ、「普通」(56.2%)が5割台半ばで最も高くなっている。《満足である》(「満足である」と「比較的満足である」の合計)は24.9%、《満足ではない》(「満足ではない」と「あまり満足ではない」の合計)は15.5%である。(図表12-4)

居住地域別でみると、《満足である》は、3ブロック[北部地域](15.2%)が1割台半ばにとどまり低い。一方、《満足ではない》は、6ブロック[上野地域](20.3%)が2割で最も高くなっている。

(図表12-5)

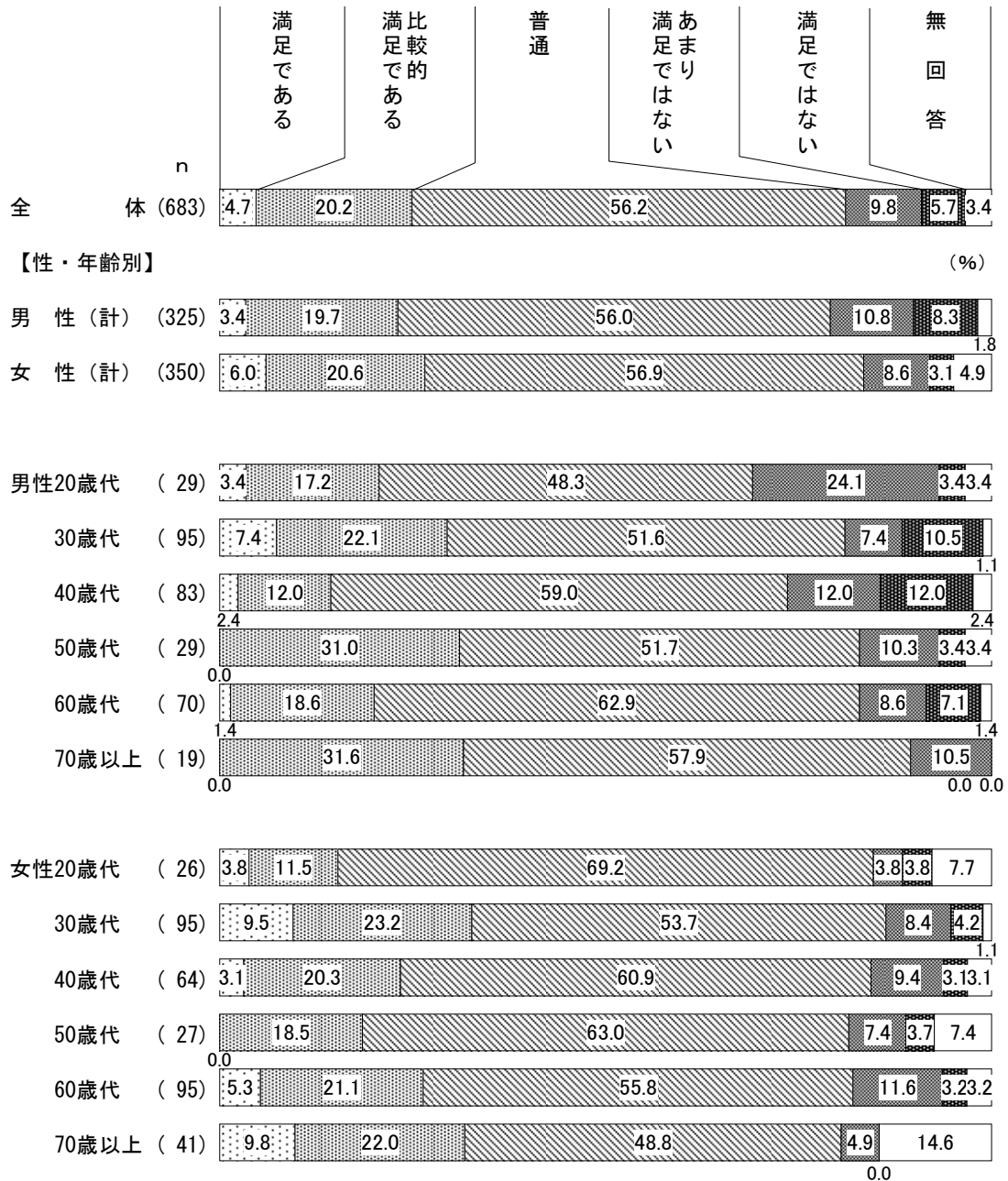
<図表12-5> 行政経営のための区の取り組みについての満足度 居住地域別



性別でみると、《満足ではない》は、男性（19.1%）の方が女性（11.7%）より7.4ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、《満足である》は、男性では70歳以上（31.6%）と50歳代（31.0%）が3割を超え、女性では30歳代（32.7%）と70歳以上（31.8%）が3割を超えている。一方、《満足ではない》は、男性の20歳代（27.5%）が約3割と高い。（図表12-6）

＜図表12-6＞ 行政経営のための区の取り組みについての満足度 性別／性・年齢別



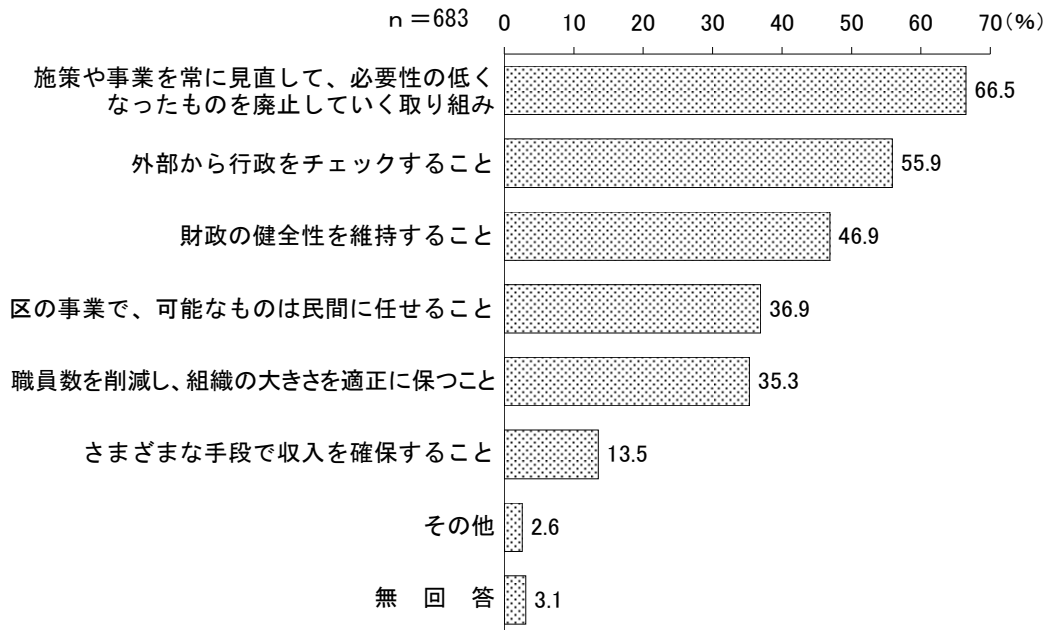
(3) 行政経営のための取り組みとして大切なもの

◇「施策や事業を常に見直して、必要性の低くなったものを廃止していく取り組み」が6割台半ば

問43 行政経営のため、どのような取り組みが大切とお考えでしょうか。

(3つまで○をおつけください)

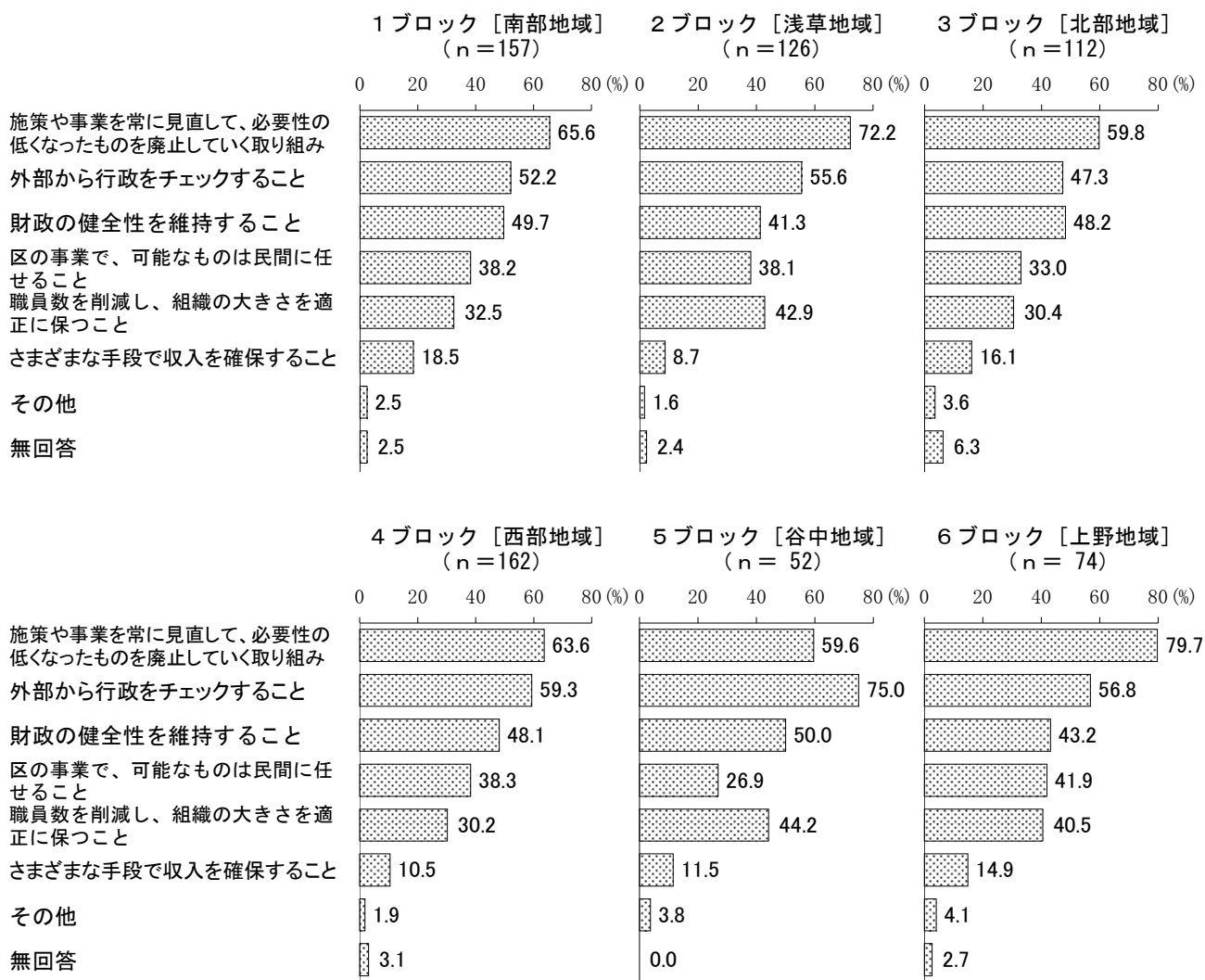
<図表12-7> 行政経営のための取り組みとして大切なもの(複数回答)



行政経営のための取り組みとして大切なものを聞いたところ、「施策や事業を常に見直して、必要性の低くなったものを廃止していく取り組み」(66.5%)が6割台半ばで最も高くなっている。次いで「外部から行政をチェックすること」(55.9%)が5割台半ば、「財政の健全性を維持すること」(46.9%)が4割台半ばとなっている。(図表12-7)

居住地域別でみると、「施策や事業を常に見直して、必要性の低くなったものを廃止していく取り組み」が、5ブロック [谷中地域] を除き、それぞれの地域で最も高く、中でも、6ブロック [上野地域] (79.7%) は約8割と高い。「外部から行政をチェックすること」は、5ブロック [谷中地域] (75.0%) で7割台半ばとなっている。(図表12-8)

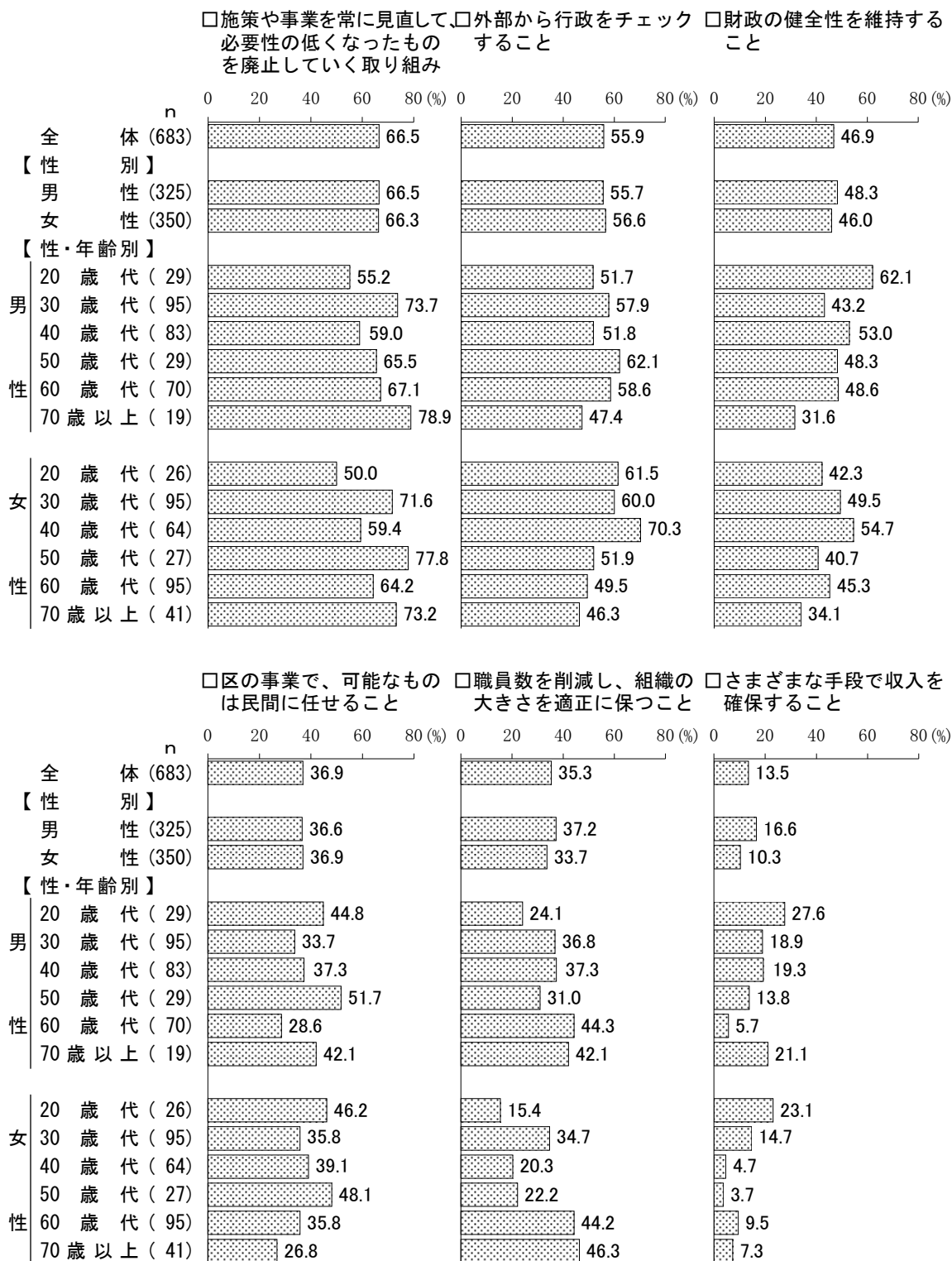
＜図表12-8＞ 行政経営のための取り組みとして大切なもの 居住地域別



性別でみると、「さまざまな手段で収入を確保すること」は、男性（16.6%）の方が女性（10.3%）よりも6.3ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると、「施策や事業を常に見直して、必要性の低くなったものを廃止していく取り組み」は、男性では70歳以上（78.9%）が約8割で最も高く、次いで30歳代（73.7%）が7割台半ばとなっている。女性では50歳代（77.8%）が約8割で高い。また、「外部から行政をチェックすること」は、女性の40歳代（70.3%）が7割で最も高くなっている。（図表12-9）

＜図表12-9＞ 行政経営のための取り組みとして大切なもの 性別／性・年齢別（上位6項目）

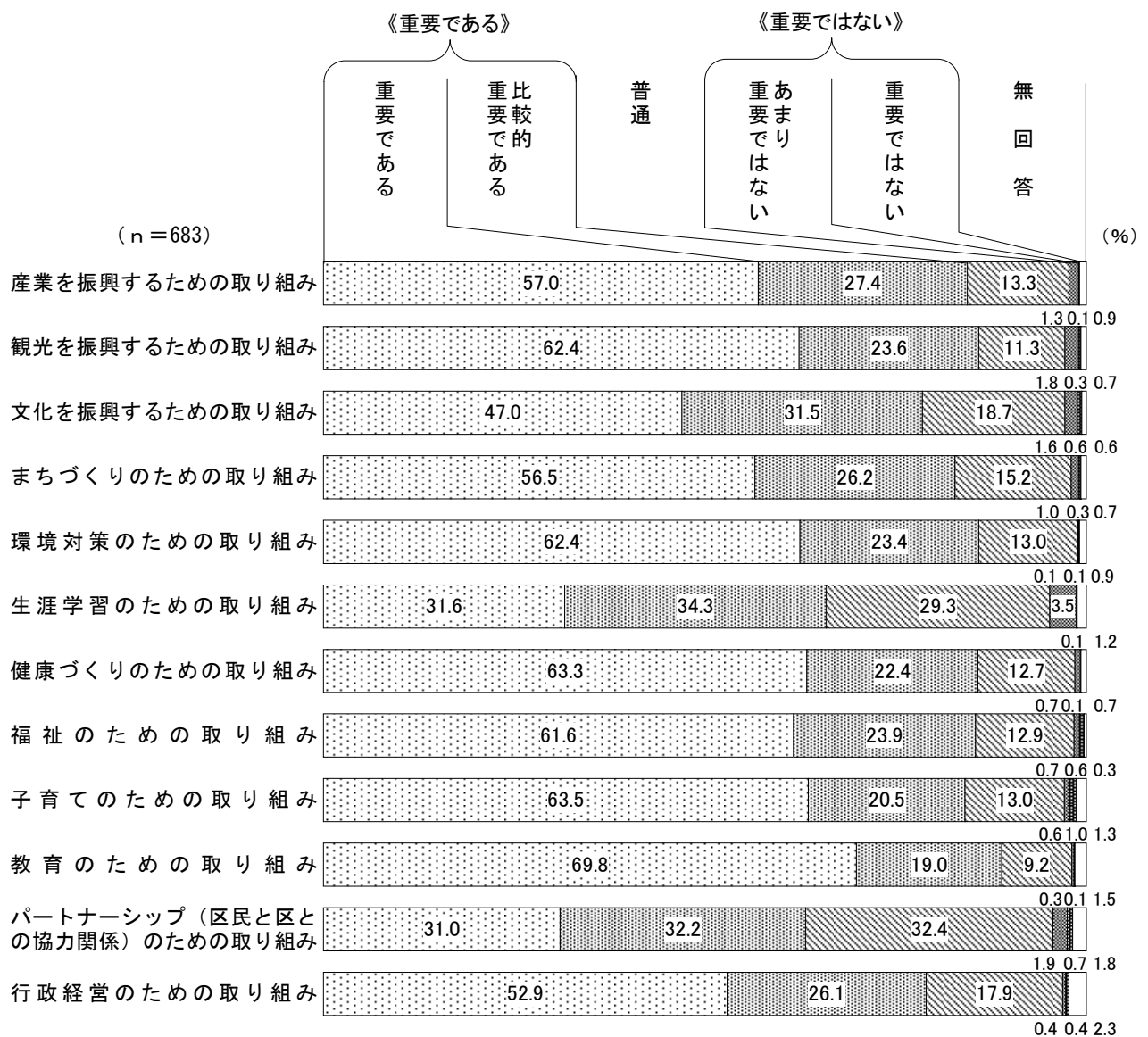


【重要度と満足度の項目間比較】

各項目の重要度を比較すると、「重要である」が最も高かったのは＜教育のための取り組み＞（69.8％）で、次いで＜子育てのための取り組み＞（63.5％）、＜健康づくりのための取り組み＞（63.3％）などとなっている。

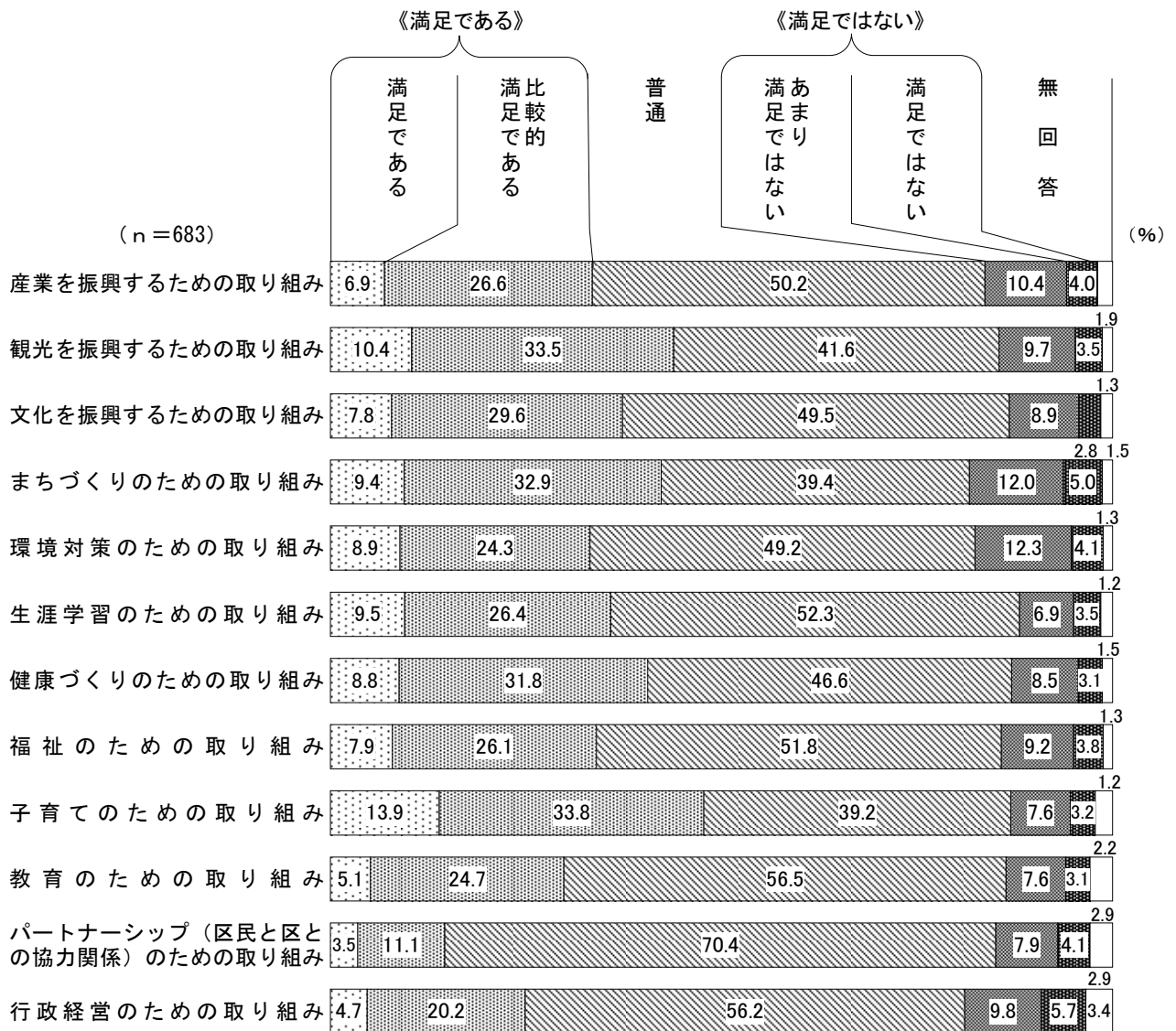
「重要である」と「比較的重要である」を合わせた《重要である》をみると、＜教育のための取り組み＞（88.8％）が約9割、＜観光を振興するための取り組み＞（86.0％）、＜環境対策のための取り組み＞（85.8％）が8割台半ばと高くなっている。（図表12-10）

＜図表12-10＞ 重要度の項目間比較



各項目の満足度を比較すると、「満足である」と「比較的満足である」を合わせた《満足である》は、＜子育てのための取り組み＞（47.7%）が約5割で最も高くなっている。次いで、＜観光を振興するための取り組み＞（43.9%）、＜まちづくりのための取り組み＞（42.3%）、＜健康づくりのための取り組み＞（40.6%）が4割台となっている。（図表12-11）

＜図表12-11＞ 満足度の項目間比較



【重要度と満足度の相関】

各項目の比較を簡単にするため、下式のように5段階評価を与えて、各項目の評価点を算出した。

$$\text{評価点} = \frac{(\text{「重要 (満足) である」} \times 2 \text{点}) + (\text{「比較的重要 (満足) である」} \times 1 \text{点}) + (\text{「普通」} \times 0 \text{点}) + [\text{「あまり重要 (満足) ではない」} \times (-1 \text{点})] + [\text{「重要 (満足) ではない」} \times (-2 \text{点})]}{\text{回答者数} - \text{無回答}}$$

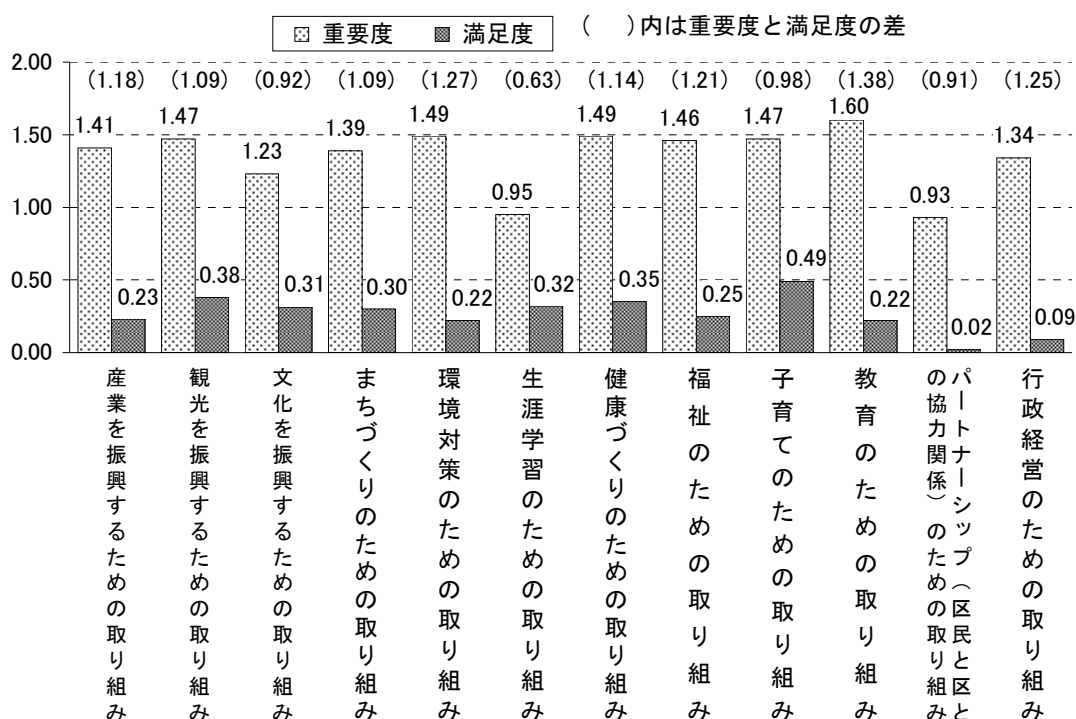
この算出方法では、評価点は-2.00点～2.00点の間に分布し、0.00点が中間点であり、2.00点に近いほど評価は良く、逆に-2.00点に近いほど評価が悪いということを表す。

結果は図表12-12のとおり、重要度では「教育のための取り組み」(1.60点)が最も高く、次いで「環境対策のための取り組み」(1.49点)と「健康づくりのための取り組み」(1.49点)が続く。一方、「パートナーシップ(区民と区との協力関係)のための取り組み」(0.93点)と「生涯学習のための取り組み」(0.95点)は1点を下回り低くなっている。


満足度では、「子育てのための取り組み」(0.49点)と「観光を振興するための取り組み」(0.38点)が高い。一方、「パートナーシップ(区民と区との協力関係)のための取り組み」(0.02点)や「行政経営のための取り組み」(0.09点)が低くなっている。

重要度と満足度の差をみると、「教育のための取り組み」(1.38点差)、「環境対策のための取り組み」(1.27点差)、「行政経営のための取り組み」(1.25点差)などで差が広がっており、希望と現状の差が現われている。(図表12-12)

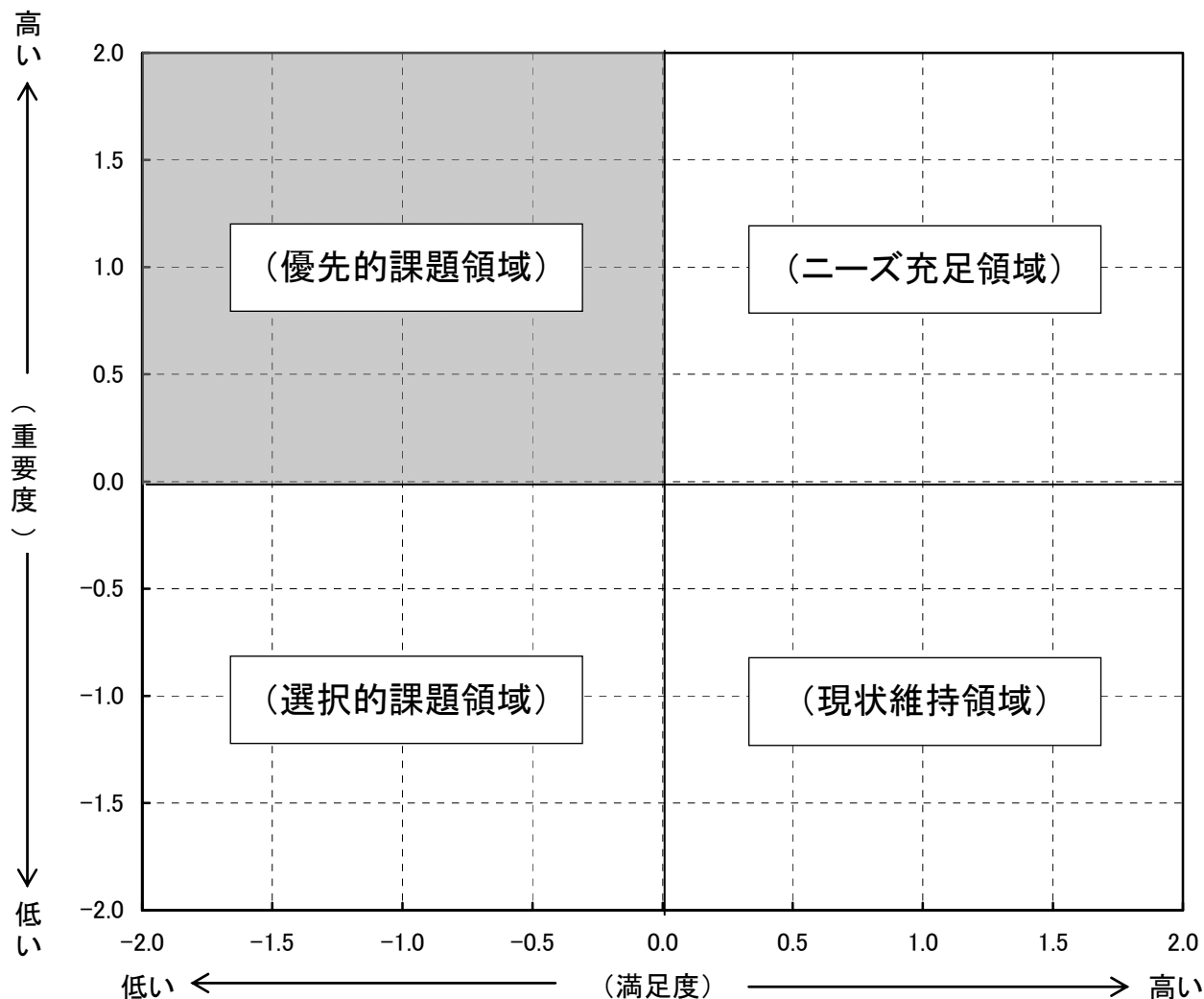
＜図表12-12＞ 区の取り組みの重要度と満足度 全体



次に、12項目の各「満足度」と「重要度」の2つの得点を用い、散布図を作成した。縦軸は“重要度”、横軸は“満足度”を表し、それぞれの基準値（0.00）で4つの領域に分けている。

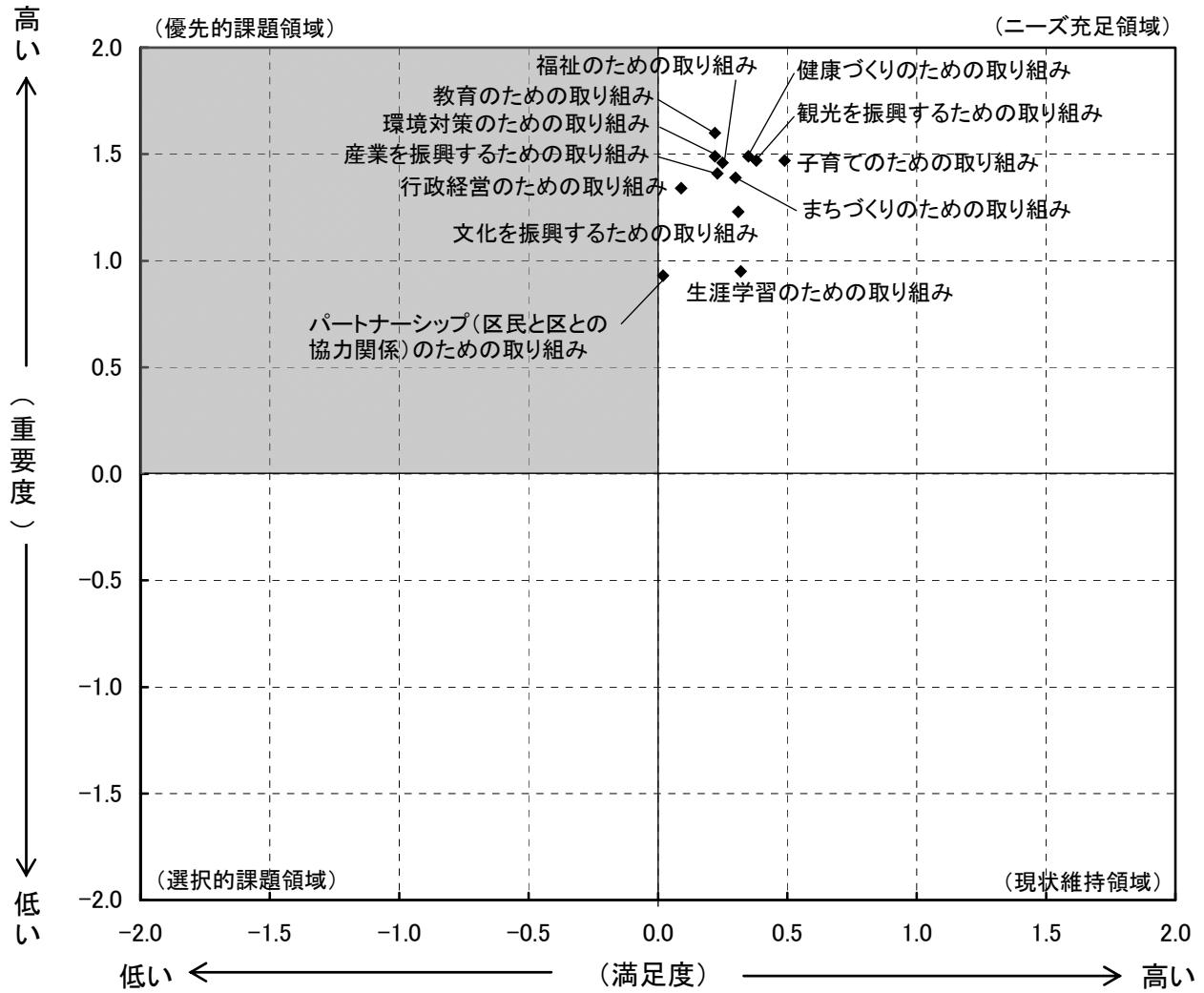
さらに、満足度が高く重要度も高い領域を<ニーズ充足領域>、満足度が低く重要度が高い領域を<優先的課題領域>、満足度が低く重要度も低い領域を<選択的課題領域>、満足度が高く重要度が低い領域を<現状維持領域>としている。網掛け  されている<優先的課題領域>内の項目が、最も優先的に取り組むべき項目と考えられる。

なお、ここでの領域は基準値（0.00）で分けているため、項目間で相対的にみているものではなく、絶対的評価となっている。



全体でみると、全て<ニーズ充足領域>内にあるが、「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」と「行政経営のための取り組み」が、<優先的課題領域>の近くに位置している。
 (図表 1 2 - 1 3)

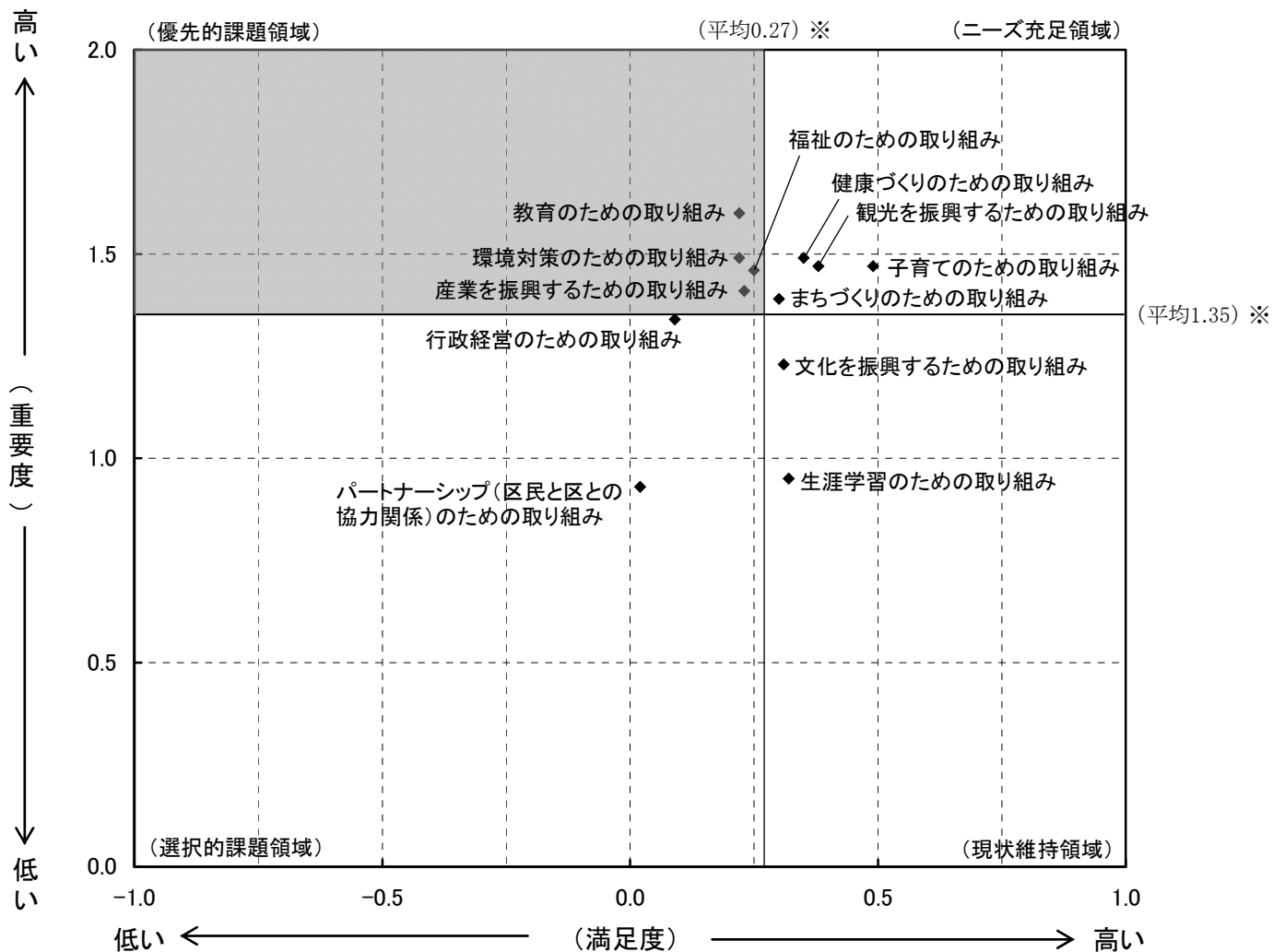
<図表 1 2 - 1 3> 重要度と満足度の相関（全体）



前頁では、各項目の位置関係について0.00を基準値とした絶対的評価の領域で表していたが、すべての項目が＜ニーズ充足領域＞に入っていたため項目間の違いがはっきりとはみられない。そこで、項目間の相対的な評価を行うために、ここからは基準値（0.00）ではなく、「重要度」と「満足度」の平均値を基準に4つの領域に分けて分析を行う。なお、図表を拡大するために重要度を0.00～2.00、満足度を-1.00～1.00の範囲で表示している。

12項目の平均値を基準に見ると、＜優先的課題領域＞には「教育のための取り組み」、「環境対策のための取り組み」、「福祉のための取り組み」、「産業を振興するための取り組み」の4つが入っている。一方、＜選択的課題領域＞には、「行政経営のための取り組み」、「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」が入っている。（図表12-14）

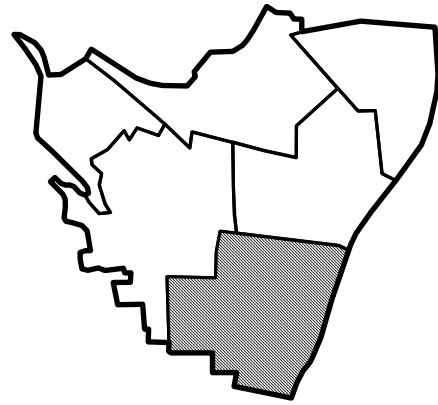
＜図表12-14＞ 重要度と満足度の相関（全体）



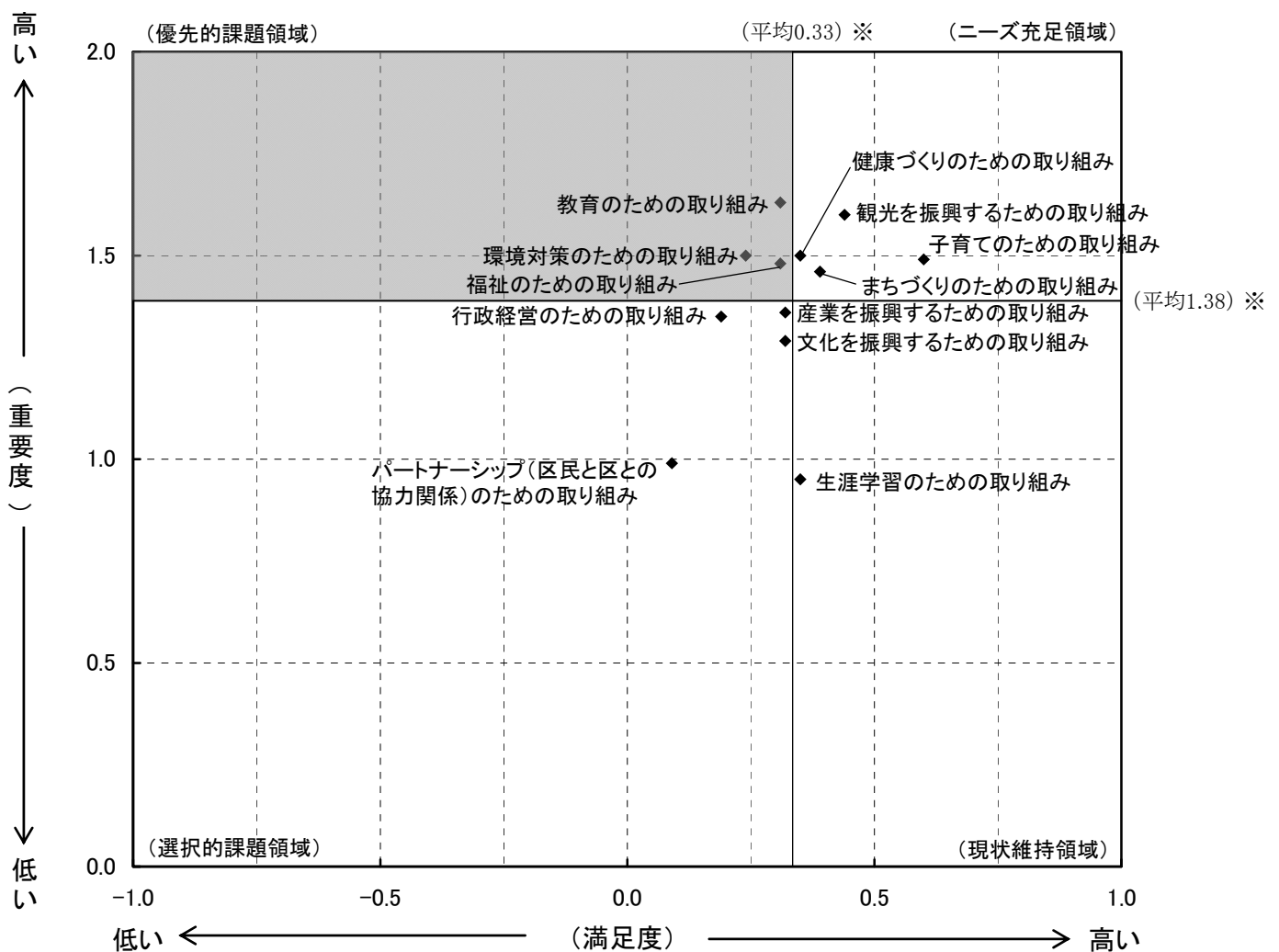
※上記12項目の平均値

【1ブロック [南部地域]】

1ブロック [南部地域] でみると、「教育のための取り組み」、「環境対策のための取り組み」、「福祉のための取り組み」が優先して取り組むべき項目となっている。また、選択的課題としては、「産業を振興するための取り組み」、「行政経営のための取り組み」、「文化を振興するための取り組み」、「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」が入っている。（図表12-15）



＜図表12-15＞ 重要度と満足度の相関（1ブロック [南部地域]）

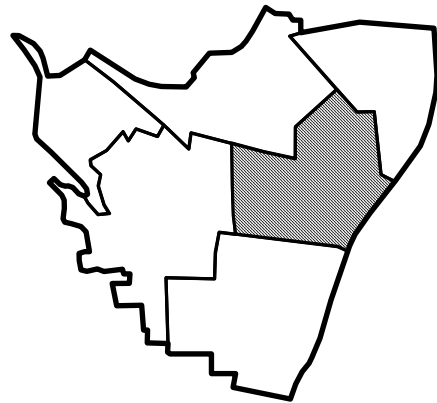


※上記12項目の平均値

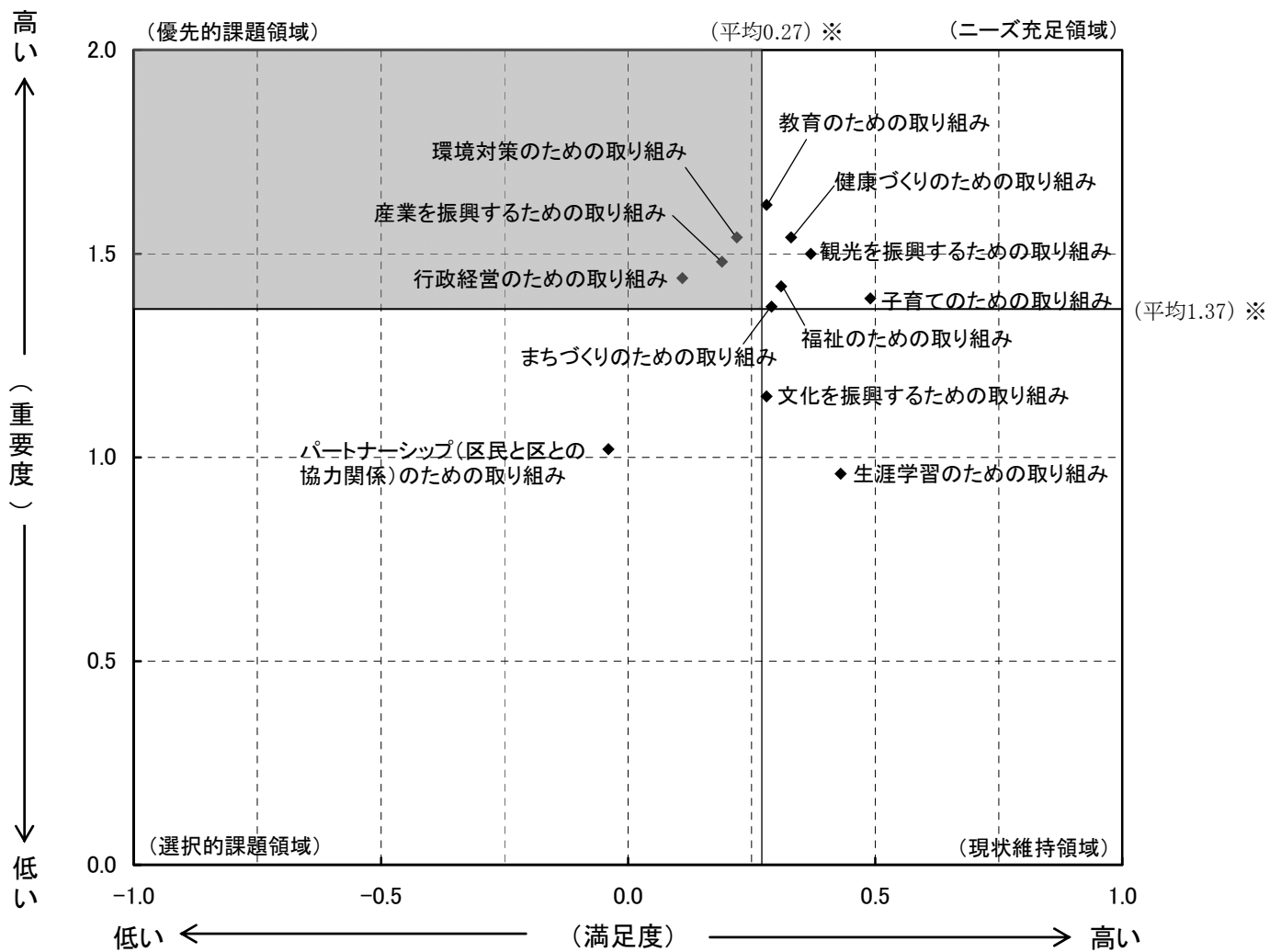
【2ブロック [浅草地域]】

2ブロック [浅草地域] では、「環境対策のための取り組み」、「産業を振興するための取り組み」、「行政経営のための取り組み」が優先的に取り組むべき項目となっている。一方、＜選択的課題領域＞には、「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」が入っている。

(図表 1 2 - 1 6)

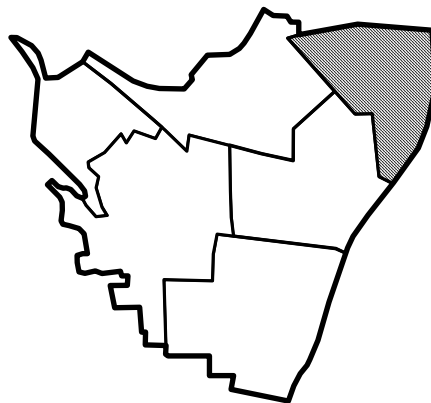


＜図表 1 2 - 1 6＞ 重要度と満足度の相関（2ブロック [浅草地域]）

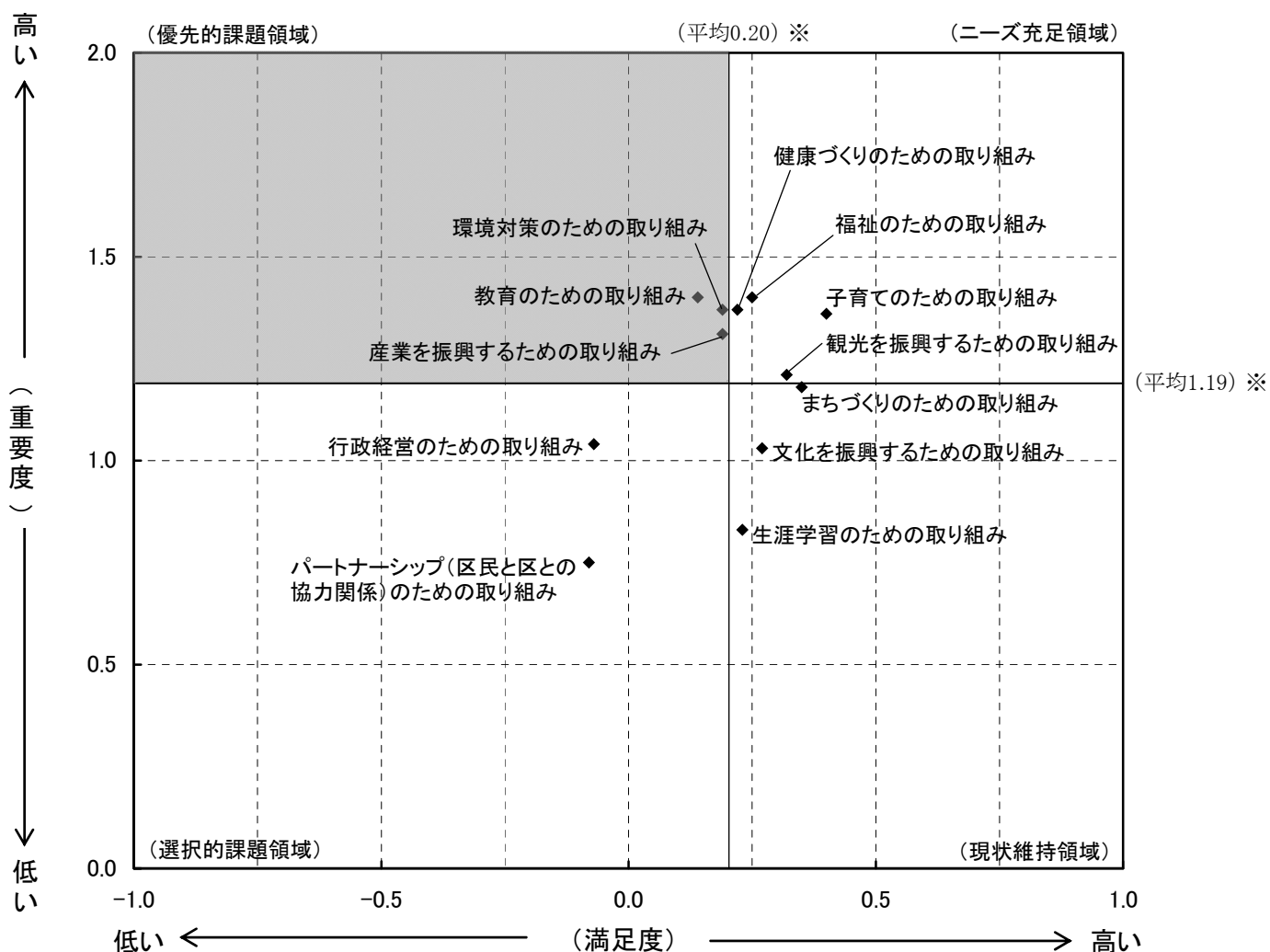


【3ブロック [北部地域]】

3ブロック [北部地域] でみると、「教育のための取り組み」、「環境対策のための取り組み」、「産業を振興するための取り組み」が優先的に取り組むべき項目となっている。一方、＜選択的課題領域＞には、「行政経営のための取り組み」と「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」が入っている。（図表12-17）



＜図表12-17＞ 重要度と満足度の相関（3ブロック [北部地域]）

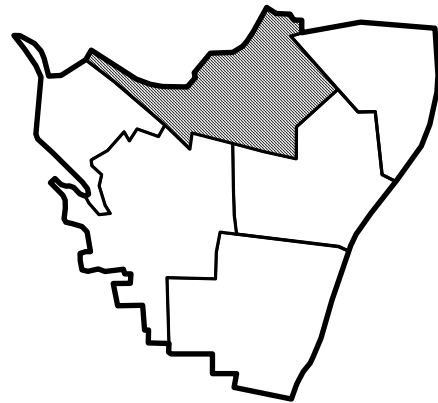


※上記12項目の平均値

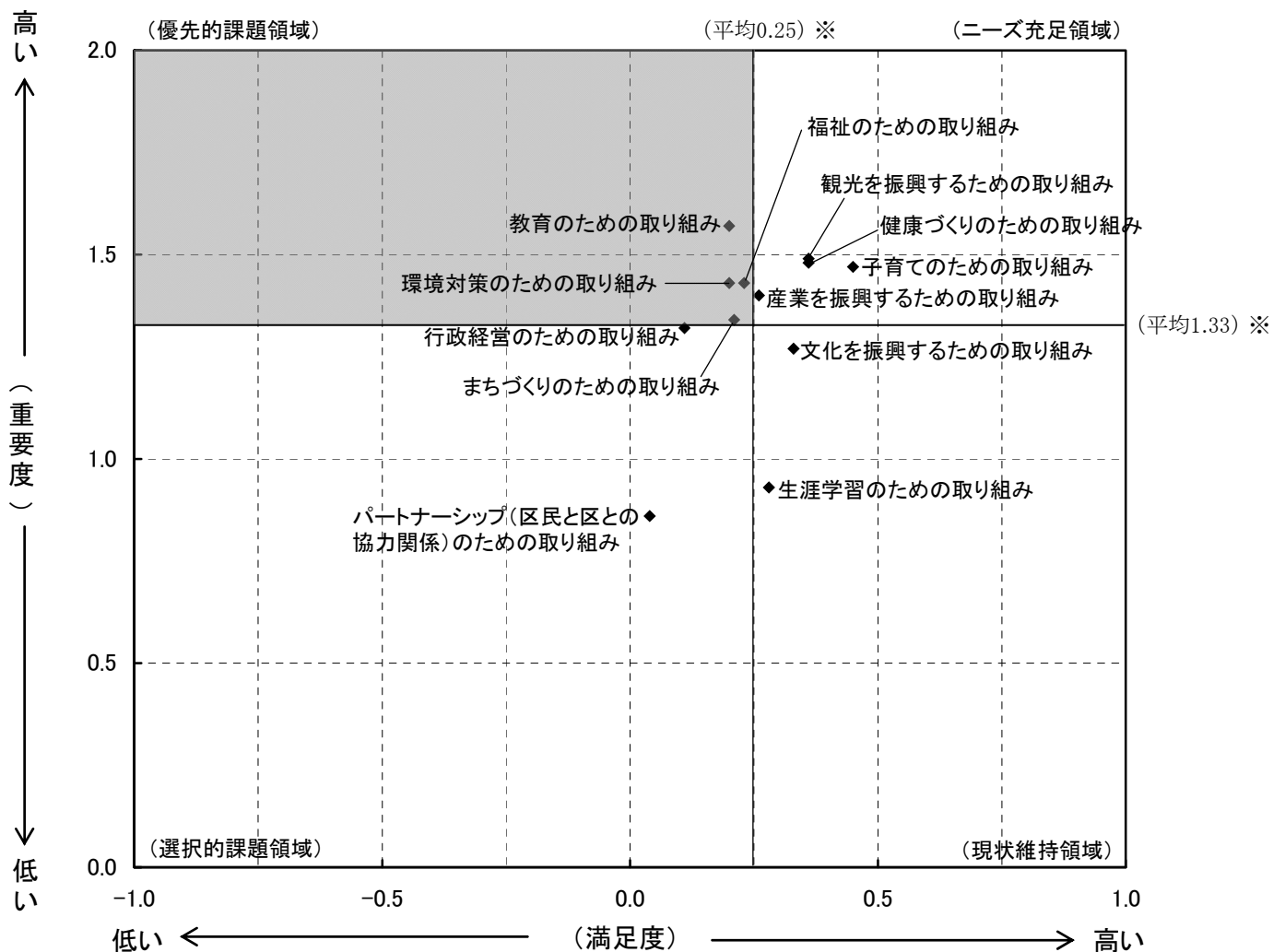
【4ブロック [西部地域]】

4ブロック [西部地域] でみると、「教育のための取り組み」、「福祉のための取り組み」、「環境対策のための取り組み」、「まちづくりのための取り組み」が優先的に取り組むべき項目となっている。一方、＜選択的課題領域＞には、「行政経営のための取り組み」と「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」が入っている。

(図表 1 2 - 1 8)

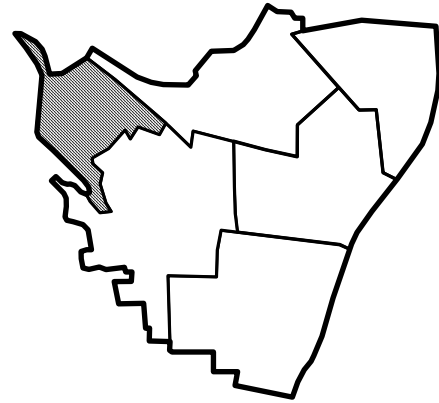


＜図表 1 2 - 1 8＞ 重要度と満足度の相関（4ブロック [西部地域]）

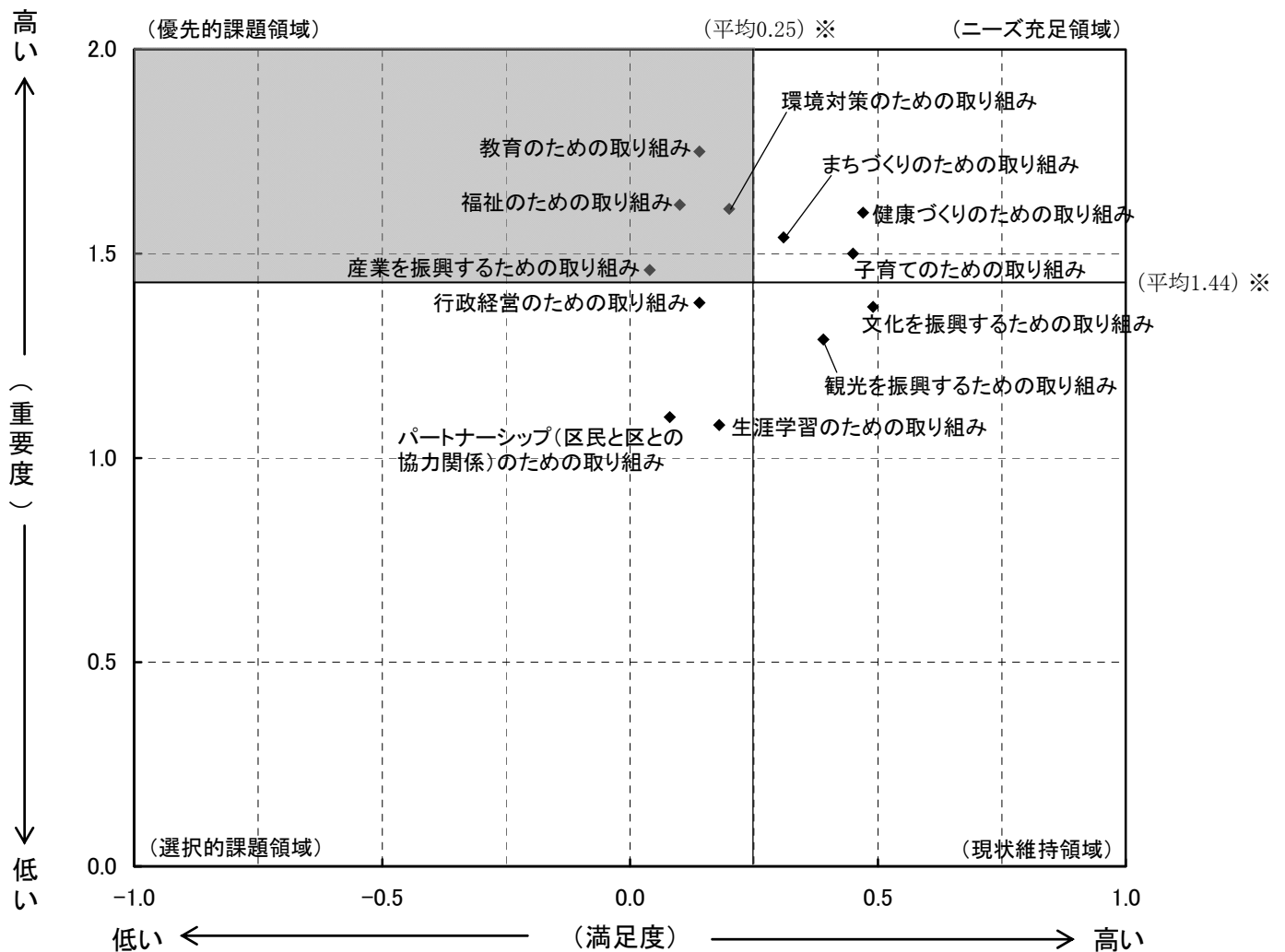


【5ブロック [谷中地域]】

5ブロック [谷中地域] でみると、「教育のための取り組み」、「福祉のための取り組み」、「環境対策のための取り組み」、「産業を振興するための取り組み」が優先的に取り組むべき項目となっている。一方、〈選択的課題領域〉には、「行政経営のための取り組み」、「生涯学習のための取り組み」、「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」が入っている。（図表12-19）

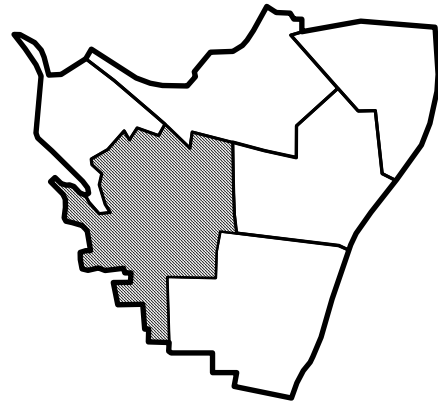


＜図表12-19＞ 重要度と満足度の相関（5ブロック [谷中地域]）

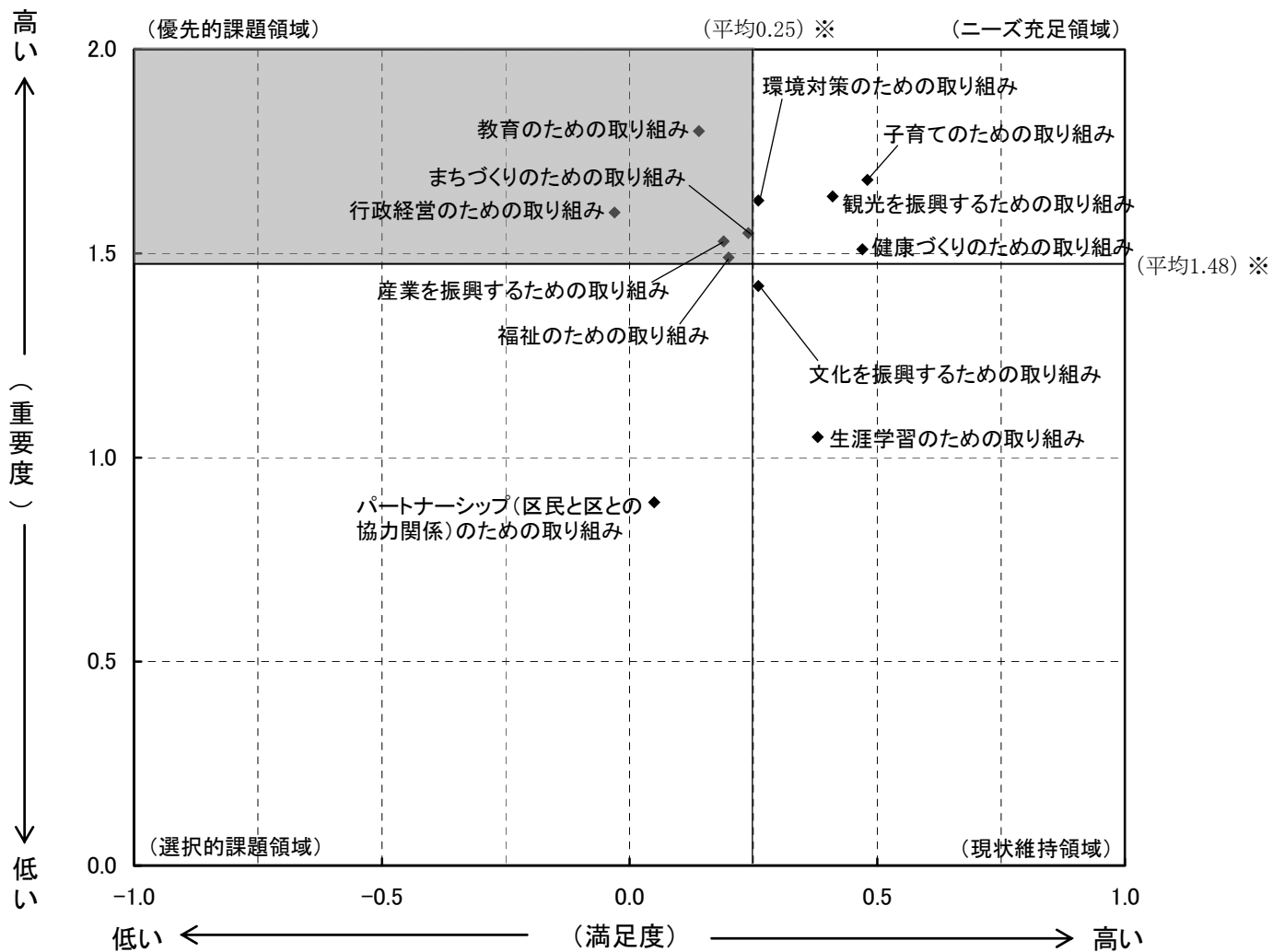


【6ブロック [上野地域]】

6ブロック [上野地域] でみると、「教育のための取り組み」、「行政経営のための取り組み」、「まちづくりのための取り組み」、「産業を振興するための取り組み」、「福祉のための取り組み」が優先的に取り組むべき項目となっている。一方、＜選択的課題領域＞には、「パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み」が入っている。（図表12-20）



＜図表12-20＞ 重要度と満足度の相関（6ブロック [上野地域]）



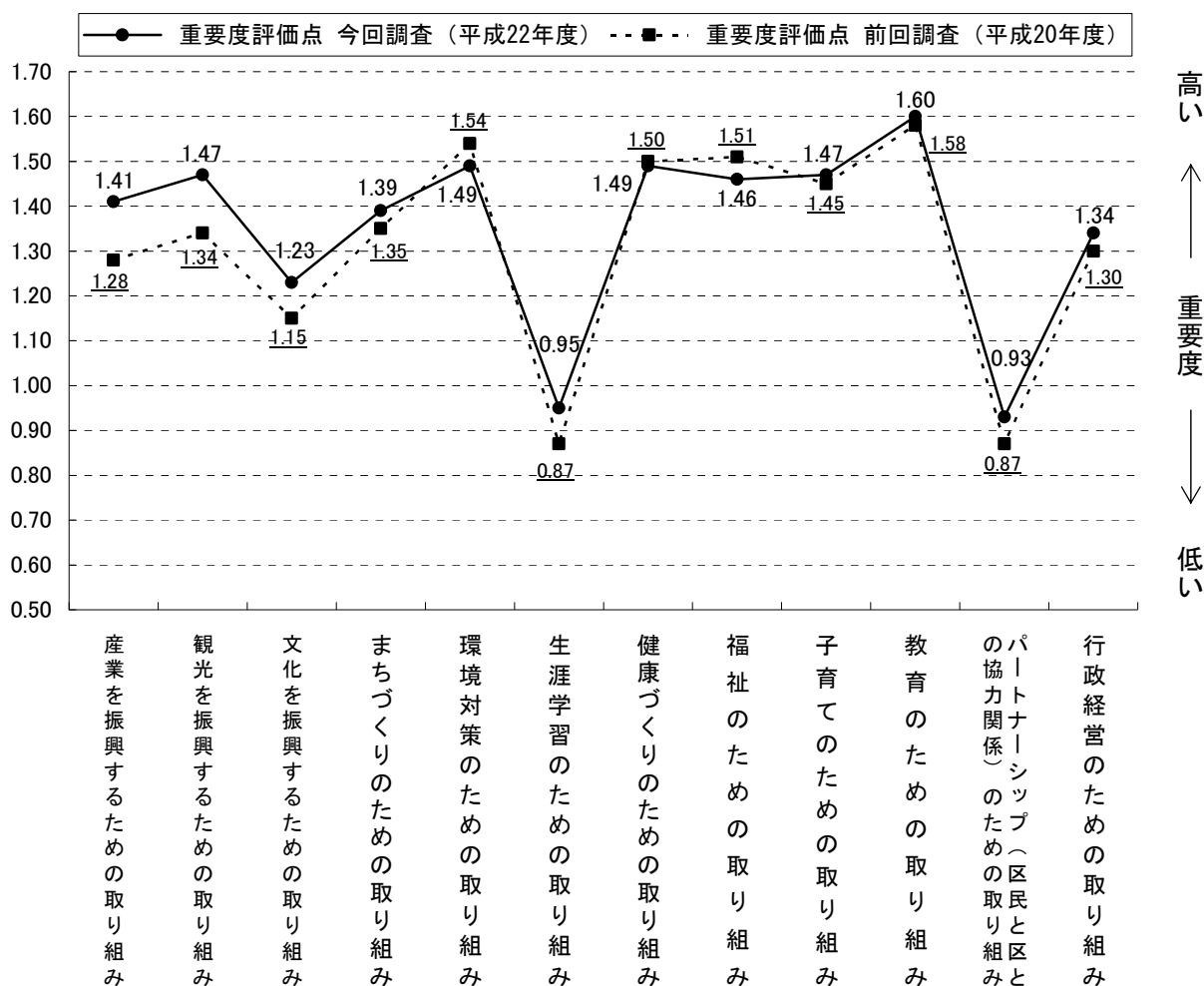
※上記12項目の平均値

【重要度と満足度の前回調査との比較】

この区民満足度調査は、平成20年度に同じ方法で実施し、同じ項目をたずねている。そのため、平成20年度の調査（以下「前回調査」という。）からの変化を把握することが可能である。

前回調査で得られた重要度の評価点と今回の重要度の評価点を比較したところ、「産業を振興するための取り組み」（前回調査1.28→今回調査1.41）と「観光を振興するための取り組み」（前回調査1.34→今回調査1.47）は重要度が0.13ポイント増加して、最も増加幅が大きくなっている。逆に、前回調査に比べて重要度が減少しているのは、「環境対策のための取り組み」（前回調査1.54→今回調査1.49）と「福祉のための取り組み」（前回調査1.51→今回調査1.46）、「健康づくりのための取り組み」（前回調査1.50→今回調査1.49）の3項目である。（図表12-21）

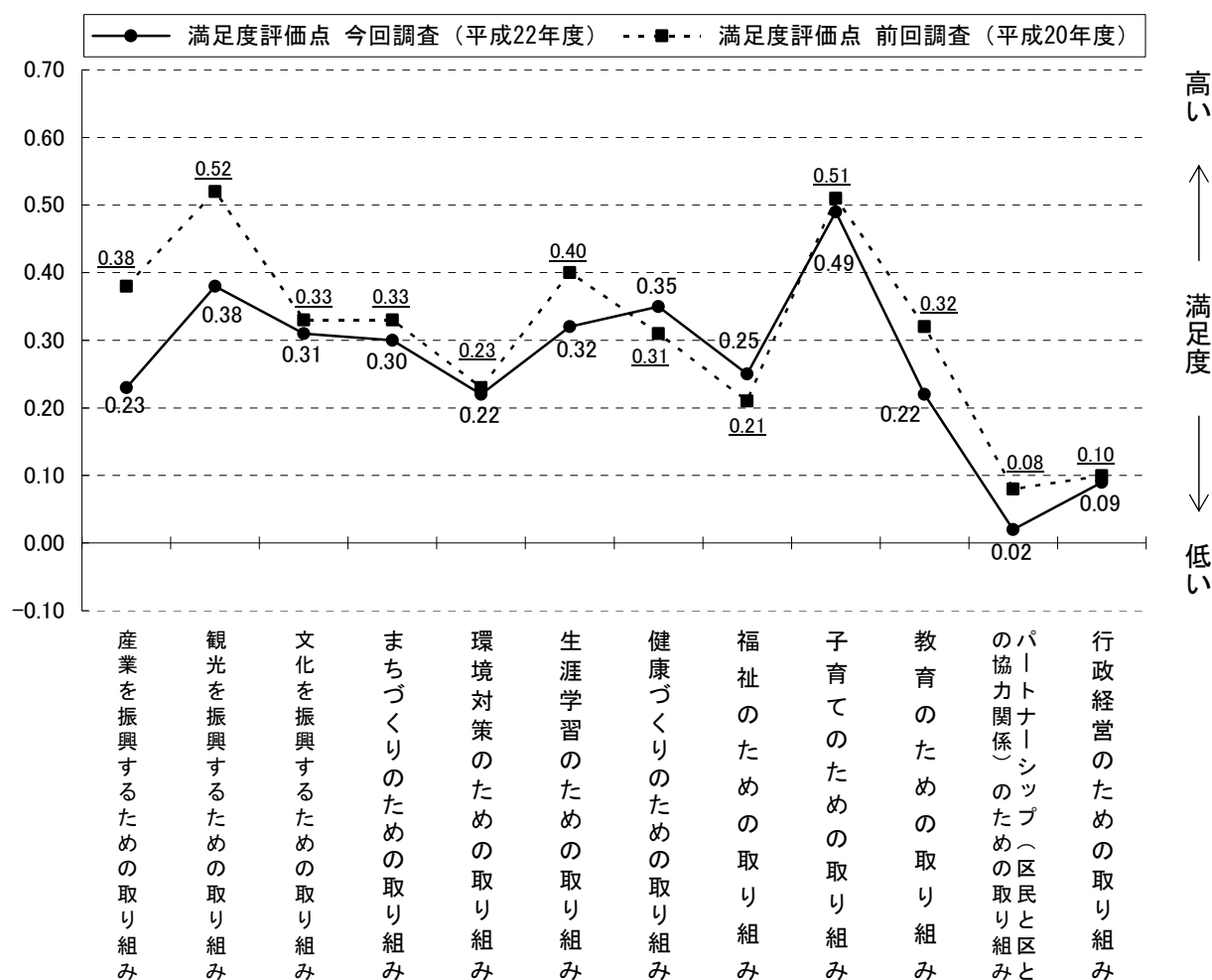
＜図表12-21＞ 重要度の前回調査との比較



（注）図表中、下線つきの値は前回調査（平成20年度）の重要度評価点を、下線のない値は今回調査（平成22年度）の重要度評価点を示す。

重要度と同様に、満足度についても前回調査で得られた評価点と今回の評価点を比較したところ、前回調査に比べて満足度が増加しているのは、「健康づくりのための取り組み」（前回調査0.31→今回調査0.35）と「福祉のための取り組み」（前回調査0.21→今回調査0.25）の2項目である。逆に、「産業を振興するための取り組み」（前回調査0.38→今回調査0.23）と「観光を振興するための取り組み」（前回調査0.52→今回調査0.38）、「教育のための取り組み」（前回調査0.32→今回調査0.22）では、満足度が0.1ポイント以上減少し、減少幅が大きくなっている。（図表12-22）

<図表12-22> 満足度の前回調査との比較



(注) 図表中、下線つきの値は前回調査（平成20年度）の満足度評価点を、下線のない値は今回調査（平成22年度）の満足度評価点を示す。

【改善要望度】

各施策の重要度・満足度を同等の尺度で評価するため、それぞれの数値を標準化し、標準化された重要度・満足度を合算して新たな指標「改善要望度」を作成した。これは重要度と満足度双方を考慮して、いずれの施策を優先的に改善すればよいかを把握する一つの指標と位置づけられる。

なお改善要望度は、満足度が低く重要度が高いほど数値が大きくなり、満足度が高く重要度が低いほど小さくなるよう、以下のような数式を用いて算出した。

改善要望度について各項目の順位をみると、「教育のための取り組み」が前回調査の4位から今回調査では1位と順位を3つ上げ、「福祉のための取り組み」が前回調査の1位から今回調査では4位と順位を3つ下げている。(図表12-23)

$$\text{改善要望度} = (\text{重要度 z 値}) - (\text{満足度 z 値})$$

$$\text{重要度 z 値} = (\text{各施策の重要度平均} - \text{重要度全体の平均}) / \text{重要度全体の標準偏差}^{\ast}$$

$$\text{満足度 z 値} = (\text{各施策の満足度平均} - \text{満足度全体の平均}) / \text{満足度全体の標準偏差}^{\ast}$$

※標準偏差とは、複数のデータが存在した時に、そのデータ群の平均値とそれぞれのデータの乖離具合、ばらつき具合を示したものです。

<図表12-23> 改善要望度

今回調査					順位の変化	前回調査	
順位	施策	重要度 z 値	満足度 z 値	改善要望度		順位	改善要望度
1	教育のための取り組み	0.364	-0.057	2.105	↑	4	1.117
2	環境対策のための取り組み	0.188	-0.049	1.186	←	2	1.584
3	行政経営のための取り組み	-0.015	-0.203	0.941	←	3	1.515
4	福祉のための取り組み	0.136	-0.017	0.766	↓	1	1.594
5	産業を振興するための取り組み	0.074	-0.040	0.567	↑	8	-0.696
6	健康づくりのための取り組み	0.183	0.098	0.428	↓	5	0.820
7	観光を振興するための取り組み	0.149	0.124	0.125	↑	11	-1.464
8	まちづくりのための取り組み	0.047	0.036	0.054	↓	6	0.009
9	子育てのための取り組み	0.143	0.239	-0.480	↑	10	-0.882
10	パートナーシップ（区民と区との協力関係）のための取り組み	-0.475	-0.345	-0.648	↓	7	-0.157
11	文化を振興するための取り組み	-0.144	0.053	-0.985	↓	9	-0.880
12	生涯学習のための取り組み	-0.457	0.063	-2.603	←	12	-2.583

1 3. 施策の優先順位について

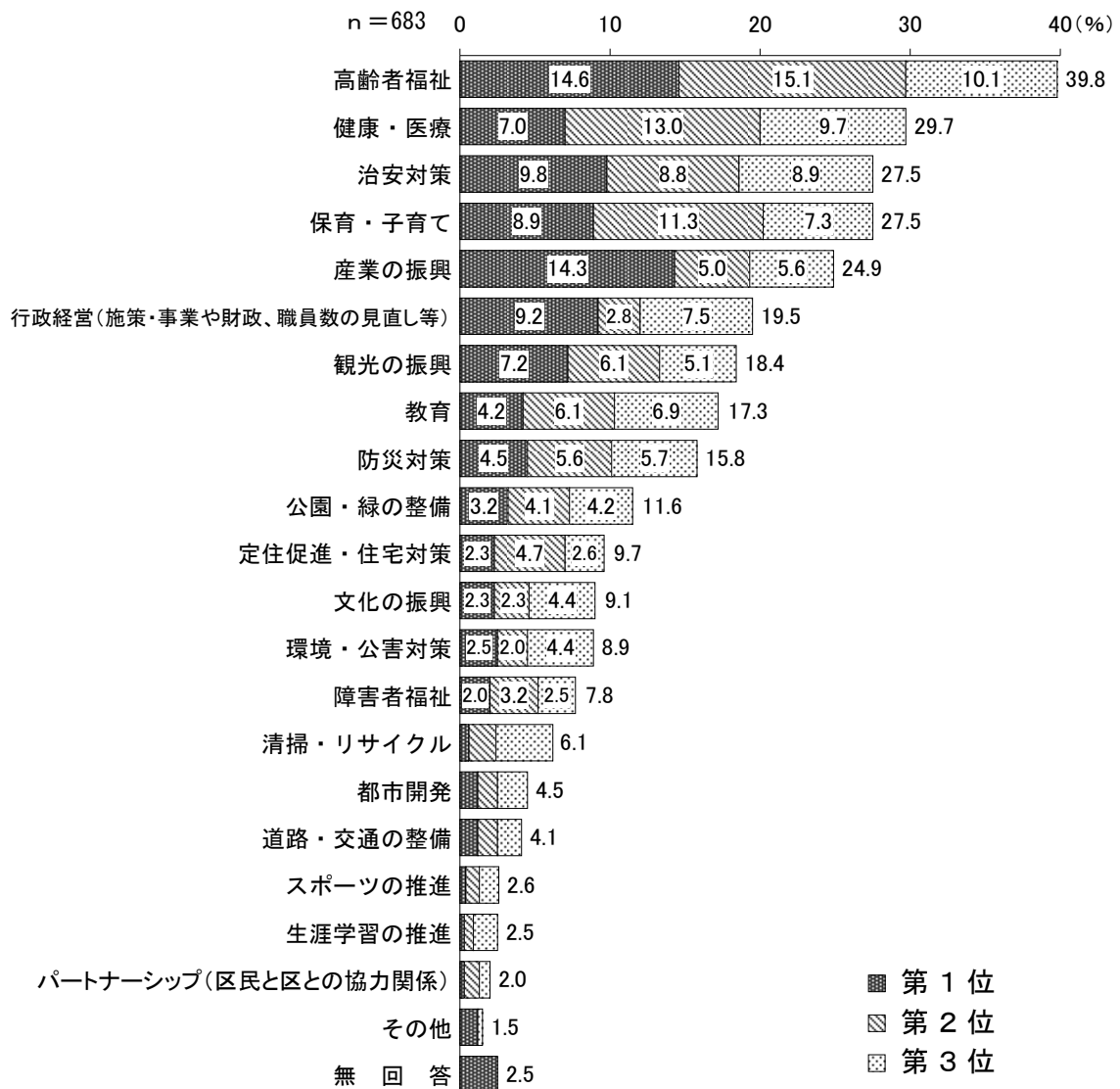
◆ 最後に、あらためて、全体を通して、今後、区が力を入れていくべきとお考えの施策について、優先順位をお伺いします。

(1) 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策

◇ 「高齢者福祉」が約4割

問44 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策を第1位から第3位まで選んで、数字を下の欄内にご記入ください。

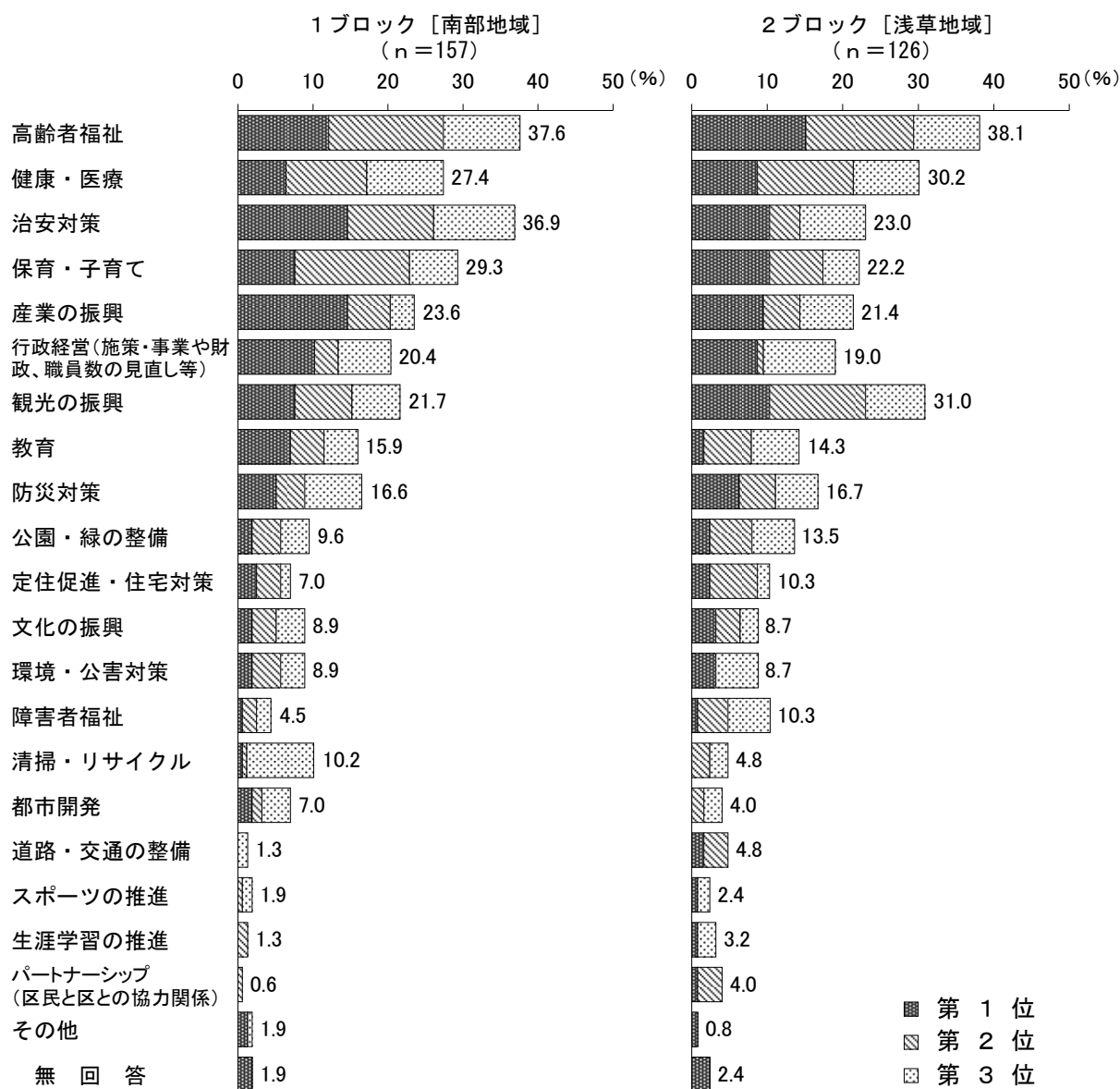
<図表13-1> 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策（複数回答）

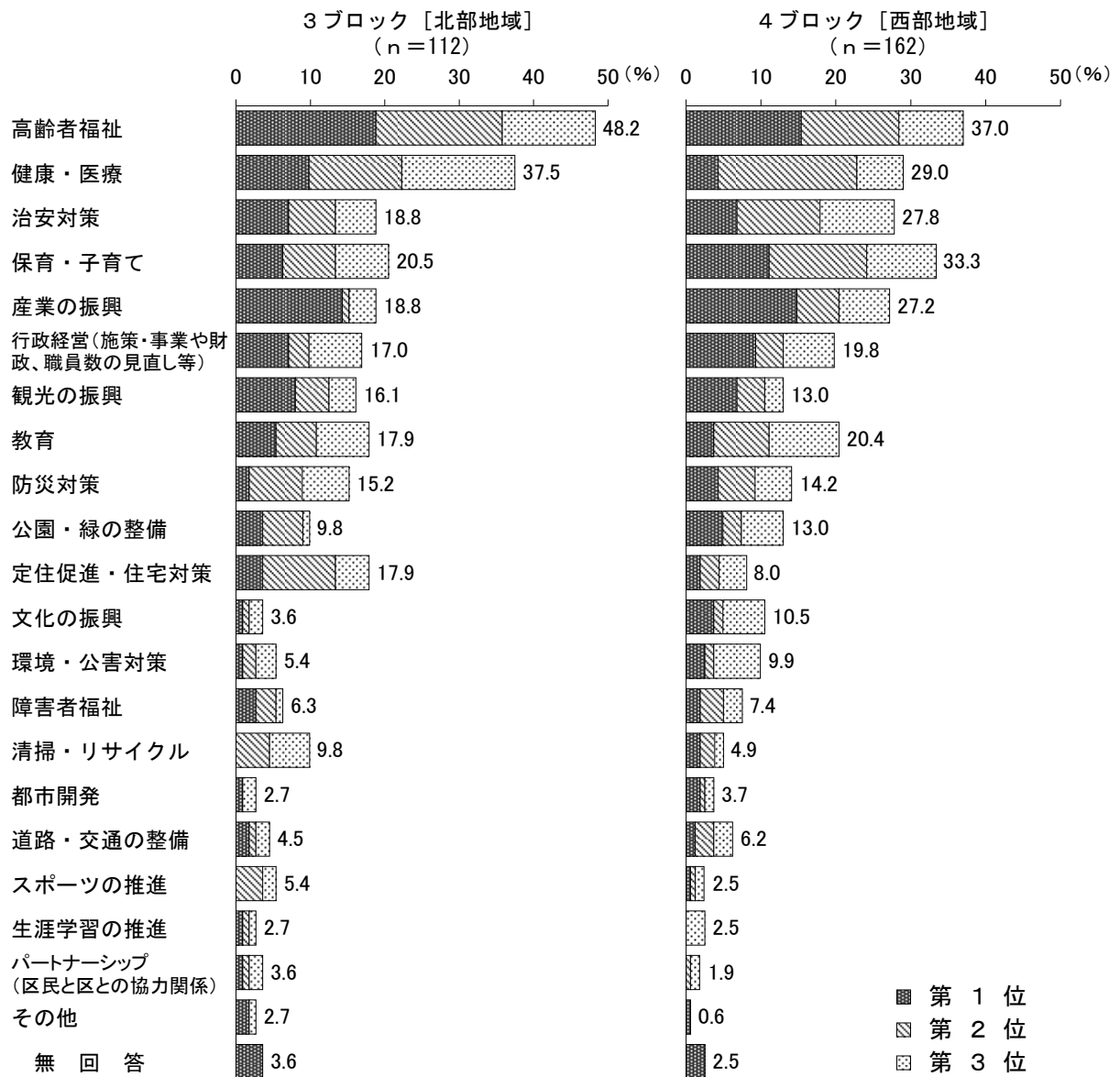


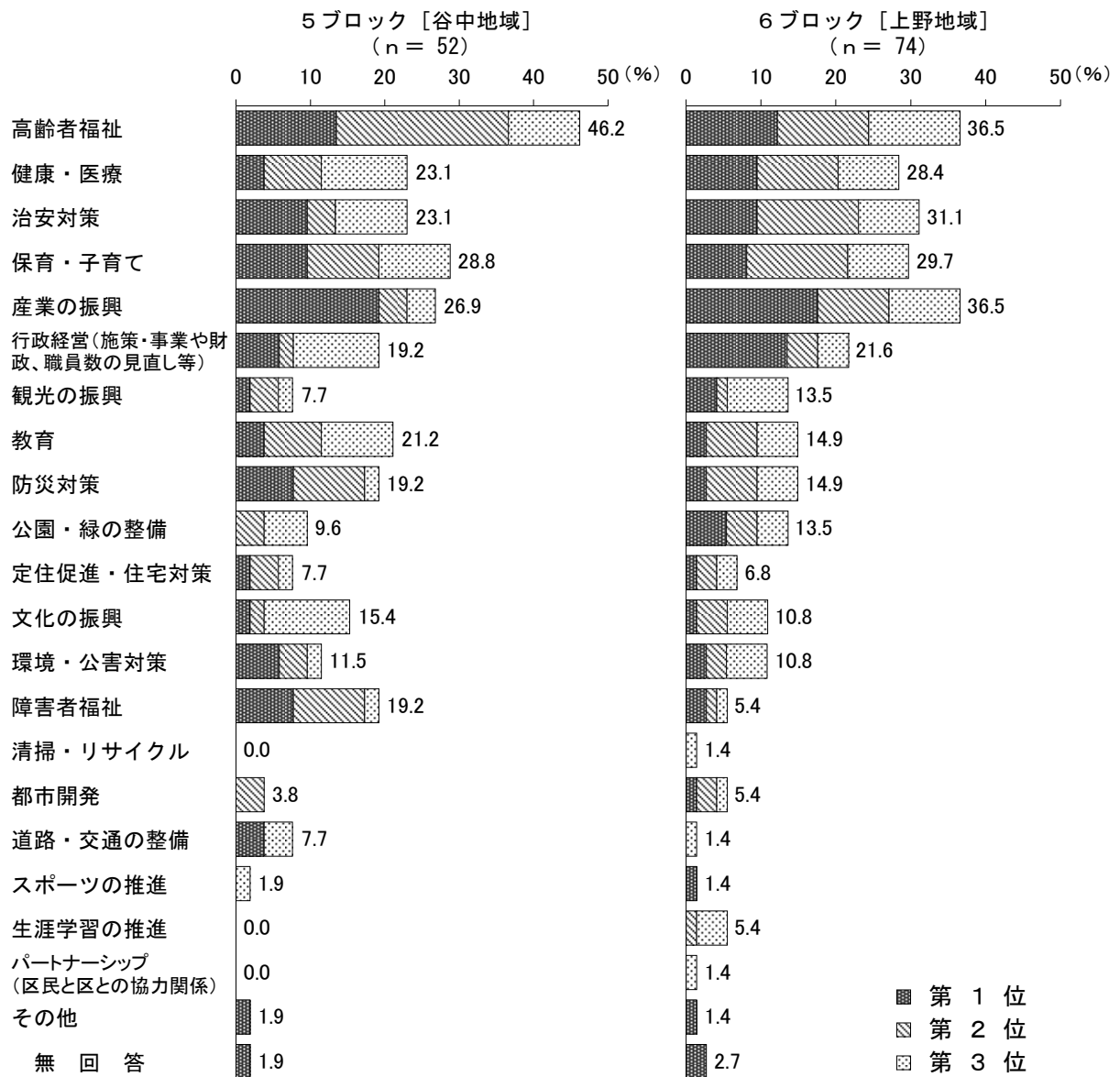
今後、区が優先的に力を入れていくべき施策としては、第1位から第3位を合計すると「高齢者福祉」(39.8%)が約4割で最も高く、次いで「健康・医療」(29.7%)が約3割となっている。このほか、「治安対策」と「保育・子育て」(ともに27.5%)が約3割となっている。(図表13-1)

居住地域別でみると、第1位から第3位の合計では、「高齢者福祉」はすべてのブロックで最も割合が高く、特に3ブロック[北部地域]（48.2%）が約5割と最も高くなっている。「健康・医療」は3ブロック[北部地域]（37.5%）が約4割、「治安対策」は1ブロック[南部地域]（36.9%）で3割台半ばと高くなっている。「保育・子育て」は4ブロック[西部地域]（33.3%）が3割台半ばと最も高くなっている。（図表13-2）

＜図表13-2＞ 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策 居住地域別



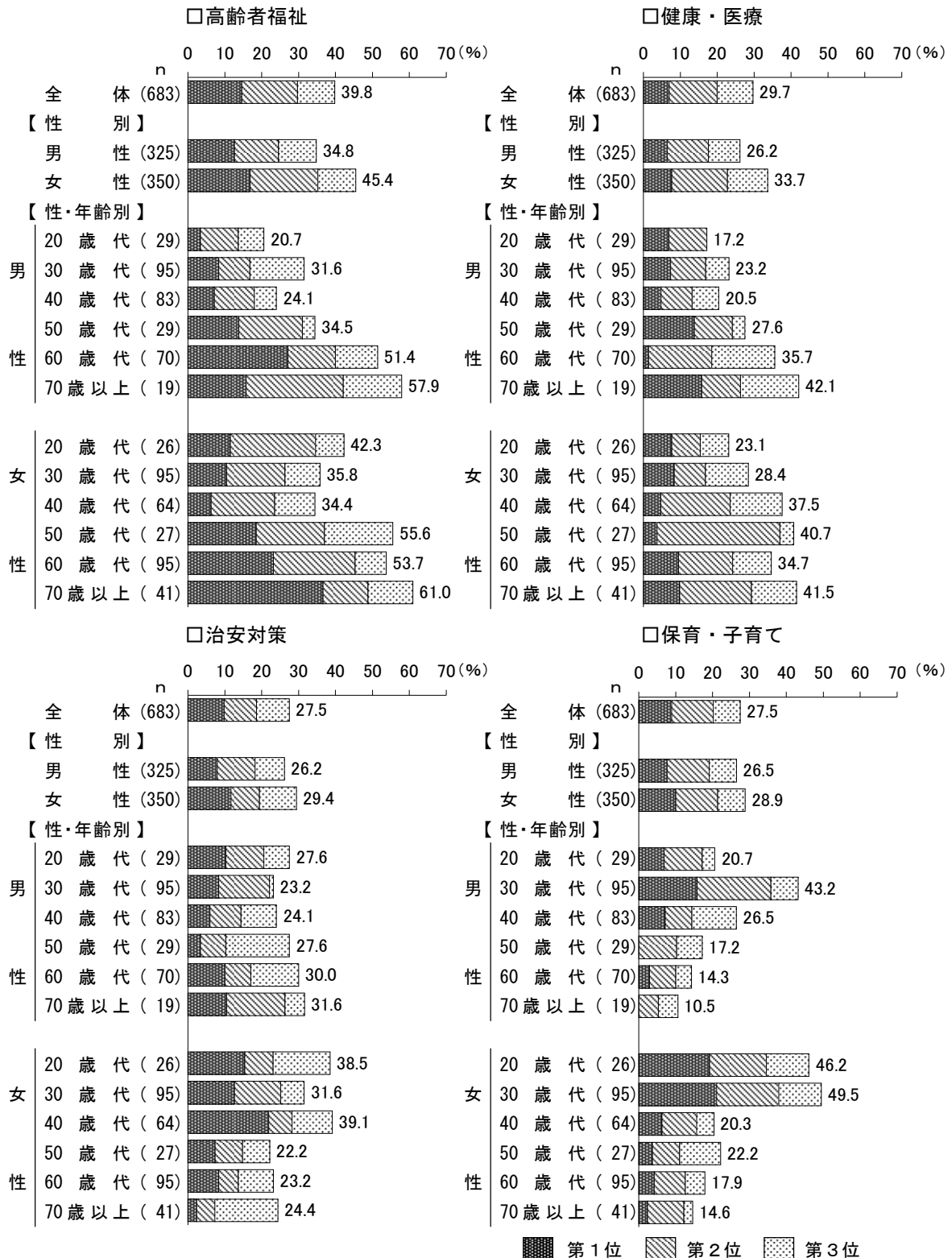




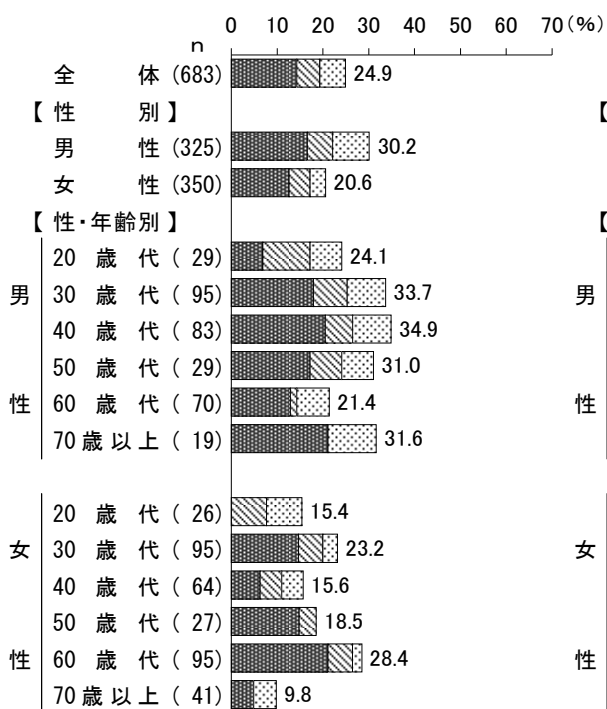
性別でみると、第1位から第3位までの合計では、「高齢者福祉」は女性（45.4%）が男性（34.8%）を10.6ポイント、「産業の振興」は男性（30.2%）が女性（20.6%）を9.6ポイント上回っている。

性・年齢別でみると、第1位から第3位までの合計では、「高齢者福祉」はおおむね年齢が上がるほど増加する傾向にあり、特に、女性の70歳以上（61.0%）は6割を超える。「健康・医療」は男女70歳以上で4割を超え高くなっている。「治安対策」は女性の40歳代（39.1%）、20歳代（38.5%）が約4割と高く、「保育・子育て」は、女性の30歳代（49.5%）が約5割と最も高く、女性の20歳代（46.2%）と男性の30歳代（43.2%）が4割台半ばとなっている。（図表13-3）

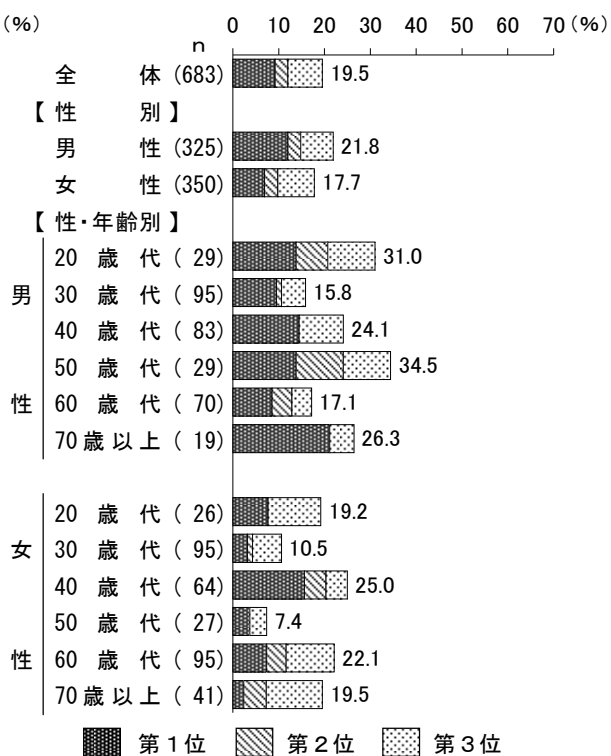
＜図表13-3＞ 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策 性別／性・年齢別（上位6項目）



□産業の振興



□行政経営（施策・事業や
財政、職員数の見直し等）



■ 第1位 ▨ 第2位 ▩ 第3位

<図表 13-4> 今後、区が優先的に力を入れていくべき施策 過去調査との比較

今 回 調 査			順位の 変化	平成20年度		順位の 変化	平成18年度	
順位	施 策	総合%		順位	総合%		順位	総合%
1	高齢者福祉	39.8	←	1	43.0	←	1	40.5
2	健康・医療	29.7	↑	3	28.6	←	3	26.9
3	治安対策	27.5	↓	2	34.4	←	2	28.2
3	保育・子育て	27.5	↑	6	19.5	←	6	18.4
5	産業の振興	24.9	↑	7	15.0	↓	4	20.8
6	行政経営(施策・事業や財政、職員数の見直し等)	19.5	↓	5	19.9	↑	7	17.9
7	観光の振興	18.4	↑	11	12.4	←	11	12.3
8	教育	17.3	←	8	14.6	↑	13	10.6
9	防災対策	15.8	↓	4	26.9	↑	5	19.3
10	公園・緑の整備	11.6	↑	12	9.7	←	12	10.7
11	定住促進・住宅対策	9.7	↓	10	12.6	←	10	15.5
12	文化の振興	9.1	↑	13	9.1	↓	8	16.5
13	環境・公害対策	8.9	↓	8	14.6	↑	9	16.3
14	障害者福祉	7.8	←	14	8.3	←	14	9.1
15	清掃・リサイクル	6.1	↑	16	5.3	←	16	6.4
16	都市開発	4.5	↑	18	3.7	←	18	4.2
17	道路・交通の整備	4.1	↓	15	6.0	←	15	7.5
18	スポーツの推進	2.6	↑	19	3.4	↑	20	3.2
19	生涯学習の推進	2.5	↑	20	2.6	↓	18	4.2
20	パートナーシップ(区民と区との協力関係)	2.0	↓	17	4.1	←	17	4.4

1 4. 区政や区役所に対する意見・要望（自由意見）

◇記入率は34.1%

問45 最後に、区政全般について、ご意見、ご要望があればご自由にお書きください。

アンケートの最後に区に対する意見、要望を自由記入形式で求めたところ、233人（34.1%）の方からの記入があった。

以下は記入内容を分類し表にまとめたものである。一人で複数の意見を記入している場合は、それぞれ1件として数えているため、延べ件数は338件となる。

寄せられた意見・要望については、アンケート結果とともに、今後の区政運営の貴重な資料として活用させていただく。

大分類	小分類	件数
産業の振興に関すること	産業	15件
観光の振興に関すること	観光	18件
文化の振興に関すること	文化	17件
まちづくりに関すること	まちづくり	78件
	交通	
	自転車	
	道路	
	住宅	
	駐車場・駐輪場	
	防犯・防災	
	景観	
	公園	
環境対策に関すること	環境	17件
	清掃・リサイクル	
	喫煙	
生涯学習に関すること	生涯学習	8件
健康づくりに関すること	健康・医療	9件
福祉に関すること	福祉	28件
	高齢者福祉	
	障害者福祉	
	ホームレス	
子育てに関すること	子育て	19件
教育に関すること	教育	12件
パートナーシップに関すること	区民の行政参加	6件
行政経営に関すること	行政経営	9件
本調査に関すること	本調査	26件
その他区政又は区に関すること	区職員	76件
	広報	
	区政全般	
合計		338件

続いて、各項目ごとに主な意見を紹介する。(原則として、寄せられた意見・要望を原文のまま掲載する。)

◇ 産業の振興に関すること

【産業】

- ・ 商店街をもっと活性化し、外からのお客さんが来やすくなるようにして下さい。
- ・ 商店が協力し合って、買物がしやすくおしゃれな商店街を作って欲しい。
- ・ デザイナーズビレッジはとてもよいと思う。
- ・ 産業と観光の連動に力を入れてほしい。
- ・ 観光にばかり目を向けていないでひとりひとりが住みやすい区であってほしいです。産業がもっと振興することにより、経済的にもみんなが自立できるようになってほしいです。

◇ 観光の振興に関すること

【観光】

- ・ 東京スカイツリーの開業が、浅草地域の活性化への1つのビッグチャンスだと思います。浅草には、老若男女、たくさんの方が集まるのだから、若い人向けのお店がもう少しあってもいいのかなあなんて思います。難しいところだが、浅草のよき景観をそこなわずに新しいものを取り入れていく冒険もして欲しいと思います。魅力的な町にして下さい。
- ・ 台東区は、日本の中でも、多くの外国人に注目される地域です。ガチガチに規制する事なく、江戸っ子らしいもてなしのできる観光都市を創り、沢山の外国の方々を呼び滞在させる有償の器を作り、その収入を住民にサービスで還元することができれば、日本一の住みやすい行政区ができる。このポテンシャルを、先人からお預りした事を忘れてはならない。
- ・ 上野、浅草等観光名所だけでなく、他の地区にも人が流れるように工夫して下さい。
- ・ 区全般的に、まちをきれいにしよう、という雰囲気欠けている。古くさい、昔のまちもいいが、もっと新たな客をよびこめるような計画をお願いします。
- ・ 観光資源を最大限生かす為に、語学力、歴史、もてなしの心を学べる場があると良いと思います。台東区の明るい未来のために宜しくお願い致します。
- ・ 外からのお客様が再びおとずれたくなるような浅草の町になってほしい。

◇ 文化の振興に関すること

【文化】

- ・ 台東区にある文化的な財産を後世に長く受け継いでもらえる体制を整えて欲しいです。
- ・ 美術館等の文化施設が数多くある地域は珍しいので、日本の文化発信拠点として、世界の人々にもっとアピールできる様な施策を考えて頂きたいです。
- ・ 昔の町名はいわれがあり味があり、とても良いものに思います。町会名などで残っていたりするのでそれらを大切にしていきたい。歴史、伝統文化を後世に残し語りつぎ、商店、産業とも関連させ守りながら発展していくと区と区民がさらに元気になるだろう。

- ・日本にしかない文化がこの台東区にあります。日本の文化と美を海外の人にもっと知ってもらい、日本に憧れを持って多くの人に観光に来てほしい。経済が豊かになれば、自然に他のサービスなどはよりよいものになっていくと思います。日本の顔になる台東区になってほしい。
- ・『台東区』という町は、浅草や上野などをはじめ、昔ながらの伝統や歴史を感じる事のできる素敵な街だと思います。それを少しでも多くの方々に感じて頂ける街づくりをする事は、本当に大切な事だと思いますし、私達台東区民も積極的に取り組んでいかなければならないと改めて感じました。「住みよい街づくり・歴史や伝統をいつまでも継承していく取り組み」とは、台東区政が更なる発展や向上することで、私達台東区民の意識も高まり、より良いものへとつながっていくと思いますし、明るい未来への第1歩であると感じます。

◇ まちづくりに関すること

【まちづくり】

- ・美しく、住み続けたいくなる様な街にしてください。
- ・むやみな建築の高層化や道路拡幅は、せっかくの歴史ある景観や街並みを損なうのでやめるべきだと思う。古いものを美しく保つことが、台東区ならではの財産になる。
- ・東武浅草駅の開発をお願いしたいです。浅草はまだまだ成長する地域だと思います。
- ・古い建物等を整備し、きれいな街づくりに取り組むべきだと思います。
- ・台東区の特長、オリジナリティーを重視した政策をとってもらいたい。個性、特徴ある街づくりに取り組んで欲しい。
- ・全体的に雑多な印象の街なので、整理していけば、住むにも観光するにも良い街になるのではないのでしょうか。
- ・台東区は、文化・芸術・観光・歴史と、非常にバランスのとれた良い町だと思います。これからの時代、人々は癒しを求めていくと思うので、隅田川沿いや、上野公園の美化や再整備を推進して、よりキレイな町を目指して行って欲しいです。
- ・子どもや、お年寄りばかりでなく、働く若い人達にも、楽しみがあれば、もっと、住みやすくなると感じています。浅草や上野周辺だけでなく、南部への整備も希望しています。「案外、良い所だね。」って言われる様に、もう少し美化にも力を入れて下されば、若い世代の人達も住み続ける気持ちになれると思います。

【交通】

- ・めぐりんの逆ルートがあると、とても良いと思います。
- ・区民のめぐりん無料化をお願いします。

【自転車】

- ・自転車駐輪の取り締まりが厳しい所から逃れて他の場所に停めている。放置自転車の撤去をお願いします。
- ・歩道が狭いにもかかわらず、放置自転車がが多く、歩行者には危険なため、こまめに撤去してほしい。

【道路】

- ・高齢者の方が、手押し車を押しながらも歩きやすい歩道が必要だと思います。
- ・道路、特に歩道をきれいにして下さい。
- ・電線の地中化にもっと取り組んで、景観向上に努めるべきです。

【住宅】

- ・上野、浅草の商業地域の産業、観光支援と共に、その他の地区の住環境の整備に目を向けて頂きたい。
- ・高齢の方が多く、また築年数の古い建物がある地域において、台東区が他区に率先して、住環境向上の施策を手厚くされたい。
- ・上野、浅草周辺を整備するだけでなく区全体の整備を行って欲しい。又、ファミリー向けの住宅が少なく家賃がとても高いので生活していくのが大変です。高齢化を防ぐ為には、もっとファミリー世帯が住みやすい環境を作って欲しい。
- ・近年、大規模なマンションが増えて、学校施設や遊び場所が不足するのではと心配しています。大規模マンションを規制して、住みやすい街づくりをして頂きたいです。
- ・一人暮らしの高齢者の賃貸住宅への支援、及び公営又は区営の住宅が少ない様な気がします。どうぞ区営の高齢者住宅をもう少し増やし、家賃支援をしていただきたいです。

【駐車場・駐輪場】

- ・仕事上バイクを使用していますが、駐車する所がありません。自転車や自動車はそれぞれ止める場所がありますが、バイクの駐車をたくさん作ってほしいと思います。
- ・観光バスが道路に止まっていると狭いため、通行に困る事が多い。

【防犯・防災】

- ・犯罪のない安心して暮らせる区にして欲しいです。
- ・子育てをするようになって、治安の悪さが気になるようになりました。子供をもつ身でとても不安になることがあります。
- ・近所に空巢が入っている様ですが、全く情報が入ってきません。パトロールはしていただいているみたいですが、具体的な予防法など伝えていただきたいです。
- ・日本文化の豊かな町づくり、高齢者から幼児までが安心して暮らせる町を目指してもらいたい。
- ・古い建物が多いので防災対策を早く進めて欲しいです。

【景観】

- ・浅草寺、隅田川周辺など美観整備にとりくんでいるのは喜ばしく思います。観光客の方々がいい街だと思って頂けるようにするのも大切ですが、区民が快適、この町が好き、と何世代にもわたって住み続けられることが1番と思います。
- ・町並を美しくするように指導してほしい。

- ・まちの美化や景観や公園の整備、緑化など区のイメージアップを図ることにより、区外からの買物客や観光客に足を運んでもらいたい。

【公園】

- ・公園を整備してほしい。
- ・子供達が安心して走り回れるような大きな公園があると、子供の創造力が伸びるように思います。
- ・公園でキャッチボールをしていたら区の監視員に注意された。台東区の公園には、キャッチボール・サッカー禁止となっている所が多い。台東区は小学生の運動能力が低いと聞いています。小学校の校庭も土でないので、自由に走ったり飛んだり転がったりする場所がない。もっと土の上で遊べる場所を区として考えたらどうか。

【地域社会】

- ・高齢者、子供が住みやすい環境をつくっていただきたくお願いします。街の雰囲気や街並みは良いと思っており、今後も引き続き行って下さい。
- ・台東区でも最近高層マンションが多くなり、1Fが駐車場となり商店街、町の活気が疎外される様な気がします。あまりマンションを誘致したくないと思います。
- ・ペット（犬）を通して地元で馴染むことができました。もっと犬と飼い主に“優しい台東区”になってもらえるとうれしいです。
- ・台東区は横のつながりも厚くて、ご近所同士でお互いを助け合っている素晴らしい場所であると思います。同時に私のように新しく入ってくる区民もいて、これから変化もますます多様になっていくでしょう。おとなり同士あいさつができたり、会話ができたり、コミュニケーションを取り合っていける土地柄を大切に、これからもしていけると良いですね。行政の中にも組みこんで伸せる方向にもっていけると、犯罪や地震などの災害にもご近所同士助け合えるのではないかと思います。

◇ 環境対策に関すること

【環境】

- ・建物やアスファルト、コンクリート舗装されている部分が増え、緑や土の部分が少なくなっている気がする。地球の温暖化が進むのではないかと心配である。環境問題について、改善に向かう取組みを区民全員でできないものだろうか。
- ・下水道のにおいが風で部屋まで飛んでくる。特に夏雨の日は非常にひどく窓を開けられません。改善してほしいです。

【清掃・リサイクル】

- ・繁華街などの清掃への積極的な取組みを期待したいです。
- ・夏期（7、8、9月）の生ゴミ収集の回数をもう一日増していただければ。
- ・ゴミ処理費が高い、深夜にゴミ回収をしてほしい。
- ・ゴミのポイ捨ても多く見られるので回収方法等工夫してほしい。

- ・毎週、リサイクルのアルミ缶をホームレス等が勝手に持ち去るのを見る時、何の為の事業なのか大変疑問に思います。

【喫煙】

- ・町は好きであるが、歩きタバコに罰則を設けてないのは残念。罰則を設けている区よりも明らかに歩行喫煙者が多い。これから子供が生まれ成長していく中で、心配のタネとなっている。
- ・希望している事は、台東区全面路上禁煙です。タバコポイ捨ての禁止だけでは道路がキレイになりません。人々の意識も変えなくてはいけないと思います。
- ・ゴミのポイ捨て、吸いながら等のマナー向上に努めるべき。

◇ 生涯学習に関すること

【生涯学習】

- ・中央図書館、リバーサイドスポーツセンターには満足しています。ただ、生涯学習の講座やスポーツのレッスンは会社員としては参加しづらい日程となっています。
- ・生涯学習のための同じような講座を、生涯学習課、各社会教育館や老人福祉センター、保健所等で実施しており、重複しているケースが散見されます。調整して、ダブリをなくす方向で検討して下さい。
- ・スポーツ施設を充実させてほしい。
- ・図書館の学習室を予約制（時間制限付）にしてほしい。

◇ 健康づくりに関すること

【健康・医療】

- ・お産が出来る病院が少なすぎる、何とかしてほしい。
- ・昨年、とても立派な台東病院が開設しましたが、外来利用が少ないような気がします。せっかく設備の整った病院を作っても多くの方が利用しない事には問題があると思います。
- ・働いていると病院にもなかなか行けない。遅くまでやっている病院（内科・産婦人科・歯科など）を増やして欲しい。
- ・現在、かかりつけ医（内科、眼科、耳鼻科）は皆区外です。区内の医療機関をもっとPRして下さい。

◇ 福祉に関すること

【福祉】

- ・福祉など受ける側、助ける側と皆が負担にならず互いに無理なく向上しあえる…いつでも皆が充実出来る事を願います。
- ・平均寿命がいくらのびても健康に生活出来なくてはと思います。定年後もいきいき働ける環境を整備していただきたい。安心な老後の為、年金医療介護はとても重要です。台東区でもよりこの点に力をそそいでいただきたいと心から希望致します。

【高齢者福祉】

- ・ 高齢者の単身世帯に対する対応やサービスを充実させることを検討してほしい。
- ・ 高齢の方が熱中症で亡くなるということがあった。台東区は高齢者が多いので、このようなことが防げるよう、地域の見守りについて取り組みをお願いしたい。

【障害者福祉】

- ・ 障害者福祉に力を入れていただきたいと思います。
- ・ 高齢者、就学前の子育て支援、教育、成人の障害者への支援、相談他、充実していてとても良い区政だと思いますが、障害児（小～中学生）に関しては不十分です。もっと焦点を当てて下さるとありがたいです。

【ホームレス】

- ・ 公園、道路などのホームレス対策に力を入れて欲しい。
- ・ ホームレスの多さが特に目立つ。区だけではどうにもできないとは思いますが、国政にもどんどん訴えをしていてもらいたい。
- ・ ホームレスが非常に多いことが、街の清潔感、治安を低下させているように思います。
- ・ 図書館などにホームレスの人がたくさんいるので、せっかくの公共施設を利用したくない。なんとかしてほしい。
- ・ いくら景観に配慮した街並を目指しても、文化、観光振興を図っても、ホームレスが道路に寝ていたりする状況が改善されなければ、何をやっても無駄になってしまうと思います。福祉の充実も大事かもしれないが、他の市町村が本来責任を持って対処すべき人（流入したホームレス）迄、貴重な税金を使うのはおかしいと思う。

◇ 子育てに関すること

【子育て】

- ・ 子育て中なので医療費の無料は助かっています。
- ・ 保育を充実すれば、もっと若者夫婦が集まり、活気のある区になると思います。
- ・ 高齢者福祉施設は新しくきれいなのに、保育園や児童館の施設は老朽化が目立ち、災害時を思うと不安になる。
- ・ 子供を他区の学校に通わせていますが、「浅草は良い、住んでみたい」と言われます。文化的な施設も多く、祭りをはじめ花火大会など、様々な行事もあります。なによりも、そこに地域の方との交流があります。子育てをしていく上で、地域の方々との交流は安全面、教育面、すべての面でプラスになると思います。これからも、他区からうらやましいと思われるような区にしていくって欲しいと思います。そのような区であればいずれ大きくなるであろう子供達が将来的にも台東区をもちあげていくってくれるのではないのでしょうか。
- ・ 子供たちが安心して、思い切り遊べる場所が欲しい。

- ・ 幼児教育の取り組みを、お願いします。
- ・ 普段の児童館の利用が学童保育にかたよっている。週2の幼児タイムはありがたいが、普段、特に長期の休み期間が利用しにくい。
- ・ 台東区は住みやすい所だと思いますが、子育てを終わってしまった世代も多く、子どもが公園で遊んでいたりとすると、“うるさい”とかボールで遊んではいけないなど…規制があり、かわいそうです。あたたかい目で見守って下さる方もいますが、すべての方が見守っていただける子育てが出来れば良いですね。
- ・ 子育て中でも就労できる環境整備を大至急整えて欲しい。そして、もっとたくさんの子育て中のママが外に出て活躍し、子どもを安心して育てられるようになればと思います。

◇ 教育に関すること

【教育】

- ・ 中学選択制はいいのですが、人気のない学校の人数のすくなさの原因究明や是正にとりくんでいると思えません。人気のないところ＝学力低い、経済力がない、みたいな図式ができ、生徒の質も低下しているように思います。問題意識をもって、改善していただきたいです。徒歩で通える中学が質の低い学校ではつらいです。将来にもかかわります。地域の学校へ通うことは大切だと思います。
- ・ 小・中学生にとってのスポーツ環境を整えてほしい。
- ・ 若者達のマナーの教育を充実してほしい。
- ・ 発達障害をもつ子供たちへの、特別支援教育を充実させてほしい。
- ・ 雷門などは多くの外国人が来ているので、英語教育に力を入れて、子供たち等がボランティアで外国人を案内できる仕組みをつくっていったらいいのではないのでしょうか。

◇ パートナーシップに関すること

【区民の行政参加】

- ・ 独身のため、区の取り組みに参加する機会がありません。気持ちはあるので、もっと気軽に取り組める事業等の紹介があるとうれしいです。越して来たばかりですが、とても気にしています。
- ・ 区と区民がどこに向かっていくのかを考えそれに近づける努力を区と区民が一緒に活動し、それに参加している人の口込みで広げていき、参加意識を高めていけると良いのでは。まずは、どんなきっかけなのか、窓口からなのか。様々な組織をうまく使ってほしい。
- ・ 区としては、多方面に留意して行政全般に手落ちがないかを気にしているかと思う。我々としては日常の不平不満について、もっと配慮して欲しい（例えば、騒音、道路での自転車による被害等）が、そうすれば大きな行政組織が必要になる。これが痛しかゆしであるが、ボランティアの活用などで工夫の余地もあるのではないか。
- ・ マンション建設ラッシュで、これから新しい住民が入ってきて町は変わる様に思います。地域のきずなや地域への思いは弱くなり、他人の事や地域には無関心になることが危惧されますが、地域には智恵がいっぱいです。60代、70代を区では活用して下さい。家から1歩ふみ出す方々がふえるといいですね。

◇ 行政経営に関すること

【行政経営】

- ・ 区民の要望をきめ細かくくみ取り、優先順位を的確につけて、血税をムダのないよう生かして欲しい。
- ・ 区政のスリム化を実施してほしい。
- ・ 日常の仕事も大事ですが、区民と談話する事も大事です。私はやりすぎるリストラは嫌いなので、リストラとか削減だけじゃなく、生かす政策をして下さい。

◇ 本調査に関すること

【本調査】

- ・ 回収は郵送にしていきたい。
- ・ この調査結果を生かして、今後の区政運営をしてもらいたいと思います。
- ・ 各項目の「取り組み」（問2、問5等）について、「できていること」だけでなく、「できていないこと」を提示していただかないと「満足度」を回答できない。今回、このアンケートに回答したことで、区がどんな取り組みをしているのか初めて知ったことが多かった。

◇ その他区政又は区に関すること

【区職員】

- ・ 区職員には公僕としての責任を自覚し、公務員はサービス業であるという意識の下、職務に精励して欲しい。区政の発展に尽くして区民のために働いて下さい。
- ・ 何か問題が起きた時だけ動くが、普段は何も行動を起こさないように思う。
- ・ 区役所や出張所、保健所に行ったり電話したりすると対応がいかにもお役所仕事の事が多々あります。もっと効率よく気持ちよく区民の立場に立って、民間のいい部分は取り入れてやってほしいです。
- ・ 行政は幅広い分野で様々な意見を受け大変かと思いますが、それぞれの分野で、熱意を持ったエキスパート的な職員が、真剣に仕事をしてくれることを望みます。人事異動のくり返しではなく、ある程度、腰を据えて仕事に取り組み、達成させるプロの集団であってほしいと思います。全体に見る目だけではダメかと。限られた財源でも、あきらめないで最大限の結果を出す本気で良い区にしたいという人達に、区の職員になってがんばっていただきたいと思います。

【広報】

- ・ いろいろな取り組みを区報などに記載しているが、非常に分かりづらいと感じる。
- ・ 行政としてさまざまな活動に行っていると思いますが残念ながら、区民には伝わりきっていないと思います。
- ・ 普段は広報「たいとう」をざっと見る程度で、区の取り組みについても健康診断等自分に直接関わっているものしか知らないといったところですが。たとえば「たいとう」がもっと面白い読みものになったらいいかなと思います。情報告知はもちろん、下町ものづくりマップや作家、デザイナーの紹介、食べ物その他店の紹介や歴史にまつわる話など、楽しいフリーペーパーがあったらいいかなと思います。

- ・ 様々な取組みについて、この調査票に書かれている事で初めて知った事がいくつもありました。もう少し多くの人の目に触れやすいようにされた方がせつかくの施策なので、有効活用されるのではないかと思います。

【区政全般】

- ・ 住み続けて50年、伝統文化のある台東区がとても大好きです。区活性化に増々頑張ってもらい、他の区にない、イキな下町台東を残してほしいと思います。
- ・ 毎月多くの住民税を支払っているわけだから、住民に対して、区がどんな取組みをしているのかを報告する必要があるのではないかと思います。
- ・ 諸問題は、区政に限られたことではないため、簡単には解決しないことである。しかし、その取組みを率先して行って欲しい。
- ・ 台東区は新しく入居する若い家族を支援する方針である一方で、昔から同区に住み続けている区民に対しては何も対策を行わないのは、正直区民に甘えていると思います。同区を愛して住み続けている区民をもっと大切にしてほしいと思います。
- ・ 老若男女、すべての人が台東区に住んでいてとても幸せと云えるように、大変でしょうけど是非お願い致します。
- ・ 住民税がダイレクトに還元されている気がしない。せめて台東区の特徴を生かして、上野動物園などの施設や花火会場など、区民に特典があるようにしてほしい。自分は会社員なので、地域産業に税金を使うよりも、保育設備や子育てなど、どこでも必要な施策にお金を使うべき。
- ・ もう少し開かれた区民施設の活用をして欲しい。区民施設が利用者が少なく、開店休業となっている時が多いように見受けられる。区民優先は結構だが、区民館利用が増えれば、周辺地域にお金も落ちるし（当然利用料金も入る）、結果的に区の為になるように思う。ご一考下さい。
- ・ 公明正大、弱者保護、時代の流れに柔軟に対応する行政を期待する。
- ・ 住むようになって2年余りになりますが、具体的に何に力を入れているのか見えにくい。
- ・ 年収の高い層が住みたいと思うメニューが少ないのではないかと、中小企業振興もいいが安定的収入源となるサラリーマンにもきちんとケアすべきだと思う。今税金の払い損という気がしている。サラリーマンや単身者向けのメリットが何もない。
- ・ 様々な分野に対し手厚く取り組んでいる様で、とても心強く思います。とても気に入っていますが、夜間の治安や商店街のシャッター店舗などが気になります。一層頑張ってくださいと思います。